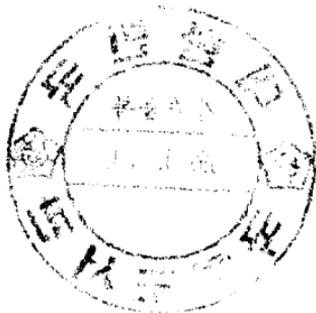


19509867

R
338.372
s 361a
1985

1995年度

水産業 動向에 관한 年次報告書



水 産 廳
NATIONAL FISHERIES ADMINISTRATION



이 年次報告書는 1994年度의 水産業 動向과 施策 및 1995年度의 水産施策에 관한 報告書로서 水産振興法 第 16條의 規定에 의하여 1995年度 國會 定期會에 提出하기 위하여 作成하였음.

目 次

第 1 篇 1994年度 水産業 動向	1
第 1 章 世界 水産業 動向	3
第 1 節 水産物 生産	3
第 2 節 水産物 交易	5
第 2 章 우리나라 水産業 動向	7
第 1 節 漁業 構造	7
第 2 節 漁家 經濟	25
第 3 節 水産物 生産	33
第 4 節 水産物 輸出·入	43
第 5 節 水産物 需給 및 價格	49
第 6 節 漁場環境	53
第 2 篇 1994年度 水産施策	61
第 1 章 바다 淨化와 기르는 漁業 育成	63
第 1 節 바다 淨化	63
第 2 節 水産資源 造成	68

第3節 養殖漁業 開發	71
第4節 內水面漁業 開發	73
第2章 漁業 構造調整斗 漁業秩序 確立	76
第1節 漁業構造 調整	76
第2節 漁業制度의 整備·補完	77
第3節 漁業秩序 確立	81
第3章 漁村 綜合開發斗 漁業 基盤施設 擴充	89
第1節 漁村 綜合開發	89
第2節 漁村人力 育成	93
第3節 漁港建設 擴充	98
第4節 漁撈施設의 現代化	101
第4章 水產物 流通改善斗 加工產業 育成	106
第1節 水產物 價格 安定	106
第2節 流通構造 改善	108
第3節 水產物 加工產業 育成	113
第4節 水產物 檢査	118
第5節 水產物 輸出·入 對策	121
第5章 遠洋漁業의 育成	126
第1節 國際漁業 協力 強化	126
第2節 新漁場 開發	129
第3節 遠洋漁業 競爭力 強化	131

第 6 章 水產 技術開發	134
第 1 節 增養殖 技術開發	134
第 2 節 漁具漁法 및 加工技術 開發	139
第 3 節 漁場環境 및 資源調查	145
第 4 節 水產技術 指導·普及	150
第 5 節 水產 特定研究 技術開發	153
第 6 節 水產技術 訓練	155
第 7 章 支援體制 整備의 制度 改善	158
第 1 節 行政規制 緩和	158
第 2 節 水產業協同組合法 改正	162
第 3 節 水產團體 育成	163
第 4 節 漁業人 支援 強化	169
第 3 篇 1995年度 水產施策	179
第 1 章 基本方向	181
第 1 節 水產業의 與件 變化	181
第 2 節 重點 推進施策	182
第 3 節 投·融資 規模	184
第 2 章 바다 淨化와 기르는 漁業 育成	187
第 1 節 沿岸漁場 淨化	187
第 2 節 沿岸漁場 污染 防止	189
第 3 節 水產資源 造成	190

第4節 養殖漁業 開發·整備	192
第5節 內水面漁業 開發	195
第3章 漁業 構造調整斗 漁業秩序 定着	197
第1節 漁業構造 調整	197
第2節 不法漁業 追放	206
第3節 操業海域 擴張	207
第4節 安全操業 指導	208
第4章 漁村 綜合開發斗 漁業 基盤施設 擴充	209
第1節 漁村 綜合開發	209
第2節 漁村人力 育成	211
第3節 漁港建設 擴充	215
第4節 漁撈施設斗 現代化	217
第5章 水產物 流通改善斗 加工產業 育成	223
第1節 價格安定 對策	223
第2節 流通構造 改善	225
第3節 加工產業 育成	228
第4節 水產物 檢查	230
第5節 水產物 輸出·入 對策	232
第6章 遠洋漁業 健全 育成	235
第1節 國際漁業 協力 強化	235
第2節 既存漁場 確保 吳 新漁場 開發	236

第3節 遠洋漁業 競爭力 強化	241
第7章 水産技術의 開發·普及	243
第1節 WTO 體制에 對應한 水産技術開發 強化	243
第2節 養殖品種 研究開發	244
第3節 漁具漁法 및 加工技術 開發	250
第4節 漁場環境 및 資源調査	253
第5節 水産技術 指導·普及	257
第6節 水産 特定研究 技術開發	259
第7節 水産技術 訓練	260
第8章 體制과 制度의 整備·改善	262
第1節 行政規制 緩和	262
第2節 水産業協同組合法 施行令 改正	263
第3節 水産 行政組織 改編	264
第4節 漁業人 支援 強化	269
第9章 水産業 發展對策 樹立	278
第1節 計劃樹立 背景	278
第2節 水産業 發展對策 樹立 推進	279
〈統計呈 示 水産業 動向〉	282

表 目 次

〈表 1〉	世界 水産物 生産推移	4
〈表 2〉	世界 水産物 輸出推移	5
〈表 3〉	世界 水産物 輸入推移	6
〈表 4〉	漁家戸數と 漁家人口	7
〈表 5〉	漁業従事者 性別、年齢別 構成	8
〈表 6〉	専業・兼業別 漁業家口	9
〈表 7〉	漁業形態別 漁業家口	9
〈表 8〉	漁業生産 現況	10
〈表 9〉	漁業 總生産(附加價値) 現況	10
〈表 10〉	漁業別 漁船勢力	11
〈表 11〉	船質別 漁船隻數	12
〈表 12〉	等級別 漁船隻數	12
〈表 13〉	品目別、年度別 養殖漁場 面積	15
〈表 14〉	所有者別、年度別 淺海 養殖漁場 面積	16
〈表 15〉	'94品目別、所有者別 養殖漁場 面積	16
〈表 16〉	内水面 養魚場 現況	17
〈表 17〉	沿岸漁業 經營體 推移	18
〈表 18〉	近海漁業 經營體 推移	20
〈表 19〉	'94養殖漁業 經營體 構成	22
〈表 20〉	内水面漁業 經營體 推移	23
〈表 21〉	遠洋業體の 經營規模 推移	24
〈表 22〉	漁家所得 推移	25

〈表 23〉 漁業外 所得構成	26
〈表 24〉 漁家所得 階層別 漁家分布	26
〈表 25〉 可處分所得 吳 家計費	27
〈表 26〉 家計費 支出內譯	28
〈表 27〉 漁家資産 推移	29
〈表 28〉 漁家負債 推移	30
〈表 29〉 負債 規模別 漁家分布	31
〈表 30〉 漁家 便宜用品 保有現況	32
〈表 31〉 漁業別 生産推移	33
〈表 32〉 沿近海漁業 業種別 生産推移	37
〈表 33〉 養殖漁業 品種別 生産推移	38
〈表 34〉 内水面漁業 品種別 生産推移	40
〈表 35〉 遠洋漁業 業種別 生産推移	43
〈表 36〉 水産物 輸出推移	44
〈表 37〉 品目別 輸出實績	44
〈表 38〉 國家別 輸出實績	45
〈表 39〉 主要 魚種別 輸出實績	46
〈表 40〉 國家別 輸入實績	47
〈表 41〉 水産物 輸入動向	48
〈表 42〉 水産物 需給動向	50
〈表 43〉 動物性 蛋白質 供給推移	50
〈表 44〉 水産物 利用動向	51
〈表 45〉 水産物 生産者物價 動向	52
〈表 46〉 水産物 消費者物價 動向	53
〈表 47〉 清淨海域 指定現況	64
〈表 48〉 水産資源 保全地域 指定現況	64
〈表 49〉 漁場浄化 事業實績	66

〈表 50〉	市·道別 人工魚礁 施設実績	69
〈表 51〉	水産種苗培養場 現況	70
〈表 52〉	民間 種苗買入 放流実績	71
〈表 53〉	'94 養殖漁場 生産基盤施設 支援現況	72
〈表 54〉	内水面 稚魚放養 実績	74
〈表 55〉	연어 放流 및 採捕 実績	75
〈表 56〉	不法漁業 團束実績	82
〈表 57〉	漁業指導船 現況	83
〈表 58〉	東·西海 操業自制海域 擴張圖	86
〈表 59〉	漁村綜合開發 示範事業 支援実績	90
〈表 60〉	漁村 綜合開發事業 施設内譯	91
〈表 61〉	漁村 綜合開發 基本 構想圖	91
〈表 62〉	漁民福祉會館 建立実績	92
〈表 63〉	漁村 觀光開發 推進実績	93
〈表 64〉	漁業人後繼者 育成 支援実績	94
〈表 65〉	漁業人後繼者 教育現況	95
〈表 66〉	年度別 寄宿舍 食費 補助現況	96
〈表 67〉	韓國漁業技術訓練所 教育実績	97
〈表 68〉	全國 漁港 指定現況	98
〈表 69〉	漁港開發 現況	99
〈表 70〉	漁撈施設 事業実績	102
〈表 71〉	'94 政府備蓄 事業実績	106
〈表 72〉	'94 水産物 流通補給施設 支援現況	109
〈表 73〉	水産物 市場組織	111
〈表 74〉	水産物 標準出荷 規格	111
〈表 75〉	水産物 都賣市場 去來実績	112
〈表 76〉	水産加工品 生産推移	114
〈表 77〉	加工業體 支援実績	116

〈表 78〉	輸出水產物 檢查實績	118
〈表 79〉	輸入水產物 檢查實績	119
〈表 80〉	內需用 水產物 檢查實績	120
〈表 81〉	'94年度 輸入自由化 品目の 輸入動向	123
〈表 82〉	水產物 輸入自由化 例示計劃	124
〈表 83〉	漁業協定 締結現況	127
〈表 84〉	우리나라 近海 海況變動 調査 및 海況情報 提供 體系圖	146
〈表 85〉	水產 特定研究 技術開發 推進實績	154
〈表 86〉	水產公務員教育院 教育訓練 實績	157
〈表 87〉	規制緩和 課題發掘 및 推進狀況	159
〈表 88〉	水協의 組織	163
〈表 89〉	水協 事業規模	164
〈表 90〉	水協中央會 收支狀況	165
〈表 91〉	會員組合 收支狀況	165
〈表 92〉	出資金 造成狀況	166
〈表 93〉	水產物 輸出團體 現況	167
〈表 94〉	水產關聯 非營利法人 現況	168
〈表 95〉	營漁資金 供給實績	169
〈表 96〉	水產振興財政資金 運用實績	170
〈表 97〉	水協 自體資金 造成 및 運用	171
〈表 98〉	被害 및 復舊費 支援內譯	172
〈表 99〉	船員共濟料 國庫補助金 支援實績	173
〈表 100〉	附加價值稅 零稅率 適用 機資材 品目	175
〈表 101〉	'94년 水產業分野 歸屬 標準所得率 調整內譯	176
〈表 102〉	免稅油類 供給實績	177
〈表 103〉	'95 水產豫算	184

〈表 104〉	'95 水產資金 支援計劃	186
〈表 105〉	人工魚礁 施設計劃	190
〈表 106〉	'95 種苗培養場別 種苗生産計劃	191
〈表 107〉	'95 水產養殖事業 支援計劃	194
〈表 108〉	市・道別 圏域數 吳 支援計劃	210
〈表 109〉	'95 漁村 觀光開發 推進計劃	211
〈表 110〉	漁業人後繼者 育成 支援計劃	212
〈表 111〉	'95 漁業人後繼者 教育計劃	213
〈表 112〉	自營水產科 學生現況	214
〈表 113〉	'95 海技士 吳 漁船員 教育訓練 計劃	215
〈表 114〉	漁撈施設 事業計劃	219
〈表 115〉	研究開發 漁船內譯	220
〈表 116〉	'95 政府備蓄 事業計劃	224
〈表 117〉	'95 規格出荷 事業計劃	227
〈表 118〉	'95以後 自由化 對象品目	233
〈表 119〉	'95年度 水產特定 研究開發 事業課題	259
〈表 120〉	規制緩和 課題發掘 吳 推進狀況	262
〈表 121〉	水產廳 機構表	265
〈表 122〉	水產廳斗 工 所屬機關 公務員 定員 變動內譯	269
〈表 123〉	營漁資金 供給計劃	270
〈表 124〉	水產振興財政資金 運用計劃	270
〈表 125〉	'95 農特會計 融資事業 運用規模	271
〈表 126〉	各種 特別對策別 金利引下 吳 '95 利差補填額	273
〈表 127〉	漁船 吳 船員 共濟加入 計劃	274
〈表 128〉	附加價值稅 零稅率 適用擴大 對象 漁業用 機資材	275
〈表 129〉	'95 免稅油類 供給計劃	276

第 1 篇

1994年度 水産業 動向

여백

第 1 章 世界 水産業 動向

第 1 節 水産物 生産

FAO통계에 의하면 '93년 世界 水産物 生産량은 '92년의 98,785천톤보다 2,633천톤이 증가한 101,418천톤으로서 2.7% 증가하였다.

나라별로 보면 중국이 前年보다 17.1%가 증가한 17,568천톤을 생산하여 전년에 이어 수위를 차지하였으며, 페루가 8,451천톤으로 전년보다 23%가 증가하여 일본을 제치고 2위를 차지하였으며, 일본은 8,128천톤으로 전년보다 한 단계 떨어진 3위를 차지하였다.

그 다음 順位로 칠레, 미국, 러시아 등이 차지하였는데, 특히 러시아는 전년보다 20.5%가 감소한 4,461천톤을 생산하였다.

한편, 우리나라의 生産量은 전년의 2,696천톤보다 47천톤이 감소한 2,649천톤으로 전체 生産량의 2.6%를 차지하여 세계 제10위를 차지하였다.

主要魚種의 生産량을 살펴보면, 청어, 정어리, 멸치류는 21,438천톤, 가다랭이, 다랭이, 새치류는 4,655천톤, 연어, 송어류는 1,696천톤을 생산하여 전년보다 각각 985천톤, 155천톤, 218천톤이 증가하였다.

그밖에 명태, 대구, 민대구류는 9,898천톤, 오징어, 문어류는 2,760천톤을 생산하여 전년보다 각각 547천톤, 37천톤이 감소하였다.

〈表 1〉 世界 水産物 生産推移

單位：千噸

		'91	'92	'93	'93/'92
計		97,402	98,785	101,418	102.7%
중	국	13,135	15,007	17,568	117.1
페	루	6,949	6,871	8,451	123.0
일	본	9,301	8,502	8,128	95.6
칠	레	6,003	6,502	6,038	92.9
미	국	5,486	5,588	5,939	106.3
러	시 아	7,047	5,611	4,461	79.5
인	도	4,044	4,232	4,324	102.2
인	니	3,252	3,442	3,638	105.7
타	일 랜 드	2,968	3,240	3,348	103.3
한	국	2,521	2,696	2,649	98.3
기	타	36,696	37,094	36,874	99.4

資料：FAO, Yearbook of fishery statistics, 1993

註：수산식물 제외

第 2 節 水産物 交易

‘93년의 세계 수산물 輸出額은 前年보다 2.2% 증가한 41,193백만 \$이었다.

이를 나라별로 보면 타일랜드가 前年에 比하여 10.8% 증가한 3,404백만 \$을 달성하여 세계 제1위를 차지하였고, 미국이 3,179백만 \$로서 제2위, 노르웨이가 2,302백만 \$로서 3위이며, 우리나라의 ‘93년 水産物 수출액은 전년 1,366백만 \$보다 2.3%가 감소한 1,335백만

〈表 2〉

世界 水産物 輸出推移

單位：百萬\$

	‘91	‘92	‘93	‘93/‘92
計	38,886	40,321	41,193	102.2%
타 일 랜 드	2,901	3,072	3,404	110.8
미 국	3,282	3,583	3,179	88.7
노 르 웨 이	2,282	2,437	2,302	94.5
덴 마 크	2,302	2,320	2,151	92.7
카 나 다	2,168	2,085	2,055	98.6
중 국	1,182	1,560	1,542	98.8
러 시 아	-	826	1,471	178.1
인 니	1,186	1,179	1,419	120.4
한 국	1,500	1,366	1,335	97.7
네 델 란 드	1,356	1,410	1,289	91.4
기 타	20,727	20,483	21,046	102.7

資料：FAO, Yearbook of fishery statistics, 1993.

註：수산식품, 어망 제외

\$로서 '92년의 제8위에서 9위로 전년보다 한 단계 떨어졌다.

한편, '93년의 세계 수산물 輸入額은 44.622백만\$로서 전년에 비하여 1.7%가 감소하였다.

이를 나라별로 살펴보면 日本이 10.6% 증가한 14,187백만\$을 기록하여 제1위를 차지하였으며, 美國이 6,290백만\$로 2위, 스페인이 2,630백만\$로 3위, 그 뒤를 이어 프랑스가 2,556백만\$로 4위를 차지하였다.

우리나라의 수산물 輸入額은 전년의 505백만\$에서 '93년에는 546백만\$로 8.1% 증가하여 세계 17위를 차지하였다.

〈表 3〉

世界 水産物 輸入推移

單位：百萬\$

		'91	'92	'93	'93/'92
計		43,626	45,391	44,622	98.3%
일	본	12,085	12,832	14,187	110.6
미	국	6,000	6,024	6,290	104.4
스	페	2,748	2,898	2,630	90.8
프	랑	2,926	2,935	2,556	87.1
이	탈	2,690	2,643	2,131	80.6
독	일	2,115	2,191	1,884	86.0
영	국	1,912	1,907	1,629	85.4
.....	
한	국	578	505	546	108.1
기	타	12,572	13,456	12,769	94.9

資料：FAO, Yearbook of fishery statistics, 1993.

第 2 章 우리나라 水産業 動向

第 1 節 漁業 構造

1. 漁家人口

정부에서 조사한 '94漁業基本統計調査 結果에 의하면 전국의 海面漁業에 종사하는 '94漁家戶數는 前年에 비하여 3.5%가 減少한 110천호로 조사되었다.

또한 漁家人口는 전년에 비하여 5.7% 감소한 382천명으로 나타났다.

〈表 4〉

漁家戶數와 漁家人口

單位：千戶，千名

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
漁 家 戶 數	120	116	114	110	96.5%
漁 家 人 口	470	425	405	382	94.3
戶 當 漁 家 人 口	3.92	3.66	3.56	3.46	97.2

資料：농림수산부. 어업기본통계조사결과

이 중 여자는 196천명으로 전체의 51%를 차지하여 전년도 構成比 수 준을 그대로 유지하였다.

한편 漁業從事者는 198천명으로 전년도에 비해 4.3% 감소되었는데, 이 중 여성종사자 비율은 전년도 48.3%에서 48.8%로 增加하였다. 또한 연령 構成比를 보면 50세이상 노년층이 전년도 48.5%에서 50.8%로 2.3% 높아져서 어촌의 人力構造가 매년 劣化, 高齡化되어 가고 있는 것으로 나타났다.

이는 산업의 高度化로 인한 어촌인력의 都市流入 증가와 어촌 생활환경의 落後, 힘든 일 기피현상 등에 그 原因이 있는 것으로 분석된다.

(表 5) 漁業從事者 性別, 年齡別 構成

單位：千名

		'91	'92	'93	'94	'94/'93
性 別	男 子	113.0	108.7	106.9	101.3	94.8%
	女 子	91.6	97.9	99.7	96.5	96.8
(構 成 比)		(44.8)	(47.4)	(48.3)	(48.8)	
從 事 者		204.6	206.6	206.6	197.8	95.7
年 齡 別	15~19세	1.4	0.9	0.7	0.4	57.1
	20~49세	115.8	109.1	105.8	97.0	91.7
	50세이상	87.4	96.6	100.1	100.4	100.3
	(構 成 比)	(42.7)	(46.8)	(48.5)	(50.8)	

資料：농림수산부, 어업기본통계조사결과

專·兼業別 경영자가구 현황을 살펴보면 純粹專業家口는 24천가구로 21.9%, 兼業家口는 86천가구로 78.1%를 차지하고 있는 것으로 나타났다. 겸업여가의 주업종은 農業으로서 76.3%를 점유하고 있으며, 그의 상업 5.7%, 사무직 4.4%, 생산직 4.1% 등으로 나타났다.

〈表 6〉 專業·兼業別 漁業家口

單位：千戶

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	119.7	116.2	113.6	110.4	97.2%
專業	28.1	26.6	25.3	24.2	95.7
兼業	91.6	89.6	88.3	86.2	97.6

資料：농림수산부, 어업기본통계조사결과

漁業經營者 家口の 어업형태별 구성을 살펴보면 養殖漁業家口가 40천가구로 전체 어가구의 35.8%, 漁船漁業家口는 37천가구로 33.7%를 차지하였으며 漁船非使用家口는 30.5%인 34천가구로 나타났다.

〈表 7〉 漁業形態別 漁業家口

單位：千戶

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
總 漁 家 口	119.7	116.2	113.6	110.4	97.2%
· 漁船非使用家口	31.4 (26.2)	33.9 (29.2)	33.8 (29.7)	33.7 (30.5)	99.7
· 無動力船使用家口	2.8 (2.3)	2.0 (1.7)	1.8 (1.6)	1.7 (1.5)	94.4
· 動力船使用家口	36.6 (30.6)	35.4 (30.5)	35.2 (31.0)	35.5 (32.2)	100.9
· 養殖業家口	48.9 (40.9)	44.9 (38.6)	42.8 (37.7)	39.5 (35.8)	92.3

資料：농림수산부, 어업기본통계조사결과

註：()는 구성비임

2. 漁業 總生産

'94년도 漁業生産量은 3,477천톤으로 前年에 비하여 4.2% 증가하였

〈表 8〉

漁業生産 現況

單位：千噸, 億圓

	'93		'94		生産額 增加率
	生産量	生産額	生産量	生産額	
計	3,336	36,692	3,477	43,299	18.0%
沿近海	1,526	22,835	1,487	25,206	10.4
養殖	1,038	5,690	1,072	7,206	26.6
内水面	31	1,195	31	1,414	18.3
遠洋	741	6,972	887	9,473	35.9

資料：농림수산부, 어업생산량통계

〈表 9〉

漁業 總生産(附加價值) 現況

單位：億圓

	'93		'94		增加率	
	經常	'90不變	經常	'90不變	經常	'90不變
國民總生産(GNP)	2,655,179	2,161,624	3,028,670	2,339,402	14.1%	8.2%
農林漁業	188,325	161,226	214,999	163,090	14.2	1.2
漁業 (GDP構成比)	21,004 (0.8%)	19,415 (0.9)	24,282 (0.8)	20,144 (0.9)	15.6	3.8

資料：한국은행, 국민계정

註：'94년은 잠정치

으며, 이에 따라 어업생산액도 18.0%가 증가한 4조3,299억원으로 나타났다. 이 중 沿近海漁業은 전년보다 2.6%가 감소한 1,487천톤을 생산하였으나, 전년보다 10.4%가 증가한 2조5,206억원의 생산액을 기록하였으며, 養殖漁業도 생산량이 3.3%가 증가하여 생산액은 26.6%의 높은 증가율을 기록하였으며, 또한 원양어업과 내수면어업도 생산액은 각각 35.9%, 18.3% 등 크게 증가한 것으로 나타났다.

漁業生産額에서 중간투입액(유류, 어망, 얼음대 등)을 控除한 '94년

어업 총생산액(부가가치)은 經常價格 기준으로 前年度보다 15.6%가 증가한 2조4,282억원으로 暫定集計되었는데, 이것은 '92~'93년중 풍어를 이루었던 오징어잡이가 어군이 뒤늦게 형성되는 등 전반적으로 저조하였으나, 원양어업 허가제도 완화 등에 힘입어 원양어업이 다량 어류를 중심으로 생산량이 크게 늘어나고 해면 양식업도 넙치류 등 고급 어종의 수요 확대와 김, 미역 등의 채취량 증가에 힘입어 호조를 보였기 때문이다.

3. 漁船勢力

'94년말 어선세력은 77,391척에 940,322톤으로 '93년말에 비하여

<表 10>

漁業別 漁船勢力

單位 : 隻, G/T

		'92	'93	'94	'94/'93
計	隻 數	94,135	87,473	77,391	88.5%
	· 動力	76,825	72,838	70,082	96.2
	· 無動力	17,310	14,635	7,309	49.9
	톤 數	959,056	919,917	940,322	102.2
	· 動力	940,468	903,912	930,076	102.9
	· 無動力	18,588	16,005	10,246	64.0
沿 近 海	隻 數	55,795	53,163	50,061	94.2
	톤 數	450,335	448,408	444,109	99.9
養 殖	隻 數	31,734	26,857	21,483	80.0
	톤 數	37,745	32,080	26,867	83.8
內 水 面	隻 數	2,967	3,044	2,501	82.2
	톤 數	2,607	2,534	1,949	76.9
遠 洋	隻 數	734	546	616	112.8
	톤 數	388,630	334,443	320,913	96.0
其 他	隻 數	2,905	3,863	2,730	70.7
	톤 數	79,739	102,452	146,484	143.0

資料 : 수산청 시설관리국 어선과

〈表 11〉

船質別 漁船隻數

單位：隻, G/T

		'92	'93	'94	'94/'93
計	隻數	94,135	87,473	77,391	88.5%
	噸數	959,056	919,917	940,322	102.2
木 船	隻數	77,694	69,217	55,870	80.7
	噸數	223,628	209,692	183,735	87.6
鋼 船	隻數	4,096	4,044	4,068	100.6
	噸數	701,155	667,698	700,633	104.9
合成樹脂船 (FRP船)	隻數	12,345	14,212	17,453	122.8
	噸數	34,273	42,527	55,954	131.6

資料：수산청 시설관리국 어선과

〈表 12〉

噸級別 漁船隻數

單位：隻, G/T

	'92		'93		'94		'94/'93	
	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數	隻數	噸數
計	94,135	959,056	87,473	919,917	77,391	940,322	88.5%	102.2%
1噸未滿	36,675	24,449	32,234	20,685	24,592	15,294	76.3	73.9
1~5噸未滿	44,515	96,395	42,186	93,975	39,753	90,337	94.2	96.1
5~50噸未滿	9,595	143,297	9,800	144,519	9,711	139,869	99.1	96.8
50~100噸未滿	1,910	153,597	1,945	155,243	1,938	154,004	99.6	99.2
100~200噸未滿	685	93,547	670	91,304	698	95,709	104.2	104.8
200噸以上	755	447,771	638	414,191	699	445,109	109.6	107.5

資料：수산청 시설관리국 어선과

隻數는 11.5% 감소한 반면, 噸數는 2.2% 증가하였다. 이 중 動力漁船의 척數는 90.6%, 噸數는 98.9%를 차지하고 있다.

어업별 어선척數는 연근해어선이 64.7%, 養殖漁船이 27.8%, 內水面漁船이 3.2%, 遠洋漁船이 0.8%, 기타어선이 3.5%를 차지하고 있다.

船質別로는 木船이 척수에 있어서는 전체 어선척수의 72.2%를 차지하고 있으나 톤수에 있어서는 전체 어선톤수의 19.5%에 지나지 않으며, 經濟性 漁船인 合成樹脂船은 전년보다 척수와 톤수가 22.8%, 31.6%가 각각 증가하여 점차 늘어나고 있는 추세이다. 또한 톤급별로 보면 5톤미만 어선은 전체척수의 83.2%, 톤수의 11.2%를 차지하고 있고, 5~50톤미만 어선은 척수와 톤수가 12.5%, 14.9%를 차지하고 있으며, 50톤 이상의 대형어선은 척수와 톤수가 4.3%, 73.9%를 차지하고 있다.

4. 利用漁場

가. 沿近海漁場

우리나라 沿近海漁場의 범위는 『水産業法』 제2조 제5호에서 동해, 황해 및 동중국해와 북위 25°선 이북과 동경 140°선 이서의 太平洋海域을 제외한 해역으로 규정하고 있어 동 수역을 제외한 수역을 海外漁場으로 하여 遠洋漁船이 조업하는 어장으로 구분하고 있다.

우리나라 沿近海 漁業은 60년대 제주도 近海水域에서 소코트러어장으로, 70년대에는 황해, 동중국해, 동해의 대화퇴어장으로 操業漁場이 확대되어 왔다.

그러나 이들 어장은 우리나라는 물론 일본, 중국, 대만 등이 공동으로 이용하는 어장으로서 沿近海 水域은 그 일부가 韓·日 漁業協定 등에 의해 協定水域으로 관리하고 있다.

한편, 日本은 200해리 經濟水域을 선포하고 있으나 우리나라와 중국에 대하여 그 시행을 유보하고 있다. 최근에는 沿近海水域의 漁業資源, 특히 저어자원은 극도로 악화된 상태로 평가되고 있으나, 중국의 개방화와 한·중 수교에 따른 經濟交流 확대로 중국어선의 우리나라 沿岸水

域 진출이 급증하고 있고, 일본은 우리나라 어선의 自國水域 違反操業 등을 이유로 새로운 한·일어업 관계 개선을 요구하고 있는 등 우리나라 沿近海 水域에서 西日本水域 진출을 막으려는 움직임이 계속되고 있으며, 또한 '94.11.16 유엔 海洋法 協約이 발효됨으로써 沿近海漁業을 둘러싼 漁業環境이 새로운 국면을 맞고 있다.

따라서 우리나라 沿岸水域 漁業資源의 보호 관리를 위한 조치와 아울러 우리나라의 漁業 實情 및 새로운 國內·外的 어업환경 변화에 적극 대처하기 위해서는 자원관리를 위한 주변국과의 漁業關係 재 정립이 절실히 필요한 실정이다.

또한 沿岸漁場의 埋立·干拓·汚染 등에 의한 漁場環境 變化와 어장축소 등으로 어장이용에 대한 제약이 날로 심화되고 있어 生態系 變化를 초래하는 대규모 干拓事業의 抑制, 오염방지를 위한 海洋 監視體制 확립 및 오염어장의 淨化 등 沿岸漁場의 보전 및 합리적인 관리도 병행되어야 하겠다.

나. 遠洋漁場

우리나라의 遠洋漁業은 '57년 처음 인도양에 참치어선 진출을 시발로 '70년 중반 이전까지는 급진적으로 伸張되었다. 그러나 '70년대 중반에 이르러서는 2차에 걸친 석유 파동과 '77년부터 미·러를 비롯한 세계 沿岸國들이 自國의 管轄水域 확대 및 海洋資源 확보라는 명분으로 200해리 經濟水域을 선포함으로써 遠洋漁場은 급격히 축소 또는 규제가 강화되어 生産活動에 막대한 제약을 받게 되었다.

'94년도 遠洋漁業은 오징어 어업을 제외한 트롤어업과 참치어업 등의 好況에 힘입어 '93년 對比 약 20%(146천톤)가 증가한 887천톤이 생산되었다.

한편 '94년말 遠洋漁船은 備船漁船을 포함 642척이 出漁하여 5대양에서 명태, 오징어, 참치 등을 주 포획대상으로 操業하였으며 漁獲物의 대부분을 국내로 반입하여 水産物 수요 증대에 부응하고 있으나, 沿岸國의 자원자국화 정책 및 국제기구 등의 操業 規制 強化로 입어료 인상은 물론 公海操業도 규제가 강화되고 있어 遠洋漁業의 여건은 날로 어려워지고 있는 실정이다.

5. 養殖漁場

가. 淺海養殖

淺海養殖 漁場은 '94년말 현재 109천ha가 개발되었으며, 연간 107만톤 内外의 養殖水産物을 생산, 약 7천억원의 收入으로 漁民 所得增大에 크게 기여하고 있다.

〈表 13〉 品目別, 年度別 養殖漁場 面積

單位 : ha

	'84	'92	'93	'94	'94/'93
計	89,557 (100%)	108,241 (100%)	109,039 (100%)	108,637 (100%)	99.6%
魚 類	225 (0.3)	1,281 (1.2)	1,348 (1.2)	1,512 (1.4)	112.2
貝 類	40,431 (45.1)	38,520 (35.6)	38,654 (35.5)	39,390 (36.3)	101.9
海 藻 類	47,661 (53.2)	65,503 (60.5)	66,091 (60.6)	64,856 (59.7)	98.1
其 他 水産動物	1,240 (1.4)	2,937 (2.7)	2,942 (2.7)	2,879 (2.6)	97.9

資料 : 수산청 생산국 증식과

정부에서는 地先漁民에 대한 우선적인 養殖免許 取得施策을 지속적으로 추진하여 漁村契(水協) 漁場의 비중이 점차 증대되어 全體 漁場의 71%인 77千ha를 지선 다수 어민이 소유 경영하고 있다.

우리나라 養殖漁場 開發은 60년대에 김, 미역 등 海藻類 중심 양식에서 70년대에는 굴, 피조개 등 패류양식 어업으로 발전되었고 80년대부터는 넙치, 방어, 돔 등 魚類와 眞珠조개 등 高所得 어·패류양식으로 확대되었으며, 현재 양식되고 있는 品種은 넙치, 돔, 조피볼락, 굴, 피조개, 바지락, 김, 미역, 톳, 우렁헝이, 새우 등 총 40종에 이르고 있

〈表 14〉 所有者別, 年度別 淺海 養殖漁場 面積

單位 : ha

	'84	'92	'93	'94	'94/'93
計	89,557	108,241	109,035	108,637	99.6%
漁村契 및 水協	53,124	74,249	76,480	76,772	100.4
個人 및 協業	36,433	33,992	32,555	31,865	97.9

資料 : 수산청 생산국 중식과

〈表 15〉 '94品目別, 所有者別 養殖漁場 面積

單位 : ha

	計	魚 類	貝 類	海 藻 類	其 他
計	108,637 (100%)	1,512 (100%)	39,390 (100%)	64,856 (100%)	2,879 (100%)
漁村契 및 水協	76,772 (71%)	262 (17%)	16,520 (42%)	59,474 (92%)	516 (18%)
個人 및 協業	31,865 (29%)	1,250 (83%)	22,870 (58%)	5,382 (8%)	2,363 (82%)

資料 : 수산청 생산국 중식과

으며, 매년 새로운 養殖品種의 적극적인 개발로 양식품종도 多樣化 되어가고 있다.

나. 內水面

우리나라 內水面 水面積은 203천헥타로서 전 국토 9,900천헥타 대비 2%에 해당하며 水面別로 보면 댐·湖가 63천헥타(31%), 江, 河川

<表 16>

內水面 養魚場 現況

單位 : ha

	計		뱀장어		황어(가두리)		송어류		其他	
	個所	面積	個所	面積	個所	面積	個所	面積	個所	面積
計	2,476	2,180	299	189	270	209	324	162	1,583	1,620
서울	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釜山	43	68	-	-	-	-	-	-	43	68
仁川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大邱	2	0.08	-	-	-	-	-	-	2	0.08
光州	12	13	5	6	-	-	-	-	7	7
大田	6	0.5	-	-	2	0.1	2	0.2	2	0.2
京畿	345	136	9	5.3	37	22.6	23	11	276	97.1
江原	198	123	2	0.1	7	5	142	50	47	67.9
忠北	245	221	1	0.2	66	72.5	55	81	123	67.3
忠南	248	305	46	46	26	49	15	2	161	208
全北	522	507	67	39	39	21.5	11	4	405	442.5
全南	361	606	141	82	23	24	16	2	181	498
慶北	210	83	2	0.4	35	8.4	40	6	133	68.2
慶南	271	79	23	8	35	6	18	2	195	63
濟州	13	38	3	1.2	-	-	2	3	8	34

資料 : 수산청 생산국 자원조성과

이 92천헥타(45%), 貯水池가 48천헥타(24%)로 구성되어 있다.

內水面 養魚場은 '94년말까지 전국 2,476개소(2,180헥타)를 개발하여 여기에서 뱀장어, 송어, 향어, 틸라피아, 메기 등 15종을 養殖 生産하고 있으며, 댐·湖 등 大單位 水面(700헥타 이상) 21개소, 69천헥타에 대하여는 중앙정부에서 稚魚放流 등 자원을 조성 관리하고 그외의 水面은 지방 시·도에서 개발하도록 하고 있다. 이는 국민에게 고급 단백질 공급은 물론 어민 所得 增大에 크게 기여하는 한편, 遊漁 環境 造成으로 국민의 保健 向上 및 정서 함양에도 도움을 주고 있다.

6. 漁業 經營體

가. 沿岸漁業

'94년말 현재 沿岸漁業 經營체수는 총 66,066개로서 '93년도의 61,033

〈表 17〉

沿岸漁業 經營體 推移

單位：個

	'84	'92	'93	'94	'94/'93
計	39,169	60,704	61,033	66,066	108.2%
沿岸流刺網	14,591	18,228	18,030	18,691	103.7
沿岸鮫鱓網	430	96	79	78	98.7
囊長網	1,352	909	873	757	86.7
沿岸延繩	8,594	12,814	12,847	14,690	114.3
沿岸채낚기	2,481	2,218	2,322	2,679	115.4
共同漁業	2,415	2,920	2,940	2,784	94.7
定置漁業	704	639	652	635	97.4
區劃漁業	-	1,022	1,243	1,995	160.5
其他漁業	8,602	21,858	22,047	23,757	107.8

資料：수산청 생산국 연근해과

註：구획어업은 '90.8.1 수산업법 개정으로 신설된 어업임.

개보다 5,033개가 증가하였다.

이를 어업별로 보면 許可漁業의 增加 業種은 沿岸 채낚기, 沿岸 통발, 沿岸流刺網, 沿岸延繩, 沿岸 외줄낚시 등이나 수산자원에 미치는 영향이 큰 어업으로서 '82년 이후부터 신규허가가 억제되어 있는 沿岸 鮫鰓網, 囊長網, 해선망 漁業과 無動力船을 이용하여 어업토록 한 연안 鰹망, 연안선망 어업은 계속 감소 추세를 나타내고 있다.

한편 제 2·3종 공동어업, 일부 연안어업과 신고어업의 경우 유효기간 만료 또는 어업권을 포기한 경우 신청에 의하여 구획어업 허가를 득할 수 있어 구획어업 허가건수는 점차 증가하고 있다.

면허어업인 共同漁業과 定置網漁業은 '94년말 현재 총 3,419개로서 전년에 비해 173개가 감소되었다. 감소된 원인으로는 沿岸海域의 대단위 埋立·干拓으로 공동어장의 상실과 海洋環境 오염으로 인한 어획부진 이 그 원인이 있는 것으로 보여진다.

나. 近海漁業

近海漁業 經營體는 7,759개로서 '93년보다 185개가 감소하였다. 이와 같은 減少 現象은 대부분의 근해어업이 수산자원 보호와 漁業調整 측면에서 업종별로 허가의 定數가 설정되어 있거나 신규허가를 '92.9.8일부터 전면 억제 조치와 제도개선을 하였기 때문인 것으로 분석된다.

이를 業種別로 보면 허가정수가 설정되어 있거나 신규허가가 억제된 大型機船底引網漁業, 中型機船底引網漁業, 近海旋網漁業, 近海트롤漁業, 潛水器漁業의 경영체는 전년보다 큰 변화가 없는 것으로 나타나고 있다.

近海漁業중 기존 漁業許可를 폐지하거나 兼業許可 어선이 겸업허가어업중 1건의 어업허가를 폐지하고 대신 근해외줄낚시, 근해연승, 근해봉

수망어업허가(濟州道는 近海棒受網漁業 허가 제외)를 '94년말까지 許可申請할 경우에는 이를 허가해 주도록 한시적으로 措置하였으며, 근해통발어업이 同 漁業 許可를 폐지하고 운반업을 하고자 할 때에는 허용하도록 조치하였다. 그 결과 근해채낚기어업중 근해외출낚시 어업의 經營體는 전년보다 164개, 근해봉수망어업의 經營體는 48개, 運搬業 經營體는 40개가 증가하였다.

아울러 沿近海漁業 構造調整事業의 일환으로 '94.5.14일 농림수산부

〈表 18〉

近海漁業 經營體 推移

單位：個

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	8,014	8,059	7,944	7,759	97.7%
大型機底	280	280	280	280	100.0
中型機底	107	107	107	107	100.0
근해트롤	129	129	130	130	100.0
근해旋網	121	121	120	117	97.5
근해채낚기	1,464	1,517	1,522	1,618	106.3
機船船引網	111	110	109	103	94.5
근해流刺網	1,565	1,554	1,501	1,397	93.1
근해魴鰵網	832	836	821	797	97.1
潛水器	273	255	254	251	98.8
근해통발	996	1,001	999	913	91.4
근해형망	502	445	409	373	91.2
근해延繩	1,579	1,653	1,642	1,575	95.9
근해棒受網	55	51	50	98	196.0

資料：수산청 생산국 연근해과

령인 漁業許可 및 申告등에 관한 規則을 개정하여 近海채낚기漁業 및 魷鱈網漁業의 어선을 70톤이상 90톤미만까지 증톤할 수 있도록 하였고, 이 경우 증톤 만큼의 동일 업종의 허가 어선을 폐선하도록 한 制度改善 조치에 따라 近海채낚기漁業의 경영체는 68개가 감소되고 魷鱈網漁業의 경영체는 24개가 감소되는 경향을 나타내고 있다.

또한 漁船員 확보 곤란 등 漁業經營上 安定을 도모하고자 近海流刺網漁業의 경영체중 104개가 다른 업종 등으로 전환되었고, 活魚狀態의 장어, 꽃게를 운반할 수 있도록 漁獲物 運搬業으로 전업을 허용한 近海 통발漁業의 경영체는 86개, 旋網漁業중 小型旋網漁業의 경영체는 3개가 감소되었는데, 이는 새로운 신규 허가가 전면 억제된 이후 제도개선, 부실한 경영체 정비 등으로 近海漁業의 업종간 구조개편이 진행되고 있다고 분석된다.

다. 養殖漁業

'94년말 養殖漁業 經營體는 8,588개소이며, 品種別로는 김 양식 경영체가 1,846개소로 全體의 21.5%이며, 다음이 굴 945(11.0%), 새고막 861(10.0%), 피조개 851(9.9%), 바지락 622, 육상수조 어류 양식 619, 미역 549, 우렁쟁이 454개소의 順이다.

經營 形態別로는 어촌계 및 수협 경영체가 4,137개소로서 全 養殖漁業 經營體의 48%를 차지하고 있으며, 다음이 協業 經營體 2,366개소(28%), 個人 경영체 2,085개소(24%)의 順으로 나타나고 있다.

品種別 經營形態를 보면, 魚類 및 其他 水産動物 養殖은 개인 및 協業 經營體가 많고, 海藻類 養殖은 어촌계 및 수협 경영체가 많은 경영 형태를 보이고 있는데, 이는 김, 미역 등 해조류 양식은 養殖技術이 보편화되고 자본이 적게 들기 때문에 地先 漁村契 위주의 所得源으로 개

〈表 19〉

'94 養殖漁業 經營體 構成

單位：個所

		計	漁村契	水協	個人	協業
計		8,588	3,521	616	2,085	2,366
魚類		1,104	110	25	641	328
貝類	小計	4,300	1,547	115	1,175	1,463
	굴	945	187	30	294	434
	피조개	851	110	12	357	372
	바지락	622	303	13	119	187
	새고막	861	466	14	178	203
	其他	1,021	481	46	227	267
海藻類	小計	2,627	1,718	468	113	328
	김	1,846	1,183	359	80	224
	미역	549	409	26	30	84
	其他	232	126	83	3	20
其他水産動物		557	146	8	156	247

資料：수산청 생산국 증식과

발토록 한 정부시책에 의해 零細漁民들이 주로 경영하고 있는 반면 魚類와 眞珠조개, 우렁헝이, 새우 등은 많은 자본과 고도의 養殖技術이 요구되므로 개발능력이 있는 자가 주로 경영하고 있기 때문이다.

라. 內水面漁業

'94년말 內水面 經營體數는 2,476개(2,180ha)로 전년보다 181개

가 增加되었다. 이는 뱀장어·항어·송어·민물돔(틸라피아) 등의 養魚技術 發達과 메기·관상어 등의 養殖品種 다양화 및 淡水魚의 需要 증가에 따라 民間 投資에 의한 양식이 계속 늘고 있기 때문이다.

앞으로 國際競爭力이 있는 송어, 은어, 쏘가리, 참게 등 高所得 經濟性 魚種의 養殖 증가가 예상된다.

(表 20)

內水面漁業 經營體 推移

單位 : 個

		'91	'92	'93	'94	'94/'93
計		1,951	2,154	2,295	2,476	108 %
잉	어	292	460	486	478	98
항	어	289	252	264	270	102
뱀	장 어	244	265	293	299	102
송	어	371	346	323	324	100
기	타	755	831	929	1,105	119

資料 : 수산청 생산국 자원조성과

마. 遠洋漁業

'94년도에 遠洋漁業을 經營한 업체는 '93년도 188개사보다 2%가 늘어난 192개사였다. 이들 業體의 규모를 살펴보면 1~5척의 遠洋漁船을 보유한 小規模 業體가 169개사(88%)로서 주류를 이루고 있다.

원양어업의 業種別 專業 經營 形態를 살펴보면 참치어업 48개사, 오징어어업 59개사, 트롤어업 92개사, 기타 41개사이며, '94년도 遠洋漁船은 참치선 248척, 오징어선 102척, 트롤선 245척, 기타 47척 등으로 총 642척이 操業하였다.

최근 우리나라 원양어업 經營 惡化 및 漁船隻數가 감소한 것은 각 沿岸國들의 조업규제 강화와 국제기구의 어족자원 보호정책 강화로 기존 海外漁場의 喪失, 入漁料, 임금 및 선용품비 등의 상승에 따른 漁撈 經費의 증가와 WTO체제 출범과 더불어 수산물 수입이 확대되는 등 漁業 經營의 어려움도 그 요인으로 작용하였다.

〈表 21〉 遠洋業體의 經營規模 推移

單位：個社

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	163	212	188	192	102.1%
1~5隻	120	170	162	169	104.3
6~9隻	26	28	16	12	75.0
10~19隻	9	8	5	4	80.0
20隻以上	8	6	5	7	140.0

資料：한국원양어업협회, '95원양어업통계

第 2 節 漁家 經濟

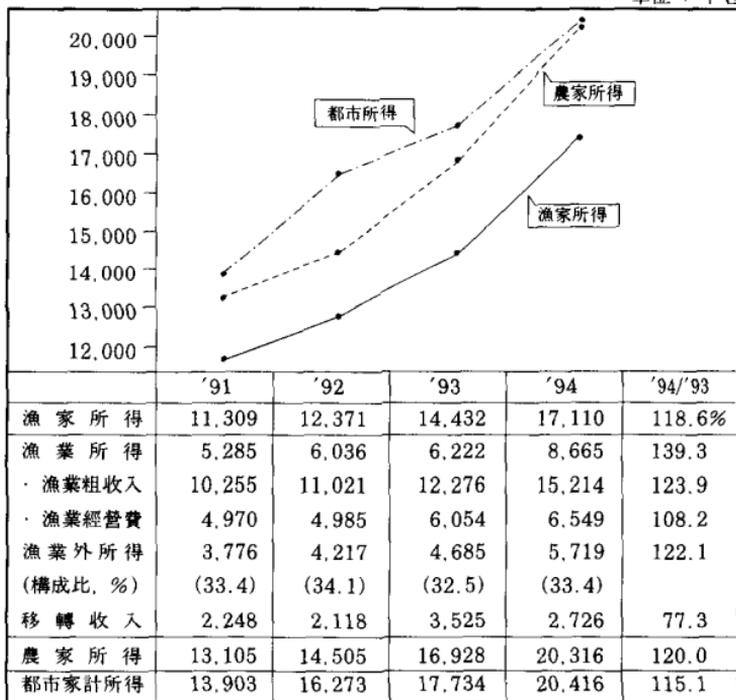
1. 漁家所得

'94년 어가소득은 17,110천원으로 '93년보다 18.6%가 增加하여

〈表 22〉

漁家所得 推移

單位：千원



資料：농림수산부, 어가경제조사결과

〈表 23〉

漁業外 所得構成

單位：千圓

	'92	'93	'94	'94/'93
漁業外所得	4,217	4,685	5,719	122.1%
農業所得	1,779	2,001	3,404	170.1
其他兼業所得	662	582	603	103.6
事業外所得	1,776	2,102	1,712	81.4

資料：농림수산부, 어가경제조사결과

지난 10년간 평균증가율 14.3%보다 4.3% 높은 증가율을 보였다. 이

〈表 24〉

漁家所得 階層別 漁家分布

單位：%

	'92		'93		'94	
	分 布	累積分布	分 布	累積分布	分 布	累積分布
200만원 미만	2.6	2.6	2.0	2.0	1.3	1.3
200~400	6.6	9.2	5.6	7.6	2.0	3.3
400~600	13.2	22.4	8.3	15.9	2.9	6.2
600~800	17.7	40.1	16.7	32.6	6.2	12.4
800~1,000	15.9	56.0	13.9	46.5	6.8	19.2
1,000~1,200	12.1	68.1	11.6	58.1	8.0	27.2
1,200~1,400	5.4	73.5	10.1	68.2	11.5	38.7
1,400~1,600	4.9	78.4	6.6	74.8	7.7	46.4
1,600~1,800	5.1	83.5	3.2	78.0	7.6	54.0
1,800~2,000	2.8	86.3	5.3	83.3	8.0	62.0
2,000~2,200	2.0	88.3	2.1	85.4	6.6	68.6
2,200~2,400	2.8	91.1	1.7	87.1	6.3	74.9
2,400~2,600	1.2	92.3	2.0	89.1	3.4	78.3
2,600~2,800	1.3	93.6	1.7	90.8	3.9	82.2
2,800~3,000	0.8	94.4	2.1	92.9	3.4	85.6
3,000만원이상	5.6	100.0	7.1	100.0	14.4	100.0

資料：농림수산부, 어가경제조사결과

중 어업소득은 전년보다 39.3%가 증가한 8,665천원, 어업외소득은 전년보다 22.1% 증가한 5,719천원이었다. 어업소득과 어업외소득이 전년보다 크게 증가한 이유로는 수산물 가격 상승(13.9%) 및 농업소득이 크게 증가하였기 때문이다. 移轉收入은 전년보다 22.7%나 크게 감소한 2,726천원이었는데 이는 피해보상금이 크게 줄어들에 따른 것이다.

한편, 어가소득 계층별 어가분포는 '94년도 평균 어가소득 17,110천원 이상의 어가비율이 전체의 48.7%로 전년도 27.1%보다 크게 증가한 것으로 나타났으며, 3,000만원 이상 고소득 어가가 차지하는 비율도 '93년도 7.1%에서 '94년도 14.4%로 증가하여 보편적으로 소득이 향상되고 있는 것으로 나타났다.

2. 消費支出

'94년 어가소득 17,110천원 가운데서 조세공과금 103천원을 공제한 可處分所得은 '93년보다 18.7%가 늘어난 17,007천원이며, 이 중 가

<表 25>

可處分所得 및 家計費

單位：千원

	'92	'93	'94	'94/'93
漁 家 所 得	12,371	14,432	17,110	118.6%
可 處 分 所 得(C)	12,293	14,328	17,007	118.7
家 計 費(D)	8,593	9,411	11,549	122.7
漁 家 剩 餘	3,572	4,456	5,360	120.3
平均消費性向(D/C)	69.9%	65.7	67.9	

資料：농림수산부, 어가경제조사결과

계비는 11,549천원으로 22.7%가 늘어났다.

이에 따라 漁家經濟 잉여는 前年보다 20.3%가 증가한 5,360천원으로 나타났으며, 평균소비성향은 65.7%에서 67.9%로 높아져 소비가 증가하고 있는 것으로 나타났다.

한편 '94년 漁家の 가계비 지출내역을 보면 교육교양오락비, 교통통신비, 의료비 등의 지출이 크게 증가한 것으로 나타났으며, 飮食物費는 18.7%가 증가하여 가계비 중 음식물비가 차지하는 비중을 나타내는 엔겔계수는 前年보다 0.8% 낮은 22.8%로 점차 감소하고 있는 것으로 나타났다.

〈表 26〉

家計費 支出內譯

單位：千원

	'92	'93	'94	'94/'93
家 計 費	8,593	9,411	11,549	122.7%
飮 食 物 費	2,117	2,223	2,638	118.7
住 居 費	658	728	857	117.7
被 服 費	624	634	642	101.3
光 熱·水 道 費	347	424	478	112.7
教育敎養娛樂費	1,080	1,279	1,640	128.2
醫 療 費	613	671	853	127.1
冠 婚 喪 祭 費	859	1,019	1,131	111.0
交 通·通 信 費	507	576	719	124.8
其 他	1,788	1,857	2,591	139.5
엔 겔 係 數	24.6	23.6	22.8	

資料：농림수산부, 어가경제조사결과

3. 漁家資産

‘94년의 漁家資産은 107,968천원으로 ‘93년의 99,638천원보다 8.4%가 증가되었으며 토지, 건물, 어선 등 고정자산이 92,097천원으로 85.3%, 농어업용 자재, 소동물, 재고 농산물 등 유동자산이 5,141천원으로 4.8%, 현금, 예·저금 등 유통자산이 10,730천원으로 9.9%로 각각 구성되어 있다.

<表 27>

漁家資産 推移

單位：千원

	‘92	‘93	‘94	‘94/‘93
漁 家 資 産	90,923	99,638	107,968	108.4%
固 定 資 産	75,613	82,266	92,097	112.0
流 動 資 産	4,556	4,725	5,141	108.8
流 通 資 産	10,754	12,647	10,730	84.8
· 現 金	399	435	576	132.4
· 預 · 貯 金	7,421	8,921	6,631	74.3
· 其 他	2,934	3,291	3,523	107.0

資料：농림수산부, 어가경제조사결과

어가자산이 증가한 요인을 살펴보면 주거환경 개선으로 건물 평가액이 늘어나고 어선구입 증가에 따라 고정자산 12.0%가 증가하였기 때문이며, 피해보상금 감소에 의한 예·저금이 줄어 유통자산은 15.2%가 감소한 것으로 나타났다.

4. 漁家負債

‘94년의 어가부채는 전년보다 21.3%가 증가한 9,293천원으로 나타났는데, 어선구입 및 양식시설 보강 등 생산성 부채인 어업자금 지출이 크게 증가하였기 때문이다.

부채의 사용내역을 보면 생산성 부채가 7,554천원으로 81.3%, 가계성 부채가 1,382천원으로 14.8%, 채무상환을 위한 부채가 357천원으로 3.9%로 각각 구성되어 있으며, 借入處別로는 農·水·畜協 등의 금융기관 부채가 84.9%를 차지하고 있으며 개인차입은 전년보다 11.0%가 감소한 1,401천원으로 나타났다.

〈表 28〉

漁家負債 推移

單位：千圓

		‘92	‘93	‘94	‘94/‘93
漁家負債		6,485	7,662	9,293	121.3%
借入處別	金融機關	5,232	6,088	7,892	129.6
	個人借入	1,253	1,574	1,401	89.0
用途別	生産性	5,211	6,092	7,554	124.0
	・漁業資金	3,001	3,044	4,842	159.1
	・兼業資金	2,210	3,048	2,712	89.0
	家計性	951	1,129	1,382	122.4
	債務償還用	323	441	357	81.0

資料：농림수산부, 어가경제조사결과

한편, 부채 규모별 어가분포는 ‘94년도 부채없는 어가가 전체의 15.4%로 전년보다 7.8%가 감소하였으며, 1,000만원이상의 고액 부

채 어가 비율은 전년보다 9.9% 증가한 31.9%로 나타났으며, '94년도 평균 어가부채 9,293천원이하의 어가비율은 65.7%로 전년보다 5.3% 감소하여 부채가 늘어나고 있는 것으로 나타났다.

<表 29>

負債 規模別 漁家分布

單位 : %

	'93		'94		分布增減
	分 布	累積分布	分 布	累積分布	
負債없는 漁家	23.2	23.2	15.4	15.4	△7.8
100만원 미만	5.8	29.0	2.5	17.9	△3.3
100~200만원	7.9	36.9	7.4	25.3	△0.5
200~300	8.1	45.0	7.8	33.1	△0.3
300~400	8.6	53.6	7.9	41.0	△0.7
400~500	5.3	58.9	5.4	46.4	0.1
500~600	5.6	64.5	5.9	52.3	0.3
600~700	4.0	68.5	4.6	56.9	0.6
700~800	4.1	72.6	4.6	61.5	0.5
800~900	2.7	75.3	3.5	65.0	0.8
900~1,000	2.7	78.0	3.1	68.1	0.4
1,000만원 이상	22.0	100.0	31.9	100.0	9.9

資料 : 농림수산부, 어가경제조사결과

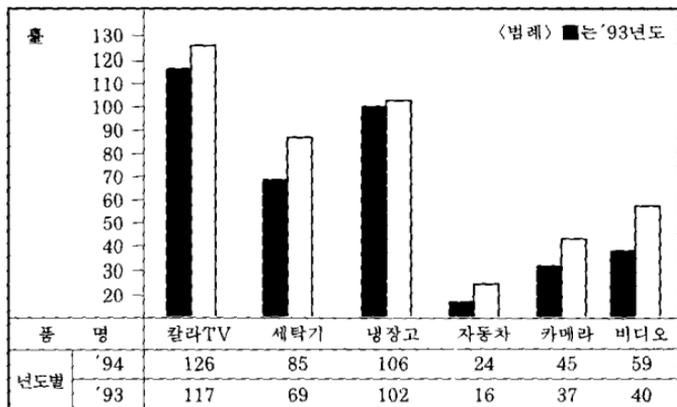
5. 文化生活 水準

'94년의 漁家 便宜用品 보유현황을 살펴보면 어가 100호당 칼라TV 126대, 세탁기 85대, 냉장고 106대, 자동차 24대, 비디오는 59대로 어가의 편의용품 보유가 많아져 문화생활 수준이 점차 향상되고 있음을 나타내고 있다.

〈表 30〉

漁家 便宜用品 保有現況

單位：百戶當 普及量



資料：농림수산부, 어가경제조사결과

第 3 節 水産物 生産

1. 生産動向

'94년도 우리나라 水産物 總 生産量은 전년도 3,336천톤보다 141천톤이 증가된 3,477천톤이 生産되었다.

이는 遠洋漁業의 生産 증가에 따른 것으로 漁業別로는 沿近海漁業의 경우 전년도보다 3% 감소한 1,486천톤을 生産하였으며, 養殖漁業은 전년도보다 3% 증가한 1,072천톤이 生産되었다.

內水面漁業은 상수원 보호 등을 위한 政府施策에 따른 댐, 호, 저수지의 가두리 免許 재연장 불허에 따라 生産량은 정체되어 '94년에는 전년도보다 2.2% 증가한 31천톤이 生産되었으며, 遠洋漁業은 오징어, 꽃치어업은 다소 부진하였으나 참치, 명태어업의 生産 增加로 인하여 전

〈表 31〉

漁業別 生産推移

單位 : 噸

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	2,983,222	3,289,041	3,335,531	3,476,587	104.2%
沿 近 海	1,303,913	1,295,396	1,526,139	1,486,357	97.3
養 殖	775,419	935,478	1,038,119	1,072,126	103.2
內 水 面	30,425	34,241	30,256	30,906	102.2
遠 洋	873,465	1,023,926	741,017	887,198	119.7

資料 : 농림수산부, 농림수산통계연보

년대비 20%가 증가한 887천톤을 生産하였다.

2. 沿近海漁業

'94년도 沿近海漁業 生産량 1,486,357톤은 우리나라 水産物 총 生産량 3,476,587톤의 42.8%를 차지하였다.

海 漁況을 살펴보면 동해안에서는 냉수성 어종인 명태는 1~4월에 걸쳐서 강원도 연안측 海域에서 中心漁場이 형성되어 어황은 전년 및 평년에 비하여 부진하였으며, 꿈치는 봄철에 北上 來游群을 대상으로 慶北 沿岸側 海域에서 어장이 형성되어 漁況은 전년에 비해 순조로웠다.

暖流性 어종인 오징어는 6월이후 12월까지 울릉도를 중심으로 하는 동해안 전역에서 밀도 높은 漁場이 형성됨으로써 평년비 호황을 나타내었으나 전년도 수준에는 다소 못미치는 어황을 나타내었다.

南海岸에서는 고등어, 멸치는 水溫 前線의 발달 및 來游量 增加로 生産이 순조로왔으며, 資源 減少 및 魚群 來游量 減少로 정어리, 쥐치 등은 生産이 저조하였고, 西海岸에서는 저층 수온 불연속대의 未發達로 어군이 분산되어 어황이 부진하였으나 갈치, 조기는 資源의 회복세로 生産이 순조로왔다.

業種別로는 대형선망, 연승, 유자망, 안강망 등은 生産이 증가하였으나 근해형망 등 그외 어업은 生産이 減少되었다.

가. 大型旋網漁業

大型旋網漁業은 50~130톤급 어선으로 沿近海漁業중 가장 規模가 크며 東中國海, 제주도, 대마도의 海域에서 정어리, 고등어, 쥐치, 전갱

이 등을 주로 어획하는 漁業이다.

生産量은 1~3월사이 제주도 西方海域에서 東西方向으로 수온전선의 발달 및 8월이후 서해에서 魚群의 來游量 增加로 전년 283,577톤보다 10%가 증가한 310,967톤이 生産되었다.

나. 大型機船底引網漁業

大型機船底引網漁業은 60~140톤급 어선으로 1척이 조업하는 외끌이와 2척으로 操業하는 쌍끌이가 있으며 西·南海와 동중국 海역에서 주로 갈치, 조기, 가자미, 쥐치를 漁獲하는 漁業이다.

갈치, 조기는 생산이 순조로왔으나 資源 減少 및 내유량 감소로 多獲性 어종인 쥐치, 정어리 등의 生産이 低調하였으며 전년도 122,917톤 수준인 121,126톤이 生産되었다.

다. 中型機船底引網漁業

中型機船底引網漁業은 20~60톤급 어선으로 동해 일원에서 명태, 대구, 새우류 등을 漁獲하는 東海區 機船底引網漁業과 西·南海에서 쥐치, 가자미, 갈치, 꽃게, 갑오징어 등을 어획하는 西·南區 機船底引網漁業으로 구분되고 있다.

生産量은 '77년이후 減少 趨勢가 계속되어 왔으나 '92년이후 조기 생산량 증가로 전년도 39,599톤보다 3%가 증가한 40,874톤이 生産되었다.

라. 近海채낚기漁業

近海 채낚기漁業은 8~70톤급 漁船으로 오징어를 어획하고 있으며 어장은 魚群의 복상 시기에 따라 東·西·南 전해역에서 形成되는데 남해는 濟州道~對馬島間 海域을 중심으로 12월부터 翌年 5월까지, 서해는

격렬비열도를 중심으로 7~11월까지, 東海는 鬱陵島 近海 및 大和堆 近海에서 6~12월에 漁場이 形成된다. 오징어는 1년생으로 漁況 與件에 따라 불규칙적인 생산을 보이고 있다.

'94년도에는 10월이후 鬱陵島 주변해역의 水溫前線 발달로 魚群 密集이 形成되어 평년비 순조로운 어황을 나타내었으나 '68년도이후 최고의 好況을 보였던 전년도 93,841톤보다 6%가 감소된 87,788톤이 生産되었다.

마. 鮫鱈網漁業

鮫鱈網漁業은 8~70톤급 漁船으로 西海 및 東中國 海域에서 갈치, 조기, 병어, 갑오징어, 꽃게 등을 漁獲하고 있다.

生産량은 주대상 魚種인 갈치, 참조기의 來游量 增加로 전년도 194,766톤보다 13% 증가한 221,239톤이 生産되었다.

바. 機船船引網(權現網)漁業

機船船引網漁業은 沿岸에서 操業하는 漁業중 규모가 가장 큰 業種으로 40톤급 未滿의 漁船으로 南海岸에서 멸치를 漁獲하고 있으며, 멸치는 沿岸 회유성 魚種으로 海況의 影響을 크게 받기 때문에 生産량은 海況 與件에 따라 增減 現象이 나타나고 있다.

'94년 8월이후 沿岸의 水溫前線 發達로 來游量이 增加하여 평년비 순조로운 漁況을 나타내었으나 예년에 없는 好況을 보였던 전년도 162,754톤보다는 28% 減少한 117,955톤이 生産되었다.

사. 流刺網漁業

流刺網漁業은 東·西·南 全海域에서 조기, 멸치, 콩치, 명태, 꽃게 등

을 漁獲하고 있다. 벌치는 來游量 증가, 조기는 어황 순조로 生産量이 증가하였으며 전년도 95,311톤보다 3%가 증가한 98,182톤이 生産되었다.

〈表 32〉 沿近海漁業 業種別 生産推移

單位：噸

區 分	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	1,303,913	1,295,396	1,526,139	1,486,357	97.4%
大型 旋網	191,815	212,475	283,577	310,967	109.6
大型 機底	199,526	128,788	122,917	121,126	98.5
中型 機底	37,781	41,174	39,599	40,874	103.2
近海채낚기	65,615	72,619	93,841	87,788	93.5
鯊 鰻 網	257,763	231,699	194,766	221,239	113.5
船 引 網	86,323	79,188	162,754	117,955	72.4
流 刺 網	92,056	97,812	95,311	98,182	103.0
共 同 漁 業	130,107	133,138	151,237	146,199	96.7
其 他	242,927	298,503	382,137	342,027	89.5

資料：농림수산부, 농림수산물통계연보

3. 養殖漁業

淺海養殖 漁業 生産은 埋立·干拓으로 인한 연안어장 축소와 都市化, 産業化에 따른 工場廢水, 生活下水 및 油類汚染의 확산 등으로 어장환경 여건이 악화되고 있으나 어장 정비·정리사업 및 어장 정화사업 등을 추진한 결과 단위당 生産량이 증가하였다.

'94년도에는 겨울철에 養殖되는 김, 미역이 폭풍, 해일 등 自然災害

없이 순조롭게 養殖되어 전년생산 대비 103%인 1,072천톤을 생산하여 7,206억원의 生産高를 올렸다.

가. 魚類 養殖

'83년 이후 정부의 적극적인 開發 育成 및 養殖品種 多樣化로 생산

<表 33>

養殖漁業 品種別 生産推移

單位：톤

		'84	'92	'93	'94	'94/'93
計		678,321	935,478	1,038,119	1,072,126	103%
魚 類		331	4,595	5,471	6,643	121
貝 類	小 計	282,588	338,602	345,696	264,124	76
	굴	203,312	235,326	258,212	172,313	67
	홍합	26,041	9,689	55,183	39,764	72
	피조개	23,019	20,547	11,613	13,646	118
	주요패류	28,653	70,978	13,970	29,536	211
	其他	1,563	2,062	6,718	8,865	132
海 藻 類	小 計	383,661	579,963	664,318	750,197	113
	미역	230,188	371,432	372,182	411,602	111
	김	136,484	163,555	235,272	269,581	115
	다시마	7,927	9,560	17,180	30,421	177
	其他	9,062	35,416	39,684	38,593	97
其他水産動物		11,741	12,318	22,634	51,162	226

資料：농림수산부, 농림수산통계연보

註：1) 주요패류는 고막, 바지락, 가무락

2) 기타 수산동물은 우렁쟁이, 새우, 미더덕 등

이 계속 증가 추세에 있어 '94년도 生産量은 6,643톤으로 增産되었고 生産品種은 넙치, 방어, 돔, 농어, 조피볼락, 능성어, 송어 등이며, 앞으로 魚類는 국민소득의 향상과 함께 高級 活魚의 需要가 증가되고 있어 계속 增産될 것으로 전망된다.

나. 貝類 養殖

'94년도 貝類養殖은 異常潮流, 赤潮 등에 의한 어업재해로 바지락, 가무락 등 직접 피해외에 굴의 採苗漁場의 環境 惡化로 채묘가 부진하여 '93년도 346천톤보다 82천톤이 감소한 264천톤을 生産하였다.

品種別로는 굴이 172천톤으로 貝類 生産量의 65%를 차지하고 있으며, 홍합, 바지락, 피조개, 고막류 등이 主宗을 이루고 있다.

다. 海藻類 養殖

海藻類 養殖은 김과 미역이 주종으로서 매년 海況 與件에 따라 생산이 크게 변하는데 '94년도에는 主成育 및 收穫期인 겨울철에 자연재해 없이 적정 海況이 유지되어 '93년도보다 86천톤이 增産된 750천톤을 生産하였다.

또한 養殖品種도 김, 미역 養殖 위주에서 툯, 다시마, 파래, 참모자반 등 高附加價値 品種의 전환으로 점차 多樣化되고 있다.

라. 其他 水産動物 養殖

其他 水産動物 養殖은 우렁쟁이, 새우가 주종이나 우렁쟁이의 多量 生産으로 '93년도 대비 28천톤이 增産된 51천톤을 生産하였다.

4. 內水面漁業

'94년 內水面漁業 生産은 전년 30,256톤에 비해 2% 증가한 30,906톤이며, 漁撈漁業은 內水面 棲息環境 여건 변화로 생산량은 정체되어 있으며, 養殖漁業은 전년 수준을 약간 밑돌고 있다.

〈表 34〉

內水面漁業 品種別 生産推移

單位 : 톤

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	30,425	34,241	30,256	30,906	102%
漁 撈	16,167	14,192	11,877	10,041	85
잉 어	1,321	1,137	1,018	995	98
붕 어	4,973	4,428	3,547	3,123	88
미꾸리	652	559	484	419	87
뱀장어	112	111	96	93	97
가물치	345	417	331	270	82
메기	410	365	376	313	83
숭 어	233	453	229	137	60
피라미	1,971	1,618	1,462	1,070	73
패류(재첩등)	2,756	1,959	1,587	1,117	70
其 他	3,394	3,145	2,747	2,504	91
養 殖	14,258	20,049	18,379	20,865	114
잉 어	1,201	1,267	595	317	53
항 어	7,215	11,883	10,860	12,311	113
숭 어	1,250	1,432	2,143	2,546	119
뱀장어	2,386	3,148	2,451	2,586	106
가물치	446	500	518	560	108
민물돔	605	437	391	448	115
其 他	1,155	1,482	1,421	2,097	148

資料 : 농림수산부, 농림수산통계연보

5. 遠洋漁業

'94년도에는 참치獨航 및 旋網, 北洋트롤 등의 生産量이 증가하여 오징어채낚기, 콩치樺受網漁業의 부진에도 前年對比 20%가 증가한 887천톤을 生産하였다.

가. 참치漁業

우리나라의 참치漁業은 참치旋網 漁業과 참치 延繩 漁業으로 大別되며 참치 연승 어업은 國內 基地式과 海外 基地式이 있다.

참치 선망 어업은 350톤級 이상(해외 기지식)의 어선으로 통조림 원료인 가다랭이를 主 對象으로 漁獲하고 있는 어업으로 '94年度에는 32척이 出漁하여 전년 대비 154%인 195천톤을 生産하여 輸出 및 內需用 통조림 原料로 공급하였으며, 참치延繩 漁業은 國內 基地式은 110톤급 이상의 어선으로 횃감용인 눈다랭이, 황다랭이를 主 對象으로 漁獲하고 海外 基地式은 60톤급 이상의 漁船으로 통조림 원료인 날개다랭이를 주로 漁獲하고 있으며, '94년도에는 216척의 延繩 漁船이 출어하여 전년 대비 109%인 57천톤을 生産하여 주로 횃감용 및 통조림용 원료로 수출하였다.

나. 오징어漁業

오징어漁業은 流刺網과 채낚기 漁業으로 구분되는데 북태평양 流刺網 漁業은 '93년 1월 1일부터 公海上에서 操業을 금지하는 UN결의에 따라 '92년 어기를 끝으로 조업이 중지되었고 채낚기 漁船은 남서대서양 및 뉴질랜드, 페루어장 등에 출어하여 146천톤을 漁獲하였다.

또한 오징어는 남서대서양 및 뉴질랜드 수역 등에 출어한 트롤어선에

서도 30천톤이 漁獲되어 원양오징어 總 生産量은 전년에 비해 19천톤이 감소한 176천톤이었다.

남서대서양 漁場은 채낚기漁船 86척과 트롤漁船 38척 등 총 124척이 操業하였고, 이 중 채낚기漁船 62척은 포클랜드 保存水域에서도 操業하여 79천톤을 漁獲하였다.

한편, 페루水域에서는 '94년 49척이 出漁하여 68천톤을 漁獲하였으며 북태평양 수역에 50척이 조업하여 13천톤을 漁獲하였다.

다. 트롤漁業

트롤漁業은 원양어업중 比重이 가장 큰 業種으로서 遠洋 生産量의 51%를 차지하고 있는 대표적인 업종이다.

이 중 北洋트롤漁業은 명태를 주 捕獲對象으로 하고 있으나 '93.1월 베링公海 漁場에서의 暫定的인 조업 중단과 '93.4.25일 오호츠크公海에서의 조업자율 중단으로 公海上의 어장에서는 현재 조업을 자제하고 있다. '91.9.16일 한·러 漁業協定 締結以後 한·러 어업협력 增進을 통한 러시아 經濟水域內 조업이 好調를 보임에 따라 전년대비 40%가 증가한 304천톤을 生産하였다.

海外基地 트롤 漁業은 라스팔마스 基地를 중심으로 중서, 남서 대서양 어장과 인도네시아, 뉴질랜드, 中東 漁場 등에서 전년대비 5천톤이 증가한 145천톤을 漁獲하였으나, '92년 대비 60천톤이 감소된 물량이며 이는 '93.4.29일 이후 NAFO水域 出漁船의 撤收와 서부아프리카水域 등 대서양어장의 漁獲 부진에 기인된 것이다.

새우트롤漁業은 中南美의 수리남 어장의 조업이 계속 저조함에 따라 전년과 거의 같은 수준인 1,031톤을 어획하여 全量 輸出하였다.

한편, '87. 5. 1일부터 수입으로 분류되고 있는 共同漁業 事業은 한

<表 35>

遠洋漁業 業種別 生産推移

單位：톤

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	873,465	1,023,926	741,017	887,198	120%
참치延繩	47,074	52,779	52,198	57,049	109
참치旋網	227,518	182,287	126,648	195,014	154
오징어채낚기	150,039	184,291	156,601	145,855	93
오징어流刺網	62,617	38,649	-	-	-
北洋트롤	177,400	320,005	217,395	304,446	140
基地트롤	179,773	206,085	140,339	145,913	104
새우트롤	1,587	1,254	1,031	1,113	108
其他	27,457	38,576	46,805	37,808	81

資料：한국원양어업협회, '95 원양어업통계

·미 공동어업 사업이 미국의 資源 自國化政策 추진으로 '91년부터 終熄
되었고, 러시아水域은 '77.3월 200해리 선포로 러시아水域 操業이 중
단되었으나 '89년부터 한·러 共同漁業 事業을 추진하여 '94년도에는
46천톤을 生産하였다.

第 4 節 水産物 輸出·入

1. 輸出

'94년 수산물 수출은 1,647백만\$로 전년대비 10% 증가하였는데,
그 원인은 일본의 엔화 강세와 재고물량 감소로 인하여 遠洋魚類인 참
치와 봉장어의 輸出이 크게 증가하고, 또한 연근해에서도 어획증가에
힘입어 활·선어 및 냉동품 등의 수출이 증가하였기 때문이다.

〈表 36〉

水産物 輸出推移

單位：百萬\$

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
總輸出	71,870	76,632	82,236	96,013	117%
水産物	1,643	1,518	1,497	1,647	110
構成比(%)	(2.3)	(2.0)	(1.8)	(1.7)	

資料：관세청, 무역통계연보

가. 品目別 輸出實績

품목별 수출실적을 살펴보면, 활·선어의 경우는 生産이 늘어난 붕장어·넙치 등은 수출이 증가한 반면 새조개, 가자미 등은 부진하여, 全體的으로는 전년대비 10% 증가하였으며, 냉동품은 전갱이, 삼치, 오징어 등을 중심으로 전년대비 48%가 증가한 214백만\$을 수출하였다.

해조염신품은 간미역 대일 수출에서 物量이 다소 감소하였으나 엔고로 인한 단가 상승으로 전체 수출액이 다소 증가한 반면, 전량 일본으로 수출하는 魷의 경우 양식산의 증가로 수출이 늘어나 해조염신품 전

〈表 37〉

品目別 輸出實績

單位：千\$

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	1,642,570	1,518,072	1,496,933	1,646,884	110%
活鮮魚	348,595	355,537	342,884	375,947	110
冷凍品	272,538	160,426	144,142	213,939	148
海藻鹽辛品	156,340	156,109	153,774	170,840	111
통조림	94,780	99,235	122,904	117,457	96
其他水産物	257,693	242,940	279,623	291,794	104
遠洋魚類	512,624	503,825	453,606	476,907	105

資料：관세청, 무역통계연보

체로는 전년대비 11% 증가한 171백만\$을 기록하였다.

통조림 제품의 경우는 통조림 전체 수출액의 50% 이상을 차지하는 굴 통조림이 종묘확보의 어려움에 따라 生産이 減少하여 예년의 절반 수준인 33백만\$에 그침으로써, 전체적으로는 전년대비 4%가 감소한 117백만\$을 기록하였다.

캐비아 대용물, 생선묵, 개살훈제 등 기타 수산물은 수출이 4% 증가한 292백만\$을 수출하였고 참치, 오징어 등의 遠洋魚類는 물량은 다소 감소하였으나 수출금액은 5% 증가한 477백만\$을 기록하였다.

나. 國家別 實績

우리나라 水産物 輸出은 日本地域에 대한 수출이 약 78%를 차지하고 있는데 '94년도 일본지역의 輸出은 '93년도 수출실적 11억6천8백만\$보다 9% 증가한 12억7천9백만\$이었다.

<表 38>

國家別 輸出實績

單位：千\$

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	1,642,570	1,518,072	1,496,933	1,646,884	110%
日 本	1,163,059	1,148,567	1,168,241	1,278,552	109
美 國	132,175	112,129	107,199	94,090	88
스 페 인	42,740	48,440	29,498	56,184	190
泰 國	41,521	53,656	57,334	66,366	116
프 랑 스	21,954	14,421	10,942	10,947	100
이탈리아	14,248	23,022	14,501	11,909	82
臺 灣	12,834	7,889	11,322	19,908	176
호 주	8,641	10,956	10,362	6,246	60
카 나 다	10,520	10,861	11,664	6,109	52
其 他	194,878	88,131	75,870	96,573	127

資料：관세청, 무역통계연보

〈表 39〉

主要 魚種別 輸出實績

單位：千\$

	'92	'93	'94	'94/'93
참 치	327,306	295,203	319,445	108 %
피 조 개	101,740	86,016	99,782	116
붕 장 어	50,861	69,543	105,571	152
계 류	47,575	62,836	69,221	110
생 선 목	89,670	62,511	78,478	126
굴류(통조림외)	40,923	59,696	59,419	100
굴 통 조 립	53,827	56,355	33,454	59
룻	44,994	54,007	54,991	102
성 계	42,635	42,346	39,256	93
간 미 역	36,308	33,223	30,200	91
명 란	36,793	24,472	71,909	294
바 지 락	38,123	22,469	25,776	115
가 자 미	28,110	23,590	19,890	84
새 우	19,329	18,340	10,962	60
갯 지렁이	18,355	17,949	14,231	79
삼 치	21,845	17,462	22,209	127
패 주	22,984	16,677	11,615	70
조미오징어	24,854	14,233	5,212	37
갯 장 어	10,318	13,736	14,222	104
전 갯 이	15,244	13,446	25,995	193
오징어(조미외)	11,861	12,938	17,873	138
고 등 어	5,551	10,566	13,118	124
퀴 치 포	13,743	8,004	4,133	52
갑 오 징 어	10,044	8,092	5,079	63
한 친	10,555	7,900	9,522	121
새 조 개	40,347	6,629	3,454	52
명 태 피 레 트	14,252	4,144	149	4

資料：관세청, 무역통계연보

對日 輸出品目으로 15백만\$ 이상 되는 어종은 참치, 봉장어, 전갱이, 명태, 삼치, 게, 굴, 피조개, 바지락, 소라, 미역, 톳, 성게 등이 있다.

美國地域 輸出은 명태피레트 등의 수출부진으로 '93년 대비 12%가 감소하였고 EU국가에 대한 수출은 오징어, 게, 바지락 등의 수출호조로 인해 전년대비 35% 증가하였다.

水産物을 수출하고 있는 국가는 65개국이며, 총 수출액중 국가별 수출비중은 일본 78%, 미국 5.7%, 태국 4.0%, 스페인 3.4%, 대만 1.2%, 기타국이 7.7%를 점유하고 있다.

2. 輸入

'94년도 수산물 수입은 沿近海 생산 둔화와 국민의 수산물 소비 수

<表 40>

國家別 輸入實績

單位：千\$

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	576.479	506.487	542.489	726.267	134%
러 시 아	133.883	112.177	143.638	176.257	123
美 國	198.660	153.563	138.396	135.489	98
中 國	29.003	40.163	44.467	111.831	251
아르헨티나	32.618	43.242	42.822	49.792	116
日 本	44.897	31.721	40.397	42.323	105
뉴질랜드	11.476	15.689	14.676	14.470	99
其 他	125.942	109.932	118.093	196.105	166

資料：관세청, 무역통계연보

요 증가, 수입자유화 품목의 확대 등으로 증가하여 水産物 총 수입은 726백만\$로써 '93년도 542백만\$에 비해 34%가 증가하였으며, 이 중 수출용 원자재와 어업협력용(합작, 공동)을 제외한 內需用 輸入은

〈表 41〉 水産物 輸入動向

單位：千噸, 百萬\$

			'92	'93	'94	'94/'93
計	物 量		328	356	381	107 %
	金 額		506	542	726	134
輸出用原資材		物 量	56	56	55	98
		金 額	150	150	184	123
漁業 協力 用	小 計	物 量	123	107	101	94
		金 額	160	146	115	79
	共 同 事 業	物 量	38	29	29	100
	漁 獲 物	金 額	65	51	42	82
	合 作 事 業	物 量	85	78	72	92
	物 量	金 額	95	95	73	77
觀光用食資材		物 量	-	-	-	-
		金 額	6	6	9	150
其 他 內 需 用		物 量	149	193	225	117
		金 額	190	246	427	174

資料：수산청 국제협력관실 무역진흥담당실

註：물량은 제품 기준임

전년대비 74%가 증가한 427백만\$로써 전체 수입의 59%를 점유하였는데 이는 '94년도에 냉동 돔, 냉동 복어, 냉동 명란, 냉동 게, 냉동 낙지, 냉동 새우 등 23개 품목의 수입 자유화 영향으로 내수용 수입이 크게 증가하였기 때문이다.

국가별 수입비중은 러시아 24%, 미국 19%, 중국 15%, 아르헨티나 7%, 일본 6%로써 상위 5개국이 전체 수입의 71%를 차지하였고 캐나다 등 기타 50여개국이 29%를 점유하였다.

특히, 中國産은 낙지(냉동), 피조개(냉동), 삼치(냉동), 복어(냉동)를 중심으로 수입이 크게 증가하였다.

第 5 節 水産物 需給 및 價格

1. 需給

'94년도의 水産物 總 供給量은 4.629천톤으로 전년에 비하여 10.1%가 증가하였다.

供給部門에서는 生産이 4.2% 증가하였으며 輸入 또한 62.3%나 급증하였으나 전년재고는 5.3% 감소하였다.

需要部門에서는 國內消費가 9.2%, 수출은 6.3%, 재고이월 27.8% 등이 각각 증가하였다.

1인당 消費量에서는 어패류는 6.3%, 海藻類는 15.8%가 증가하였으며, 全體의으로는 전년보다 9.0%가 증가하는 소비형태를 보였다.

한편 國民 동물성 蛋白質 供給量에서 水産物이 차지하는 비중은 畜産物의 상대적 增加로 '92년 45.0%에서 '93년에는 44.3%로 감소하였다.

〈表 42〉

水産物 需給動向

單位：千톤

		'91	'92	'93	'94	'94/'93
供給	生産	2,983	3,289	3,336	3,477	104.2%
	輸入	554	410	488	792	162.3
	前年在庫	290	308	380	360	94.7
計		3,827	4,007	4,204	4,629	110.1
需要	國內消費	2,235	2,327	2,842	3,104	109.2
	輸出	1,284	1,300	1,002	1,065	106.3
	次年移越	308	380	360	460	127.8
1人當消費量(kg)		35.9	40.0	42.2	46.0	109.0
- 魚貝類		28.9	29.6	30.2	32.1	106.3
- 海藻類		7.0	10.4	12.0	13.9	115.8

資料：수산청 수산정책국 유통가공과, 한국농촌경제연구원, 『식품수급표』

註：1인당 소비량은 순식품 기준임('93, '94년은 추정치임)

〈表 43〉

動物性 蛋白質 供給推移

單位：g/1人當 1日

	'90	'91	'92	'93	'93/'92
計	33.13	32.38	33.56	34.75	103.5%
畜産物	17.25	17.19	18.46	19.34	104.8
魚貝類	15.88	15.19	15.10	15.41	102.1
(占有率)	(47.9)	(46.9)	(45.0)	(44.3)	(97.8)

資料：한국농촌경제연구원, 『식품수급표』('93년은 추정치임)

2. 消費

가. 水産物 소비패턴

水産食品은 고른 영향을 갖춘 최고의 自然食品으로서 그 중요성이 날

로 더해가고 있다. 水産物은 現代 文化病이라고 할 수 있는 성인병 예방의 EPA성분을 다량 함유한 高蛋白, 저칼로리 식품이며 抗癌物質과 다량의 핵산을 함유하고 있어 현대인들에게 필수 불가결한 健康食品으로 널리 애용되고 있다.

우리나라의 1인당 연간 水産物 消費量은 '88년 33.6kg에서 '93년 42.2kg으로 꾸준히 증가하고 있다.

水産物의 消費性向은 종래의 단순 선어, 부식 개념에서 탈피하여 즉식, 편리, 고차가공품으로 소비가 확대되고 있으며, 식품의 高級化와 포장용기의 개선 및 패스트푸드의 체인공급 확대, 製品의 多樣化 등으로 서구식 패턴으로 변화하고 있는 추세이다.

나. 水産物 利用 動向

'94년도에 國內에서 생산된 수산물중 加工用으로 이용된 원료량은

〈表 44〉 水産物 利用動向 單位：千톤

	'84	'92	'93	'94	'94/'93
○ 漁 獲 量	2,252	2,265	2,595	2,590	100 %
- 鮮 魚 用	889	287	614	629	102
- 加 工 用	1,363 (61%)	1,978 (87%)	1,981 (76%)	1,961 (76%)	98
· 乾 製 品	173	115	167	135	81
· 冷 凍 品	389	397	535	416	78
· 통 조 립	140	86	81	71	88
· 煉 製 品	180	274	290	320	110
· 鹽 辛 藏 品	8	17	12	10	83
· 海 藻 製 品	257	813	634	701	110
· 其 他	218	276	262	308	118

資料：수산청 수산정책국 유통가공과

註：1) 원양어획은 제외

2) 원료어 기준임

1,961천톤으로 沿近海 漁獲量 2,590천톤의 76%에 달하고, 그 중 냉동품, 어육연제품 및 해조제품 가공에 많이 이용되었다.

3. 價格

'94년도 수산식품의 生産者物價(都賣物價)는 전년말에 비해 2.6% 上昇하여 全體 生産者 物價 上昇率 3.9%보다 안정되어 과거 두 자리수의 큰 폭 上昇率에 비하면 매우 높은 安定勢를 보였다.

部類別로는 고등어, 갈치, 조기 등의 어황은 호조를 보여 鮮魚介類가 0.9% 상승하였으나 마른멸치, 마른오징어, 새우젓, 다시마 등의 鹽乾魚類와 해조류는 각각 24.5%, 6.3% 상승하였다.

이에 따라 水産食品의 消費者 物價도 전년말에 비해 1.7%가 상승하여 전체 消費者 物價 5.6% 상승에 비해 매우 높은 安定勢를 유지하였다.

主要 魚種別로는 명태 21.6%, 오징어 21.9%, 마른오징어 20.7%, 마른멸치 18.8%가 상승한 반면, 갈치 21.6%, 고등어 12.0%, 조기 2.7%, 김 0.4%가 하락하였다.

〈表 45〉

水産物 生産者物價 動向

單位 : %

	'91	'92	'93	'94
總生産者物價	1.9	1.6	20.	3.9
水産食品	20.5	3.9	9.5	2.6
- 鮮魚介類	26.0	5.5	△1.0	0.9
- 鹽乾魚類	△4.0	△10.1	17.5	24.5
- 海藻類	△5.9	△2.9	6.1	6.3

資料 : 한국은행

註 : 전년말 대비 등락률임

(表 46)

水産物 消費者物價 動向

單位 : %

	'91	'92	'93	'94
總消費者物價	9.3	4.5	5.8	5.6
水産食品	21.9	△1.9	12.6	1.7
- 鮮魚介類	29.9	△1.7	12.8	△0.7
- 鹽乾魚類	11.8	△2.0	12.7	11.1
- 海藻類	△0.2	△2.2	10.0	0.2

資料 : 통계청

註 : 전년말 대비 등락률임

第 6 節 漁場環境

1. 海況

'94년도 우리나라 연근해 어장의 시기별 평년차 水溫變動 추이를 살펴보면 2월에는 동해남부 해역과 남해 대부분 해역 그리고 서해남부 해역이 1~2℃ 높은 반면, 東海中部 해역은 2℃, 남해의 소리도~대마도 남단간의 연안수 확장해역 그리고 서해중부 해역은 1℃ 정도 낮은 분포였다. 따라서 동한난류는 弱勢였으나 북한한류는 강하게 남하한 것으로 나타났다. 한편, 대마난류는 강세로 접안하였고, 겨울철에 형성되는 남해안 연안수는 9℃내외로 발달하였다. 또한 황해난류는 강세였으며, 황해냉수는 서해 중부해역에서 강하게 형성되었다.

4월에는 포항~울릉도간 海域의 남방해역과 남해 대부분 해역 그리고 서해 외해역이 1~2℃ 높은 분포였고, 포항~울릉도간 북방해역과 南海의 연안수 확장해역 그리고 서해 근해역은 1~3℃ 낮게 나타났다. 따라

서 동한난류는 근해역에서 강세인 반면 북한한류는 沿岸側에서 강하게 남하한 것으로 생각되며, 대마난류는 표층에서 강세로 집안하였고 남해안 연안수는 저층에서 외해측으로 확장한 것으로 보인다. 한편, 황해난류와 황해냉수는 평년에 비하여 약세로 나타났다.

6월에는 東海 대부분 海域과 남해 외해역 그리고 서해 근해역 50m 층에서 1~2℃ 높은 분포였으나 동해 울릉도 이북 및 감포이남 해역의 50m층과 南海 대부분 해역 그리고 서해 표층 대부분 海域은 1~2℃ 낮았다. 따라서 동한난류는 강세로 부상한 반면 북한한류는 울릉도 북방해역에서 정체하였으며, 동해 연안역에 냉수대가 나타났다. 그리고 대마난류와 황해난류는 평년보다 약하게 부상하였고 황해냉수는 외해측에서 강하게 분포하였다.

8월에는 근해의 표층 대부분 해역에서 평년보다 1~2℃ 높았으나, 제주도~홍도간 외해역은 1~6℃ 낮은 분포였는데 이는 2차례에 걸친 태풍 교란 후 표층수온이 낮아졌기 때문으로 생각된다. 한편 50m층은 東海의 울릉도 북부 해역과 남해 濟州道 근해 그리고 서해 대부분 해역이 1~2℃ 높았으나, 울릉도 이남 해역과 南海 대부분 해역은 1~4℃ 낮은 분포였다. 따라서, 동한난류는 강세로 부상한 반면 북한한류는 연안역에서 남하 분포하였으며, 황해난류는 서해중부 외해역에서 강세였던 반면, 황해냉수는 비교적 약세로 분포하였다. 특히, 주문진 동방 30~75해리 해역의 수심 75~250m층은 7℃ 내외의 두꺼운 렌즈 모양의 난수층이 분포하였다.

10월은 表層의 경우 동해중부 해역과 제주도 근해 및 흑산도 이남 해역은 1~2℃ 낮았으나 동해남부 및 남해동부 그리고 서해 대부분해역은 1~2℃ 높은 분포였다. 50m층의 경우는 동해 연안역이 평년보다 2℃정도 높았던 반면 외해역은 1~8℃ 낮았는데, 특히 울릉도 周邊海域

에 평년에 비하여 4~8℃ 낮은 저온역이 형성되었다. 한편, 남해는 대부분 해역이 1~4℃ 높은 분포로서 濟州道 서남방 해역과 소흑산도 외해역은 2~4℃ 높게 나타났다. 서해는 연안측은 1℃정도 높았으나, 외해측은 1℃ 낮은 분포였다. 따라서, 10월에는 동한난류가 동해남부 해역에서 외해측으로 북상한 반면, 북한한류는 중부해역에서 強勢로 남하한 것으로 보이며, 대마난류는 남해동부 해역에서, 황해난류는 서해 중부 해역에서 강세로 나타났다.

12월은 동·서·남해 대부분 해역에서 평년보다 1~4℃ 높은 분포로서 난류계수의 북상이 평년보다 강한 것으로 나타났다.

2. 漁況

가. 漁業別 漁況

1) 東海岸

東海岸의 主要 漁業인 명태어업, 콩치유자망어업, 오징어채낚기어업, 기선저인망어업 등의 1994年 漁況을 보면, 명태어업은 1~4월에 걸쳐서 강원도 연안측 해역에서 中心漁場이 形成되었으며, 漁況은 전년 및 평년('89~'93년 평균)에 비해서 부진하였다. 콩치유자망어업은 봄철에 北上 來游群을 대상으로 경북 연안측 해역에서 漁場이 形成되었으며, 漁況은 평년에 비해 극히 부진하였다.

오징어채낚기어업은 성어기에 접어드는 7, 8월까지 부진한 어황을 나타내었으나 9월이후 수온 전선대의 발달과 함께 어군의 밀집이 이루어짐으로써 어황은 회복되어 평년비 준조로운 어황을 나타내었다.

기선저인망어업은 동해안 연안측 해역에서 연중 조업이 이루어졌으나, 주 어획 대상 어종인 명태, 도루묵, 가자미류 등의 來游量 감소로

어황은 전년 및 평년비 부진하였다.

2) 南海岸

남해안에서는 멸치자망, 기선권현망, 대형선망, 대형트롤어업 등에 의하여 操業이 이루어졌다. 멸치자망, 기선권현망어업에 의해 주로 어획되는 멸치는 前年 수준에는 다소 못미치지만 여전히 높은 수준의 어황을 나타내었다. 대형선망어업은 고등어의 漁獲 好調로 전년 및 평년에 비해서 好況을 나타내었다. 말쥐치를 주로 어획하였던 대형트롤어업은 전년 수준의 漁況을 보였다.

3) 黃海 및 東中國海

황해 및 동중국해에서는 근해안강망, 기선저인망어업 등에 의해서 操業이 이루어졌다. 근해안강망 및 기선저인망어업은 황해 및 동중국해에 걸쳐 계절에 따라 漁場은 다소의 변동을 보였으나, 年中 操業이 이루어졌으며, 주 대상 어종인 갈치, 참조기의 어획 호조로 전년비 순조로운 어황을 나타내었다.

나. 魚種別 漁況

1994년 主要 魚種別 漁況을 평가하면, 부어류인 멸치, 오징어, 고등어는 여전히 높은 수준의 어획실적을 보였으며, 저어류인 갈치, 참조기는 전년 및 평년비 순조로운 어황을 나타내었다. 한편 정어리, 말쥐치, 꽁치, 갑오징어는 낮은 수준의 어획실적을 나타내었다.

3. 資源動向

가. 沿近海

연근해 어업의 總 漁獲量은 1960年代 이후 '74년까지 순조로운 增加

를 거듭하여 왔으나 그 후 增加率は鈍化되어 1981年이후 최근까지 150만톤 수준에 머무르고 있다. 單位努力當 漁獲量은 1974年이후 最近까지 계속적인 減少傾向을 보임으로써 70年代 中盤에 비하여 1/3~1/5 수준으로 낮아지는 등 資源減少에 의하여 漁場의 生産性은 급격히 低下되고 있다.

주요 어종에 대한 漁獲 狀況을 보면, 고등어의 어획량이 210천톤으로서 연근해 어종별 어획량중 가장 많았으며, 그 다음은 멸치 193천톤, 오징어 190천톤, 갈치 101천톤, 강달이류 70천톤, 전갱이 38천톤의 순으로 나타났다.

한편, 생물학적 요인과 자원량 변동추이 등에 의하여 분석된 沿近海 主要 魚種에 대한 최근의 資源動向을 요약하면, 멸치와 오징어는 최근의 資源豊도가 높아진 것으로 평가되나, 정어리와 말쥐치 자원은 加入量 水準의 低下로 인하여 최근 급격히 감소하였다. 고등어는 加入量의 增減에 따라 資源量이 變動하는 불안정한 상태에 있으며, 그외 대부분 주요 어종은 어획물의 若齡魚 比率이 지나치게 높게 나타나는 등 낮은 資源水準을 벗어나지 못하고 있다.

나. 遠洋

1) 遠洋漁業 全體 動向

세계 遠洋漁業은 1980년 이후 全世界的으로 수산 산업분야 과잉투자 및 어획능력의 급속한 향상으로 대부분의 水産資源은 減少하고 있는 경향을 보이고 있으며 환경과피에 따른 해양환경 보호에 대한 국제 인식이 증대되고 있다. 1994년 11월 16일 유엔해양법의 정식 발효는 새로운 해양질서 시대를 완전히 정착시키면서 국가 관할권 수역이 확대되고 연안국의 권익이 강화됨으로써 우리나라 遠洋漁業에 막대한 영향을 미

칠 것으로 우려되어 진다.

우리나라 遠洋漁業의 주 대상 이용 資源은 오징어류, 명태, 참치류 및 꽁치로서 이들의 전반적인 資源狀態는 오징어류 및 참치류는 증가 추세에 있는 반면, 명태는 감소 추세에 있고 참치류는 안정 상태에 있는 것으로 評價되고 있다.

우리나라 遠洋漁業은 1957년 印度洋에서 다랭이연승 시험 조업을 시작으로 매년 급속한 生産量 신장을 보여 '76년에는 724천톤에 달하였으나 沿岸國의 排他的 經濟水域 설정이 집중되었던 '70년대 후반에서 '80년대 전반기 동안에는 '76년 漁獲量의 약 2/3 수준으로 감소하였다.

'80년대 중반부터는 정부 및 민간에 의한 연안국과의 수산 외교 강화, 국제 수산자원의 공동 관리 및 합작사업 참여, 연안국과의 科學的 공동자원 조사 실시 등 遠洋漁業振興政策에 힘입어 '85년 이후에는年間 生産量이 77~120만톤 수준으로 증가하였다. '94년 우리나라 遠洋漁船 출어척수는 '93년보다 18% 減少된 642척으로 3大洋에서 다랭이류, 명태 및 기타 저어류, 새우류, 꽁치, 오징어를 대상으로 조업하여 '93년보다 20% 증가된 887천톤을 어획하였다. 또한 南氷洋에서 파타고니아 이빨고기 대상 저연승으로 1993~'94년에는 약 1,100톤을 어획하여 새로운 원양어업 이용 대상 자원으로 각광을 받고 있다.

1994년 우리나라 漁業別 生産量 動向을 보면 다랭이 旋網漁業은 어획량이 증가된 반면 꽁치붕수망어업, 트롤, 새우트롤, 오징어채낚기어업은 감소하였고 다랭이연승어업은 전년 수준이었다.

2) 主要 漁業別 生産量

1994년 연승 및 선망어업 대상 魚種인 황다랭이, 눈다랭이 및 가다랭이 등의 다랭이류의 漁獲量은 252천톤으로 전년비 40% 증가하였으며, '94년 연승어업의 다랭이류 漁獲量은 57천톤으로 전년 수준이며

西部 太平洋 선망 어업의 다랭이류 漁獲量은 195천톤으로 전년비 54% 증가하여 우리나라 遠洋 다랭이류 生産量의 71%를 차지하였다.

명태 및 기타 저어류를 대상으로 하는 트롤漁業은 '94년에 451천톤을 어획하여 전년비 25% 증가하였다. 북양트롤어업의 명태어획량이 239천톤으로 전년비 36% 증가하였고 북해도 트롤어업은 65천톤으로 전년비 水準이었다. 각 대양에 기지를 두고 조업하고 있는 기지 트롤漁業에 의한 底魚類 漁獲量은 '94년 146천톤으로 전년 수준이었다. 새우류 대상 트롤어업의 '94년 漁獲量은 1,113톤으로 전년비 8% 증가하였다.

북태평양 콩치 棒受網漁業에 의한 '94년 콩치 어획량은 32천톤으로 전년비 20% 감소를 보였으며, 오징어류를 對象으로 하는 오징어채낚기 어업의 어획량은 146천톤으로 전년비 7% 減少하였고, 北太平洋 公海 오징어채낚기어업은 47척이 試驗操業하여 12천톤을 漁獲하였다.

4. 沿岸漁場 環境 變化

가. 沿岸漁場 汚染

연안주변 지역에 대한 임해공단 조성 및 도시인구의 급격한 증가로 오염물질의 바다 유입량이 증가되고, 매립·간척의 확대로 沿岸漁場이 축소됨과 동시에 매립·간척지의 이용에 따른 오염물질의 유입으로 연안 해역의 오염은 심화되고 있으며, 특히 마산만, 진동만, 행암만, 광양만, 인천연안의 水質은 계속 악화되고 있는 상태이다. 한편 저질 오염도는 해수 교환이 원활치 못한 남해안 동부 해역이 우리나라 전국 연안 중 가장 높은 오염도를 나타내고 있다. 또한 매년 여름철이 되면 진해만에서 발생되어 서식동물에 被害를 입히고 있는 빈산소 수괴는 6월부

터 형성되기 시작하였다. 이후 7~8월 사이에는 진해만 서부 저층에서 용존산소 2mg/l 이하의 낮은 농도를 나타냈으며, 고현만을 비롯한 진해만 서부 내만지역에서는 1mg/l 이하의 거의 무산소 수괴가 형성되었다.

나. 赤潮 發生

'94. 4. 7일 마산만에서 *Eutreptiella gymnastica*에 의한 20,000~45,000cells/ml 적조가 처음 발생한 이래 5월에는 적조 원인 생물이 *Gymnodinium sanguineum*으로 천이되면서 행암만과 용원만까지 확산되었고, 6월 초순에는 강진만과 통영, 여수 연안에서도 赤潮가 발생하였다. 7월에는 광양만과 가막만, 충남 천수만 등에서 규조류와 섬모충류에 의한 적조가 발생하였으나, 水産物의 피해는 없었으며, 8월에는 남해 향촌지선, 사랑도~추도~끈리도를 잇는 해역, 거제도 동부해역, 낙동강 하류, 진해만 동부해역, 부산항 외곽 해역, 송정~고리연안 해역에서 유독성 *Cochlodinium polykrikoides* 赤潮가 발생하여 해당해역에 적조 주의보를 발령함으로써 水産物의 피해를 최소화하였다. 8월이후에는 강우량이 적어 영양염류의 沿岸 유입이 감소됨으로써 일부 해역에서만 단기간에 걸쳐 적조가 발생한 후 소멸되었다.

第 2 篇

1994年度 水産施策

여백

第 1 章 바다 淨化와 기르는 漁業 育成

第 1 節 바다 淨化

1. 淸淨海域 및 保全地區 管理

'72.11.24 체결된 한·미 貝類衛生協定과 수출용 貝類의 생산 관리 및 동 가공품 검사에 관한 규칙과 관련하여 지정된 淸淨海域(수출용 貝類 생산해역)은, 거제-한산만, 자란-사랑해역, 산양해역, 가막만해역 등 4개소에 20.4千ha가 指定되어 있으며, 국토이용관리법에 의거 水産動植物의 산란·서식환경을 보호하고 水産資源을 육성하기 위하여 지정된 水産資源保全地區는 현재 전국에 29개소가 있으며, 이 중 海面에는 천수만, 영광, 완도, 득량만, 여자만, 가막만, 남해·통영 Ⅰ, Ⅱ, 한산만, 진동만 등 10개소에 413千ha가 指定되어 있다.

이들 海域은 水産資源의 안정적 보호·육성을 위하여 매우 重要的 海域으로서 淸淨海域에 대하여는 156개 조사지점을 選定, 해수 및 패류에 대한 세균함량 등 위생조사를 주기적으로 실시하는 한편, 水産資源 保全地區에 대하여는 134개 調査地點을 선정, 일반 水質 및 중금속 汚染度 조사를 지속적으로 실시하여 水質保全 管理를 위한 기초자료로 활

용토록 하였다. 또한 이들 海域 및 그 周邊에 대하여는 가축방목, 공장 설치 등을 금지토록 하고 公有水面 埋立·干拓과 준설행위를 강력히 억제하는 한편 海洋汚染의 근본적인 원인이 되고 있는 工團廢水 및 生活下水, 糞尿, 廢棄物 등 각종 汚染物質의 해양유입 방지를 위하여 수립한 沿岸 오염방지 종합대책에 따라 각종 오염물질 淨化處理 施設을 확충하고 汚染物質의 해양 투기행위를 강력히 규제·단속해 나가는 등 관련 부처와의 긴밀한 협조하에 指定海域 및 수산자원보전지구의 水質保全管理에 철저를 기해 나가고 있다.

〈表 47〉 淸淨海域 指定現況

指 定 番 號	海 域 名	面 積	最 初 指 定 日
計	4個所	20,438ha	
제 1 호	거제-한산만	2,121	'74. 7. 5
제 2 호	자란-사랑해역	9,492	'84. 5. 23
제 3 호	산양해역	4,249	'87. 11. 25
제 4 호	가막만	4,576	'87. 11. 25

資料 : 수산청 생산국 어장보전과

〈表 48〉 水産資源 保全地域 指定現況

	地 域 別	面 積	最 初 告 示 日 字
計	29個所	450,314 ha	
大單位水面	15個所	27,485	
	淸 平 湖	810	'86. 7. 21
	牙 山 湖	2,270	'84. 12. 27
	南 陽 湖	711	'84. 12. 27

	地 域 別	面 積	最 初 告 示 日 字
	破 虜 湖	1,026	'84.12.27
	昭 陽 湖	5,432	'86. 7. 21
	春 川 湖	1,507	'84.12.27
	大 清 湖	1,548	'86. 7. 21
	槐 山 湖	148	"
	禮 唐 湖	959	"
	挿 橋 湖	2,174	"
	雲 岩 湖	1,542	"
	羅 州 湖	780	"
	寶 城 湖	123	"
	榮 山 湖	4,508	"
	安 東 湖	3,947	"
河 川	4個所	9,189 ha	
	南 漢 江 上 流	60	'84.12.27
	襄 陽 南 大 川	99	'77.12.13
	盈 德 五 十 川	1,890	'78.11.22
	蔚 珍 王 遊 川	7,140	'82. 1. 8
海 域	10個所	413,640 ha	
	忠 南 淺 水 灣	24,323	'78.11.22
	全 南 莞 島	64,443	'82. 1. 8
	" 駕 莫 灣	29,859	"
	" 汝 自 灣	50,178	"
	" 得 糧 灣	46,375	"
	" 靈 光	30,890	"
	慶 南 閑 山 灣	56,778	'75. 3. 21
	" 鎮 東 灣	28,138	'78.11.28
	" 南 海·統 營 1	13,268	"
	" 南 海·統 營 2	69,388	'82. 1. 8

資料 : 수산청 생산국 어장보전과

2. 漁場環境 淨化

漁場環境 淨化事業은 공동어장, 양식어장 등 연안을 중심으로 老朽化된 어장을 되살리기 위한 사업으로서, 어장의 바닥갈이 등으로 底質을 개선하고 어장내에 堆積된 각종 오염물 수거와 불가사리 등 害敵生物을 구제하여 연안어장을 본래의 옥토로 가꾸어 汚染으로 인한 어장피해를 최소화하여 단위 生産性を 높이고자 '86년부터 '93년까지 국비 3,996백만원을 지원, 103천ha를 淨化하였고, '94년도에는 국비 4,060백만원을 지원, 32천ha를 淨化하여 공동어장 및 양식어장의 생산성을 증대하는 데 기여하였다.

또한 汚染이 深化된 연안어장을 효율적으로 淨化하기 위하여 '93년에 4,058백만원을 투입, '94년 8월에 어장정화선 2조7척을 건조하여 어장이 밀집되어 있고 상대적으로 汚染이 深刻한 전남도(1조3척)와 경남도(1조4척)에 配置·運營토록 함으로써 기존 소형어선으로 정화가 어

〈表 49〉

漁場淨化 事業實績

單位：百萬圓

	合 計		'93까지		'94	
	物 量	金 額	物 量	金 額	物 量	金 額
計		23,279		11,936		11,343
○ 漁場淨化	134,420ha	11,572 (8,056)	102,638ha	6,292 (3,996)	31,782ha	5,280 (4,060)
○ 漁場淨化船建造	4조	8,992	2조	4,058	2조	4,934
○ 漁港清掃船建造	7척	2,715	4척	1,586	3척	1,129

資料：수산청 생산국 어장보전과

註：() 는 국비

려운 해역에 대한 淨化에도 기여하였다.

한편, 어항이 개발되고 어항을 이용하는 어민과 이용자가 증가함에 따라 어항 수역내에 쓰레기 등 각종 汚·廢物 발생으로 인해 어항환경이 악화됨에 따라 '93년도에 1.586백만원을 投入, '94년 9월에 漁港清掃船 4척을 건조하여 동·서·남해 어항사무소에 각각 배치 운영함으로써 쾌적한 漁港內 오·폐물의 수거를 지속적으로 실시하여 漁港環境 악화를 방지해 나가고 있다.

아울러 바다를 깨끗하게 가꾸고 풍부한 資源을 造成함으로써 國民에게 수산물 등 고급 단백질을 供給하는 바다의 고마움과 水産의 중요성을 널리 알리고자 1994.6.17일 水産廳 主官으로 大統領을 비롯한 政府의 各界인사, 漁民, 水産關係機關 임직원, 公務員 등 940여명이 參席한 가운데 제1회 풍요로운 바다 가꾸기대회를 부산시 기장군에 소재한 國立水産振興院에서 개최하였다.

이날 行事는 大統領을 비롯한 參席者 전원과 全國沿岸에서 漁民, 環境團體 등이 동시에 바다清掃를 실시하였고 국민에게 환경보전의 중요성을 알리기 위해 전국 TV 生放送도 실시하였다. 行事場所에서는 넙치, 우럭, 전복 등 수산 種苗 65천마리를 放流하였으며, 어류표본, 어구개량, 양식어업 발전상, 수산가공품 현황 등 水産業 및 水産技術 발전상황 등이 전시되어 어민들 뿐만 아니라 전국민에게 바다를 깨끗이 하고 水産資源을 풍요롭게 보존·관리하여 바다를 삶의 터전으로 만들어야 된다는 공감대를 형성하는 좋은 계기가 되었다.

3. 赤潮 및 油類汚染 被害와 豫防

赤潮는 강우가 많아지고 水溫이 상승하는 5~10월에 걸쳐 주로 발생

하나, 여름철 高水温期에 沿岸海域에서 頻繁하게 발생하는 赤潮로부터 有用 수산 동·식물의 피해예방을 위하여 沿岸汚染防止 綜合對策의 일환으로 적조발생 방지 및 피해 예방대책을 수립 추진하고 있으며, 이에 따라 水振, 시·군 등과 합동으로 적조예찰반을 구성 인천, 목포, 여수, 충무 연안과 진해만 일원 등 赤潮 다발해역 58개 조사지점을 선정, 赤潮生物 분포 및 環境 등을 조사하는 한편 적조발생이 우려되는 海域에는 어촌지도 공무원의 상주배치와 어민 赤潮 감시원 지정으로 적조발생 정보를 수집하고 水産振興院 시험선의 調査 및 관계기관 합동 航空 監視도 실시하여 신속하고 정확한 赤潮豫報를 실시하였다.

또한, 경인, 전남, 경남 등 3개 지역의 시·도에 대하여는 赤潮 피해 대책위원회를 구성하여 相關기관·단체간 협조체제 강화로 赤潮發生 防止 및 被害豫防에 철저를 기하였다.

아울러 해상 운송 물동량 증가에 따른 油類汚染 事故로부터 海洋 生態系 및 水産資源의 被害豫防을 위하여 상기 綜合對策에 따라 관계기관 합동으로 시·도 주관 지역별 事故對策委員會를 구성하여 신속한 汚染防除를 실시하는 한편, 被害調査를 실시하여 그 결과를 토대로 당사자간에 원만한 合意賠償이 이루어질 수 있도록 하고, 대형 油類事故의 경우 國際油類損害 補償基金에 被害補償을 요청하는 등 適正 被害賠償에도 최선을 다하였다.

第 2 節 水産資源 造成

1. 人工魚礁 施設

人工魚礁는 수산자원의 産卵, 棲息에 적합한 환경을 조성, 水産資源

(表 50)

市·道別 人工魚礁 施設實績

單位 : ha, 百萬元

	計		'71~'93		'94	
	面積	金額	面積	金額	面積	金額
計	89,262	166,371	78,826	133,476	10,436	32,895
釜山	766	1,376	683	1,127	83	249
京畿	3,049	7,254	2,587	5,751	462	1,503
江原	13,171	22,399	11,973	18,892	1,198	3,507
忠南	4,851	10,426	3,678	6,941	1,173	3,485
全北	3,811	8,158	3,103	5,906	708	2,252
全南	18,529	32,603	16,341	26,599	2,188	6,004
慶北	13,540	24,276	12,328	20,769	1,212	3,507
慶南	19,986	36,690	18,283	30,808	1,703	5,882
濟州	11,559	23,189	9,850	16,683	1,709	6,506

資料 : 수산청 생산국 자원조성과

을 增強시키는 것은 물론 小型機船底引網 등의 불법어업을 방지하여 수산자원을 보호하는 효과가 있어 '71년부터 沿岸海域 10~50m 수심의 개발격지에 시설하고 있으며 '94년에는 32,895백만원을 투자, 10,436헥타를 시설하였다.

2. 種苗培養場 施設 및 生産放流

沿岸 水産資源의 증강을 위한 種묘방류 및 養殖用 種묘를 안정적으로 공급하고자 '73년부터 '94년까지 수산종묘배양장 11개소를 완공한데 이어 '92년도부터 '95년까지 건설을 추진하고 있는 충남 태안에 약 59억원을 투자, 대규모 종묘배양장 1개소의 敷地 買入 및 設計를 '92년도에 完了하였으며, '93년도에는 부지 정지 등 陸上 土木工事を 실시하

였고 '94년도부터 建築工事を 추진중에 있다.

또한 地域條件과 特性에 적합한 수산종묘를 대량생산 방류할 수 있도록 '94년도 전라남도(신안군)에 大規模 道立種苗培養場 施設을 지원, 시설후보지 선정 및 부지매입을 완료하였다.

國立水産種苗培養場에서는 '94년에 넙치, 참돔, 조피볼락 등 魚類가 2,387천마리, 전복, 진주조개, 피조개 등 貝類가 6,221천마리, 보리새우, 대하, 꽃게 등 甲殼類가 33,495천마리, 성게, 해삼 등 其他品種이 32,550천마리 등 총 74,653천마리의 種묘를 生産, 漁村契와 民間 養殖場 등에 分讓하거나 沿岸에 放流하였다.

〈表 51〉

水産種苗培養場 現況

單位：百萬圓, 千마리

	施設年度	施設費	主要生産種苗	生産實績	
				'76~'93	'94
計		26,963		326,676	74,653
北濟州	'73	957	소라, 전복, 참돔	17,397	700
江陵	'78	940	전복, 성게, 넙치	12,433	340
麗川	'79	1,154	전복, 꽃게, 돔	28,808	1,530
浦項	'80	781	전복, 성게, 넙치	9,550	600
巨濟	'82	1,263	넙치, 전복, 보리새우	117,935	19,281
莞島	'84	1,366	전복, 참돔, 조피볼락	19,894	500
保寧	'85	1,458	대하, 전복, 조피볼락	41,132	10,446
扶安	'86	1,520	꽃게, 조피볼락, 대하	21,032	12,303
南濟州	'87	1,579	조피볼락, 돌돔, 참돔	44,570	20,600
南海	'89	5,245	보리새우, 진주조개	13,135	7,333
蔚珍	'92	4,817	참게, 은어, 전복	790	1,020
泰安	'92~'95	5,883	(施設中)	-	-

資料：수산청 생산국 자원조성과

또한 연안어장 資源造成의 가속화와 자원 조성에 대한 民間의 參與를 유도하기 위하여 民間 種苗培養場에서 생산한 수산종묘를 '86년부터 買入, 沿岸에 방류하고 있으며 '94년도에는 163백만원을 투자하여 우럭·대하 등 32.951천마리를 買入, 放流하였다.

〈表 52〉 民間 種苗買入 放流實績

單位 : 千마리, 百萬元

	'86~'93		'94	
	物 量	金 額	物 量	金 額
計	138,024	996	32,951	163
꽃 게	2,603	84	-	-
우 럭	4,062	313	95	12
대 하	131,359	599	32,856	151

資料 : 수산청 생산국 자원조성과

第 3 節 養殖漁業 開發

1. 漁場 開發

양식어장 개발은 水産業法 제4조의 規定에 의한 漁場 利用開發 基本指針을 수립, 각 시·도와 國立水産振興院, 水協中央會에 시달하여 沿岸養殖 어장개발을 地先 다수어민의 所得源 확보 위주로 개발하고 기존 어장의 어장여건 변화로 계속 양식이 곤란할 때에는 外延漁場으로 대체 개발하거나 適正 品種으로 변경 개발하는 등 어장을 효율적으로 이용토록 함으

로써 海域特性和 養殖 水産物의 需要를 勘案한 적정 생산이 이루어지도록 하였으며, 適正 需給 調整이 필요한 김, 미역, 굴, 피조개, 툇 등은 안정생산 시책을 추진하여 전국 단위로 漁場開發 및 生産을 조절하였다.

이와 함께 海域別 양식어업의 주요품종으로는 南海岸은 魚類, 굴, 피조개, 김, 미역, 우렁쟁이, 眞珠조개 등, 西海岸은 김, 바지락, 굴(投石式), 새우 등을, 東海岸은 어류, 가리비 등의 어장을 개발하여 所得 増大를 도모하였다.

또한 WTO체제하의 水産物 輸入自由化에 대비하여 가리비, 眞珠조개, 魚類 등 국제 경쟁 우위품종을 중점 개발하고 國際 競爭力이 취약한 品種은 타품종으로 품종변경을 유도하는 등 양식품종의 國際競爭力 強化를 위해 施策을 추진하고 있다.

2. 生産基盤施設 擴充

養殖漁場의 안정적 생산과 경영 합리화를 위하여 종묘배양장, 사료저장고 등 양식생산 기반시설을 매년 정부에서 지원하고 있으며, '94년도

(表 53) '94 養殖漁場 生産基盤施設 支援現況

單位：百萬원

	事業量	計	融 資	自 擔
計	12個所	1,860	1,488	372
魚類種苗培養場	3 "	300	240	60
飼料貯藏庫	6 "	600	480	120
貝類種苗培養場	3 "	960	768	192

資料：수산청 생산국 증식과

註：지원율은 용자 80%, 자담 20%

에도 1,860백만원을 투자하여 魚類種苗培養場 3개소와 飼料貯藏庫 6개소, 貝類種苗培養場 3개소 등 總 12개소를 지원하여 안정적 경영을 도모하였다.

3. 漁場管理·指導

養殖漁場의 효율적인 관리와 부실관리 어장의 방지를 위하여 '94養殖漁場管理 및 指導指針을 각 시·도 및 유관기관에 시달하고 養殖 漁業權을 품종별, 양식 시기별로 區分, 定期的으로 實態調査를 실시하여 부실관리 漁業權은 關係法規에 따라 시정 조치하는 등 漁業秩序 확립방안을 강구하였으며, 漁場性を 勸案한 어장별 적정시설 지도와 함께 도·시·군, 水産振興院, 水協 合同으로 지역별 주요 養殖 品種別 主産團地에 대한 어장예찰 평가제를 강화하여 被害豫防 指導와 被害 發生時 신속 대처로 효율적인 어장관리에 만전을 기하도록 하였다.

第 4 節 內水面漁業 開發

1. 資源造成

댐·湖 등 大單位 水面을 비롯한 내수면에 '93까지 잉어, 떡붕어, 향어 등 稚魚 774백만마리를 放養하였으며, 은어, 빙어 등 人工受精卵은 '94년까지 3,198백만알을 방류하였다.

각 도 內水面研究所의 중요생산 기반이 확충됨으로 인해 '94년부터 中央政府의 지원없이 앞으로는 地方自治團體에서 種苗를 방류하도록 했다.

〈表 54〉

內水面 稚魚放養 実績

單位：萬마리, 百萬원

	合 計		'71~'92		'93	
	物 量	金 額	物 量	金 額	物 量	金 額
計	77,430	8,971	75,590	8,583	1,840	388
○ 잉어, 떡붕어	66,657	6,728	65,717	6,542	940	186
○ 향 어	10,773	2,243	9,873	2,035	900	208

資料：수산청 생산국 자원조성과

2. 技術開發 및 消費促進

內水面 養殖技術을 위하여 國·道立 內水面研究所(11개소)에서 찬넬메기, 산천어, 초어, 백년어 등의 優良種苗 3백만마리를 생산 양식어민에게 보급한 바 있으며, 新品種 開發을 위하여 산천어, 쏘가리, 참계, 자라, 동자개 등 10여종에 대한 종묘생산 및 양식기술을 시험 연구중에 있다.

한편 수산물 식량화 및 어민소득 증대를 위하여 淡水魚 양산체제를 구축하였고, 담수어 유통(直賣場)시설 설치 운영, 요리법 개발, 강습회 및 전시회 등을 실시하여 持續的으로 淡水魚 소비 촉진을 도모토록 하였다.

3. 연어 人工孵化 放流

정부에서는 동해안의 연어 資源 증강 및 北太平洋에서의 연어 모친국의 지위 확보 등을 위하여 '67년도부터 '93년까지 연어稚魚 100백만마리를 생산 방류한 바 있으며 '94년도에도 강원, 경북관내 3개 內水面 研究所에서 16백만마리를 人工孵化 동해안 12개 하천에 방류하였다.

'90년도부터는 放流 연어의 回歸率이 1.7%로 높아짐에 따라 정치망 등 어획강도가 낮은 漁撈漁業에 대하여는 採捕 禁止期間(10.11~11.30) 중에도 回歸 연어를 漁獲토록 하여 漁民 所得 增大를 기하고 있다.

〈表 55〉

연어 放流 및 採捕 實績

單位 : 千마리

年 度	計	'67~'91	'92	'93	'94	'94/'93
放 流 量	116.353	75.583	10.000	14.660	16.110	110%
採 捕 量	647	103	111	120	132	110

資料 : 수산청 생산국 자원조성과

第 2 章 漁業 構造調整과 漁業秩序 確立

第 1 節 漁業構造 調整

연근해어업은 어선세력의 증대에도 불구하고 '80년이래 漁業生産이 150만톤~130만톤 수준에서 정체되고 있으며 단위 생산성도 低下하는 등 연근해 어업 자원이 限界를 보이고 있어, 연안어업 조성사업의 증대와 병행하여 자원수준에 적합한 어선세력을 유지하는 시책이 요청됨에 따라 정부에서는 沿近海漁業의 자원감소, 수입개방 등 국내·외 어업여건 변화에 능동적으로 대처하여 어업생산성 향상 및 국제경쟁력을 제고시키기 위하여 현재 문제가 되고 있는 어업세력을 어업자원 수준에 적합하도록 정비하여 어선의 單位生産性を 높이고 경쟁력있는 어업으로 육성할 계획으로 '92년도에 한국농촌경제연구원에 어업자원, 어업경영실태, 어업별 적정 어선세력의 평가 및 어선감척 규모, 어선어구의 보상기준 등에 대하여 조사·연구토록 하여 '93년도에는 이 결과를 토대로 연근해어업 구조조정계획을 수립, '94년도부터 2004년도까지 3,100억 원을 투자하여 130천톤(7천여척)의 연근해어선 감척을 추진할 계획으로 있다.

이에 따라 '94년도에는 5,752백만원의 정부예산으로 연안수역에서 어린고기를 많이 혼획하여 어업자원 보호에 지장이 크고, 수산물 수입 개방시 국제경쟁력이 취약하며, 태풍 등에 의하여 해난사고가 많이 발생되어 어선감척이 시급한 해선망어선 972톤(49척)을 우선 감척하였다.

第 2 節 漁業制度의 整備·補完

1993년 6월 19일 水産業法 施行令이 개정됨에 따라 동법 施行令에서 위임된 사항과 그 시행에 관하여 필요한 사항을 정하는 한편, 현행 규정상 나타난 일부 미비점을 보완, 개선하기 위하여 漁業許可 및 申告 등에 관한 規則 등 4개 법령을 개정하였는데 그 주요 改正內容은 다음과 같다.

1. 漁業許可 및 申告 등에 관한 規則

첫째, 종전에는 漁業許可를 申請하는 경우 선박국적증서, 선적증서 또는 등록필증 사본을 반드시 제출하도록 되어 있었으나, 앞으로는 등록관청과 허가관청이 다른 境遇에만 提出하도록 하는 등 提出書類를 대폭 간소화하였고,

둘째, 허가된 漁業의 제한·정지, 어선의 계류 또는 取消處分の 措置를 취하는 경우 이의 기준을 정하여 어업허가를 받은 자에 대한 行政官廳의 자의적인 處分을 制限하였으며,

셋째, 중형기선저인망 어업의 기관마력을 450마력에서 550마력(회전수가 1,200이하인 경우는 450마력)으로, 기선저인망 어업의 기관마력은 220마력에서 350마력(회전수가 1,200이하인 경우는 220마력)으로 上向 調整하여 현재 생산되고 있는 機關의 마력과 일치시킴으로써 漁船의 기관대체에 따른 漁民의 불편을 해소하였고.

넷째, 老朽漁船을 다른 어선으로 代替하는 경우에는 노후어선을 폐기하거나 수출하도록 의무화하여 폐어선의 방치로 인한 海洋汚染을 방지하고 어항을 효율적으로 管理·利用하도록 하였으며,

다섯째, 종전에는 언제든지 潛水漁業을 할 수 있었으나 앞으로는 潛水器漁業의 야간조업을 금지하여 타인 소유의 共同漁場 및 養殖漁場의 침범을 방지함으로써 이에 따른 민원을 예방하도록 하였으며,

여섯째, 종전에는 축제식 養殖漁業은 사유수면이나 공유수면 여부에 불구하고 水産業法 제8조의 규정에 의한 免許를 받도록 하였으나 사유지 등 지목이 있는 수면은 水産業法 제41조의 규정에 의한 許可를 받을 수 있도록 개선하였다.

2. 漁獲物 運搬業 許可에 관한 規則

첫째, 漁獲物 運搬을 의뢰할 수 있는 漁業에 중형기선저인망어업 등을 새로이 추가하여 어획물 운반의 편의를 도모하도록 하였고,

둘째, 沿近海 漁獲物을 운반하는 운반선의 규모를 상향 조정하여 1회에 한하여 운반할 수 있는 漁獲物의 양을 늘림으로써 漁民의 편의를 도모하였으며,

셋째, 運搬業 許可가 취소된 자에 대한 허가의 제한기간이 종전에는 1년이었으나 앞으로는 이를 6개월로 短縮하여 運搬業 許可가 취소된

자에 대한 불이익을 완화하였고,

넷째, 老朽된 運搬船을 다른 운반선으로 代替하기 위하여 허가를 신청하는 경우 당해 노후 운반선을 廢船하도록 하여 老朽漁船의 放置 또는 불법어업에의 이용을 방지하도록 하였다.

3. 水産動植物 移殖 承認에 관한 規則

첫째, 種苗生産 어업자도 수산동식물을 이식할 수 있도록 하여 국내 養殖用 種苗의 수급 안정을 도모하고 국내 종묘의 수출로 외화획득에 기여토록 하였고,

둘째, 養殖漁業 관련업자가 시·도지사에서 시장·군수·구청장에게 위임됨에 따라 당해 수면을 관할하는 시장·군수·구청장에게 申請書를 提出하도록 하여 民願人의 便益을 圖謀하였으며,

셋째, 水産動植物의 이식시 국립수산진흥원장이 檢討하여야 할 사항을 구체적으로 明示하고, 국내 養殖漁場에 병충해가 유입되는 것을 방지하기 위하여 국내에 반입·이식되는 품종에 관한 자료를 사전에 징구할 수 있도록 하였고,

넷째, 국외 반출 승인품목의 병충해 감염여부 검사는 신청하는 경우에만 실시하도록 하여 적기 수출로 민원인의 편익을 도모하였다.

4. 漁業免許 및 漁場管理에 관한 規則

첫째, 漁業免許 유효기간 만료전 4월부터 3월까지의 사이에 어업권자에게 연장 허가를 받도록 個別 通知함으로써 신청기간 경과로 인한 어업권 소멸을 방지하여 어민 피해를 豫防할 수 있도록 하였고,

둘째, 종전에는 養殖漁業의 품종이나 해조류 養殖漁業의 양식방법을 변경하고자 하는 경우 새로이 면허를 받아야 하였으나, 앞으로는 어업권의 변경허가로서 이를 가능하도록 하고 양식어업권자의 種苗撒布申告日을 살포일 7일전에서 3일전으로 완화하여 행정사무의 간소화와 어민의 편익을 도모하였으며.

셋째, 養殖場 형망선의 기관 마력을 종전의 80마력(漁船 총톤수의 8배)이하에서 150마력이하로 擴大 調整하였으며.

넷째, 양식장 形망선이의 養殖漁場에 사용할 수 있는 관리선의 噸數·規模 등 漁業의 종류별 관리선의 규모를 설정하고, 漁場의 규모별 漁船隻數는 시·도지사가 지역 실정에 맞게 정한 기준에 따라 시장·군수·구청장이 隻數를 정하도록 하는 등 漁場을 효율적으로 관리할 수 있도록 하였으며.

다섯째, 일정 규모이상의 어류·새우·가리비 등의 養殖漁場에 水産技術者를 의무적으로 고용토록한 규정을 폐지하여 양식어업권자가 자율적으로 경영을 할 수 있도록 하였으며.

여섯째, 養殖漁場 청소시 使用裝備를 규정하였으나 이를 폐지하여 어업권자가 필요한 裝備를 선택 사용토록 하였으며.

일곱째, 養殖漁場 實態調査는 전 어업권에 대하여 매년 1회이상 실시토록 하였으나 시장·군수가 지역여건 및 漁場管理 實態를 고려하여 대상범위를 정하도록 함으로써 민원의 便益과 行政의 簡素化를 도모하였으며.

여덟째, 漁業免許 漁場의 기점과 漁場區域의 표지 설치방법을 정하여 漁場區域의 경계를 명확히 함으로써 漁業 紛爭 및 漁場 施設物의 피해를 사전에 예방하도록 하였다.

第 3 節 漁業秩序 確立

1. 不法漁業 追放

沿近海漁業은 '80년대 이후 伸張率이 鈍化되어 어획량이 최근에는 연간 230만톤 수준에 머물고 있으며, 일부 沿近海 資源의 減少 현상이 두드러지게 나타나고 있는 바, 이는 沿近海漁場의 범위가 한정되어 있는데 비하여 隣接國과의 操業競爭이 심화되고, 대단위 埋立, 干拓 및 海洋汚染 등에 의한 연안어장의 축소 및 漁場環境의 악화로 일부 어민에 의한 不法漁業과 稚魚 濫獲 등이 계속됨에 따른 것으로 분석되고 있다.

따라서 不法漁業에 의한 자원 남획을 방지하기 위해 '94년도에도 漁業秩序 確立對策을 樹立 推進하였으며, 總理室 主管 關係部處 對策會議 2회, 대통령비서실 주관 관계부처 政策調整會議 등을 개최하여 범 政府 차원의 協調體制를 갖추고, 중앙에는 수산청 차장을 위원장으로 한 內務部, 法務部, 國防部, 檢察廳, 警察廳, 관계국장과 수협이사로 不法漁業根絶中央對策委員會를 구성 운영하고, 地方에는 부시장 또는 부지사를 위원장으로 한 地方檢察廳, 警察廳, 海警署 등 관계기관과 수협 조합장 등이 참석하는 地方對策委員會를 구성하여 漁業秩序 確立對策 推進狀況을 분석 평가하고 地域別, 유형별 不法漁業 動向을 把握하여 효율적인 團東方案을 마련하는 등 有關機關間 緊密한 協調體制로 漁業秩序 確立에 주력하였다.

또한 不法漁業 根絶 弘報와 어민 啓蒙을 위하여, 어민 결의대회 및 간담회를 開催하고 漁民教育도 연인원 330천명을 실시하였으며, 4월과 9월을 不法漁業 豫防 집중 홍보의 달로 정하여 水産廳, 市·道, 市·郡의

전 수산 공직자와 수산청 산하 수산단체 및 機關이 참여한 가운데 漁業秩序 確立의 필요성에 대한 홍보를 전개함으로써 水産資源 保護와 관리에 대한 認識을 새롭게 하였다.

아울러 不法漁具 自進 返納運動을 전개하여 불법어구 총 7,910통을 자진 반납 받았으며, 이 중 合法漁具를 購入하기를 희망하는 漁民들에게는 어구 구입비를 지원하였으며, 漁民들이 연중 操業할 수 있도록 연승, 유자망, 통발 개량안강망 漁業을 신규로 허가 처분하였다.

不法漁業 團束도 수산청과 시·도, 해경청이 공조체제를 갖추고 不法漁業 우심해역과 우범 항·포구를 집중 團束한 결과 4,004건을 단속하여 사법처분과 漁業停止 등 行政處分을 하였으며, 수산청 주관 합동단속도 헬리콥터를 활용하여 공중에서 불법어선의 동향을 파악해 출동중인 지도선과 교신 단속하는 등 연 12회 752건을 團束하였다. 이 중 常習的 企業型 不法漁業者 129명에 대해서는 검찰에 구속 품신하는 등

(表 56)

不法漁業 團束實績

單位 : 件

	'91	'92	'93	'94
計	2,620	2,888	3,797	4,004
大型機底(트롤)	99(68)	101(60)	116(64)	83(50)
中型機底	74	129	197	148
小型機底	1,073	1,129	1,568	1,608
機船형망	124	152	132	168
潛水機	61	65	99	79
流刺網	92	121	149	172
其他	1,098	1,191	1,536	1,746

資料 : 수산청 생산국 지도과

處罰을 強化함으로써 不法漁業이 전국적으로 위축되게 했으며, 또한 操業區域을 위반하여 操業한 대형트롤, 기선권현망 등 허가사항 위반 漁船도 檢舉하여 사법, 행정처벌 등 사항별로 단속 조치하였다.

또한 不法漁業者 친목 團體와 不法漁具 전문 제작자 명단을 關係機關에 通報하여 단속토록 하였으며, 不法漁業 死角地域인 시·도 경계수역은 인접 시·도간 合同團東班을 편성 團東公務員을 상호 교체 승선시켜 단속하는 등 인접 시·도간 공조체제를 갖추어 海域별로 合同團東을 실시하였다.

水協에서도 不法漁業者 組合員 除名, 免稅油類 및 水産機資材 공급 중지, 영여자금 회수 및 貸出 중지 등 不法漁業者에 대해서는 신분상으로도 경제적으로 不利益을 받도록 조치하였다. 또한 기동력 確保와 團東裝備 補強을 위하여 300톤급 水産廳 指導船 3척을 대체 建造하고 단속용 쾌속정도 10척을 보강하였으며, 시·도에서는 30~60톤급 指導船 7척을 建造하였다.

이와 같이 漁業秩序 確立을 위한 모든 행정력을 동원하고 다각적인 政策을 수립 추진한 결과 不法 小型기선저인망 등이 전국적으로 감소하는 등 漁業秩序 確立의 전기를 마련하였다.

〈表 57〉

漁業指導船 現況

單位：隻

	計	噸 級 別			
		10~49	50~150	300~500	1,300이상
計	72	44	13	10	5
水産廳	18	1	2	10	5
市·道	54	43	11	-	-

資料：수산청 생산국 지도과

2. 安全操業 指導

沿近海에 出漁하는 漁船의 安全操業 指導를 위하여 東海·大和堆 海域의 오징어 盛漁期(6.15~12.31)와 황해·東中國海에서의 병어 盛漁期(3.1~7.31), 西海 特定海域의 흥어 盛漁期(10.1~다음해 4.30)에는 매년 500톤급이상 대형지도선을 배치하여 漁撈 보호 및 操業紛爭 예방 지도를 기하였고, 특히 遠海漁場에는 1,500톤급의 福祉母船을 출동시켜 조업중인 어선에 油類, 얼음, 기관부품 등의 船需品을 供給하고 應急患者에 대한 치료와 구급약 등 의약품을 제공하였다.

또한 沿近海 出漁船의 안전조업을 위하여 전국 주요 港·浦口 39개소에 소재하고 있는 선박 출입항 신고기관인 統制所 및 合同申告所에 水協의 어선안전 점검요원 96명을 배치하여 출항어선에 대한 항해 및 通信裝備의 安全點檢 실시와 出漁 登録, 船團 編成 등의 지도를 함으로써 漁船이 航海 또는 操業中에 발생할지 모르는 각종 海難事故 및 越線 被拉사고를 미연에 방지토록 함으로써 연근해 어선의 安全 操業 및 어민의 생명과 재산 보호에 크게 기여하였다.

3. 操業海域 擴張 및 規制 緩和

東·西海 操業海域 擴張과 沿近海 漁船의 海難事故 예방 등을 위해 어선 안전조업 규정(수산청고시 94-10호, '94.7.11)을 개정하였다.

주요 내용을 보면 동해 대화퇴 해역 조업자제 해역을 북쪽 러시아 경제수역쪽으로 20마일 확장하고 西海 特定海域의 서쪽 조업자제 해역은 일·중 어업협정선까지 20~30마일 확장하여 沿近海 漁船의 조업해역을 대폭 확장하였으며, 또한 강화도 주변어장(만도리어장)의 조업기간을 3

월1일부터 10월 31일까지에서 11월 30일까지로 1개월 연장하는 한편 강원도 연안 7마일 이내 해역에서 폭풍주의보 발효시 7톤 이상만 출어하도록 허용하던 것을 5톤이상 어선도 출어 허용토록 규제를 완화하였다.

그러나 沿近海 漁船의 해난사고 예방을 위하여 태풍내습으로 인한 기상특보(파랑주의보, 폭풍주의보)가 발효될 때에는 15톤미만 어선에만 出港을 금지시키던 것을 30톤미만 어선까지 출항을 금지하도록 출항금지 범위를 강화하였고, 通信施設을 보유하지 않은 5톤미만 小型漁船에 대해서는 라디오 비치를 의무화하여 海上에서 操業中 氣象特報 事項을 청취하도록 하였다.

전국 주요 港·浦口에 설치한 漁業無線局에서는 기상특보 발효시 특보 내용과 어민 준수사항을 매시간 방송하여 漁船들이 신속하게 대피하도록 유도하는 한편 수협은 어선 대피 상황을 4시간 간격으로 水産廳 狀況室에 보고하도록 하였다.

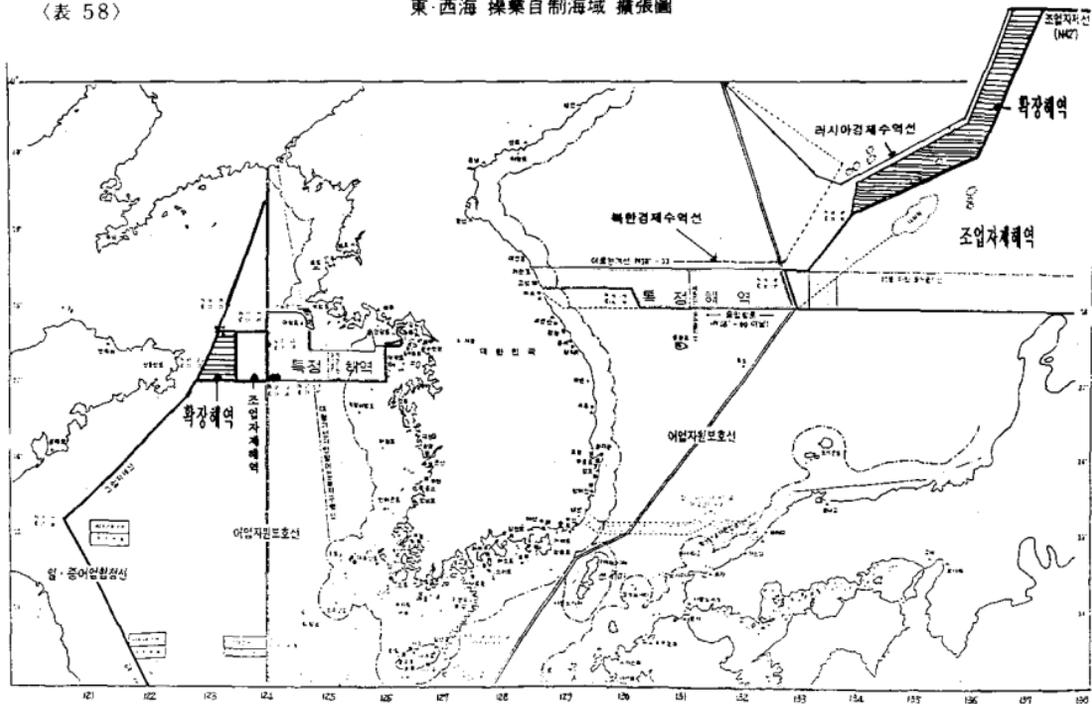
금번 東·西海 操業海域이 擴張(14,800km²)됨에 따라 오징어와 우럭, 홍어, 꽃게 등 수산물이 연간 약 9,000톤 증산되어 130여억원의 漁民所得이 增大될 것으로 기대되며, 강화도 周邊漁場 操業期間 延長, 강원도 沿岸의 出漁 統制基準 緩和로 漁民들의 고정 사항 해소는 물론 人命과 財産被害도 크게 감소시킬 것으로 豫想된다.

한편 沿近海 出漁船에 대한 船團 編成基準을 완화하여 어민의 出漁 操業活動 및 便宜를 도모하기 위해 선박 안전조업규칙(內務部, 國防部 農林水産部, 交通部 4부 合同部令)을 關係部處와 협의 '94.10.15일 改正하였다.

주요 내용은 一般海域 出漁船의 단독 出港을 허용하고, 다만 통신시설이 없는 어선이 12해리 밖에 출어 조업하고자 할 경우에 한해 통신시설이 있는 어선과 선단편성(2척이상)하여 조업토록 하였고, 특정해역

〈表 58〉

東·西海 操業自制海域 擴張圖



資料 : 수산청 생산국 지도과

출어선의 선단을 3척이상에서 2척이상으로 편성토록 어선 선단편성 기준을 완화하였다.

또한 백령도 서방 근해어장 확장을 위해 어선 안전조업 규정(수산청 고시 제94-22호)을 '94.11.11자로 개정 고시하였다.

금번 확장되는 어장은 漁撈限界線밖 白翎島 서방 약 7마일 해역의 10km²로서 그동안 조업이 금지되어 왔던 수역이며, 大靑島, 小靑島 漁民들이 대청어장내의 어황불황을 극복하기 위하여 '92년도부터 조업 허용을 요구해 왔던 수역으로, 동 어장에 출어 조업할 수 있는 어선은 대청, 소청도 어선중 대청도 어선 어업구역에서 조업하는 漁船으로 S.S.B(무전기)와 漁船位置 自動측정기를 設置하고 외줄낚시 漁業을 하는 漁船에 한해서 경기도 용진군 어업지도선의 지도하에 월 4일 이내(조금시기)에서 주간에만 조업토록 허용함으로써, 동 어장에서 우럭, 노래미 등을 漁獲하여 연간 약 19억원의 어민소득이 증대될 것으로 기대될 뿐아니라, 西海 接敵海域 島嶼漁民들의 오랜 宿願事項이 해결되었다.

4. 漁業無線局 運營

水協中央會가 運營하는 漁業無線局은 '94年度末 현재 35개소로서 交信加入 漁船이 11,986隻이다. 漁業無線局은 매일 조업어선의 위치를 把握하여 安全을 확인하고, 漁業 氣象放送을 실시하며, 暴風, 颱風 來襲時에는 어선을 안전한 港·浦口에 대피 유도하는 등 安全操業 指導와 漁業通信을 遂行하고 있다.

특히 東·西海 特定海域에서 操業하는 어선에 대하여는 無線測位를 실시하여 越線, 被拉事故를 미연에 방지하고, 漁船이 海難事故를 당하였을 때에는 救助機關과 사고장소 부근에 있는 어선에 신속히 알려 어민

의 생명과 재산을 보호하는 데 중점을 두고 運營하고 있다.

또한 漁業無線局 技術 要員으로 하여금 漁船 通信裝備 3,742대를 無料로 수리토록 하였고 落島, 僻地에 소재한 어선 1,198척과 27MHz대 10W以下 小出力 無電機 設置漁船 1,065척의 無線局 檢査를 대행하여 줌으로써 어민 편리를 도모하였다.

정부에서는 漁船 安全操業 指導業務를 수행하는 漁業無線局에 대하여 '94년도에 運營要員 人件費 3,391백만원(總 人件費의 65%)과 SSB 무선전화송수신기, 전파수신기, PC 등 9종의 通信裝備 70대와 麗水, 九龍浦 漁業無線局的 送信所에 대한 無人化 運營 施設事業費 498백만원을 支援하여 漁船과 通信疏通을 圓滑히 하는 데 기여하였다.

5. 漁船標識板 附着制度 改善

沿近海 漁船에 附着하는 標識板의 두께와 기재내용, 附着方法과 봉인 요령 등을 개선함으로써 標識板의 破損 防止와 內容 識別이 용이하도록 하는 한편 어민 편의의 도모와 행정수행의 능률을 제고코자 漁船 標識板 規格 및 附着 要領을 '94.5.24일 개정, 시행하였다.

주요 내용은 標識板의 破損 防止 및 內容 識別을 용이하게 하기 위하여 標識板의 두께 상향 조정과 기재내용을 단순화하는 한편, 漁民便宜 도모와 행정수행 能率 提高를 위하여 標識板 交付 및 封印機關을 시·도, 시·군·구에서 읍·면까지 확대 시행토록 하였다.

또한 標識板 附着時 漁船의 船質 및 附着場所 여건에 따라 附着方法을 選擇 利用토록 附着方法을 多樣化하고 封印要領을 現實에 맞도록 改善하였다.

第 3 章 漁村 綜合開發과 漁業 基盤施設 擴充

第 1 節 漁村 綜合開發

1. 漁村 綜合開發

'70년대 이후 우리나라 경제는 輸出 主導型 經濟開發 政策의 강력한 추진으로 괄목할만한 성과를 거두었다. 그러나 그 간의 급속한 경제 성장에 따라 인구나 산업의 과도한 도시 집중, 지역간 또는 도시~농촌간 불균형, 환경오염과 자연훼손 등의 문제가 1970년대 후반부터 심각하게 나타나기 시작하였으며, 1980년대에 들어오면서 학계와 관련 중앙부처에서는 이러한 문제들을 극복하기 위해 國土開發 戰略의 전환 필요성을 강하게 인식하게 되었다.

이러한 국내적인 地域 政策與件의 변화와 더불어 1970년대 이후 세계의 새로운 조류를 형성하고 있는 上向의 開發(development from below)을 paradigma(Paradigm)으로 하는 지역개발론과 주요 국가의 지역정책 변화는 우리나라의 국토개발 기조의 변화 또는 개발전략의 전환을 모색하는데 있어서 매우 영향력 있는 준거가 되었다. 위와 같은 배경하에 어촌에 있어서도 현대적 의미의 漁村開發 政策이 본격적으로 시행되었다.

‘80년대 중반까지의 수산정책이 增産爲主의 産業政策이었던 관계로 기술수준이 낮거나 소규모인 연안어민 및 어촌은 개발여건이 구비되고 잠재력이 있으면서도 일부 품목에 국한된 소량의 사업만을 수행할 수밖에 없어 그 투자효과가 지속적으로 소득증대와 연결되지 못하고 단기간에 끝나 버리는 결과를 초래하였다.

이러한 문제점을 해결하기 위해 ‘88년부터 어·패류 양식 등 소득증대 사업과 소득원 도로 등 생산기반시설 및 상·하수도, 어민회관 등 어민 복지시설을 상호 연계시켜 어촌계 스스로가 선택, 시설할 수 있도록 支援方式을 전환하여 ‘88년부터 ‘92년까지 시범사업으로 65개소에 18,742백만 원을 투입하였다.

그러나 示範事業 시행결과 단위 마을(어촌계)별 지원으로 인한 각종 기반시설의 分散 投資로 사업의 효과성이 저하되고 마을간 바람직스럽지 못한 경쟁을 초래하는 것으로 나타나 1994년부터는 灣中心의 圏域別 綜合開發 方式으로 전환하였으며 권역당 사업비를 13억원으로 증액, 10개소에 13,170백만원을 지원하였다.

〈表 59〉 漁村綜合開發 示範事業 支援實績

	計	‘88~‘91	‘92	‘94
事業量(個 所)	75	47	18	10
事業費(百萬元)	31,912	13,892	4,850	13,170

資料 : 수산청 수산정책국 어촌개발과

註 : (지원율) ‘88~‘92년 : 국고 70%, 지방비 30%

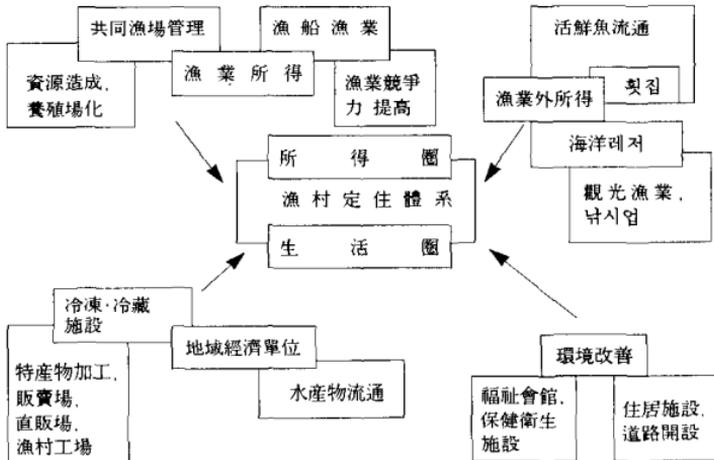
‘94년 : 국고 50%, 지방비 45%, 자담 5%

<表 60> 漁村 綜合開發事業 施設內譯

	施設 區分	細 部 事 業 內 譯
陸 域	어촌환경시설 유통가공시설 복 지 시 설	정화시설, 폐선처리시설, 폐기물처리시설 산지가공시설, 냉동냉장시설, 작업장, 직판장 숙박식사시설, 공동육장, 회판, 해안조명시설
接 岸 域	어선계류시설 해 안 시 설 어촌관광개발	방파제, 선착장, 물양장, 船揚場 防砂施設, 보건시설, 해안도로 활어횃집, 낚시터, 유어선, 체험어장시설
水 域	수산자원조성 고 정 물 시 설	종묘생산, 종묘방양, 양식시설, 인공어초 해증가두리, 潛堤, 해류변경시설

資料 : 수산청 수산정책국 어촌개발과

<表 61> 漁村綜合開發 基本 構想圖



資料 : 수산청 수산정책국 어촌개발과

2. 漁民 福祉會館 建立

다른 산업에 비하여 지리적 여건 및 작업환경이 열악하며 또한 소득 수준이 상대적으로 저위에 있는 어민들의 생활 환경을 개선하고, 입·출항 어선원들의 건전한 休息 空間을 제공하고자 '89년부터 시설부지를 확보한 地區別 水協부터 숙박시설, 목욕탕, 구판장 등 종합적 편의시설을 갖춘 漁民福祉會館을 全額 國庫補助로 지원하고 있으며 '94년도에는 4개소(전남 보성군 수협, 경북 죽변수협, 경남 남해군 수협, 제주 서귀포시 수협)에 1,080백만원을 지원하였다.

이와 같이 정부지원에 의해 건립된 어민복지회관은 어민을 위한 각종 教育, 集會場所 및 禮式場 등으로 활용되고 있으며 어촌사회의 문화, 복지 및 生活情報 交流의 구심적인 기능을 수행하고 있다.

〈表 62〉

漁民福祉會館 建立實績

	計	'89~'91	'92	'93	'94
事業量(個 所)	25	10	7	4	4
事業費(百萬元)	6,389	2,753	1,476	1,080	1,080

資料 : 수산청 수산정책국 어촌개발과

3. 漁村觀光 所得源 開發

국민소득의 지속적인 향상으로 국민의 생활여건이 호전됨에 따라 休息空間, 觀光地, 文化空間에 대한 수요가 크게 늘고 있다.

이러한 도시민의 레저수요를 풍부한 관광자원을 지닌 어촌지역으로 유치하여 국민정서의 함양은 물론 어촌 유희 노동력의 雇傭機會 創出과 所得增大를 도모함으로써 어민들의 어촌 정착기반을 마련하고자 '90년부터 어촌관광 소득원 개발사업을 추진하였다.

동 사업은 부존자원의 개발효과가 기대되고 사업경영 능력과 자담능력이 있는 어촌계를 선정하여 활어횃집, 숙박시설, 휴게소, 관광선의 시설을 추진하였으며, 사업비는 農漁村發展基金에서 용자 60%, 지방비 보조 30%, 자담 10%로 지원하고 용자금의 상환기간은 3년거치 7년상환에 급리는 년 5%이다.

〈表 63〉 漁村 觀光開發 推進實績

	計	'90~'91	'92	'93	'94
事業量(個 所)	45	14	8	9	14
事業費(百萬圓)	3,913	1,057	823	815	1,218

資料 : 수산청 수산정책국 어촌개발과

第 2 節 漁村人力 育成

1. 漁業人後繼者 育成

'60년대 이후 공업화 내지는 도시화가 급속히 추진됨으로써 상대적으로 낙후된 어촌에서는 유능한 청소년들의 離村으로 새로운 지식과 기술보급 미흡, 漁業 勞動力의 질적 저하, 도시와 어촌간 所得隔差 深化로 漁村經濟의 활력이 저하되어 어촌의 低成長과 생산력 둔화 현상이 나타나고 있다.

이러한 문제를 해결하기 위하여 어촌에 정착할 능력있는 유능한 청소년을 발굴, 지원사업을 계속 추진하고 있으며, 최초 착수년도인 '81년부터 '94년까지 7,232명의 청소년을 선발하여 782억원의 長期低利 資金을 지원하였다.

그 결과 이들은 漁村社會의 유능한 지도자가 되어 새기술과 새품종의 보급 등 역할을 수행하여 새로운 所得源 開發 및 生産原價의 節減, 漁民所得 增大 등 어촌경제 활성화를 촉진시켜 나가고 있다.

한편, '92년도부터 시작된 專業漁家 育成事業에 있어서는 '94년 현재 300명을 선정하여 150억원(1인당 50백만원)을 지원하였다.

〈表 64〉

漁業人後繼者 育成 支援實績

單位：名, 百萬元

	合 計		'81 ~ '93		'94	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
計	7,532	93,200	6,791	76,200	741	17,000
○ 漁業人後繼者	7,232	78,200	6,591	66,200	641	12,000
- 漁船漁業	4,223	46,121	3,894	39,900	329	6,221
- 增養殖漁業	2,908	30,866	2,612	25,415	296	5,451
- 水産物加工	101	1,213	85	885	16	328
○ 專業漁家	300	15,000	200	10,000	100	5,000

資料：수산청 수산정책국 어촌개발과

漁村 靑少年에 대한 教育은 어촌에 정착하여 어촌社會의 指導者로서 福祉 漁村建設의 기수로 육성하고 있는 어업인후계자를 대상으로 주로 실시하고 있으며, 어업인후계자 교육은 新規 어업인후계자에 대한 정신 교육 및 사업기반 조성에 필요한 기술교육과 專業漁家에 대한 보수교육으로 구분하여 실시하고 있다.

漁業人後繼者로 선발되면 水産公務員教育院에서 3일간 정신교육 및 기술교육을 이수하도록 하여 어업인후계자에게 漁村定着 의욕과 사명감을 고취시키고 국가관의 확립과 근면하고 검소한 생활 풍토를 조성하여 福祉漁村 건설을 주도할 漁村指導者로서 자질을 함양시키는 데에 주력하고 있으며 또한 기술교육을 통하여 과학적인 漁業經營의 능력을 배양하고 신품종과 선진기술의 보급, 현지 漁場 實習과 見學을 통한 체험적인 교육을 실시하고 있고 教育課程은 漁船漁業班의 3개반으로 편성하여 분야별로 專門的인 教育을 실시하고 있다.

보수교육은 어촌에 정착하여 漁業 經營能力과 施設 現代化로 성장 잠재성을 지닌 後繼者를 專業漁家로 선정하여 4일간 정신교육 및 기술교육을 이수하도록 하여 漁村構造를 개선시키고 지역발전에 선도적 역할을 수행하는 수산역군의 배출에 중점을 두고 있다. 분야별로는 漁船漁業, 海藻類養殖, 貝類養殖 등 전문과목으로 구성되어 있으며 특히 專業漁家에 대한 교육은 경험식 위주의 교육으로 토의 및 상호 정보교환 그리고 현장견학 중심으로 편성되어 실시하고 있다.

<表 65>

漁業人後繼者 教育現況

單位：名

	計	'81~'91	'92	'93	'94
計	7,149	4,226	1,096	1,090	737
○ 新規漁業人後繼者	6,853	4,226	998	991	638
- 漁船漁業班	3,958	2,509	554	566	329
- 海藻類養殖班	1,348	796	201	215	136
- 貝類養殖班	763	542	92	73	56
- 魚類養殖班	784	379	151	137	117
○ 專業漁家	296	-	98	99	99
- 漁船漁業班	100	-	32	32	36
- 水産養殖班	196	-	66	67	63

資料：수산청 수산공무원교육원

2. 水産系 高校 支援

우리나라 漁村은 産業化에 따른 漁業人口의 減少, 청·장년층의 漁業 從事 忌避와 都市進出 등 어촌사회의 急激한 變化로 어촌정착 忌避 現象이 심화됨에 따라 정부에서는 漁村發展對策의 일환으로 1986년 문교부 주관하에 水産高等學校 육성계획을 수립하여, 水産業을 합리적으로 자영할 수 있는 漁業人後繼者 육성과 어촌에 정착하여 수산업 발전에 先導的 役割을 담당할 젊고 활기찬 優秀人力을 확보할 목적으로 기존 水産系 고등학교중 4개교(注文津, 大川, 莞島, 巨濟 水産高等學校)에 自營水産科를 설치 운영하고 있다.

自營水産科 학생에게는 入學金과 授業料를 면제해 주고 있으며, 寄宿舍 食비 일부를 보조하는 등의 혜택을 부여하고 있다. 機關別 支援內容은 入學金과 授業料 면제는 교육부에서, 寄宿舍 食비는 수산청 50%, 교육부 20%, 道敎委 10%를 각각 補助하고 나머지 20%는 학생이 부담하고 있다.

우리 청에서 支援하는 寄宿舍 食비는 1988년부터 계속 지원하고 있으며, 1994년도 114백만원을 支援하였다.

〈表 66〉

年度別 寄宿舍 食費 補助現況

單位：百萬元

計	'88	'89	'90	'91	'92	'93	'94
620	28	58	84	110	113	113	114

資料：수산청 생산국 연근해과

3. 海技士 養成 및 漁業技術 訓練

韓國漁業技術訓練所에서는 '66년부터 '94년까지 3,941명의 우수한 海技士를 양성 輩出하였다. 그리고 정부의 對外技術 協力事業의 일환으로 開發途上國의 어업분야 연수생을 '68년부터 매년 초청하여 '94년까지 총 82개국 436명을 教育 訓練시켜 遠洋漁業의 海外 進出과 國위 선양은 물론 國際協力 증진에도 크게 寄與하였다.

또한 乘務經歷이 없는 일반선원에 대한 新規教育 과정과 船員 海技士 안전교육 과정, 기타 연수 및 補修教育 과정을 통해 57,574명을 배출하여 선박의 安全運航, 어업 생산성 향상, 선상폭력 및 안전사고 방지에 크게 기여하였다.

특히 海技士 안전교육을 全國 海岸의 현지 巡迴教育으로 실시, 교육생의 시간 및 경비를 節減케 하여 원거리 어민들의 편의를 도모하였고 漁船이 적기에 출어가 가능토록 배려함으로써 對漁民 봉사자세를 確立하는 데 주력하였다.

〈表 67〉 韓國漁業技術訓練所 教育實績 單位：名

	計	'66~'90	'91	'92	'93	'94
計	61,951	25,111	10,270	12,997	7,376	6,197
海技士養成教育	3,941	3,632	81	53	92	83
一般船員養成教育	16,867	2,607	2,721	5,485	3,311	2,743
安全및海難防止教育	29,223	16,286	2,454	4,506	3,332	2,645
沿岸船職務教育	1,452	-	6	428	623	395
遠洋船職務教育	162	-	-	-	-	162
其他教育	9,870	2,203	4,992	2,506	6	163
外國人研修教育	436	383	16	19	12	6

資料：한국어업기술훈련소

第 3 節 漁港建設 擴充

우리나라 全國 沿岸에는 수산청장이 관리하는 85개 1·3種 어항과 시·도지사가 관리하는 323개의 2種 어항이 漁港法에 따라 指定·開發되고 있다.

〈表 68〉

全國 漁港 指定現況

單位：個港

	指 定 港 數	水 産 廳 管 理		市 道 管 理
		1種	3種	2種
計	408	51	34	323
釜 山	16	2	~	14
仁 川	37	-	4	33
京 畿	7	-	~	7
江 原	26	10	~	16
忠 南	35	4	1	30
全 北	18	1	4	13
全 南	131	10	15	106
慶 北	35	9	2	24
慶 南	82	10	6	66
濟 州	21	5	2	14

資料：수산청 시설관리국 어항과

1. 1·3種 漁港

'94년까지 1·3種 漁港 85개항중 48개항을 完工함으로써 56.5%를 개발하였으며, '94년도중 1·3種 漁港開發은 完工위주 방향으로 漁船의

安全收容을 위하여 防波堤 등 외곽시설 開發에 중점을 두어 推進하였으며 全南의 소흑산도항 등 34개항에 대해 427억원을 투자, 防波堤 등 3,467m를 施設하였다.

또한 漁港의 機能 提高를 위하여 24개항에 133억원을 투자, 老朽·脆弱 施設에 대한 補修·補強 事業도 推進하여 施設物의 안전도를 높였다.

한편 시설 완공후 장기간의 경과로 港勢 등의 여건변화, 시설노후, 매물 등으로 인한 이용 불편 해소와 漁港의 기능 및 역할 변화에 따라 현재의 여건에 부합되도록 미조항 등 2개항에 대한 漁港 整備調査를 실시하여 항세와 여건에 부합되도록 시설계획을 재조정 하였으며, 시·도지사 관리 2종 어항중 항세가 신장된 3개항에 대하여 1·종 어항지정 타당성 조사를 실시하였다.

2. 2種 어항

시·도지사가 관리하는 2種 漁港 323개항중 '94년까지 132개 어항을 完工함으로써 40.9%를 개발하였으며, '94년에는 475억원(국비 214억원, 지방비 261억원)을 투자하여 防波堤 등 2,300m를 시설하였다.

〈表 69〉

漁港開發 現況

單位：個港, 億원

	總 計 劃		'93까지		'94		殘 量	
	港數	金 額	港數	金 額	港數	金 額	港數	金 額
計	408	21.955	169	5.897	11	1.036	228	15.022
1. 3종어항	85	11.438	48	4.786	-	561	37	6.091
2 種어항	323	10.517	121	1.111	11	475	191	8.931

資料：수산청 시설관리국 어항과

3. 制度改善

어항법('93.6.11) 및 동법 시행령('93.12.31)의 전문 개정에 따라 동 법령에서 위임된 사항과 그 시행에 관한 어항법 시행규칙을 제정하여 '94.8.19일 공포하였으며 그 주요내용으로는

첫째, 漁港의 지정기준은 제1종 어항은 港間 距離를 종전과 같이 10km, 3종 어항은 종전 港間 距離를 20km에서 10km로 완화하고 2종 어항은 巷間 距離 관계없이 지정개발이 가능토록 하였으며, 이용어선의 척수 및 톤수 또는 어획량에 관한 세부기준을 수산청장이 정할 수 있도록 함으로서 漁港 확대 지정개발의 길이 넓혀짐으로서 어촌정주권 개발과 연계하여 어항개발을 촉진토록 하였으며,

둘째, 지방항인 제2종 어항의 경우 광역시장, 도지사가 어항시설 사업 중 基本施設 사업에 관한 事業費를 補助 받고자 하는 경우에만 漁港의 지정전에 수산청장과 협의토록 개정하여, 지방자치단체 예산으로만 어항을 건설하는 경우에는 협의할 필요가 없도록 하였으며,

셋째, 非管理廳이 어항시설 사업의 許可를 받고자 할 때에는 어항시설 사업계획서를 관리청에 제출토록 하고 어항시설 사업허가를 받은 자(비관리청)는 허가받은 날로부터 6개월 이내에 어항시설 사업실시계획을 관리청에 제출토록 규정하였다.

넷째, 어항시설의 使用 또는 占用의 許可는 공익 목적에 부합되어야 하고 기간은 3년이내로 정하였으며, 신고로서 어항시설을 사용·점용할 수 있는 기간은 30일이내로 한정하여 다수의 漁民이 효율적으로 이용토록 하였고,

다섯째, 어항시설의 사용 또는 점용허가를 받은 자에 대하여 당해 어항시설의 가액에 1천분의 50을 곱한 금액을 年間 使用料로 또는 占用料

로 하되 일할로 계산토록 하는 등 어항의 이용관리에 관한 세부규정을 정하였다.

第 4 節 漁撈施設의 現代化

1. 漁船建造 支援

'94년에는 국고보조가 수반되는 老朽漁船 代替事業과 農漁村構造改善 特別會計에 의한 經濟性漁船 建造事業을 지원하여 海難脆弱 老朽漁船을 경제성있는 어선으로 대체·건조하는데 주력하였으며, 또한 40톤미만의 소형어선은 수명이 길고 유지·보수 등 관리비가 절감되어 경제성이 우수한 合成樹脂(FRP) 어선으로 대체토록 하여 어선의 船質改良을 적극 유도함으로써 어선 현대화와 어업경영 개선을 통한 어민소득 향상에 기여하였다.

2. 漁船機關 代替, 裝備·設備 改良 등 支援

어선의 조업능률 향상과 해난사고를 미연에 방지하고 油類費 절약을 위하여 燒球 및 陸上用 機關 등의 低效率 機關과 老朽機關을 효율이 좋고 성능이 우수한 선박용 디젤기관으로 代替 支援함은 물론 漁撈設備의 機械化, 自動화를 위한 어로장비 및 설비의 대체와 신규 지원, 어획물의 선도유지를 위한 냉동설비 개량 지원, 선원 주거환경 개선 지원, 항해 안전장비의 구입 지원 및 어선용 기계구입 보조(100만원) 지원으로

조업능률 향상 및 어업생산성 제고와 안전조업을 도모하여 어업경영 개선에 크게 이바지하였으며 또한 漁船用 機資材 生産業體에 대한 운영자금을 지원함으로써 어선용 기자재의 품질향상과 원활한 수급을 위하여 어민편익을 증진시켰다.

(表 70)

漁撈施設 事業實績

單位：百萬元

	數 量	物 量	事 業 費			
			計	補 助	融 資	自 擔
計			54.443	2.545 (1.378)	36.419	14.101
○ 漁 船 建 造	254 척	4,309 톤	31.653	1.178	22.423	8.063
- 老朽漁船代替	146	901	7.584	1.167	3.500	2.917
- 經濟性漁船建造	108	3,408	24.069	-	18.923	5.146
○ 漁船機關代替	207 대	51,112 마력	6.290	-	4.803	1.487
○ 漁船裝備및 設備改良		-	8.116	-	6.425	1.691
- 裝 備 改 良	1,357 대	-	2.266	-	1.749	517
· 無 電 機	19	-	42	-	32	10
· 레 이 다	31	-	141	-	109	32
· 안 정 기	806	-	191	-	147	44
· 魚群探知機	25	-	84	-	65	19
· 自動釣上機	402	-	1,557	-	1,202	355
· G · P · S	74	-	251	-	194	57
- 設 備 改 良	95 척	-	5.850	-	4.676	1,174
○ 漁船用機資材 生産支援	5개사	-	1,500	-	1,200	300
○ 漁船用機械供給	3,244 대	-	6.884	1,378 (1,378)	1,568	2,560

資料：수산청 시설관리국 어선과

註：()는 지방비임

3. 制度改善

漁船法('93.6.11 개정) 및 同法 施行令('93.12.31 개정)의 전문 개정에 따라 그 하위 법령인 漁船法 施行規則 및 漁船登錄·檢査 등에 관한 手數料 規則을 '94.6.16일 개정 공포하였으며, 漁船檢査 업무의 간소화 및 효율적인 검사업무를 수행하기 위하여 漁船用品의 型式 및 製造施設 承認規則을 '94.7.27일 개정 공포하였고, 漁船用品의 優秀 事業場 指定 등에 관한 規則을 '94.8.10일 제정 공포하였다.

가. 漁船法 施行規則

政府의 經濟行政規制 緩和 시책에 따라 5톤미만 無動力 漁船과 1톤미만 動力 漁船 및 5톤미만 內水面 漁船에 대해서만 漁船檢査를 면제해 주던 것을, 5톤미만 無動力 漁船과 2톤미만 動力 漁船 및 全 內水面 漁船으로 확대하는 한편, 2톤미만의 漁船에 推進機關을 새로이 설치하거나 推進機關의 種類 또는 出力을 변경하는 경우에는 漁船 改造許可 대상에서 제외키로 했으며, 小型漁船의 범위를 40톤미만의 어선에서 길이 24미터미만의 어선(약 60톤급)으로 확대하고, 小型漁船의 檢査期間도 2년에서 3년으로 연장하였다.

또한, 길이 24m이상의 어선에 대해서만 실시하는 中間檢査는 檢査 指定日 前後의 3개월 이내에 받도록 했고, 4년마다 실시하는 定期檢査(길이 24m미만 어선은 3년마다 실시)의 指定日에 漁船檢査를 조업 등으로 받을 수 없는 경우에는 3개월 범위내에서 연기할 수 있도록 하였으며, 외국에서 定期檢査를 받았거나 기타 부득이한 경우로서 새로운 漁船 檢査證書를 즉시 교부할 수 없거나 漁船에 檢査證書를 비치할 수 없는 경우에는 漁船 檢査證書 有效期間 연장 신청에 따라 5개월 범위내

에서 그 기간을 연장할 수 있도록 하였고, 어민의 편의 제공을 위해 어선 소유자의 요청이 있는 경우에는 휴일에도 실시토록 하였다.

종전에 40톤이상의 漁船에 대해서는 船齡구분에 따라 船齡 15년이상인 경우 매년, 船齡 15년미만인 경우 2년마다 조선소에 上架하여 검사를 받도록 했던 것을 그 對象漁船을 길이 24미터이상 漁船으로 緩和하여 2년에 한번만 上架하여 검사를 받도록 하는 한편, 매년 安全檢査를 받도록 하여 國際協約 기준에 맞도록 개선하였으며, 臨海 公園建設, 埋立·干拓 등에 따른 공공개발 지역안으로 고시된 지역안에 船籍港을 지정하여 漁船을 건조하거나 다른 지역의 어선을 매입하여 移轉登錄을 하고자 하는 경우 補償을 目的으로 하는 漁船의 投機化 및 사회문제 발생을 예방키 위해 시·도지사사 필요하다고 인정되는 경우에는 漁船建造許可 또는 船籍港 移轉登錄을 제한할 수 있도록 하였다.

나. 漁船登錄·檢査 등에 관한 手數料規則

小型漁船의 檢査 手數料는 낮게, 中大型 漁船은 높게 조정하여 영세 어민의 부담을 줄이도록 하여 8톤급 漁船의 경우 2년마다 17,480원을 부담하던 것을 3년마다 21,300원을 부담하도록 하여 어선 소유자의 연간 부담액은 8,740원에서 7,100원으로 18%(1,640원) 정도 감소되도록 하였고, 8톤이상 24m미만 어선의 경우에도 연평균 부담률은 15% 정도 감소되도록 하였으나 24m이상 漁船의 경우에는 5% 정도 인상되도록 조정하였다.

또한 漁船 定期檢査時 별도로 부담하던 검사 항목중 漁船의 주요 설비 改造檢査, 冷蔵裝置檢査, 荷役裝置檢査, 安全構造檢査, 安全設備檢査, 無線電信·電話, 滿載吃水線 檢査, 復原性 判定檢査 등 항목의 檢査 手數料는 定期檢査 手數料에 포함하여 처리토록 함으로써 실질적인 어

민부담은 크게 경감되도록 하였고, 豫備檢査와 製造檢査, 臨時檢査, 總噸數 測定 등 기타 검사는 검사 항목별 또는 톤급별로 조정하였다.

다. 漁船用品의 型式 및 製造施設 承認規則

漁船用品의 型式 및 製造施設 承認은 지금까지 漁船에 사용되는 漁船用品의 안전성을 확보하여 품질을 향상시키고 人命에 대한 피해를 방지하기 위한 것이나 규제가 과도하여 企業활동에 장애가 되고 있음을 감안 經濟行政 規制緩和 조치에 따라 漁船用品의 製造施設承認 제도를 폐지하고 漁船用品의 型式承認 대상품목을 38개에서 14개로 대폭 감축하였으며 漁船用品의 型式承認 有效期間을 3년에서 영구적으로 늘리는 등 개선하였다.

라. 漁船用品의 優秀事業場 指定 등에 관한 規則

漁船用品의 優秀事業場 지정 제도는 어선 또는 漁船用品을 건조, 제조, 정비하는 優秀事業場을 지정하여 이들 事業場에서 건조, 제조, 정비를 확인 받은 漁船用品에 대하여 어선의 製造, 定期, 中間檢査를 생략함으로써 새로운 기술도입이나 품질 개선으로 기술수준을 향상시키기 위하여 '93. 6. 11일 어선법 개정 법률에서 신설된 제도로서 동 제도의 시행에 필요한 사항을 정한 것으로 그 주요내용은 漁船用品의 優秀建造, 製造, 整備事業場의 지정기준인 漁船用品의 범위, 설비기준, 인력기준을 정하고 漁船用品의 優秀事業場을 지정받고자 하는 자는 시설기준에 맞는 事業場을 갖추고 건조, 제조, 정비규정을 작성하여 수산청장의 지정을 받도록 하였다.

第 4 章 水産物 流通改善과 加工産業 育成

第 1 節 水産物 價格 安定

1. 政府 備蓄事業

水産物은 계획생산이 어려울 뿐 아니라 一時 다획성, 계절성 등 特殊

〈表 71〉

'94 政府備蓄 事業實績

單位：톤, 百萬元

	計 劃		實 績		對 比	
	物 量	金 額	物 量	金 額	物 量	金 額
計	29,500	82,573	25,910	59,835	88%	72%
김	600	13,239	600	12,513	100	95
(萬 속)	(300)		(300)			
마 른 미 역	100	952	100	861	100	90
간 미 역	2,000	2,808	2,000	2,402	100	86
마 른 멸 치	300	2,161	19	237	6	11
마 른 오 징 어	500	6,457	455	5,345	91	83
冷 凍 오 징 어	12,000	30,806	11,773	25,347	98	82
冷 凍 고 등 어	5,500	9,147	5,034	7,151	92	78
冷 凍 갈 치	2,500	6,472	809	2,490	32	38
冷 凍 조 기	1,000	4,591	120	660	12	14
冷 凍 명 태	5,000	5,940	5,000	2,829	100	48

資料：수산청 수산정책국 유통가공과

性으로 가격이 不安定하고 需給 調節의 어려움도 크다.

이에 대처하기 위하여 정부에서는 農水産物 價格安定基金을 利用하여 생산이 많이 될 때 産地水協을 통하여 적정량을 收買하고 성수기에 소비자에게 방출함으로써 생산어민에게는 受取價格을 높여주고 소비자에게는 價格安定을 도모해 오고 있다.

'94년에는 農安基金 826억원으로 冷凍오징어, 김, 마른멸치 등 29,500톤 수매를 계획하였으나, 마른멸치, 갈치, 조기 등은 生産時期에 價格 上昇과 規格품 생산의 감소로 收買가 부진하였으나, 김, 마른미역 등은 계획대로 수매하여 총 10개 품목 25,910톤을 598억원에 수매 비축하였다.

2. 民間 價格安定 事業

'94년도 民間 價格安定 事業에는 總 1,096억원의 農安基金을 지원하여 오징어, 명태, 조기, 갈치, 김 등 300천톤을 수매함으로써 生産漁民의 受取價格 支持와 소비자 가격 안정에 기여토록 하였다.

事業 部門別로는 備蓄收買 事業에 729억원을 지원하여 176천톤을 收買토록 하였고 輸出原料 77천톤 수매를 위해 166억원을 지원하였으며, 生産者(團體) 출하 조절 46천톤분으로 201억원을 지원하였다.

또한 유통구조 개선을 위해 産地水協 委販場과 소비자 공판장에 出荷 촉진을 위한 기금 630억원을 지원하여 1,769천톤의 物量을 원활히 유통되도록 하였고, 수산물 規格 및 공동출하 촉진사업에 155억원을 지원하여 15,110톤의 物量을 출하 촉진하였으며, 수산물 직판장 사업 6개소에 19억원을 지원하여 需給 및 價格安定에 기여토록 하였다.

3. 需給 및 價格管理 強化

수산물 가격안정을 위해 需給 調節 등 관리기능을 강화하였다. 특히 조기, 고등어, 명태, 갈치, 오징어, 김, 마른멸치 등 主要 大衆魚種에 대하여는 生産·搬入과 輸出·入 및 在庫動向 등을 持續的으로 점검하여, 수급 및 가격이 안정되도록 관리하였다.

또한 설날 등 성수기 성수품목의 需給 및 價格 安定을 위해 1.10~1.31(22일간)의 설날 對策期間에는 조기, 명태, 고등어, 오징어, 김 등 5개 품목을, 9.3~9.19(17일간)의 추석 대책기간에는 조기, 명태, 고등어, 오징어 및 김 등 5개 품목을, 11.21~12.20(30일간)의 김장철 대책기간에는 새우젓, 멸치젓, 생굴 등 3개 품목의 공급 확대와 出荷管理를 하였으며, 연중 物價對策 狀況室을 상설 운영하고 재고조사 등 出荷 促進 및 지도 독려를 강화하는 한편, 品目別 담당관 지정과 需給狀況 일일 점검제 실시 등 물가관리 비상체제를 운영함으로써 물가오름세 심리를 억제하여 價格安定에 기여하였다.

第 2 節 流通構造 改善

1. 流通施設 擴充

수산물의 신속한 揚陸과 위생적인 처리를 위한 수산물 유통시설 확충사업으로 '94년도에 총 사업비 3,718백만원을 투입, 위판장 15,291명, 급유시설 5,600드럼, 폐수처리시설 2개소 설치를 위하여 수산업협동조합 등에 각각 支援하였다.

〈表 72〉 '94 水産物 流通補給施設 支援現況

單位：千圓

	物 量	事 業 費			
		計	國 庫	融 資	自 擔
合 計		3,717,821	818,825	1,091,771	1,807,225
鮮魚委販場	1,529坪	1,467,652	360,252	480,337	627,063
活魚委販場	516〃	1,154,697	255,953	341,274	557,470
給油施設	5,600드럼	677,018	82,620	110,160	484,238
廢水處理施設	2개소	418,454	120,000	160,000	138,454

資料：수산청 시설관리국 관리과

한편 수산물을 産地와 消費地를 연계한 직거래와 直販場의 물량 공급 기지로 活用하고자 서울시 외발산동에 '93년부터 '97년까지 5년동안에 30,826백만원을 투자하여 부지 9,179평, 건평 11,688평 규모의 내륙 지 共販場을 시설하고자 '94년도에는 5,542백만원을 투자하여 건설중에 있으며, 산지에서 생산된 수산물을 중간상인을 거치지 않고 소비지로 直出荷하여 유통마진을 縮小시킬 수 있도록 강원도 양양, 전북 고창, 경북 경주, 제주도의 제주, 서귀포 수협에 수산물 直販場 시설자금 1,950백만원을 지원하였고, 활어 및 냉동·냉장 차량 10대 120백만원을 지원하여 수산물의 圓滑한 輸送과 低溫流通 體系가 촉진되도록 하였다.

2. 流通機能 強化

沿近海 수산물 생산량 2,558천톤의 63%인 1,663천톤(21,719억원)을 産地 수협에 上場販賣하여 어민 수취가격 提高와 어획물의 신속 分散 流通이 이루어지도록 하였고, 톳, 천초 등 위판 脆弱品目에 대하여

20억원을 지원 6,996톤의 共同收集 판매사업을 실시하였다.

수산물 도매시장 취급물량은 513천톤으로 우리나라 수산물 공급량의 15%를 취급하였으며 도매시장 법인이 346천톤으로 67%를 차지하고, 수협공판장에서 167천톤을 上場賣買하여 33%를 취급하였다.

그리고 산지 및 내륙지 공판장의 環境 淨化和 수산물의 衛生管理 지도를 적극적으로 추진함으로써 신선하고 위생적인 수산식품을 공급하도록 하였고 仲都買人 등 유통 종사자와 생산어민에 대한 수산물 취급관리 계몽 및 홍보를 지속적으로 실시하였다.

수산물 거래단위의 표준화를 조기에 정착시키기 위하여 수산물 30개 품목에 대하여 무게 중심의 標準去來 단위를 제정하여 시행하여 왔으나, 소비자가 당해 상품의 품질을 알 수 없어 표준거래 단위가 정착되지 못하여 水産物 10개 품목에 대하여 등급기준과 포장규격 등을 규정한 標準 出荷規格을 '94.7.31일 제정하여 유통 현실과 소비자의 소비패턴에 副應하도록 하였다.

수산물 규격출하에 농안기금 135억원을 연간 3%의 저리로 생산어민 및 생산자 단체, 수산사업자 등에 지원하여 마른멸치외 30개 품목 8,114톤을 출하하였다.

또한 水産物 수입 자유화 조치로 수산물의 교역이 활발해지자 값싼 수입수산물의 無分別한 도입으로 수입수산물이 국내산으로 遁甲 판매되는 등 부정 유통사태가 늘어나고 있어 '94.1.1일부터 활어 및 산호, 해면, 장어원피 등 비식용 수산물을 제외한 317개 輸入水産物에 대하여 원산지 표시제를 실시하고 있으며, 원산지 표시제가 조기에 정착될 수 있도록 국내산과 수입수산물 식별요령 홍보책자 10,000부를 발간 배포하였으며, 流通從事者 및 販賣商人 등을 대상으로 6,246회 지도를 실시하고 475건을 단속하여 307건은 현지시정, 159건은 주의 또는 경고, 9

건은 고발조치 하였다.

〈表 73〉 水産物 市場組織

單位：個所

計	都賣法人	水協共販場	水協委販場	共同魚市場	直販場	集配센터
323	16	9	202	1	94	1

資料：수산청 수산정책국 유통가공과

〈表 74〉 水産物 標準出荷 規格

品目別	等級規格	包裝規格	
		單位量	包裝材
복어	특상, 보통	10마리	골판지, 비닐
굴비	〃	10마리	골판지
마른문어	〃	10마리	골판지, 비닐
생굴	〃	200g, 1kg, 3kg, 10kg	비닐, PE용기, PS상자
바지락	〃	3kg, 5kg, 10kg, 20kg	PE그물망
고막	〃	3kg, 5kg, 10kg	PP포대
새우젓	〃	1kg, 3kg, 5kg, 10kg	유리용기, PE용기
멸치젓	〃	1kg, 3kg, 5kg, 10kg, 20kg	PE용기, 골판지
냉동오징어	〃	2kg, 4kg, 8kg	골판지
간미역	〃	200g, 500g, 1kg, 3kg, 5kg, 10kg	PE필름, 골판지

資料：수산청 수산정책국 유통가공과

〈表 75〉

水産物 都賣市場 去來実績

單位：톤, 百萬원

	'93		'94	
	物 量	金 額	物 量	金 額
計 (25個所)	533.497 (100%)	810.344 (100%)	513.348 (100%)	889.978 (100%)
○都賣市場 (16個法人)	360.347 (67.5)	625.608 (77.2)	345.852 (67.4)	695.886 (78.2)
강동수산	108.759	158.764	113.376	182.208
노량진수산	156.257	254.248	142.353	277.578
대왕대수산	8.946	7.581	8.719	9.030
청천수산	16.846	17.095	14.270	17.500
충주수산	3.750	4.378	3.873	5.308
수원수산	1.045	897	857	904
수경원수산	5.751	6.791	7.903	9.714
포항수산	2.416	4.587	2.288	4.786
이천수산	4.236	7.929	4.530	9.080
울진수산	762	1.138	729	903
서 울구수산	1.518	3.481	2.320	6.791
서 울중산양해	9.267	9.124	8.859	9.315
서 울건해	38.790	140.556	33.547	151.042
대 울구산	1.724	4.974	1.109	5.126
한 발건해	712	4.065	652	4.162
	-	-	467	2.439
○水協共販場 (9個所)	173.150 (32.5)	184.735 (22.8)	167.496 (32.6)	194.092 (21.8)
서 울	53.124	38.644	55.743	42.550
가 촌락	41.194	54.870	37.422	59.391
대 천	5.076	8.816	6.673	8.562
청 천	7.429	9.889	4.773	8.599
전 주	2.598	5.528	1.245	1.835
광 주	8.764	11.418	7.813	15.178
대 구	15.592	22.550	15.367	23.416
수 원	28.510	16.398	28.488	16.930
울 산	7.501	9.655	7.335	12.352
	3.362	6.967	2.637	5.279

資料：수산청 수산정책국 유통가공과

註：청주공판장은 '94.6말 폐쇄

3. 制度改善

그 동안 產地 漁獲物에 대하여 義務上場制가 실시되는 과정에서 어민들이 생산한 수산물을 어민이 직접 消費地 都賣市場이나 實需要者에게 판매할 수 없어 새로운 유통경로 개발을 저해하고, 水協이 산지 판매를 독점하여 어민에 대한 서비스가 미흡함에 따라 수협을 통한 販賣率이 계속 낮아지고 있었으며 海藻類, 貝類 등은 대부분이 자유롭게 거래되고 있을 뿐만 아니라, 販賣場所 指定을 통한 불법어획물 단속에는 현실적으로 한계가 있었다.

따라서 현행 產地 漁獲物 去來制度를 생산어민이 스스로 판매 경로를 자유롭게 선택할 수 있도록 義務上場制를 自由販賣制로 전환하되, 갑작스런 제도개선으로 인한 부작용을 최소화할 수 있도록 '97년까지 단계적으로 추진할 계획이다.

먼저 1단계로 '95년에 김, 미역, 활어 등을 실시하고, 2단계로 '96년에 貝類 및 海藻類 등을 추가하며, 3단계로 '97년에는 전면 실시할 계획으로 추진중에 있다.

이에 따라 水産物 自由販賣制 조기 정착의 기반을 조성하고 시행 시기의 탄력적 운용을 위하여 '94.12.1~'95.3.5일까지 미역, 고막, 활어 등 10개 품목을 선정하여 시범적으로 自由販賣制를 실시하였다.

第 3 節 水産物 加工産業 育成

1. 加工製品 生産

'94년도 水産物 加工製品 생산은 1,715천톤으로 전년도의 1,486천

톤보다 15% 増加하였다.

製品 形態別로는 高次加工品은 11% 증가하였고, 單純加工品은 17% 증가하였다. 수산제품의 생산이 증가되는 이유는 연근해 및 수입수산물 증가로 원료확보가 용이하였기 때문이다.

이 중 加工品의 대종을 이루고 있는 冷凍品은 1,301천톤으로 고등어, 정어리, 명태, 오징어 등의 原形凍結이 1,204천톤으로 93%, 명태, 새우, 연육 등의 處理凍結이 97천톤으로 7%를 차지하고 있다.

'94년도의 冷凍品(原形·處理) 生産量이 전년도 생산량 1,097천톤보다 204천톤 증가된 것은 연근해 및 원양산 원료생산 증가에 기인되고

〈表 76〉

水産加工品 生産推移

單位 : 톤

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	1,620,766	1,771,287	1,486,181	1,714,511	115.3%
○ 高次加工品	362,306	324,822	298,697	330,316	110.5
- 處理 凍結	111,089	97,732	88,931	97,300	109.4
- 통 조 립	61,445	55,533	48,561	63,899	131.6
- 寒 天	681	468	272	393	144.5
- 凍 製 品	106,236	93,378	99,090	108,717	109.7
- 調味加工品	18,222	13,459	10,275	12,278	119.5
- 魚 油 粉	64,633	64,252	51,568	47,729	92.5
○ 單純加工品	1,258,460	1,446,465	1,187,484	1,384,195	116.5
- 原形凍結	1,088,067	1,253,061	1,007,981	1,204,182	119.4
- 乾 製 品	35,216	33,717	50,976	40,358	79.2
- 鹽辛藏品	21,449	16,698	12,568	10,689	85.0
- 海藻製品	106,560	134,887	108,701	117,376	108.0
- 其 他	7,168	8,102	7,258	11,590	159.7

資料 : 수산청 수산정책국 유통가공과

있다.

'94년도 魚肉 煉製品은 109천톤을 생산하여 '93년 99천톤보다 10천톤이 증가하였으며, 冷凍明太煉肉 및 갈치 원료를 使用한 제품이 늘어나고 있고 또한, 전반적으로 품질이 고급화되고 있으며, 소비자의 기호에 맞고 맛과 품질이 우수한 제품도 다양하게 개발되어 식품의 식생활 개선에 기여하고 있다.

통조림품은 참치통조림 원료생산 증가로 製品生産量이 32% 증가한 64천톤을 生産하였고, 海藻製品도 117천톤을 생산해 '93년도의 109천톤보다 8% 증가하였다.

또한, 乾製品은 40천톤이 생산되어 전년도보다 21% 감소하였고, 鹽辛藏品은 전년도보다 15% 감소한 11천톤이 生産되었으며, 調味加工品은 쥐치, 명태 원료 공급이 원활하여 '93년도 10천톤보다 19% 증가한 12천톤이 생산되었다.

2. 加工·製造業體의 育成

국민소득 및 생활수준 향상으로 국민들의 수산물 消費 성향이 單純加工品에서 다양한 高次加工品으로 變化되고 있다.

이에 따라 水産物 加工業은 漁業 生産物의 최대 消費 販路가 되고 있으며, 국민들의 기호에 맞는 다양한 水産 加工食品을 개발하여 소비자들에게 공급하고 있다.

한편, 못먹는 부분의 除去 및 保存性의 向上에 의한 鮮度維持 經費 節減 등 수산물 유통경비를 줄이는 데 水産物 加工이 큰 역할을 하고 있는데 水産物 加工製品의 생산 증대와 가공업체의 육성 발전을 위하여 '94년도에는 冷凍·冷蔵施設의 新設 및 改·補修 15개소에 128억원을 지원

하였고, 오징어 건조시설 10개소 및 산지가공시설 4개소에 26억원을 지원하였으며, 加工業界 운영자금을 85개소에 130억원을 지원함으로써 총 114개소에 285억원을 지원하였다.

〈表 77〉

加工業體 支援實績

單位：百萬圓

	'91		'92		'93		'94		'94/'93
	個所	支援額	個所	支援額	個所	支援額	個所	支援額	
計	88	21,700	163	24,980	103	26,123	114	28,460	109%
施設資金	16	12,200	13	10,600	19	13,460	29	15,480	111
-冷凍·冷蔵新設	9	10,800	8	9,600	8	9,600	10	11,830	123
-冷凍·冷蔵改補修	7	1,400	5	1,250	5	1,000	5	1,000	100
-産地加工施設	-	-	-	-	4	2,560	4	2,560	100
-其他加工	-	-	-	-	2	320	10	90	28
運營資金	72	9,500	150	14,380	84	12,648	85	12,980	103
-冷凍·冷蔵業	28	3,000	37	4,456	28	4,000	36	4,221	105
-醬조림製造業	15	2,700	20	3,648	20	3,548	18	3,530	99
-調味加工業	5	300	15	500	12	500	5	425	85
-海藻加工業	9	500	60	1,300	8	800	8	754	94
-煉製品加工業	15	3,000	15	3,776	16	3,800	16	3,850	101
-其他加工	-	-	-	700	-	-	2	200	-

資料：수산청 수산정책국 유통가공과

3. 品質 認證制度의 實施

品質 認證制란 국가전문기관이 그 제품의 가치를 인증하고 증표(品자 마크)를 표시하여 市場에 출하토록 함으로써 特産物의 상품성 향상과 공정거래를 도모하여 생산어민과 소비자를 동시에 보호하는 한편, 輸入 開放化에 따른 외국산 수산물의 국내산 둔갑 판매 방지를 위해 '93. 4 월부터 실시하고 있다.

현재 품질인증 대상품목은 굴비, 옥돔, 멸치젓, 마른오징어, 김 등 17개 품목이며, 앞으로도 새로운 優秀品目을 계속 발굴하여 연차적으로 확대해 나갈 계획이다.

4. 水産物 消費 擴大

水産物의 消費 擴大를 위해서는 무엇보다도 수산물의 안정적인 生産 및 供給이 우선되어야 하므로, 위생적이고도 품질이 우수한 수산물을 공급하는데 힘쓰고 있다. 현재 국내에는 輸入産과 沿近海 및 遠洋産 水産物이 동시에 유통되고 있는 바, 수입 수산물에 대하여는 輸入檢査를 強化하여 불법 수입 및 저질품 수입을 억제하고, 국내 수산물 중 품질이 우수한 제품에 대하여는 品質認證制를 실시하여 수산물 소비 확대에 힘쓰고 있다.

第 4 節 水産物 検査

1. 検査 動向

‘94년도 수산물 検査實績은 총 374천톤으로서 前年度 378천톤 對比 99%로 비슷한 수준을 나타냈는데, 수출수산물은 義務検査 對象品目 緩和措置로 前年比 29%가 감소한 85천톤을 検査하였으며 수입수산물은 수입 개방화에 따른 수입 증가추세가 이어져 前年比 6% 증가한 262천톤. 內需用 수산물은 정부의 가격 안정대책사업 확대 실시로 전년보다 2배이상 증가한 27천톤을 検査하였다.

가. 輸出水産物

‘94년도 수출수산물 検査實績은 84.638톤으로서 前年度보다 34.979톤이 감소하였는데 이는 ‘94년 10월부터 義務検査 대상을 31개 品目에서 13개 品目으로 縮小하였기 때문이다.

〈表 78〉

輸出水産物 検査實績

單位 : 톤

	‘84	‘92	‘93	‘94	‘94/‘93
計	204.666	222.843	119.617	84.638	71%
冷 凍 品	132.098	153.342	71.786	55.327	77
乾 製 品	8.306	14.409	7.889	5.238	66
鹽 藏 品	32.088	22.124	19.501	13.923	71
통 조 립 品	16.158	13.361	14.553	9.008	62
其 他	16.016	19.607	5.888	1.142	19

資料 : 수산청 국립수산물검사소

製品別로는 冷凍品이 55,327톤으로 65%를 점유하고 있으며 寒天, 魚粉·魚油, 冷蔵貝類 등 기타제품은 義務檢査 대상품목이 없기 때문에 감소폭이 더욱 크게 나타났다. 냉동굴, 간미역, 고등어통조림 등 義務檢査 품목의 檢査實績은 57,784톤으로 68%를 차지하였고 希望檢査는 냉동생선묵류, 냉동새꼬리민태, 콩치통조림 등 주로 미주 및 EU 지역으로 수출하는 제품에서 檢査가 실시되었다.

나. 輸入水産物

'94년도 수입수산물 檢査實績은 262,202톤으로서 前年度보다 14,076톤이 증가하였는데 이는 신선냉장 및 활어패류의 수입이 지속적으로 증가하고 있기 때문이다.

제품별로는 냉동품이 237,902톤으로 91%이며, 총 수입 국가수는 79개국으로서 러시아가 59,129톤으로 23%, 다음으로 미국, 중국, 아르헨티나 順으로 나타났다. 檢査結果 不適合은 4,224톤으로 전체 檢査量의 1.6%를 차지하였다.

<表 79>

輸入水産物 檢査實績

單位：噸

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	115,712	214,604	248,126	262,202	106%
活 魚 貝 類	22	2,248	4,220	5,924	140
新 鮮 · 冷 藏	24	1,727	1,937	5,178	267
冷 凍 品	115,622	207,096	232,673	237,902	102
鹽 藏 品	39	2,272	7,433	9,412	127
其 他	5	1,261	1,863	3,786	203

資料：수산청 국립수산물검사소

다. 內需用 水産物

정부 備蓄用 수산물 및 希望檢査에 의한 국내 소비용 수산물 檢査實績은 27,421톤으로 전년도보다 16,702톤이 증가하였는데 이는 정부의 가격안정 대책사업 확대로 정부비축 수산물 檢査량이 크게 증가하였기 때문이다.

정부 備蓄 水産物の 품목은 냉동명태, 냉동고등어, 간미역, 마른오징어, 마른미역 등이며 국내 소비용 수산물은 김, 건멸치 등의 納品用 檢査와 濟州地域에서 생산된 툃과 우뭇가사리가 수협에서 경쟁입찰을 위해 檢査가 실시되었다.

〈表 80〉

內需用 水産物 檢査實績

單位 : 톤

		'93	'94	'94/'93
合 計		10,719	27,421	256%
政府 備 蓄	小 計	9,158	25,242	276
	冷 凍 品	6,999	22,036	315
	乾 製 品	1,159	1,186	102
	鹽 藏 品	1,000	2,020	202
國內 消 費	小 計	1,561	2,179	136
	乾 製 品	-	302	-
	海 藻 類	1,561	1,877	120

資料 : 수산청 국립수산물검사소

2. 檢査制度 改善

수산제품은 가공업계의 先進技法 기술도입 및 加工施設의 現代化 등

지속적인 노력으로 品質이 세계적인 水準에 달하고 있어, 對外 競爭力 提高 및 수출증대 차원에서 '94. 1. 1일부터 수출수산물 義務檢査制와 報告義務 條項 등을 廢止하여 業계의 自律檢査制로 轉換하였으며, 企業 活動 規制緩和에 관한 特別措置法 제32조의 규정에 의한 國際間 協約, 安全危害 및 保健 등을 목적으로 檢査가 필요하여, '94. 9.22일 水産 廳長이 지정·告示한 13개 品目を 檢査토록 하였다.

또한 輸入水産物에 대한 檢査는 '91.1.4일 보건복지부 산하 국립부산 검역소로부터 국립수산물검사소 釜山支所에 최초로 의뢰검사를 실시한 이후 '92.3.2일 부터는 국립수산물검사소 本所 및 전국 11개 지소에 까지 수입검사 의뢰를 확대 실시하여 왔으며, '93.12.6일 수산물 수입검사 업무의 一元化를 위하여 行政權限의 委任 및 委託에 관한 規定을 개정하여 '94.1.1일부터 원료수산물 및 單純加工品에 대한 수입 申告의 受理 및 檢査업무를 수산청에 위탁하였고 수산청은 이를 專門 檢査機關인 국립수산물검사소가 管掌토록 위임함으로써 低質·不良品, 偽裝品, 有害汚染品 등 부적합 수입수산물의 유통을 방지할 수 있도록 檢査제도를 개선하였다.

第 5 節 水産物 輸出·入 對策

1. 輸入開放 對策

우리 나라의 水産物은 1989년 10월 GATT/BOP 합의에 따라 '92년부터 '97년까지 2차에 걸쳐, 輸入 自由化 品目を 豫示하도록 의무화 되어 있어 1차로 '91년 3월에 '92년부터 '94년까지 63개 品目を 輸入 自由化 품목으로 확정 고시하여 자유화 하였으며, '94년 4월에는 2차

로 '95년부터 '97년까지 나머지 46개 품목을 自由化 예시하였다.

그 결과로 '94년 1월 1일 현재 水産物 총 354개 품목중 308개 품목 (86.8%)이 輸入自由化되었으며, '97년 7월 1일이 되면 全 품목이 輸入自由化될 계획이다.

自由化 品目の 확대와 國民所得 增加에 따른 내수용 수입이 증가되어 국내 수산업에 대한 피해도 적지 않아 이에 대한 대책이 강구되어, 수입 증가로 국내 수산업에 대한 피해가 심한 활돔, 활농어, 활미꾸라지 등 7개 어종 11개 품목에 대하여 調整關稅를 賦課하였으며 새우젓에 대하여는 '94년 12월 31일 만료되는 産業被害 구제기간을 '96년 12월 31일까지 2년간 연장하였다.

또한, 沿近海 生産漁民에게 영향이 큰 방어 등 5개 어종과 대게 등 3개 갑각류에 대하여 일정 체장 이하의 것과 일정기간 수입을 금지하는 輸入要件 確認品目으로 정하고 통합공고에 반영하여 '95년 1월 16일부터 최초로 시행하였으며 이 제도는 우리 나라에서 금지기간과 금지체장을 정하여 어획을 금지하는 어종은 輸入産에 대하여도 동일한 조치를 취하여 금지하기 위한 것으로 대게와 꽃게는 6월부터 10월말까지 5개월간, 닭새우류는 6월부터 8월까지 3개월간 수입을 금지하고 돔, 불락, 농어, 방어, 봉장어는 어종에 따라 體長 10cm부터 35cm이하까지 수입을 금지하였다.

이러한 새로운 제도의 導入 施行으로 輸入이 감소되어 沿近海 생산어민의 보호에 기여할 수 있을 뿐만 아니라 産卵期에 수입을 금지함으로써 不法 漁獲物の 國內 流通을 차단 不法漁業의 근절에도 크게 기여할 것으로 전망되고 있다.

이 외에도 輸入 水産物에 대한 原産地 표시 확행과 수입검사 등을 지속적으로 추진한 것도 輸入 抑制에 間接적으로 기여하였다.

〈表 81〉 '94年度 輸入自由化 品目の 輸入動向

單位 : 톤, 천\$

品 目 別	'93		'94		'94/'93(%)		輸 入 國
	物量	金額	物量	金額	物量	金額	
計	11,669	78,800	46,664	208,584	400	265	
0303 33 0000 서 대	2	34	934	2,082	-	-	중국
0303 71 0000 경 어 리	1,260	595	4,778	3,033	379	510	일본, 페루
0303 76 0000 뱀장어(냉동)	-	-	1	10	-	-	캐나다
0303 79 4000 돔	58	123	1,718	3,715	2,960	3,020	앙골라, 세네갈, 인니
0303 79 7000 전갱어	1,940	1,230	1,411	1,229	73	100	뉴질랜드, 노르웨이
0303 79 9020 복어	299	796	2,193	6,987	733	878	중국, 인도네시아
0303 80 2010 명란	5,562	61,529	13,463	106,109	242	172	러시아, 일본, 미국
0303 80 2090 기타어란	216	291	375	751	174	258	러시아, 미국
0306 13 9000 새우와 보리새우	966	8,290	4,824	35,261	499	425	필리핀, 태국, 중국
0306 14 9000 기타계	727	4,110	4,470	15,973	615	389	중국, 베트남
0307 59 1000 문어	639	1,802	2,682	7,611	420	422	일본, 스페인, 모리셔스
0307 59 1020 낙지	-	-	8,883	23,851	-	-	중국, 태국
0307 99 1110 새조개	-	-	5	89	-	-	일본
0307 99 3120 바지락(염장)	-	-	871	1,599	-	-	중국
1605 20 9020 새우(브레드한 것)	-	-	57	284	-	-	태국

資料 : 관세청, 무역통계연보

〈表 82〉

水産物 輸入自由化 例示計劃

單位：개, %

總品目數	'91년까지 自由化	第 1 段 階			第 2 段 階		
		'92	'93	'94	'95	'96	'97
354 (自律化率)	245 (69.2)	20 (74.7)	20 (80.5)	23 (86.8)	6 (88.7)	17 (93.5)	23 (100)

資料：수산청 국제협력관실 무역진흥담당실

2. 輸出 支援

水産物 輸出은 '88년 1.911백만\$까지 증가한 이후 國內需要 增加 및 生産 增加率 둔화로 점차 감소세를 나타내었으나, '94년도의 경우는 沿近海 및 遠洋의 生産 好調과 일본의 엔고에 따른 輸入 需要의 증가로 '93년 대비 10% 증가한 1,647백만\$를 기록하였다.

水産物 輸出 増大를 위한 자금지원으로는 수출용 활선어, 패류, 냉동, 통조림, 해조류의 收買 加工用 資金으로 182억원을 支援하였으며, 水産物 加工業體 品質향상을 위한 수산물 규격화 지원에 135억원과 加工業體의 가공운영에 필요한 자금 130억원을 지원하였다.

通商外交 強化로 수출국의 무역장벽 철폐 또는 완화를 위하여서는 EU의 工場登錄制 실시에 따른 위생 점검단 방문시 적극적인 교섭 및 협력으로 우리나라의 工場 登錄을 '96.6월까지로 연기하여, 동 기간까지 우리나라 水産業體의 衛生施設을 EU 수준에 맞게 보강할 수 있도록 함으로써, EU 지역에 대하여 지속적인 수출증대의 계기를 마련하였으며, 일본 수출에 있어서의 衛生問題 발생시 신속한 대처로 輸出障礙 요인을 제거하였으며, 또한 한·일 新經濟協力機構 및 兩國 水産廳長 회

답시 일본의 우리나라에 대한 IQ 쿼터 확대 및 김 수입 제한 철폐를 위한 外交活動을 강화하였다.

한편, 해외시장 開拓 活動으로서는 大韓貿易振興公社와 農水産物流通公社의 협조하에 일본, 미국, EU 지역에 海外市場 開拓團 및 國際貿易博覽會에 국내 유력 업체를 파견하는 등 시장개척을 지원하였다.

3. 制度改善

그 동안 資源管理, 過當競爭 防止 등을 위하여 수출시 韓國水産物輸出組合의 추천을 받아야 했던 냉동 가자미, 조미취치포 등을 자유화하여 輸出業界가 신속히 수출할 수 있도록 하였으며, 資源管理에 성공하여 생산량이 크게 증가한 활소라는 輸出 自律規制를 폐지하여 누구나 韓國水産物輸出組合의 추천만으로 수출이 가능하도록 조치하였다.

또한 활갯지렁이 輸出制度를 개선하여, 기존 輸出業者의 경우 전년도 수출실적이 100만\$ 이상이어야 수출업자 자격을 유지하였으나 이를 50만\$로 완화하였으며, 新規 輸出業者의 참여를 유도하여 수출을 활성화하도록 신용장 기준 수취액을 50만\$에서 30만\$로 완화하였다.

한편, 水産物檢査法을 개정하여 냉동 11개 품목과 통조림 2개 품목을 제외하고는 輸出檢査를 면제토록 하여 檢査品目を 대폭 축소하였다.

第 5 章 遠洋漁業의 育成

第 1 節 國際漁業 協力 強化

1. 沿岸國과의 漁業協力

우리나라와 漁業協定을 체결한 국가는 일본, 미국, 러시아 등 14개국으로 '94년도에는 신규로 체결된 兩國間 漁業協定은 없었으나, 양국간 어업협정에서 정한 協力事業을 협의하기 위해 일본, 러시아, 프랑스 등 7개국과 정례회의를 개최하여 操業水域, 隻數, 入漁料 등 入漁條件을 정해 원만한 협정 운영과 어장의 안정적 확보에 주력하였다.

이와 아울러 새로운 어장을 지속적으로 확보하기 위해 남미의 主要 漁場으로 우리나라 漁船이 진출해 있는 페루 및 아르헨티나 그리고 아프리카의 앙골라와 漁業會談을 개최하여 兩國間 漁業協定 체결 문제 등 상호 협력방안을 협의하였으며, 특히 중국 어선의 不法操業 문제 등을 방지하기 위하여 한·중 漁業會談을 개최, 兩國間 漁業協定 체결을 추진하였다.

또한 UN魚族保存會議 등 국제 수산관련 다자간 회의에 20회 참석하

여 공해에서의 遠洋漁業의 안정적인 漁場 유지에 노력하였다.

〈表 83〉 漁業協定 締結現況

締結國	締結日	發效日	備 考
計			14個國
日 本	'65. 6. 22	'65. 12. 18	12個月前 通告時 終了
美 國	'72. 11. 20	'72. 12. 12	6次 延長 ('93. 1. 1 ~ '95. 12. 31)
불 란 서	'80. 9. 19	'80. 12. 19	3個月前 通告時 終了
호 주	'83. 11. 23	'83. 11. 24	12個月前 通告時 終了
뉴 질 랜드	'78. 3. 16	'78. 3. 16	5次 延長 ('94. 10. 1 ~ '96. 9. 30)
키 리 바 시	'80. 12. 18	'80. 12. 18	6個月前 通告時 終了
콕아일랜드	'80. 8. 25	'80. 8. 25	3個月前 通告時 終了
투 발 루	'80. 6. 18	'80. 6. 18	6個月前 通告時 終了
솔 로 몬	'80. 12. 12	'80. 12. 12	12個月前 通告時 終了
모리타니아	'84. 1. 7	'84. 1. 8	6個月前 通告時 終了
이 란	'77. 5. 11	'78. 4. 1	"
에쿠아도르	'84. 5. 22	'84. 9. 19	"
러 시 아	'91. 9. 16	'91. 10. 22	5年間('96. 10. 21) 유효후 6개월전 폐기통고 없을 시 每 1年씩 延長
파푸아뉴기니아	'92. 1. 25	'92. 4. 15	5년간('97. 4. 14) 유효후 12個月前 通告時 終了

資料 : 수산청 국제협력관실 국제협력담당실

2. 國際 水産機構와의 協力

가. 기존 加入機構 活動 參與

우리나라 어선의 公海上 操業을 지원하기 위하여 기존에 가입한 9개의 國際水産機構에 적극적으로 참여하여 우리나라와 같은 입장인 遠洋 操業 國家들과 공동으로 과학적 근거에 의한 합리적 자원관리의 필요성을 역설하여 公海漁場의 유지를 위해 노력하였다.

나. 새로운 公海資源 管理 參與

공해자원 관리와 관련한 UN 公海 魚族保存會議의 개최와 FAO의 “公海上 漁船의 保護 및 管理 措置 遂行 促進을 위한 協定” 채택 등으로 공해 자원에 대하여도 국제적 협의를 통한 제한적 이용만을 허용하는 추세에 따라 국제기구에서의 우리의 이익 보호를 위해 北太平洋 遡河性魚族委員會(NPAFC), 北太平洋 海洋科學機構(PICES), 남방 참다랑어保存委員會(CCST), 인도양 참치위원회(IOTC), 아·태 양식기구(NACA) 등의 기구에 가입을 추진하여, 이 중 북태평양 해양과학 기구는 '95.7.30자로 정식 회원국이 되었다.

다. 環境關聯 會議 參加

리우 UN環境會議 結果에 따라 '93. 7월 이래 4차에 걸쳐 개최된 UN 魚族保存會議 및 책임있는 어업 시행규칙 성안을 위한 회의 등에 능동적으로 참여하여 우리나라의 이익을 최대한 반영하였으며, 環境關聯 國際 動向을 국내정책에 반영하고 있다.

第 2 節 新漁場 開發

1. 新漁場 開發

海外漁場의 持續的 確保를 위하여 세계 沿岸國과 다각적으로 漁業協力을 강화하고, 個別入漁에 의한 漁場開發과 公海漁場 開發을 적극 추진하였다.

'94년도는 新漁場 開發을 위하여 멕시코수역에 오징어채낚기 1척, 지난해 西部아프리카 세에라레온 및 코트디부아르 수역에 이어 가봉국 수역에 母船式 외출낚시 1척이 각각 출어하였으며, 또한 파타고니아 이빨고기(일명:메로)의 자원개발을 위하여 底延繩 1척을 南氷洋 協約 수역과 인근 公海水역을 포함하여 남서대서양과 포크랜드수역 漁場까지 확대 진출토록 하였다.

한편 '93년부터 操業이 중단된 北太平洋 오징어流刺網漁業의 代替漁法 開發을 위하여 북태평양수역에 韓國漁業技術訓練所 소속 실습선 1척, 沿近海채낚기어선 16척이 試驗操業을 실시하여 漁場性이 확인됨으로써 오징어채낚기어업의 商業漁業으로 전환 가능성 확인 및 국내 가공용 빨강오징어 원료의 지속적 확보와 아울러 연근해어선이 원양수역에 진출할 수 있는 길을 여는 계기가 되어 연근해 어장의 어획노력 감축 효과 등 긍정적인 성과를 거두었다.

2. 海外 合作事業

世界 沿岸國들의 『200海里 經濟水域 宣布』 등 漁業 資源의 自國化 政策에 따라 外國어선에 대한 單純入漁 禁止 및 規制를 강화하고 있으며, 특히 미국의 경우 北太平洋의 直接漁獲 할당량 및 共同事業 物量의 終熄으로 事實상 外國漁船의 入漁가 불가능하게 됨에 따라 長期的으로 海外資源을 확보하기 위해서는 대부분의 沿岸國들이 장려하고 있는 海外 合作事業이 불가피한 實情이다.

合作事業을 통한 漁場進出은 '94년말 현재 水産物 國內 輸入을 目的으로 海外資源開發事業法에 의한 허가를 받은 업체는 15개국(미국, 칠레, 아르헨티나, 뉴질랜드, 인도네시아, 중국 등)에 49개 業體가 진출하고 있으며, 이들 업체가 '94년도중 國內에 輸入한 량은 11개국에서 76,137톤이며, 主要魚種은 오징어, 명태, 연육, 조기 등이다.

3. 特殊地域 漁場 進出

北方 社會主義 국가와 漁業協力은 새로운 漁場開發과 관계개선을 통한 漁業協定 締結 등 어업교섭의 강화로 정상적인 漁業協力 關係 樹立을 위하여 積極的으로 진출한 결과, 러시아 水域은 '91년도에 처음으로 해외합작 事業을 실시한 이후 '94년말 현재 5개사 5척이 진출해 3,632톤을 漁獲함으로써 北太平洋에 出漁하는 트롤어선의 代替漁場 開發 및 명태수요의 새로운 供給源을 계속 확보할 수 있게 되었으며, 中國水域에 8개사 6척이 合作事業으로 進出하여 홍어, 조기, 아귀 등 1,997톤을 수입하여 국내 수산물 의 수요에 충당하고 있다.

第 3 節 遠洋漁業 競爭力 強化

1. 遠洋業體 經營 支援

海外漁場의 진출에 직접적인 영향을 미치는 沿岸國의 어업자원 자국화 정책의 심화 및 國際 水産機構의 자원관리 強化 등으로 어려움에 처해 있는 遠洋漁業을 지원하기 위하여 기존어장의 지속적인 확보와 沿岸國 漁場開發 및 특수지역 어장진출을 적극 추진하고 아울러 新漁法을 개발하여 遠洋漁業을 안정적으로 확보토록 노력하였다.

또한 원양어업의 경영압박 해소와 불황 극복을 위하여 遠洋漁船 출어 지원경비인 營漁資金과 海外資源 生産支援 資金을 '94년에 1,700억 원 을 지원하였으며, '95년도에도 2,050억 원 을 지원할 계획이다.

아울러 소비자의 기호에 맞는 水産加工品의 개발과 품질향상으로 내수기반을 더욱 확대하는 한편, 내실있는 기업경영으로 국내·외적 여건 변화에 적응력을 확보하도록 하였으며 국제수산기구와 沿岸國의 入漁條件 및 규제상황을 분석 홍보함으로써 날로 악화되고 있는 국제어업 환경에 적극 대처, 해외어장에 안정적으로 진출토록 지원하였다.

2. 勞使協調와 安全 操業

노사협조를 통한 생산증대를 위해 한국원양어업협회와 전국원양수산노동조합간의 船員處遇 改善 努力을 지도하여 고정급과 보장급 및 주부식비 등이 인상되도록 하였으며, 이 중 하급선원의 경우 월평균 최저 고정급을 '93년도 621천원에서 '94년도 671천원으로 8%, 주부식비는

'93년도 1인 1일기준 6,500원에서 6,800원으로 인상되었고, 漁撈契約 만기 종료후의 최저 보장급도 750천원에서 800천원으로 상승함으로써 船員에 대한 處遇가 실질적으로 개선되도록 지도하였다.

원양어선 海難事故 豫防 및 勤勞環境 등 개선을 위해서는 부산항 및 해외기지에 정박중인 22개사 23척의 원양업체 및 원양어선을 방문하여 선박 안전관리 실태, 선내거주 위생시설 및 임금지급 실태 등을 점검하여 도출된 問題點 및 改善事項을 해당업체에 통보, 보완 시정토록 하였다.

그리고 船員家族 격려 및 사기진작을 위하여 중·고, 대학생 1,303명에게 199백만원의 학자금 보조와 수산청장 및 업계 대표의 격려 서한문을 전달하였고 총 517회에 걸친 船員과의 對話 機會를 가짐으로써 노사간 화합을 이루도록 하였다.

또한 沿岸國의 피납 방지와 각종 사고 방지 등 安全 操業을 위하여 國立水産振興院에서의 선장교육, 韓國漁業技術訓練所에서의 안전조업, 해외기지 및 업체 자체교육 등 총 14,669명의 遠洋漁船員에 대하여 연안국 규제동향과 조업중 안전수칙 등의 교육을 실시하였다.

한편 선박점검 철저로 해난사고를 미연에 방지하도록 700척에 대하여 출항전 안전점검을 실시하였으며, 빈발하고 있는 선원간 폭행사고에 대하여는 사고선원의 채용 금지 및 선장과의 대화기회 확대 등으로 船內 화합 분위기 조성에 만전을 기하도록 지도하였다.

3. 北太平洋 오징어流刺網漁業 轉業

北太平洋 오징어流刺網漁業은 1980年 14척이 最初로 出漁操業한 이후 출어척수 및 어획량이 매년 증가하여 왔으나 '91.12.20일 제46차

유엔총회에서 '93.1.1일 이후 세계 모든 공해상에서 유자망어업 중지를 결의함에 따라 우리나라 北太平洋 오징어流刺網漁業도 조업 중단이 불가피하게 되었다.

이에 대처하기 위하여 정부에서는 '93.1.18일 北太平洋 오징어流刺網漁業 轉·廢業 대책을 수립하여 다른 업종으로 전업을 희망할 경우 기존 유자망어선을 폐선하거나 수출한 자에 대하여 어업허가 가능한 범위 내에서 원칙적으로 허용토록 하고, 전업에 따른 어선개조 및 구입자금으로 長期 低利資金 375억원을 확보하여 지원토록 한 바 있으며, 또한 어선이 노후되어 폐선할 경우를 대비 이를 어초로 활용키 위하여 古船 魚礁 事業費 79억8천만원을 확보하여 정부에서 한국감정원의 감정평가에 따라 폐선을 매입키로 한 바 있다.

이와 같이 정부에서 적극적으로 전업을 추진한 결과 '94년말 현재 轉業대상 105척중 89척이 오징어채낚기, 트롤, 통발어업 등으로 전업을 완료하고 16척이 유자망어선을 폐선 또는 수출하거나 개조하여 전업을 추진중이며, 轉業資金으로 기확보한 '93년도 재정투융자특별회계에서 앞으로도 계속 지원할 계획이다.

그러나 폐선을 이용한 고선어초 사업은 한국감정원의 감정가가 어민이 희망하는 금액과 현격한 차이로 인하여 어초 제공을 기피함으로써 동 사업은 추진이 불가능하게 되었다.

한편, 轉業 推進중인 16척에 대하여는 오징어채낚기, 연승, 통발어업 등 비교적 전업이 용이하고 轉業 費用이 적게 드는 업종으로 전업을 적극 지도하고 능력있는 업체와 협업을 유도함과 아울러 轉業資金의 지속적인 지원을 통하여 빠른 시일내에 전업을 완료할 수 있도록 적극 추진해 나갈 계획이다.

第 6 章 水産 技術開發

第 1 節 増養殖 技術開發

1. 優良品種 技術開發

가. 魚類品種 改良試驗

해산어류의 遺傳 育種學的 연구의 일환으로 넙치의 전암컷 집단 생산을 위해 1991년에 생산된 가짜수컷과 雌性發生性 2배체에서 자연 산란된 종묘를 대상으로 子孫檢定을 실시한 결과 100%의 암컷 집단이 誘導되었다. 또한 무지개송어, 은어, 넙치, 참돔 및 방어에서 게놈유전자(genomic DNA)를 분리하는 방법을 개발하였으며, 海産魚類의 遺傳子 分析 및 保存을 위해 넙치 4계통(일본산, 동·서·남해안산)에 대한 미토콘드리아 DNA 분석을 통하여 集團間 類緣關係를 분석한 결과 동해안산(주문진)이 현상태에서 순수 母系血統으로 보여지며 이들 결과는 遺傳的 표지로 이용 가능할 것이다.

內水面 養殖品種에 대한 우량품종 기술개발을 위하여 틸라피아의 응성어 종묘생산 시험과 자외선 조사에 의한 메기와 잉어의 정액에 자외

선 10,000~12,000 μ W/cm²를 조사하여 수정시킨 난에서 부화하여 雌性發生이 가능하였고, 자성 호르몬제는 1.0ppm에서 84.6%의 높은 전환율을 나타내었다. 또한 산천어 종묘생산 시험을 실시하였고, 잉어의 13종의 우량친어를 관리 사육하였다.

나. 貝類品種 改良試驗

양식굴 品種 改良에 관한 연구는 安定的인 굴 種苗 確保 및 國際 競爭力이 있는 優良굴을 生産하기 위한 일환으로 東·西·南海岸産 굴의 殼形質 分析, 生理的 特性 및 移植養成 效果, 地域別 굴의 相互交配 可能性을 調査하였다.

전복에 있어서는 低溫 자극(3℃)에 의해 수정 12분후 15분간 처리 또는 수정 32분후 15분간 처리한 것이 3배체 誘導率이 가장 좋았으며, 3배체와 2배체의 성장도 및 貝殼形質 비교에서는 平均殼長 33mm인 현재까지는 成長差異가 없었고, 貝殼形質 중 各곡/각장의 비가 3배체가 높아, 3배체가 2배체에 비해 둥근 傾向이었다.

다. 海藻類 品種 改良 試驗

海藻類 優良品種 技術開發을 위해 육상 고등식물에서 사용하고 있는 生命工學 技法인 조직배양 기술을 도입하여 원형질체 분리 및 특수처리에 의한 세포융합 기초시험결과 원형질체 분리는 複合酵素區에서 가장 양호하였으며, 효소처리 시간은 1~2시간이 적정하였다. 原形質體 附着 效果試驗에서 김 망사에 직접 부착시키는 것보다 한천배지(Agarose)를 첨가하였을 때 가근발아 및 생존율이 높았으며, 培養 100일째 가근은 길이 5mm 정도의 葉狀體로 분화하였다.

2. 増養殖 技術開發

가. 種苗生産試驗

有用種苗의 生産, 分讓 및 방류를 위해 전국 11개 培養場에서 어류는 넙치 등 7종 2,387천마리, 貝類는 전복 등 5종 6,221천마리, 甲殼類는 보리새우 등 4종 33,495천마리, 기타 보라성게 등 3종 600천마리, 넙치수정란 31,950천개 등 총 74,653천마리를 생산하여 49,050천마리를 전국의 어민에게 분양하였고, 29,603천마리는 放流하였다. 種苗生産 技術開發을 위해 총거리 가자미의 7종에 대한 新品種 開發試驗을 遂行하였고 송어의 6종(7과세)에 대한 基礎技術 開發을 수행하였다. 또한 國內의 固有 遺傳子 保存을 위해 어류 7종에 대해 遺傳的 동정과 系統保存을 실시하였다.

나. 海産魚類 養殖技術 開發試驗

지역특성에 맞는 海産魚類 養殖技術을 개발하기 위하여 동해안에서의 쥐노래미 양식시험의 일환으로 生殖 年週期 및 成長度 調査를 실시하였고, 육상수조 사육기술 개발을 위하여 조피볼락의 밀도별 사육효과 시험과 먹이 공급량별 消化酵素 活性化度 변화 및 성장시험을 행하여 조피볼락 치어의 飽食量 및 適正 먹이공급량을 究明하였다. 해산어류의 高效率 閉鎖循環濾過 사육시스템 개발 및 高密度 循環濾過 飼育管理技術의 개발을 위하여 回轉圓板式 여과조의 회전수별, 유입수량별, 사육어 증량별 및 사육수의 암모니아 농도에 따른 수질변화를 조사하였다. 또한 값싼 海産魚 배합사료를 개발하여 양식경비를 줄이고 생산성을 높이기 위하여 조피볼락의 탄수화물 요구량을 究明하였고, 수산가공 부산물(오징어내장)을 이용한 넙치 배합사료의 적정 함유량을 조사하였다.

다. 內水面 魚類養殖 技術開發試驗

內水面 資源增強을 위하여 잉어류, 툀라피아, 송어류, 산천어, 무지개송어 등의 淡水魚種의 우량어미를 飼育管理하고 치어를 生産, 養殖漁家에 252천마리를 分讓 普及하여 어가소득 향상에 기여하였다. 아울러 회유성 어종인 연어의 資源造成을 위해 연어 치어 12,000천마리를 江原道 南大川 등에 방류하였다. 그리고 養殖品種 다양화를 위하여 은어, 자라, 동자개, 참개 등에 대한 養殖技術 開發試驗과 어민 개인 養殖場의 疾病 發生狀況을 調査하여 豫防 및 治療對策의 指導에 임하였고, 은어, 비단잉어, 송어류에 대한 3배체어 生産試驗도 실시하였다. 유수식양어장 정화시설 효과와 水質汚染 負荷量 경감 및 魚病對策의 일환으로 오존사용 효과에 대하여 조사하였고, 대어민 技術普及을 위하여 專門 研究員에 의한 技術教育, 技術指導誌 보급 및 管内 養殖場 순회교육 등을 실시하였다.

라. 貝類 養殖技術 開發試驗

패류 먹이개발에 관한 研究는 패류의 실내 사육시 널리 이용되는 5종 식물 플랑크톤의 고밀도 배양기술 개발을 위하여 배양 환경별(조도, 광주기, 배지의 영양염 조성, 해수의 멸균처리 방법) 성장과 영양염 변화 과정을 측정하였으며, 이에 따른 먹이생물의 生化學的 조성도 比較 分析하였다. 또한 잠굴 유생을 대상으로 먹이효율 비교 試驗도 실시하여 效率的 먹이생물의 이용을 꾀하였다.

수산물 수입개방으로 인하여 수산양식이 위축되어 가는 현 시점에 있어 새로운 養殖對象 品種의 양식기술 개발로 어민소득 증대를 위한 지역 특산화 품종을 개발하기 위하여 추진되고 있는 우럭양식 기술개발 시험은, 왕우럭 모패 室內 越夏飼育에 성공하여 越夏 모패에서 채란하

였으며 산란기는 11월 초순으로 조사되었으며, 자연산 왕우럭의 채란시기는 거제산이 11월 초순 이후, 남해산이 11월 중순 이후로 判明되었다. 왕우럭 幼生飼育을 위한 收容密度는 1m²당 30개체 이하에서 生存이 양호하였으며, 사육수온은 20℃ 이하에서 생존이 양호하였다.

키조개 양식기술에 관한 연구의 일환으로 야외 이식 효과시험을 실시한 密度別 시험에서는 30마리/m² 수용구가 生存率이 가장 높았으며(88.3%), 밀도가 높을수록 생존율이 낮았다. 또한 産卵期 究明을 위한 속도조사 결과, 생식소는 3월부터 成熟하기 시작하여 6월 20일에 生殖巢 指數가 최대치를 나타낸 후, 7월 20일에 50개체중 60%에서 산란 흔적이 관찰되었으며 8월 30일에는 전 개체가 방란 방정을 마친 상태였다. 패각도 지수는 4월에 최대치를 나타내고 생식소 지수 상승에 따라 감소하기 시작하여 7월에 최저치를 보인 후 점차 증가하였다. 암수 性比는 1:1.4로서 암컷보다 수컷이 많았다.

해가리비 養殖 技術을 개발하기 위한 연구 결과, 생식소 속도는 6월에 가장 낮았고 9월에 가장 높았다. 총중량에서 육질중량이 차지하는 비율과 총중량에서 패각중량이 차지하는 비율은 5월이 가장 높은 반면에 9월이 가장 낮아 생식소 성숙 시기와는 역상관의 關係를 나타내었다. 産卵誘發 시험결과 수온상승 자극에 의해 산란이 유발되었다.

전복 인공종묘 방류에 의한 자원 조성 효과조사 시험결과, 전복 먹이 생물인 海藻類는 5월을 중심으로 가장 많았고, 3~5월은 대형 갈조류가, 8월 이후에는 홍조류가 많았다. 전복 먹이로서는 다시마, 파래, 미역이 양호하였고 飼育密度가 적은 곳일수록 성장 및 생존율이 良好하였는데 각장 43mm에서 방류 후 1년 5개월 후에 69mm로 성장하였으며 인공산 혼획비율은 62.5%였다. 인공 블록초 및 해조장 조성 어장에 자연초 어장보다 유용 정착생물 위집이 良好하였다.

마. 海藻類 및 其他 養殖技術 開發

쇠미역의 養殖技術 開發을 위한 서식지 環境, 월별 성장도 및 자낭반 형성 등의 基礎調査와 유주자 放出에 의한 채묘, 室內 培養 등에 대한 試驗을 실시하였다. 또한 西海岸 들김 養殖技術開發을 위하여 들김 絲狀體 生長 및 病害調査, 양식 기초시험, 選拔 育種試驗을 실시하였으며 모자반 양식기술을 위해 人工採苗 試驗과 양성시험 및 해적 구제시험을 실시하였다.

보리새우 養殖技術 開發試驗으로 자연산 보리새우의 越冬 및 成熟誘導를 통한 조기 種苗生産技術의 개발을 위한 기초연구로서 보리새우의 越冬 및 成熟에 알맞은 環境조건을 결정하고 內分泌調節에 의한 成熟誘導方法을 개발하기 위하여 시험관 및 생체내 조건하에서 스테로이드 호르몬과 다양한 環境요인이 보리새우의 卵巢에 미치는 영향을 조사한 결과, 自然産 보리새우 암컷의 生殖巢 指數는 10월에서 이듬해 5월에 이르기까지 1.0 이하에서 머물다가 6월에 2.45로 갑작스런 증가를 보였고, 7월에는 6.39로서 연중 가장 높은 값을 나타낸 후 8~9월에 걸쳐 서서히 감소하기 시작하다가 10월 이후에는 생식소는 급속도로 퇴화하여 이듬해 5월 이전까지는 生殖巢의 發達이 거의 중지되는 것으로 나타났다.

第 2 節 漁具漁法 및 加工技術 開發

1. 漁具漁法 技術開發

가속화되고 있는 어업인력의 감소와 노동력의 노령화 및 부녀화 추세

에 능동적으로 대처하기 위한 操業自動化 연구를 통해 조업인력을 감축 시킴으로써 국제 경쟁력 향상을 도모케 하고, 연근해 어장의 합리적 이용을 도모하기 위하여 資源管理型 漁具漁法 技術開發 연구를 추진함으로써 어민소득 수준의 지속적 향상을 꾀하는 한편, 養殖漁場의 內灣 밀집으로 인한 沿岸汚染 가속화에 능동적으로 대처하기 위하여 養殖漁場의 適地를 內灣에서 外海로 확대시키기 위한 耐波性 養殖施設 開發에 관한 연구 등을 漁具漁法 技術開發 연구의 기본방향으로 설정하여 연차적으로 추진하고 있으며 1994년도에 실시한 시험연구 내용은 다음과 같다.

가. 操業自動化 시스템 개발

延繩은 選擇성이 높고 漁獲物이 고가인 고부가가치형 어업이나 조업 과정이 기계화되지 않아 인력 소모가 크고, 조업과정도 복잡하여 어촌 인력난의 영향을 크게 받고 있다. 따라서 沿岸 延繩漁業의 생산성을 향상시키고, 국제 경쟁력을 갖추기 위한 조업자동화 장치로서 무작위형(Random) 投繩機, 어구 수납레일, 미끼 切斷機를 제작하여 명태 延繩을 대상으로 3차에 걸친 해상 적용시험을 실시한 결과 미끼 끼움 효율은 95% 이상이었고, 미끼 절단기에 의해 절단된 미끼는 0.9cm 간격으로 일정하게 절단되었으며, 조업인원을 재래식보다 30~40% 절감하여 조업 가능케 하였으며, 鹽藏 미끼를 鮮魚로 대체하여 釣獲率이 재래식보다 2배가량 우수하였다. 또한 沈漬시간에 따른 釣獲率은 投繩후 약 6~7시간까지는 증대되나 그 이후에는 감소하였다.

나. 資源管理型 漁具漁法 技術開發

1) 資源管理型 트롤망에 관한 연구

트롤어업은 沿近海 어업 생산량의 22%를 차지하는 주요 어업이나

網地の 漁具 物理學的 特性으로 소형어의 탈출이 거의 없어 미성어의 混獲率이 높을 뿐만 아니라 탈출한 어류의 生殘率도 극히 저조하여 대상자원 격감의 주된 요인이 되고 있다. 따라서 대상어종과 업종의 현실 여건에 알맞는 자원관리형 트롤망의 개발로 미성어의 혼획률을 최소화함으로써 자원 이용의 합리화를 도모하기 위해 70, 85, 100mm의 四角網目(Square mesh)을 각각 제작하여 남해안 및 제주도 주변해역에서 총 31회에 걸쳐 網目 형태별 어류 脫出상태 비교시험을 실시한 결과 미성어의 脫出率은 사각망목에서 대부분의 어종이 70mm에서 70%, 85mm 90%, 100mm 95% 이상의 높은 탈출률을 나타냈으나 납작고기의 탈출은 85mm 이상의 망목일 때 미성어 탈출이 보다 효과적임을 알 수 있었다.

2) 피빨고등 어구어법 개발시험

피빨고등은 서해와 남해의 조간대에서 수심 10~20m에 이르는 淺海의 沙泥에 많이 서식하고, 굴 및 다른 貝類를 잡아 먹는 肉食性 패류로 굴양식장 등의 해적 생물이 되고 있어 효율적인 驅除 대책이 필요한 실정이다. 따라서 피빨고등을 비롯한 고등류를 효과적으로 어획할 수 있는 5종의 통발을 제작하여 피빨고등의 행동반응 水槽試驗과 해상 漁獲性能試驗을 실시한 결과 피빨고등의 활동 시간대는 오전 0~6시 사이이고 주활동 시간대는 오전 3~5시 시간대이었다. 피빨고등은 嗅覺이 발달하여 미끼 냄새로 통발 가까이 접근하나 入網은 입구와 우연히 遭遇하였을 때 가능하였고, 사각주형 통발과 원통형 통발이 어획효과가 가장 좋았다.

다. 魚群制御 技術開發

1) 旋網漁業의 魚群制御 기술개발

선망 조업대상 어종은 游泳速度가 빨라 揚網 操業중 漁具 가장자리

방향으로의 逃避率이 30~80%로 매우 높아 逃避하는 어군을 遮斷하기 위하여 선체를 두드리는 방법을 사용하고 있으나 어군도피 차단효과가 거의 없는 실정이다. 따라서 효과적인 어군도피 차단 기술개발을 위하여 壓縮空氣 탱크를 이용한 刺戟源 裝置(Air gun)를 제작하여 시험선 부산 881호(369G/T, 1,600PS) 및 민간 旋網船 제85급성호(149G/T, 1,600PS)로 해상 시험 및 현장적용 시험을 실시한 결과 어군도피 차단효과가 명확함을 확인하였고, 장치의 효과적인 선내 장착 방법 도출로 실용화 가능성이 높음을 구명하였다.

2) 定置網 魚群監視 System 개발에 관한 연구

定置網 어업은 어군의 入網 여부 및 입망량을 모르는 상태에서 1일 1~2회 출어 조업하고 있어 인적, 물적 손실이 많으며, 입망된 어군의 정확한 행동 패턴을 알 수 없어 漁具構造 改良이 어려운 실정이다. 따라서 陸上에서 어군을 감시할 수 있는 시스템을 고안, 제작하여 성능을 파악한 결과 魚群 探知裝置의 探知 거리는 최대 1,600m, 탐지범위는 Mode 선택에 따라 立體的 또는 平面的으로 탐지가 가능하였고, 탐지 목적이나 목표물에 따라 어군탐지 장치의 성능을 다양하게 조정할 수 있음을 구명하였다.

라. 耐波性 養殖施設 개발에 관한 연구

우리나라는 風波와 潮流에 의한 자연 災害로부터 養殖 施設物을 보호 받을 수 있는 天惠의인 內灣형 어장이 극히 제한되어 있으며 그 어장도 貝藻類 양식장이 先占하고 있고, 양식장의 自家汚染으로 赤潮 및 어병이 자주 발생하고 있다. 이러한 문제점의 해결책의 하나로서 양식장의 적지를 內灣에서 外海로 확대시켜야 하며, 이에 따른 내파성 어류 가두리 시설 개발을 위하여 1994년도에는 적정규모의 양식 시설을 도출하

기 위한 浮上式, 浮沈式 어류가두리 시설, 가리비 延繩式 양식시설 및 繫留장치에 관한 模型實驗을 실시한 결과 浮上式 어류가두리 시설은 현재 사용중인 목재 프레임과 스티로폼부자 대신 고강도 PE관을 사용하여 流水抵抗을 최소화시켰고, 浮沈式에서는 高強度 PE관 浮子에 壓縮공기와 해수를 임의로 주입시켜 환경의 변화에 대응하여 가두리 시설 자체를 沈下 또는 浮上시킬 수 있도록 설계하였다.

2. 水産物 利用加工 技術開發

가. 水産製品 加工技術 開發試驗

1) 멸치 및 오징어 製品開發試驗

옛부터 어촌에서 가내 수공업적으로 제조하여 이용되어 오고 있던 생멸치 건제품의 제조공정을 개량하여 처리능률을 향상시키고 규격화된 제품의 제조를 목적으로 성형틀에 생멸치를 일정량 넣고 압착한 후에 건조함으로써 대량 처리가 가능할 뿐만 아니라 규격화된 제품을 얻을 수 있는 가공방법의 개발로서 어민들이 家內 手工業적으로 이용이 가능하다.

한편 현재 유통되고 있는 오징어 제품의 대부분은 몸통육만을 이용하는 반면에 다리 부위는 부산물로 취급되어 몸통육에 비해 가격면에서 1/3 수준이며 마땅한 용도가 없는 실정이다. 따라서 다리육의 용도개발을 목적으로 다리육을 수분 함량이 30% 전후가 되게 半乾하여 이를 마쇄한 후 調味 形成하여 쥐치脯와 유사한 乾魚脯를 加工하거나 또는 마쇄한 肉을 압출성형기(extruder)를 통해 膨化식품을 加工하는 방법을 개발하였다(특허 출원 제5594호). 이들 제품은 마른오징어 고유의 맛과 향기 성분이 그대로 유지되는 것이 특징이다.

2) 새우젓의 品質 標準化 研究

우리나라 傳統 水産食品 中の 하나인 새우젓의 品質표준화를 위하여 市中에 유통되고 있는 새우젓의 品質을 평가하고, 적정 加工조건 구명을 위해 젓새우와 돛대기새우에 대해 鮮度, 食鹽의 種類, 食鹽의 濃度 및 熟成 온도별로 시험하여 새우젓 加工의 最適조건을 究明하였다.

3) 참치 內臟物의 養殖飼料 素材 加工 技術開發 試驗

다랭이류(참치) 통조림 加工시에 폐기물로 나오는 內臟物은 年間 約 10,000톤이 되고 있으며, 이들 內臟物을 養殖飼料 素材로 이용할 목적으로 젓산菌을 이용하여 醱酵 液化物을 제조하는 기법을 개발하였다. 이 技法에 의해 加工한 발효 액화물은 아미노酸 등의 영양성분 및 貯藏性이 우수하고 어류의 病原性 세균도 死滅되어 魚類養殖 대체 原料로 이용할 수 있다는 것이 실용화 시험을 통해 입증되었다.

나. 海藻類 利用에 관한 研究

연근해에 분포하고 있는 해조류중의 生理 活性物質 檢索에 관한 연구의 일환으로서 주요 식용 및 비식용 해조류 19種에 대하여 抗菌性 및 抗酸化性 成分의 檢索을 실시한 결과 抗菌性 物質은 녹조류 2種, 갈조류 1種 및 홍조류 2種에서 검색되었고, 抗酸化性 物質은 녹조류 2種, 갈조류 1種, 홍조류 2種에서 活性이 强하게 나타났으며, 특히 强하게 나타난 물질은 수산제품의 品質수명 延長에 이용할 수 있는 기초자료를 확보하게 되었다.

다. 水産物의 成分特性 利用에 관한 研究

일부 담수산 어류가 老弱者 및 환자회복식으로 옛부터 利用되어 오고 있으나 그 營養成分이나 生理活性 物質이 밝혀져 있지 않아 과학적 海

명자료를 얻기 위하여 영양학적 특수성분 분석을 실시중에 있으며, 한편으로는 유효성분의 최적 추출방법 구명시험도 실시하였다.

라. 水産物의 衛生管理 改善試驗

한·미 패류위생협정 운영과 관련하여 수출용 패류생산 지정 및 주변 해역 38천ha에 대해 위생 지표 세균 및 패류독소 조사를 통한 지정해역 관리와 안정성 제고로 패류수출신장에 계속 이바지하고 있으며, 이 밖에 최근 미국에 수출한 게맛살 어묵, 게살제품 등이 식중독 세균인 *Listeria*균에 오염되어 클레임을 받은 바 있어 이 균에 대한 가공 및 유통과정에서의 오염원의 실태파악, 除菌조건 구명과 신속 검출법 확립을 위한 실험도 실시하였다.

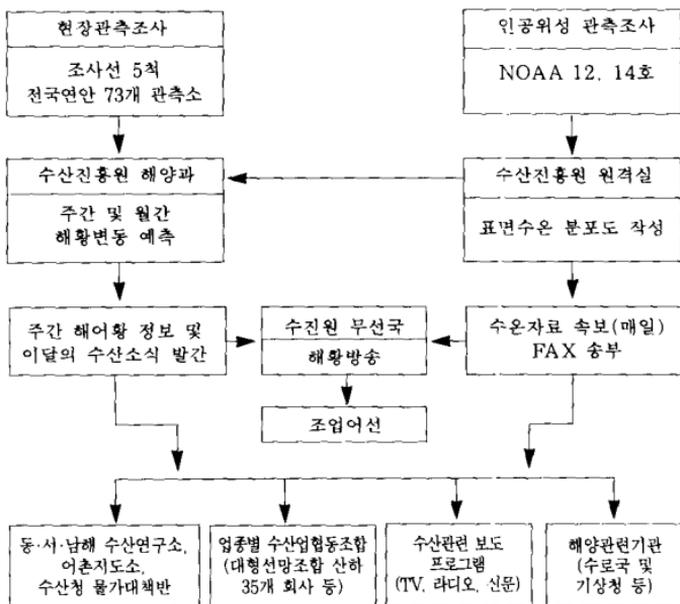
第 3 節 海洋環境 및 資源調查

1. 海洋環境

가. 海洋

우리나라 연근해 어장환경의 효율적 이용 관리 및 보전을 기하고, 어장형성에 크게 영향을 미치는 해황의 장·단기 변동연구를 위하여 기초 조사를 수행하였다. 이를 위하여 미국의 NOAA 인공위성으로부터 직접 수신된 자료를 매일 분석하여 “水溫資料 速報”로서 關係機關 및 漁民 등에 167회 제공하였으며, 위성영상 수온 분포도와 조사선 및 전국 연안 73개 관측소의 현장관측 자료로써 주간 및 월간 海況變動을 예측하여 “주간 해어황 정보” 및 “이 달의 수산소식”에 게재 배포하였다.

〈表 84〉 우리나라 近海 海況變動 調査 및 海況情報 提供 體系圖



資料 : 수산청 국립수산진흥원

한편, 沿岸漁場의 생산성 증대를 위해 시설된 각 해역별 인공어초 어장의 자원 조성 효과를 조사하여 연안어장의 목장화에 대한 기초연구를 수행하였으며, 한국해양자료센터(KODC)의 기능을 적극 활용하여 국내·외 해양 및 水産情報를 수집, 수산단체 및 관련기관에 신속하게 제공하여 漁民所得 증대와 수산업계의 합리적 경영을 지원하는 사업을 수행하였다.

나. 環境

연안어장 환경오염 조사를 위하여 전국 주요 연안어장에 설정된 266개 조사점에서 化學的 酸素要求量, 溶存酸素 및 營養鹽類 등 10개 水質 指標 성분에 대한 조사를 년 4회, 저질조사 년 1회, 重金屬 오염 조사 및 방사능 조사를 년 1회 그리고 유기주석 화합물 조사를 년 1회 실시하여 전국 연안의 환경오염 변화 양상을 파악하여 환경보전을 위한 기초 자료로 활용하였다. 또한 폐쇄성 내만의 부영양화 원인물질의 분포 특성과 계절적 변동 그리고 부영양화에 따른 저산소 수괴형성, 적조 발생과의 관계 등 연안 양식어장의 효율적 관리를 위한 기술개발을 목표로 표본 해역인 진해만에 대하여 유기물질 조사, 침강물질 조사 및 유입부하량 조사를 년 12회 실시하였으며, 전국 수산자원 보전지역(해면 10개소 내수면 19개소)에 대하여 일반 수질지표 성분 및 어·패·조류의 생산동향 및 출현종 조사를 실시하여 보전지역의 환경변화를 파악하여 수역보전 관리의 기초 자료로 활용하고 있다.

한편, 적조에 의한 양식생물의 피해를 경감시키기 위하여 남·서해안 총 57개 조사점에서 연 7회 이상 적조감시 조사를 실시하고, 해수중 유독성 플랑크톤의 출현종과 출현량을 조사하여 패류독화 상황 감시를 위한 기본 자료로 활용하였다. 또한 유류 및 유처리제에 대한 생물의 독성도 평가 실험을 실시하여 각종 환경기준 및 수산피해 보상의 근거 자료로 활용하고 있다.

2. 沿近海 漁業資源

연근해 어업자원의 持續的 생산과 合理的 관리를 위하여 연근해 주요 어업자원에 대한 漁獲狀況 및 生物學的 조사에 의한 資源特性 變動을

연구하고 對象資源의 水準을 評價하였다. 어획상황 조사는 대형선망어업 및 대형트롤어업의 6개 近海漁業과, 꽃게 沿岸流刺網漁業의 4개 沿岸漁業을 대상으로 실시되었으며, 漁獲量 및 漁獲努力量을 조사하여 資源密度 指數와 分布域 變動을 분석하였다. 고등어, 전갱이, 정어리, 삼치, 부세, 멸치, 오징어 등 7개 어종의 浮魚類와 갈치, 참조기, 말쥐치 등 3개 어종의 底魚類에 대하여 어체측정 조사와 체장조성 조사를 실시하여 再生産力의 經年變動과 年級群을 분석하고 資源을 評價하였다. 沿岸資源에 대하여는 東海에서는 용가자미, 쥐노래미, 오징어, 명태, 도루묵 등 5개 어종에 대한 생물학적 특성과 정치망 어획물에 의한 沿岸魚類의 群集構造를 분석하였다. 西海에서는 낭장망 어획물과 꽃게, 대하에 대하여, 南海에서는 낭장망 어획물과 눈강달이, 전어, 옥돔, 자리돔 및 낭장망 어획물에 대하여 생물학적 조사를 실시하였다. 또한 東, 西, 南海의 주요 어종에 대한 資源特性 研究를 위하여 西海의 흥어, 새우류, 南海의 아귀, 새우류, 소라 및 비단가리비, 東海의 까나리에 대하여 어획량 변동조사, 생물학적 조사 및 어장환경 조사를 실시하였다. 한편, 연안어업 자원 조성 및 효율적인 관리를 위하여 동해의 은어 및 보라성게, 서해의 대하 및 조피불락, 남해의 넙치 및 감성돔에 대한 수산종묘 방류효과 조사를 실시하였다.

주요어업 자원의 신속한 동태파악과 시공간적 분포특성을 연구하기 위하여 南海岸 및 東海南部 海域을 대상으로 年 3회 科學魚探 調査를 실시하여, 어종별 자원량을 추정하고 魚群의 形態, 크기, 垂直 水平分佈 등의 魚群分佈 特性을 분석하였다. 이와 동시에 고래자원의 評價와 管理를 위한 고래 目視조사를 年 1회 실시하여 발견되는 고래의 種識別 및 數量을 조사하고 분석하였다.

특히, 연근해 어업의 安定的인 生産을 維持하고 漁業能率을 향상시키

기 위하여 대형선망 어업 등 연근해 주요 12개 어업에 대한 魚群의 移動狀況과 漁況의 展望을 매월 분석하여 月間 漁況豫測을 실시하였으며, 東·西·南海에 대한 週間 漁況概況 및 展望을 每週 分析하여 週間 漁況豫測을 실시하였다.

3. 遠洋漁業 資源

遠洋漁業 資源의 지속적 이용과 국제적 관리 기초를 마련하기 위하여 6개 主要漁業(다랭이연승 및 선망, 트롤, 새우트롤, 오징어채낚기, 풍치붕수망)의 대상자원에 대한 漁業資源 調査를 실시하여 자원 풍도 및 분포상태 등 資源 動態를 파악하였고, 11개 主要魚種(황다랭이, 눈다랭이, 가다랭이, 날개다랭이, 명태, 풍치, 빨강오징어, 웰링톤오징어, 아르헨티나 짧은지느러미오징어, 골드오징어, 아메리카대왕오징어)의 어획물 크기조성, 성숙상태, 연령조사 등 生態學的 조사를 실시하였다. 遠洋 出漁船으로부터 수집한 조업동태 보고서와 실험실내에서의 魚體精密 測定資料, 기타 해외정보 자료를 이용하여 遠洋漁業 資源의 동태 및 생태 파악과 資源評價를 실시하였고 분석된 결과는 원양어업의 水産政策 資料 및 漁業活動에 필요한 정보로서 제공되었으며 국제수산기구 및 쌍무회담(ICCAT, CCAMLR, FAO, SPC, IOFC, NAFO, IPTP, IATTC, NPFC, CECAF, 한·미, 한·뉴지, 한·호)에 제공되었다. 大西洋 다랭이保存委員會, 南極 海洋生物資源保存委員會 및 南極 漁業管理 曷샴, 10차에 걸친 베링公海 海洋生物資源保存 및 管理會議, 1~2차 오호츠크公海 海洋生物資源保存管理會議 및 科學者會議, 한·러漁業委員會 會議, '94년 韓國-러시아聯邦 수산과학기술협력 회의, UN경계외래 魚類資源 및 高度回游性 魚類資源會議 등의 國際會議에

참석하여 우리나라 원양어업의 권익을 확보하는 데 노력하였다. 또한 太平洋에서 조업중인 우리나라 遠洋漁船(다랭이연승, 트롤, 오징어채낚기)에 5명의 연구원이 직접 승선하여 어획 대상종의 豊度 分析, 生物學的 調査, 漁場環境 調査 및 附隨의 漁獲狀態 파악을 위한 기초자료를 축적함으로써 국제어업 분쟁해소와 합리적인 자원 관리에 대처하였다.

또한 주요 원양어업 자원의 遺傳的 기법에 의한 單位계통군 및 種 확인을 실시하여 합리적인 자원 종별 자원관리 方案을 모색하고 있다.

第 4 節 水産技術 指導·普及

1. 技術指導 및 弘報

가. 水産技術 普及

전국 연안 1,679개 어촌계와 내수면에 배치된 263명의 어촌지도 공무원으로 하여금 어장관리에 대한 양식어업인들의 새로운 의식계도와 국제경쟁력 강화를 위한 高所得 戰略品種의 안정생산을 목적으로 산하 25개 어촌지도소에 作況 豫報센터를 설치하여 동해안의 큰가리비, 전복, 서해안의 대하, 보리새우, 참게, 남해안의 어류, 진주조개, 돌김류 등 지역특성에 맞는 고소득 양식품종의 보급을 확대하고 넙치, 방어, 피조개, 굴, 미역, 우렁챙이 등 양식기술 普遍化 品種에 대한 適期 技術支援, 그리고 가리비, 전복, 피조개, 굴, 가무락, 돌김, 모자반 등 7개 품종을 대상으로 試驗·敎習漁場 58개소를 운영하여 새로운 採苗漁場 開發과 地域 特化品種 發掘 및 과학적인 양식기술 보급 확산에 주력하여 어업인소득 증대에 기여하였다.

또한, 주요 양식단지를 중심으로 技術指導船 또는 試驗調査船을 이용하여 어촌지도 공무원이 직접 水温, 比重 등의 어장환경 및 품종별 작황조사를 비롯하여 어장시설 및 관리실태 파악과 幼生調査를 통한 採苗適期豫報 등 양식어장 豫察活動을 매일 실시하였고, 각종 재해로부터 반복적 피해를 최소화하기 위하여 赤潮 主 發生 時期인 5~10월 사이 赤潮가 常習적으로 일어나는 곳과 우려되는 8개 지역에 대하여 定期豫察, 隨時豫察, 漁民委託 豫察을 실시하여 적조 발견시 신속하게 대처하는 한편, 태풍, 폭풍, 유류피해 등 각종 재해에 대비하기 위하여 38개 災害豫防 督勵班을 편성 운영함으로써 중앙식 시설물 안전관리 및 출어선 안전대피 지도 등으로 수산피해 최소화에 노력하였다.

새로운 수산기술에 관한 시험·연구 결과 및 營漁活動에 필요한 각종 수산정보를 어업인들에게 신속하게 전달하기 위해 보도매체를 통한 홍보활동을 연 4,440회를 실시하는 한편, 水産技術誌, 이달의 水産消息, 週間 海·漁況 情報, 漁村指導 消息誌 등 정기간행물 159千부를 발간 배부하였고, 주요 수산시책 및 현안사항 홍보와 수산양식, 해양, 어구업법, 수산가공의 발전과정 및 미래상을 전시한 전시실을 연중 개방, 많은 국민들이 견학할 수 있도록 하여 수산에 관한 올바른 이해와 중요성을 인식시켜 수산시책 및 연구·지도사업에 적극 협조할 수 있도록 하였다.

나. 漁業人 教育 및 漁業人後繼者 指導

어업인들에게 새로운 어업기술과 소득원을 개발 보급하여 어촌 정착의욕을 고취시키고자 어촌지도소에서는 專門指導班을 편성, 1,679개 전 漁村契를 巡廻하면서 지역특성에 맞는 어업을 대상으로 어업인 38천 명에게 신기술 교육을 실시함과 아울러 유관기관과 합동으로 336회 集

合教育을 실시하여 과학적인 영어활동에 의한 어업소득 개발 및 어가소득 증진을 도모하였다.

또한, 지역단위로 주요 양식품종의 당면과제에 대한 문제점을 해결하고자 漁業人, 業界, 學界, 有關機關 등 661명이 참석하는 養殖漁業 研鑽會를 9회 개최하였으며, 어촌 청소년에게 미래의 수산업에 대한 꿈과 희망을 심어주고자 漁村地域 學生을 대상으로 청소년 수산교실을 29회 (4,089명) 운영하였다.

한편 어촌에 정착하여 어업에 종사할 의욕과 사업추진 능력이 있는 청소년을 정예인력으로 길러내고자 '81~'94년까지 선발된 7,232명의 어업인후계자에게 專擔指導士를 지정 배치하여 기술 및 경영지도를 전담케 하였으며, 또한 후계자의 기술향상을 위하여 수산기술지 등 각종 간행물을 수시로 지원하여 科學 營漁活動에 전력하도록 하였다.

2. 漁村指導 機能 強化

어촌지도 업무의 활성화를 기하고 점차 증가하고 있는 대어업인 지도 욕구 수요에 대처하고자 연차적으로 사무실 신·증축 사업을 추진하여 그동안 25개 지도소를 확보하였으며, 금년에도 진도, 창원, 거제 등 3개 지도소에 대한 증축사업을 완료하였다.

또한, 과학적인 영어기술 지도를 위한 지도장비 보강에 역점을 두어 '94년도에 사무장비 4종 39점, 기동장비 2종 5점, 홍보장비 7종 70점, 지도장비 22종 94점 등 총 35종 208점을 확보하였다.

어촌지도 공무원의 전문기술 향상과 지도능력 배양으로 보다 심도있는 기술을 어업인들에게 지속적으로 제공하기 위하여 수산진흥원 본원 및 수산연구소, 종묘배양장 등에서 총 42명의 지도사가 專門技術 教育

을 履修하였고, 31회에 걸쳐 147명을 대상으로 先進地 견학을 실시, 현장교육을 통한 정보수집 및 기술지도의 전문화에 노력하였다.

또한 경영경험이 풍부하고 덕망과 지도력을 갖춘 지역사회 지도급 인사 208명을 自願 漁村指導者로 委囑, 어촌지도 사업에 자진 참여토록 함으로써 지도소와의 유대를 강화하고 지역실정에 맞는 適合品種 開發 普及, 어업인교육시 營漁事例 發表, 水産施策 對漁業人 弘報, 資源造成 事業 등에 협력토록 하여 정부시책에 대한 대어업인 신뢰도를 높이도록 하였다.

대어업인 지도활동과 관련 指導士別 擔當區域 現況과 增·養殖場 管理 및 기술지도 등에 필요한 자료를 체계적으로 정리, 기록함으로써 금후 지도활동에 기초자료로 활용하고자 1,679개 어촌계에 대해 어촌계 현황 카드를 작성 비치하고, 당해연도 사업추진에 따른 현안사항 및 문제점 등에 대한 개선방안을 강구하여 어촌지도 사업의 성과 극대화를 도모하고자 지도소별 주례회의와 선임지도소 단위 월례회의를 개최하는 한편, 半期別로 전국단위 중간평가 및 최종평가 회의를 개최하여 사업성과의 평가·분석을 통해 보다 효과적인 어촌지도 사업이 이루어지도록 하였다.

第 5 節 水産 特定研究 技術開發

水産 特定研究 開發事業은 農漁村特別措置法에 의거 農漁村開發 綜合 對策의 일환으로 1990년도부터 國·公立 研究機關, 學界, 產業界 등이 共同 參與하여 推進되고 있는 事業으로서 水産業 發展 및 어업인 소득 증대에 크게 기여하고 있다.

'94년도에는 내과성 양식시설 개발 등 총 8개 과제(계속사업 5건, 신규사업 3건)를 選定 720백만원을 支援한 바 있으며, 1990년부터 1994년도까지 5개년동안 水産 特定研究 開發事業 課題로 총 29건을 선정 2,320백만원의 研究費를 지원하였다.

그 동안 特定研究 開發事業으로 연구 개발된 기술에 대하여는 水産施策 사업 반영, 漁業 現場 및 産業體 보급, 2단계 技術開發 등에 활용되고 있으며, 정부에서는 研究結果가 효율적으로 활용될 수 있도록 必要한 조치를 취하고 있다.

研究課題 選定은 研究機關, 學界 등으로부터 公開課題로 募集하여 수산청에 설치된 水産 特定研究 開發事業 審議專門委員會 및 中央水産産學協同審議會에서 研究課題에 대한 실용화 가능성, 기술의 첨단화, 기대되는 기술적, 경제적, 사회적 효과 등을 종합적으로 검토하여 엄정한 審議를 거쳐 선정되고 있다.

〈表 85〉 水産 特定研究 技術開發 推進實績

單位：百萬元

	計	'90	'91	'92	'93	'94
課 題 數	29	3	4	7	7	8
事 業 費	2,320	200	300	500	600	720

資料：수산청 생산국 연근해과

第 6 節 水産技術 訓練

1. 公務員 教育

수산청 및 각 시·도 및 산하 수산관계 공무원들을 대상으로 국가와 국민을 위해 봉사하는 공직관의 확립과 행정환경 변화에 대처한 정통한 직무 수행능력 함양, 수산시책 추진요원 양성에 목표를 두고 직급별 기본교육과 직무 분야별 전문교육을 실시하였다.

기본교육은 교육반을 승진 단계별로 편성하여 中堅管理者班 1회 19명, 中堅實務者班 1회 39명, 新規實務者班 2회 75명 등 4회 133명에 대하여 해당 직급에 필요한 교육을 받을 수 있도록 하였고, 국정이념 및 국가 당면시책에 대한 이해를 제고시키기 위하여 전체 교육시간의 44%를 정신 교과목으로 편성하여 공직자로서 요구되는 基本 精神教育을 강화하였다.

전문교육은 수산행정의 전문화·과학화에 부합할 수 있도록 직무성격에 따라 교육반을 더욱 세분화·확대하여 총 26회 959명을 교육하였는데 분야별로 나누어 보면, 직무의 전문성 제고를 위하여 漁業秩序管理班 2회 74명, 海面魚類養殖班 1회 33명, 內水面魚類養殖班 1회 42명, 水産經營班 1회 40명, 水産法規班 1회 46명, 漁船行政實務班 2회 89명, 補償行政實務班 1회 32명, 漁村指導實務班 1회 34명, 民願行政實務班 1회 43명, 漁業指導船士官班 1회 45명, 漁業指導船船員班 4회 216명 등 11개반(16회) 694명을 교육하였으며, 국제화·정보화 시대에 능동적으로 대처할 수 있도록 전산초·중급반 4회 96명, 영·일본어 교육반 2회 26명, 4개반(6회) 122명을 실시하였다.

또한 수산정책의 개발 및 발전 방향을 모색하기 위하여 『輸入開放에 따른 水産業 競争力 強化方案』을 주제로 한 정책개발반(1회 25명)을 운영하여 수산정책에 활용할 수 있는 자료를 제공하였으며, 수산시책반을 3회 118명 실시하여 수산시책의 효율적인 확산, 파급에 기여하였다.

2. 漁業人 教育

어업인교육은 어업인후계자 및 어업인 교육과정으로 구분 실시하였는데 어업인후계자 교육은 소득 품종별 營漁技術 教育을 통한 어촌정착 기반조성을 목표로 당해년도에 선발한 漁業人後繼者를 대상으로 新規 漁業人後繼者班 9회 638명, 이미 선발된 어업인후계자중 '94년도에 선정된 전업어가를 대상으로 專業漁家班 3회 99명, 산업 기능요원으로 편입된 어업인후계자를 대상으로 産業技能要員班 2회 102명 등 총 14회 839명을 교육하였다.

동 교육과정별 중점내용을 살펴보면 신규어업인후계자반은 어업인후계자로서 갖추어야 할 사명감과 지도자의 역할 등의 정신교육을 중점 실시하였고, 전업어가반은 교육대상자의 특성을 감안하여 업종별 교육반을 設定, 優秀 水産業體 현장 순회교육을 실시함으로써 수익성 높은 유망 개발품종에 대한 집중교육을 실시하였으며, 산업기능요원반은 어촌정착 의욕을 고취하는 정신교육과 기술교육을 병행 실시하여 교육효과를 높였다.

그리고 漁業人教育은 전국 어촌계장을 대상으로 어업인이 자율적으로 수산자원을 보호하고 어업질서 유지에 앞장서도록 資源保護管理班 교육을 2회 57명 실시하였고, 청정한 해양환경 보전으로 국민의 건강과 재산을 보호하기 위한 海洋汚染 防止管理人 教育 3회 271명 등 총 5회

328명을 실시하였다.

3. 特別教育

공직사회의 중간관리자를 의식개혁 운동의 선도·핵심계층으로 양성하여 소속 직원의 의식 및 형태 변화와 실천을 유도할 수 있도록 수산청 및 산하기관 4·5급 34명에 대하여 意識改革 核心管理者班 教育을 실시하였으며, 수산제조·수산양식 기술자격 취득자 422명에 대하여 새로운 기술을 보급하고 정보를 제공하는 國家技術資格者 補修教育을 실시하여 수산기술 자격취득자의 자질향상을 도모하였다.

〈表 86〉 水産公務員教育院 教育訓練 實績

單位：名

	'84	'92	'93	'94	'94/'93
計	9,348	2,812	2,717	2,715	100 %
公務員教育	788	949	746	1,092	146
漁業人教育	8,560	1,376	1,452	1,167	80
特別教育	-	487	519	456	88

資料：수산청 수산공무원교육원

註：'84년도 어업인 교육실적중 어선원 소양교육생 8,050명 포함

第 7 章 支援體制 整備와 制度 改善

第 1 節 行政規制 緩和

문민정부는 變化와 改革을 통한 新韓國 創造를 目標로 出帆한 이래 국민의 부담을 덜어주고 작고 깨끗한 정부, 능률적인 정부를 만들기 위하여 최선의 노력을 경주하고 있으며, 이러한 정부의 개혁 작업중 가장 앞서 추진중에 있는 것이 국민에게 불편과 부담을 주는 제반 규제에 대한 완화 작업이라고 할 수 있을 것이다.

우리 청에서도 문민정부에 부응하는 새로운 수산 행정문화를 창출할 수 있도록 수산행정제도·시책·관행 등 모든 부문에 걸쳐 제로베이스 상태에서 접근하여 행정을 쇄신하되, 어업인이 불편스러워하거나 갈망하는 분야를 어느 때보다 획기적이고 최우선적으로 개선 추진하였으며 그동안 행정쇄신(규제완화)과제로 총 84건을 발굴하여 68건은 개선 완료하였으며, 나머지 16건에 대해서도 조속히 개선 시행될 수 있도록 관계 법령을 제정하거나, 개정을 추진하고 있다.

〈表 87〉

規制緩和 課題發掘 및 推進狀況

單位：件

	計	完 了	推 進 中
計	84	68	16
行 政 刷 新	45	39	6
經濟行政規制緩和	39	29	10

資料：수산청 기획관리관실 행정관리담당관실

註：'93~'94.12말

한편 경제행정 규제완화 및 행정쇄신 과제중 주요 개선내용으로는 다음과 같다.

○ 水産動植物 捕獲·採取禁止期間 및 捕獲禁止體長 緩和

'93.6.19.자로 수산자원보호령을 개정하여 붕장어, 소라, 보라성게, 오분자기에 대한 捕獲·採取禁止期間과 禁止體長의 규제를 一部 緩和하여 '93.10.20일부터 시행하고 있음

○ 內水面 種苗採捕漁業許可 對象者 擴大

內水面 種苗採捕漁業許可를 받을 수 있는 "對象者"가 종전에는 養殖漁業免許를 받은 자로 한정되었으나 '93.12.31 내수면어업개발촉진법 시행령을 개정, 양식어업 申告者 또는 養殖漁業者에게 種苗를 供給하기 위하여 採捕하는 者도 그 對象으로 하여 許可範圍 擴大

○ 漁港區域內 活魚保管用 가두리 設置 許容

'93.4.29.자로 어선의 출입항 및 정박에 이용되는 "漁港區域"內에서도 수협이나 어촌계의 活魚委販保管事業에 한하여 가두리 設置를 許容토록 改善

○ 水産物 運搬船에 대한 運送貨物 制限 緩和

‘93.7.1.자로 수산물 운반선 외항운송사업 면허처분요령을 개정하여 水産物 運搬船 運送對象貨物에 農畜産物도 追加

○ 漁獲物 轉積許可制度 改善

‘93.6.19.자로 수산자원보호령을 개정하여 遠洋漁獲物 轉積許可制를 申告制로 改善하여 ‘93.10.20일부터 시행

○ 漁船檢査 免除範圍 擴大

동력어선과 5톤이상 무동력어선은 건조시 및 건조후 每 2年마다 檢査를 받도록 되어 있으나 영세어민의 경비부담을 해소코자 漁船檢査 免除範圍를 2톤 未滿 동력어선까지 擴大

○ 漁船建造, 改造發注許可事項 “變更許可” 免除

‘93.6.11.자로 어선법을 개정하여 機關變更等 輕微한 事項에 대하여는 變更許可 생략토록 改善

○ 漁船登錄時 身元調查 廢止

‘93.11.9.자로 어선등록사무취급요령을 개정 종전 漁船新規登錄時와 所有者 變更時 身元調查 실시하던 것을 廢止.

○ 漁船의 新·舊톤수 一元化

‘93.6.11.자로 어선법을 개정, 종전에는 톤수변경을 가져오는 개조, 수리 등에 한하여 구톤수를 신톤수로 變更測定할 수 있으나 어선 소유자의 신청만 있으면 신톤수로 變更할 수 있도록 改善

○ 漁港基本調査時 住民意見 收斂

‘93.6.11.자로 어항법을 개정하여 漁港基本調査時 住民意見を 收斂하여 漁港施設計劃을 樹立하도록 改善. ‘93.12.11부터 시행

○ 漁船法 違反行爲者에 대한 罰則制度 改善

‘93.6.11자로 어선법을 개정, 종전에는 경미한 漁船法 違反行爲者에

대하여도 司法處理하던 것을 行政罰(過怠料)로 改善하여 어민의 권익 보호 도모

○ 沿近海漁船 機關馬力 規制 緩和

'94.5.14자로 어업허가및신고등에관한규칙을 개정하여 종전에는 기선권현망어업등에 대하여 마력제한하고 있던 것을 이들 어선에 대한 機關馬力을 대폭 上向調整함으로써 어민 편익 도모

○ 漁獲物運搬業許可 對象漁船 範圍 擴大

'94.5.14자로 어획물운반업허가에관한규칙을 개정하여 종전에는 근해안강망 등 7個 業種에서 중형기선저인망, 해선망, 활어상태의 장어운반선을 포함하여 9個 業種으로 擴大하였음

○ 漁獲物 販賣場所 指定制度 개선

沿近海 漁獲物과 그 제품은 시·도지사가 지정하는 販賣場所에서만 매매 교환토록 하는 強制上場制를 任意上場制로 전환하되 급격한 제도 변화에 따른 부작용을 최소화하기 위해 '97년까지 段階別로 추진토록 개선

※ 1단계('95년도) 대상품목 : 김, 미역, 대구 등 31개 품목

○ 兼業許可漁業의 漁業時期制限 撤廢

'94.5.14자로 어업허가 및 신고등에관한규칙을 개정하여 2以上の 어업허가를 받은 어선에 대한 操業時期 制限을 廢止하여 해황에 따라 탄력적으로 操業할 수 있도록 개선

○ 遠洋漁業의 許可有效期間을 一元化

가국적증서에 의한 遠洋漁業 허가시 종전에는 가국적증서의 유효기간 범위내에서 허가하던 것을 타선박 허가기간과 같이 5년으로 허가를 일원화 함으로써 漁民 不便사항 해소

第 2 節 水産業協同組合法 改正

水産業協同組合法은 어업인과 수산제조업자의 협동조직을 촉진하여 그 경제적, 사회적 지위의 향상과 水産業의 生産力 增強을 도모함으로써 국민 경제의 균형있는 발전을 기함을 목적으로 1962년 1월 20일 법률 제1013호로 제정되어 그간 15회에 걸쳐 개정한 바 있으며, 1994년 12월 22일 법률 제4820호로 國際化·地方化 時代에 부응한 협동조합의 역할을 재정립하고, 협동조합을 어업인을 위한 漁業人의 自律的·民主的 조직으로 개편하기 위하여 農漁村發展委員會에서 건의(1994.5.24)된 내용을 바탕으로 정부가 확정(1994.6.14)한 『農漁村發展對策 및 農政改革 推進方案』의 내용을 立法化하고, 현행 규정의 운영상 나타난 미비점을 補充·整備하였다.

개정된 법률의 주요 내용은 첫째, 定款이 정하는 바에 따라 1가구에 서 2인까지 조합원으로 가입할 수 있도록 하였고, 둘째, 組合의 解散, 合併 또는 분할과 조합장 선출 방식에 관한 定款 변경은 대의원회에서 처리할 수 없도록 하되, 조합원의 투표로도 결정할 수 있도록 總會議決 特例를 신설하였으며, 셋째, 새로이 설립되는 業種別 組合은 경제사업에 전념할 수 있도록 신용사업을 인정하지 아니하였으며, 넷째, 中央會에 임원으로 회장 1인, 부회장 2인을 포함한 이사 15인 이상과 감사 2인을 두되 副會長은 소관분야에 관한 전문 지식과 경험이 풍부한 자로서 대통령령이 정하는 요건에 적합한 자 중 총회의 동의를 얻어 회장이 임명토록 하였으며, 다섯째, 회장 및 부회장의 직근하급직원으로서 執行 幹部를 두며, 집행간부와 일반간부 직원을 제외한 직원의 任免은 부회

장에게 委任·專決 처리하도록 하였고, 여섯째, 水産廳長의 조합에 대한 監督權의 일부를 중앙회장에게 위탁하고, 地方自治團體가 보조한 사업과 관련된 업무에 대한 감독권의 일부는 지방자치단체의 장에게 위임할 수 있도록 하여 地方化 時代에 부응하고 협동조합의 自律統制 내지 自律規制 능력 제고를 기하도록 하였다.

第 3 節 水産團體 育成

1. 水産業協同組合

가. 組織

水産業協同組合法이 1994년 12월 22일 법률 제4820호로 개정됨에 따라 조합에 定款이 정하는 바에 의하여 2인 이내의 常任理事를 둘 수 있도록 하고, 常任理事는 조합장이 理事會의 동의를 얻어 추천한 자를

〈表 88〉

水協의 組織

單位 : 個所, 千名

	'90	'91	'92	'93	'94
水協中央會	1	1	1	1	1
會員組合	78	81	82	83	86
- 地區別	62	65	65	65	65
- 業種別	14	14	15	16	19
- 水産物製造	2	2	2	2	2
組合員	137.3	149.8	156.7	158.9	161.9

資料 : 수산업협동조합중앙회

총회에서 선출하도록 하였고, 水協中央會에 임원으로 회장 1인, 신용사업의 事業擔當 부회장 1인, 신용사업담당 부회장 1인을 포함한 이사 15인 이상과 감사 2인을 두고, 會長·副會長과 監事중 1인은 상임으로 하며, 회장은 회원인 조합의 조합원으로 하였으며, 부회장은 소관분야에 관한 전문지식과 경험이 풍부한 자로서 대통령령이 정하는 요건에 적합한 자 중 총회의 동의를 얻어 회장이 임명하고, 副會長 所屬 職員은 부회장의 제청에 의하여 회장이 任免하되, 회장 및 부회장의 직근 하급직원으로 執行幹部를 두며, 집행간부와 일반간부직원을 제외한 직원의 임면은 부회장에게 委任·專決 처리토록 하였다. '94년도에는 양만, 경남 우렁쟁이양식 및 제주도해수어류양식 어업자들이 經濟的, 社會的 利益을 향상시키고 생산력의 증강을 도모할 목적으로 수산청장의 인가를 얻어 水産業協同組合을 설립함으로써 水協의 조직은 中央會와 86개 組合(지구별조합 65, 업종별조합 19, 수산물제조조합 2)으로 늘어났다.

나. 運營

1) 事業 規模

'94년도 水協의 총 사업규모는 90,928억원(중앙회 36,124억원, 회

<表 89>

水協 事業規模

單位 : 億圓

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	51,013	63,111	76,803	90,928	118%
中央會	20,214	24,873	30,452	36,124	119
會員組合	30,799	38,238	46,351	54,804	118

資料 : 수산업협동조합중앙회

원조합 54,804억원)으로 전년에 비하여 14,125억원이 증가한 18%의 성장 趨勢를 記錄하였는 바, 이는 주로 販賣, 相互金融, 信用事業 등이 꾸준히 신장되고 있는 데 기인하고 있다.

2) 收支現況

'94년도 水協中央會의 사업수익은 전년에 비하여 126,558백만원이 增加한 798,024백만원이었으며, 事業費用은 125,395백만원이 증가한 796,723백만원으로 1,301백만원의 剩餘를 기록하였다.

한편 會員組合은 地區別水協의 경우 위판 수수료와 대출이자 수입이 주된 수입원으로 收益은 전년 대비 126,748백만원이 증가한 751,818백만원이며, 費用은 대부분이 借入金 利子 지불, 事業 管理費 등으로 '93년보다 119,803백만원이 증가한 736,427백만원이었다.

〈表 90〉 水協中央會 收支現況 單位：百萬圓

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
收 益	506,016	618,181	671,466	798,024	119%
費 用	504,994	617,188	671,328	796,723	119
剩 餘	1,025	993	138	1,301	943

資料：수산업협동조합중앙회

〈表 91〉 會員組合 收支現況 單位：百萬圓

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
收 益	456,599	472,519	625,070	751,818	120%
費 用	446,660	462,580	616,624	736,427	119
剩 餘	9,939	9,939	8,446	15,391	182

資料：수산업협동조합중앙회

3) 出資金 造成

水協 自立基盤 確立의 基礎가 되는 '94년 出資金은 水協中央會가 '93년 대비 15% 增加한 20,215백만원을 擴大 造成하였으며, 會員組合은 '93년도에 비해 6%가 증가한 114,288백만원을 造成하였고 組合員에 대하여 8,257백만원(基準出資金 平殘 7.6%)의 出資 配當을 하였다.

〈表 92〉

出資金 造成狀況

單位：百萬元

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
計	95.070	109.514	126.776	134.503	106%
水協中央會	13.737	15.347	17.550	20.215	115
會員組合	81.333	94.167	108.226	114.288	106
- 地區別	68.261	78.746	90.520	94.687	105
- 業種·製造別	13.072	15.421	17.706	19.601	111

資料：수산업협동조합중앙회

2. 水産物 輸出團體

수산물 수출단체는 對外貿易法에 의하여 설립된 韓國水産物輸出組合과 생산자 단체이면서 輸出團體로서의 기능을 수행하고 있는 수산업협동조합중앙회, 한국내수면어업협회, 대한어망공업협회 등 4개 단체가 있다.

이들 수산물 수출단체는 대외무역법 제18조의 규정에 의한 수출입 공고상으로 위탁받은 수출 대상품목의 輸出推薦 業務를 관장함으로써 해당품목의 수출 증대에 기여하고 있고, 그의 수출질서의 유지 및 회원사에 대한 수출지원 자금의 배정 등 회원 공동이익 증진을 위한 업무를 수행하고 있다.

<表 93>

水産物 輸出團體 現況

	法律根據	認 可 者 (認 可 日)	輸 出 推 薦 品 目
韓國水産物 輸 出 組 合	對 外 貿 易 法 第 55 條	상 공 부 장 관 ('86. 5. 1)	활·선, 냉동어류, 연체동물, 간미역 등(27개 품목)
水産業協同 組 合 中 央 會	水産業協同 組 合 法	농림수산부장관 ('62. 4. 1)	굴 통조림(1개 품목)
韓 國 內 水 面 漁 業 協 會	民法 第32條	수 산 청 장 ('70. 4. 15)	활뱀장어(2개 품목)
大韓漁網工業 協 會	民法 第32條	수 산 청 장 ('66. 3. 31)	망 및 끈류(13개 품목)

資料 : 수산청 국제협력관실 무역진흥담당관실

註 : 수출추천 품목수는 HS분류 (10단위)에 의함

3. 水産關聯 非營利法人

水産廳 傘下 非營利法人은 '95.7월말 현재 21개인데, '94.4.27일 회원의 자주적 협동으로 水産物 品質 高級化와 加工 水産物의 원활한 유통으로 漁民所得 增大에 기여하고 회원 상호간의 공동이익 증진을 도모하기 위하여 社團法人 韓國水産物乾燥人協會가 설립되었고, 1970.4.15일 社團法人 韓國뱀장어協會로 출발하여 한국장어협회, 한국양만협회, 한국내수면수출진흥협회, 한국내수면어업협회로 명칭을 변경하면서 존속해 왔던 韓國內水面漁業協會가 1994.6.23일 양만수산업협동조합으로 설립되면서 '95.4.6일 해산동기를 함으로써 정식 해산되었다.

또한 社團法人 全國낙시會聯合會가 '94.2.21일 전국낙시연합회로,

(表 94)

水産關聯 非營利法人 現況

法人名	設立日	代表者	任所地
韓國漁網工業協會	'55. 7. 18	장태성	서울 강남 삼성동 159(무역회관)
韓國遠洋漁業協會	'64. 6. 3	왕기용	서울 서초 양재 275-1 (삼호물산빌딩 A동 6층)
大韓冷凍協會	'65. 2. 22	남필원	부산 서구 남부민동 693-4
韓國水産會	'65. 11. 16	박후근	서대문구 충정로 2가 157 사조빌딩 308호
韓國漁船通信士協會	'67. 8. 3	전세홍	부산 서구 남부민3동 151-22
韓國水産冷凍運搬船協會	'77. 10. 19	김수봉	서초·서초동 1539-10 해은 BD 301호
全國낙시聯合會	'81. 2. 5	최지영	종로구 인의동 57-1 광명빌딩 25층
韓國미역加工協會	'81. 10. 15	박종일	전남 완도군 완도읍 군내리 265-25
水友會	'83. 11. 8	김명년	서울 중구 오장동 69-3
韓國水産技術研究院	'87. 3. 13	김태준	부산 영도구 남항동 2가 16
韓國遠洋양징어流刺網漁業協會	'88. 10. 11	양충모	부산 중구 남포동 6가 55
全國水産物仲都賣人協會	'89. 7. 21	최경석	서울 마포 합정동 386-8
韓國水産物容器協會	'90. 9. 5	한충부	부산 서구 남부민동 691-3
機船船引網協會	'91. 6. 12	정상휘	전남 여수시 남산동 4번지
全國漁民後繼者協議會	'91. 10. 22	김태환	서울 중구 신당동 778번지
濟州道陸上水槽式 넙치養殖協會	'92. 6. 26	강천중	제주시 연동 314-7
韓國觀賞魚協會	'92. 10. 19	유영출	서울 동대문구 신설동 15번지 경성 B/D 301호
韓國낙시業中央會	'93. 11. 15	김종철	경기 수원시 장안구 영화동 350-1 (보훈회관 3층)
韓國水産經營學會	'93. 11. 16	박정호	부산 남구 대연3동 599-1 부산수대내
韓國水産物乾煤人協議會	'94. 4. 27	오무영	강원도 삼척시 정하동 41-186
水産研究財團	'88. 8. 20	박병하	부산광역시 기장군 기장읍 시랑리 (국립수산진흥원내)

資料 : 수산청 기획관리관실 법무담당관실

註 : '95. 7월말 현재

전국관상어진흥협회가, '94.10.19일 한국관상어협회로, 전국수산물중도매업협회가 '95.4.3일 전국수산물중도매인협회로 각각 정관 변경을 통하여 명칭을 변경하였다.

이 외에도 '94년에 6개 법인이 團體의 活性化 및 自律性 擴大 등을 위하여 정관 개정을 하였다.

第 4 節 漁業人 支援 強化

1. 水産資金 供給

가. 營漁資金

'94년도 營漁資金 支援 規模는 7,000억원으로 沿近海漁業에 6,000억원, 遠洋漁業에 1,000억원을 供給하였으며 資金調達 능력이 미약한

〈表 95〉

營漁資金 供給實績

單位：億圓

		'93	'94	增 △ 減
所 要 額		15,909	16,594	685
供 給 額		7,000	7,000	0
(供 給 率)		(44%)	(42%)	(△2)
調達	財 政 資 金	1,033	1,613	580
	轉 銀 借 入 金	2,883	2,303	△580
	水 協 自 體 資 金	2,884	2,884	0
	相 互 金 融	200	200	0
運用	沿 近 海 漁 業	6,000	6,000	0
	遠 洋 漁 業	1,000	1,000	0

資料：수산청 수산정책국 어정과

零細 小規模漁業 및 共同 申告漁業 漁業人에게 漁業經營 規模가 작을수록 融資比率을 높여 우대하여 지원하였다.

나. 水産振興財政資金

水産振興財政資金은 영어자금을 지원받지 못하는 製造加工 分野 및 어망 생산에 지원함으로써 어업과 수산제조업의 均衡的 발전을 도모하였으며 '92년부터 農漁村發展基金으로 '94년부터는 農漁村構造改善 特別會計로 代替하여 同 業種에 持續的으로 支援하고 있다.

〈表 96〉

水産振興財政資金 運用實績

單位：億圓

	'93	'94	增 △ 減
計	5,500	4,000	△1,500
○水産物製造加工	4,500	3,200	△1,300
- 冷凍·冷蔵加工	2,200	1,600	△600
- 통조림 加工	2,300	1,600	△700
○漁 網 生 産	1,000	800	△200

資料：수산청 수산정책국 어정과

다. 水協 自體資金

水協 自體資金의 圓滑한 調達을 위하여 일반 與受信店舖 6개소('94년말 153개소)와 相互金融店舖 17개소('94년말 413개소)를 增設하였고 전 점포에 온라인망을 構築하여 顧客에 대한 서비스를 강화함으로써 水協의 자체자금을 '93년보다 5,699억원이 증가한 31,055억원을 조달 운용하였다.

<表 97>

水協 自體資金 造成 및 運用

單位 : 億圓

		'93		'94		'94/'93
		金額	構成比	金額	構成比	
調 達	○ 自體資金	14.779	58.3%	18.294	58.9%	123.8%
	- 預受金	10.083	39.8	12.958	41.7	128.5
	- 特別會計預託金	2.958	11.7	3.347	10.8	113.2
	- 會員換決濟	1.738	6.8	1.989	6.4	114.4
	○ 借入金	9.025	35.6	9.686	31.2	107.3
	- 借入金	2.592	10.2	2.270	7.3	87.6
	- 財政資金	2.552	10.1	3.193	10.3	125.1
	- 諸基金	3.871	15.3	4.214	13.6	108.9
	- 借款	10	0.0	9	0.0	90.0
	○ 其他	1.552	6.1	3.075	9.9	198.1
計		25.356	100.0	31.055	100.0	122.5
運 用	○ 貸出金	17.100	67.5	18.967	61.1	110.9
	- 金融	9.547	37.7	10.220	32.9	107.0
	- 財政	7.553	29.8	8.747	28.2	115.8
	○ 他事業支援	847	3.3	757	2.4	89.4
	○ 現金 및 預置金	3.093	12.2	4.073	13.1	131.7
	○ 其他	4.316	17.0	7.258	23.4	168.2

資料 : 水協 水産省 水産政策 課 水産政策 課 水産政策 課 水産政策 課

2. 被害復舊 및 災害補償

가. '94 被害復舊 推進

'94년도 우리나라에는 7차례의 自然災害(颱風·暴風·豪雨 등)가 발생하여 전국적으로 1,513억원의 피해를 당하였으나, 이 중 漁船·漁網 등 水産被害는 12.9%에 해당하는 19,688백만원이었으며, 1次 被害는

2.8~2.12 기간중 충남·전북·전남·경남지역에 해일을 동반한 폭풍설이 내습하여 7,894백만원, 2次는 6.18~6.20 기간중 폭풍우로 인해 전남·경남·제주지역에 768백만원, 3次는 6.30~7.1 기간중 호우로 인해 충북지역에 60백만원, 4次는 7.31~8.1 기간중 태풍 “브렌던” 내습으로 인해 부산·전북·전남지역에 1,124백만원, 5次는 8.9~8.12 기간중 태풍 “더그”로 인해 경기·전북·전남지역에 212백만원, 6次는 8.28~8.30 기간중 호우로 경기·전남지역에 96백만원, 7次는 10.10~10.12 기간중 태풍 “세스”의 내습으로 인해 부산·강원·충남·전남·경북·경남지역에 9,534백만원의 피해가 발생하였다.

이에 대한 被害復舊費는 21,980백만원을 시·도에 지원하여 漁港 등 一部 水産施設을 제외하고는 전량 복구조치 되었으며, 復舊費 財源으로 國庫 7,155백만원, 地方費 1,029백만원, 融資 7,320백만원, 自擔 6,476백만원이 施設 復舊費에 充당되었다.

또한 間接支援 事項으로는 營漁資金에 대한 利子減免 1,347백만원과 償還延期 13,477백만원을 지원하였으며, 이재민 救護로 2,224가구에

(表 98)

被害 및 復舊費 支援內譯

單位：百萬元

	被害		復舊費 支援					
	物 量	金 額	物 量	計	國 庫	地方費	融 資	自 擔
計		19,688		21,980	7,155	1,029	7,320	6,476
漁 船	247隻	2,825	218	4,623	310	66	2,539	1,708
增養殖	1,106件	12,347	1,067	12,613	6,109	641	2,714	3,148
內水面	34件	186	31	423	184	38	100	101
漁 網	303件	3,817	283	3,732	183	64	1,967	1,519
漁 港	9個所	513	6	589	369	220	-	-

資料：수산청 시설관리국 관리과

1,109백만원과 중·고등학생 886명에 대한 授業料 免除 172백만원 그리고 被害漁民 生計를 위하여 2,379가구에 무상양곡(21천 가마) 1,966백만원을 지원하는 등 피해시설의 신속한 복구와 어민의 생업 복귀를 적극 지원하였다.

나. 船員共濟料 支援

共濟 加入者의 負擔을 輕減시키고 漁業人 便益 爲主의 共濟制度를 改善, 대외 경쟁력을 提高시키고자 漁業人의 여론과 요망사항을 적극 수렴, 制度 改善에 주력하여 어선 및 선원 보통공제의 共濟料 分納 回數를 3회에서 4회로 확대하고 선원 보통공제 6개월이상 단기 계약에 대한 共濟料 分納制度를 신설하여 加入者의 負擔을 輕減시켰으며, 선원 특수공제 가입 대상을 30톤이상 어선원에서 전 어선원으로 확대하고 선주겸 선원인 경우에도 共濟金을 지급할 수 있도록 根據規定을 신설하여 가입 어업인을 보호할 수 있도록 하였다.

한편, 총톤수 500톤이상 船齡 5년이내의 官公船에 대하여 船齡에 따라 基本料率의 20~30%를 割引함으로써 대형선박의 가입을 유도할 수 있도록 하였다.

또한, 漁船員의 사고 발생시 共濟金에 의하여 遺族에 대한 補償이 가

(表 99)

船員共濟料 國庫補助 支援實績

單位 : 名, 百萬元

	'91	'92	'93	'94	'94/'93
人 員	36,302	32,404	31,409	29,636	94%
補助額	1,257	1,277	1,269	1,443	114

資料 : 수산청 수산정책국 어정과

능하도록 漁業人들의 共濟에 대한 인식을 제고하고 共濟加入을 촉진하고자 30톤미만의 소형어선에 대하여는 선주가 부담하는 共濟料중 70%까지 補助하여 '94년에 총 29,636명, 1,443백만원을 國庫에서 지원하였다.

다. 農漁業災害對策法에 의한 被害 支援

颱風, 暴雨, 海溢 등에 의한 수산피해는 風水害對策法에 의해 복구비가 지원되고 있으나, 同法의 지원대상에서 제외된 海況變動에 의한 이상 조류현상과 적조현상 등으로 발생한 養殖物 被害에 대하여는 政府가 被害 復舊費를 지원할 수 있는 制度가 없어 피해 발생시에는 營漁資金 상환연기 및 이자감면 등 間接 支援에 의존함으로써 양식 어민들의 어려움이 많았다.

이러한 問題點을 개선하여 養殖 被害漁民의 負擔을 輕減하고 경영안정을 도모하고자 정부에서는 '90. 8.1 農漁業災害對策法을 農漁業災害對策法으로 개정하고 이상조류 및 적조현상으로 인하여 발생한 수산양식물 피해 복구비를 지원할 수 있도록 制度를 보강하였다.

이와 같은 制度는 정부가 어려운 養殖漁民을 지원하기 위한 획기적인 방안의 하나로서 국가 지원범위는 市·郡別로 3억원 이상의 被害가 발생될 경우에는 漁家別 피해정도와 양식규모 및 경영형태에 따라 種苗代와 죽은 養殖物 撤去費, 營漁資金 償還延期 및 이자감면, 중·고등학생 학자금 면제 등을 國庫 및 지방비에서 지원토록 하고 있다.

이에 따라 '94년 7-9月 충남, 전북, 경북, 경남 지방에서 발생한 어류, 패류, 새우, 우렁쉥이 등 적조 및 이상조류 피해에 대하여 총 소요액 73억원중 國庫와 地方費에서 36억원을 복구비로 지원하였으며, 피해어민들의 생계안정을 위하여 이미 貸出받은 營漁資金에 대한 이자감면 308백만원 및 중·고등학생 學資金 33백만원을 지원함으로써 피해어

민들의 어려움을 解消하고 安定的인 養殖漁業을 경영할 수 있도록 하였다.

3. 水産關聯 稅制 改善

가. 漁業用機資材 附加價値稅 零稅率 適用

어업인이 사용하는 어업용 기자재중 어망, 부자 및 集魚燈 등 13개 품목만 '89년부터 租稅減免規制法에 의하여 부가가치세 零稅率의 적용을 받아 왔으나 '92. 3. 1일부터 20톤 미만의 어선 및 선박용 무전기가 추가로 적용, 15개 품목으로 확대되어 '94년에는 약 297억원의 租稅負擔 輕減 效果를 거두어 어업생산성 향상과 수산업 활성화에 기여하였다.

(表 100) 附加價値稅 零稅率 適用 機資材 品目

1. 어망	2. 부자	3. 집어등	4. 자동조상기	5. 양망기	6. 양승기	7. 통발
8. 초호	9. 낚시	10. 연승	11. 발장	12. 해녀용 잠수복, 잠수복지, 물안경	13. 태와	13. PP, PE 로프(양식어업 및 정치어업용)
14. 총톤수 20톤미만의 어업용 선박	15. 선박용 무전기					

출처: 수산청 수산정책국 어정과

나. 標準 所得率 引下

정부에서는 '94년도에 발생한 소득에 대한 所得稅 부과시 적용할 표준소득률 조정에 있어 트롤, 패류(투석식), 해면 어류양식, 자기가 捕獲한 魚類 원시가공 등 4개 업종에 대한 標準所得率을 5~6% 인하함으로써 225백만원(추정)의 所得稅 경감 效果를 가져와 漁業經營 改善에 기여하였다.

〈表 101〉 '94年 水産業分野 歸屬 標準所得率 調整内譯

			'93年 基本率	'94年 基本率
底	引	網	4.6%	4.6%
流	刺	網	4.1	4.1
鮫	鱈	網	5.0	5.0
旋		網	5.4	5.4
트		틀	6.5	6.1
용	발	漁業	5.0	5.0
船	引	網	5.1	5.1
채	낙	기	5.4	5.4
延		繩	3.9	3.9
定	置	網(大型)	4.9	4.9
定	置	網(小型)	3.9	3.9
潛	水	器	5.4	5.4
其	他	海面漁業	4.9	4.9
一	般	内水面漁業	7.6	7.2
貝	類	(投石式)	7.6	7.2
貝	類	(撒布式)	5.1	5.1
貝	類	(垂下式)	5.7	5.7
海	藻	類	5.3	5.3
海	面	魚類養殖	8.0	7.6
内	水	面養殖	11.0	11.0
水	生	動植物種苗生産業	4.9	4.9
漁	業	關聯서비스業	4.9	4.9
자	기	捕獲魚類원시加工	6.8	6.4
買	入	魚類원시加工	6.1	6.1

資料：수산청 수산정책국 어정과

다. 免稅油類 供給

부가가치세와 특별소비세를 면세하고 있는 漁業用 油類 供給事業은 '89년까지는 연근해 어업용 선박에만 면세유류를 공급하여 왔으나, '90년부터 내수면 어업용 선박과 裸潛漁業 從事者의 艀의실용 난방시설에도 공급한 데 이어 '91년 3월부터는 연안 어민의 숙원이었던 수산물 생산 기초시설중 수협, 어촌계 및 어민이 경영하는 김, 미역, 오징어, 멸치 건조 및 자숙시설에도 면세유류를 공급하고 있다.

특히 상대적으로 열악한 처지에 있는 낙도·벽지 小型漁船에 대한 免稅油類 供給을 꾸준히 확대하여 '94년도 전체 면세유류 공급량의 7.6%인 46만드럼을 공급함으로써 정부의 租稅 受惠範圍를 오지의 어민에게까지 확대하여 어민의 士氣振作과 어업경영비 절감으로 수산물 생산성 向上 및 어민소득 증대에 크게 기여하였다.

<表 102>

免稅油類 供給實績

單位：千드럼

	'92	'93	'94	'94/'93
計	5,082	5,345	6,045	113.1%
輕 油	4,523	4,694	5,317	113.3
경 질 중 유	490	562	622	110.7
중 유	5	14	14	100.0
휘 발 유	33	44	58	131.8
其 他	31	31	34	109.7
漁民負擔輕減額(億원)	474	531	827	155.7

資料：수산청 수산정책국 어정파

여백

第 3 篇

1995年度 水産施策

여백

第 1 章 基本方向

第 1 節 水産業의 與件 變化

우리나라 水産業은 '60년대에는 漁撈手段, 장비·기술의 낙후 등으로 연안 採捕漁業이 주된 어업형태이었으나, '70년대에 들어와 양식기술 및 漁具·漁法의 발전과 遠洋漁業의 신장세에 힘입어 비약적인 성장을 하였다.

'80년대에는 이러한 성장과 발전을 토대로 안정적인 성장을 거듭하여 우리나라는 세계 先進 수산국으로 발전하였으며, 수산업은 국민들이 섭취하고 있는 動物性 단백질의 절반가량을 공급하는 食糧 및 健康식품 산업으로 국가경제에 크게 이바지 하고 있다.

그러나 '90년대에 들어와 國內外 漁業環境은 급변하고 있다. 埋立·干拓과 産業化에 의한 沿岸漁場 축소 및 沿岸汚染의 심화, 무분별한 水産資源의 남획 등으로 水産資源은 날로 減少되고 있는 추세에 있으며, 세계 沿岸國의 操業 規制 및 入漁조건 강화로 遠洋漁業도 매우 어려운 처지에 놓여 있는 실정이다. 한편 漁業人의 소득은 도시 근로자가계소득의 83.8%, 農家所得에 비하여는 84.2%에 불과하고 漁村의

生活環境도 매우 열악하여 어업인들은 타부문 從事者에 비해 소외되고 있다는 인식이 擴散되고 있고 漁村을 떠나는 현상이 계속되고 있다.

한편 國際的으로는 '93년말 UR협상의 타결로 外國의 水産物 輸入開放 압력은 더욱 가속화 되고 있고, '94.11월의 UN해양법협약 발효로 인한 國際 海洋秩序와 '95년 1월 세계무역기구(WTO) 출범으로 인한 세계 무역질서가 크게 변화될 전망이다.

이와 같은 國·내외 興件 變化로 많은 어려움이 있으나 우리나라 水産業은 水産食糧의 안정적 供給, 소득·고용기회 提供, 해양환경 보전, 漁村지역의 균형 발전 및 國家 해양력 증대라는 國家적 役割을 持續적으로 담당해야 한다는 점을 감안할 때, 國·내외적으로 어려운 漁業 현실과 환경변화에 능동적으로 대처·극복하기 위한 多角的인 對應方案 강구가 절실히 요청되고 있다.

第 2 節 重點 推進施策

水産業을 國家적 食糧供給 산업으로 발전시켜 안정적인 생산체제를 구축하고, 漁業人들의 生活 空間인 漁村의 定住環境을 改善하기 위하여 바다에 대해서는 풍요로운 水産資源이 서식하는 곳으로 造成하여 漁業人들의 생활터전으로 가꾸고, 漁業人에 대해서는 자율적인 秩序 維持 및 漁業 經營의 주체로 육성하며, 漁村에 대해서는 1, 2, 3차 産業이 共存하는 쾌적한 生活環境 空間으로 발전시키고, 遠洋어업에 대해서는 國際協力 강화를 통한 어장확보 등으로 水産物을 안정적으로 확보, 공급토록 하여 경쟁력있는 先進水産業으로 발전시킨다는 정책방향하에 水産施策을 적극 推進하고 있다.

目 標

- 生 産 : 322萬噸
- 輸 出 : 1,820百萬\$

指 標

- 世界化를 指向하는 先進水産 -

- ◇ 『깨끗한 바다 環境』 保全
- ◇ 『풍요로운 資源』 造成
- ◇ 『秩序있고 競爭力있는 漁業』 育成
- ◇ 『잘 사는 漁村』 建設

重點 推進 施策

1. 풍요로운 資源造成을 위한 「바다 淨화와 기르는 漁業 育成」
2. 競爭力 提高를 위한 「漁業 構造調整과 漁業秩序 定着」
3. 漁村 활성화를 위한 「漁村 綜合開發과 漁業 基盤施設 擴充」
4. 開放化에 대비한 「水産物 流通改善과 加工産業 育成」
5. 새로운 海洋秩序에 對處한 「遠洋漁業 健全 育成」
6. 生産性 향상을 위한 「水産技術 開發·普及」
7. 世界化를 위한 「體制와 制度의 整備·改善」

第 3 節 投・融資 規模

1. 水産部門 豫算

‘95년 수산부문의 총 예산액은 6,287억원으로서 ‘94년의 4,288억원에 비해 46.6%가 증가된 규모이며, 정부 총 예산의 1.1%, 農林水産 豫算의 6.7%를 차지하고 있다.

〈表 103〉

‘95 水産 豫算

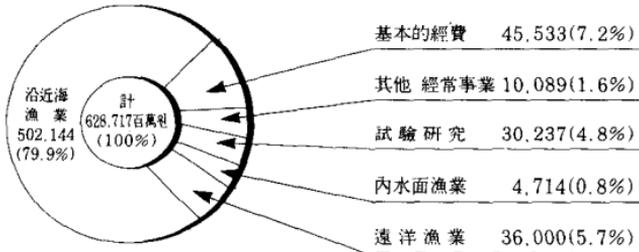
○ 會計別

單位：百萬圓

	‘94 豫算	‘95 豫算	增 △ 減	%
· 般 會 計	223.574	221.173	△2.401	△1.1
財 特 會 計	99.200	134.200	35.000	35.3
農 特 會 計	106.002	273.344	167.342	157.9
計	428.776	628.717	199.941	46.6
事 業 費	387.226	583.184	195.958	50.6
基 本 的 經 費	41.550	45.533	3.983	9.6
· 人 件 費	28.180	29.413	1.233	4.4
· 基 準 經 費	11.845	14.625	2.780	23.5
· 官 署 運 營 費	1.525	1.495	△30	△2.0

資料：수산청 기획관리관실 기획예산담당관실

○ 分野別



○ 事業別

單位：百萬圓

	'94 豫算	'95 豫算	增△減	%
				%
計	428,776	628,717	199,941	46.6
1. 事業費	387,226	583,184	195,958	50.6
○ 漁場環境改善	10,244	16,839	6,595	64.4
○ 水產資源造成	41,403	76,759	35,356	85.4
○ 漁業秩序確立 及 安全操業指導	13,164	14,691	1,527	11.6
○ 漁港建設	78,459	131,717	53,258	67.9
○ 漁撈施設	36,760	39,382	2,622	7.1
○ 水產物流通施設	37,464	59,179	21,715	58.0
○ 遠洋漁業育成	26,000	36,000	10,000	38.5
○ 漁民負擔輕減	104,316	136,065	31,749	30.4
○ 漁村綜合開發	11,488	32,226	20,738	180.5
○ 試驗研究 及 技術普及	21,197	30,237	9,040	42.6
○ 其他 經常事業	6,731	10,089	3,358	49.9
2. 基本的經費	41,550	45,533	3,983	9.6

資料：수산청 기획관리관실 기획예산담당관실

2. 各種 水産資金 支援

政府豫算外에도 어업경영 및 수산물 가격안정을 위해 營漁資金, 농수산물 가격 안정기금 등 각종 수산자금을 前年에 비해 1,218억원이 늘어난 12,693억원을 지원할 계획이다.

〈表 104〉

'95 水産資金 支援計劃

單位：億圓

		'94	'95 計劃	增△減
資 金 別	營 漁 資 金	7,000	7,500	500
	水産 振興 財政 資金	40	20	△20
	農特會計 融資事業	987	1,416	429
	海外 資源 生産 資金	700	1,050	350
	農水産物 價格 安定 基金	2,748	2,707	△41
計		11,475	12,693	1,218
運 用	運 營 資 金	10,651	11,440	789
	· 沿 近 海 漁 業	6,000	6,500	500
	· 遠 洋 漁 業	1,700	2,050	350
	· 水産物 流通, 製造業	203	183	△20
	· 價 格 安 定	2,748	2,707	△41
施 設 資 金	施 設 資 金	824	1,253	429
	· 漁 撈 施 設	354	370	16
	· 水産物 流通, 製造 施設 등	470	883	413

資料：수산청 수산정책국 이경과

第 2 章 바다 淨化와 기르는 漁業 育成

第 1 節 沿岸漁場 淨化

생활하수 및 공단폐수, 폐기물, 유류 등 각종 汚染物質에 의한 水質 汚染과 공유수면 매립·간척으로부터 沿岸漁場을 보전하기 위하여 주요 연안어장 및 공단 주변수역의 環境汚染 調査를 강화하고, 淸淨海域 및 水產資源保全地區 관리에 철저를 기하는 한편, 연안어장의 底質改善 및 각종 汚物收去 등 적극적인 環境 淨化事業을 실시하고, 관계부처와 협조하여 汚染行爲 규제·단속, 오·폐수 처리장 확충, 제도개선 등 沿岸漁場 오염방지대책을 수립·추진할 계획이다.

沿岸漁場 淨化事業은 共同漁場, 養殖漁場을 중심으로 어장 저질개선, 각종 오·폐물 수거, 害敵生物을 구제하여 오염으로 인한 漁場被害를 줄이고 沿岸漁場의 생산성을 향상시키기 위하여 '95년도에는 5,382백만 원의 국비를 지원하여 40천ha의 沿岸漁場을 淨化할 계획이며, 어장의 현지 여건상 정화 효율성 제고를 위하여 해역별 어장특성에 맞는 漁場 淨化船을 건조하여 지방자치단체에서 운영토록 할 계획이다.

또한 어장내의 쓰레기 등 각종 오·폐물을 제거하여 깨끗한 어항환경

조성을 위해 '93년 예산으로 건조한 어항청소선 4척을 동해(1척), 서해(1척), 남해(2척) 어항사무소별로 配置해 運營하고 있으며, '94년 예산으로 건조한 어항청소선 3척은 '95.7월부터 한국어항협회에서 운영토록 할 계획이다.

한편, 제2회 豐饒로운 바다가꾸기 대회는 1995.6.1일 全南道 主管으로 전남 여천군 돌산읍에 있는 무술목 沿岸에서 大統領, 國會議員, 政府機關, 水産人, 水産團體, 地域漁民 등 830여명이 참가한 가운데 개최하였다.

이날 행사는 바다를 깨끗한 漁場으로 보전하고 풍요로운 자원이 있는 어장을 만들며 漁業秩序가 조기에 정착될 수 있도록 不法漁業을 자율 추방하자는 全國 漁民 決意大會를 개최하고, 이어서 大統領과 行事 參加者 830여명이 무술목 海域에서 清掃를 실시하였으며, 이와 동시에 全國 沿岸에서는 어민, 수산관계자, 환경단체 등 10만여명이 참여한 가운데 바다청소를 실시하였으며, 水産資源을 증강시키고자 넙치, 우럭, 전복종묘 5만마리를 무술목 沿岸에 放流하는 행사도 가졌다.

또한 21세기 水産의 비전과 發展方向, 開放化에 따른 水産分野 對應方案, 바다汚染의 實態와 오염 減少方案이란 주제를 가지고 학계, 언론계, 연구소 등 각계 전문가 500여명이 참석한 가운데 심포지움도 개최하였다.

한편, 水産廳에서는 水産資源의 보전과 관리, 수산자원 增強의 필요성을 전국민에게 알리고 어업인들의 사기를 昂揚시킬 수 있도록 豐饒로운 바다가꾸기 대회를 매년 개최할 계획으로 있다.

第 2 節 沿岸漁場 汚染 防止

主要沿岸 및 臨海工團 주변수역 205개 지점, 水産資源 保全地區 144개 지점을 선정하여 水質汚染 조사를 실시하는 한편, 淸淨海域에 대해서도 168개 관측점을 선정, 海水 및 貝類에 대한 衛生調査를 실시하여 오염방지 기초자료로 활용할 계획이며, 전국 10개 해역에 지정된 水産資源 保全地區의 공유수면 매립·간척, 鑛物 採掘 등의 행위를 강력히 억제하는 한편, 保全地區 周邊에 대해서도 관리를 강화하여 保全地域의 淸淨度 유지는 물론, 어장의 생산성을 제고시켜 나갈 계획이다.

한편, 沿岸漁場을 깨끗이 가꾸기 위하여 매월 첫째주 토요일과 15일을 바다청소의날로 정하여 연안해변, 항·포구, 수산물위판장을 대상으로 어민, 수산관계 기관·단체 등 범국민적인 청소를 실시하고 6월과 9월 바다청소의 달로 정하여 수협이 주관하여 전국 沿岸漁場 淨化大會를 실시할 계획이다. 海上 汚·廢物 안버리고 되가져오기 운동의 일환으로 출어선에는 쓰레기 수거용 마대(일명 바다사랑 주머니)를 지급하여 어선내 발생하는 쓰레기나 조업중 그물에引揚되는 오물, 비닐류, 폐어망, 페로프 등 수거·처리토록 하고 있으며, 남해안 굴양식 주산지인 통영, 거제, 고성 지역에는 연간 약 200천톤의 굴폐각이 발생하여 沿岸 汚染發生은 물론, 自然景觀을 훼손하고 不法埋立으로 중요한 어장이 잠식되고 있어, 78억원의 사업비를 투자하여 굴폐각처리공장을 건립할 계획이다.

또한, 環境部 등 유관부처와 협조하여 沿岸漁場 汚染源인 폐수, 폐기물, 기름 등의 해양유입 방지를 위하여 臨海都市의 하수 및 분뇨, 공단 폐수 등 각종 오염물질 淨化 처리시설을 확충하고, 汚染物質의 해양 투

기행위를 강력히 규제·단속토록 할 계획이다.

第 3 節 水産資源 造成

1. 人工魚礁 施設

沿近海 水産生物의 産卵, 棲息場을 조성하기 위하여 '95년도에는 42.986백만원을 투자, 10개 市·道의 施設適地 17.2천헥타에 人工魚礁을 施設하고 既施設한 海域 중 6개소에 대하여 漁獲效果와 魚礁의 保存 狀態를 조사하며, 各 水域 및 魚種에 대한 적합한 어초를 개발하고자 시험연구를 적극 추진해 나갈 계획이다.

〈表 105〉

人工魚礁 施設計劃

單位 : ha

	既施設('71~'94)	'95 計 劃	總施設('71~'95)
計	89,262	17,160	106,422
釜 山	766	160	926
仁川·京畿	3,049	900	3,949
江 原	13,171	1,800	14,971
忠 南	4,851	1,780	6,631
全 北	3,811	1,030	4,841
全 南	18,529	3,440	21,969
慶 北	13,540	1,830	15,370
慶 南	19,986	3,220	23,206
濟 州	11,559	3,000	14,559

資料 : 수산청 생산국 자원조성과

2. 種苗培養場 施設 및 生産放流

'92~'95년까지 시설을 추진중에 있는 충남 태안의 水産種苗培養場은年間 2,000만마리의 종묘생산 능력을 갖춘 대규모 배양장으로 시설

<表 106>

'95 種苗培養場別 種苗生産計劃

單位 : 千마리, 千貝

	計	江陵	保寧	扶安	莞島	麗川	浦項	蔚珍	巨濟	南海	北濟州	南濟州
計	341,200	500	12,400	13,200	600	1,700	600	1,400	6,300	303,200	700	600
넙치	600	-	-	-	-	-	-	100	200	100	-	200
참돔	500	-	-	-	-	200	-	-	-	-	-	300
감성돔	100	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-
돌돔	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
조피볼락	200	-	-	100	100	-	-	-	-	-	-	-
황점볼락	100	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-
은어	1,000	-	-	-	-	-	-	1,000	-	-	-	-
송어	300	-	100	-	200	-	-	-	-	-	-	-
농어	100	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-
총겨리가자미	100	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
진복소라	1,900	200	100	100	200	300	200	200	100	100	400	-
진주조개	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-
오분자기	2,000	-	-	-	-	-	-	-	-	2,000	-	-
피조개	200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200	-
굴	1,000	-	-	-	-	-	-	-	-	1,000	-	-
보리새우	300,000	-	-	-	-	-	-	-	-	300,000	-	-
대하	6,000	-	-	-	-	-	-	-	6,000	-	-	-
꽃게	24,000	-	12,000	12,000	-	-	-	-	-	-	-	-
참게	2,000	-	-	1,000	-	1,000	-	-	-	-	-	-
참해삼	300	-	200	-	-	-	-	100	-	-	-	-
보라성게	100	-	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-
복쪽말뚝성게	300	-	-	-	-	-	300	-	-	-	-	-
복쪽말뚝성게	200	200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料 : 수산청 생산국 자원조성과

하기 위하여 敷地 買入 및 墮壁施設 등 土木工事を 完了하였으며, '94년부터 種苗生産棟, 基礎技術開發棟, 本館棟 등을 시설하여 '95년말 완공할 계획이다.

또한 '94년도부터 지역 여건과 특성에 적합한 품종을 대량생산 방류할 수 있도록 전라남도에 2개년 사업('94~'95)으로 연간 2,000만마리의 생산능력을 갖춘 대규모 道立種苗培養場施設을 지원한 것을 비롯하여 '95년도에 신규로 강원도, 전라북도, 경상북도, 경상남도에 각각 1개소씩 총 4개소를 지원할 계획이다.

그리고 기존의 國立種苗培養場도 각 지역 특성과 여건에 적합한 魚類 및 甲殼類 등을 생산하기 위하여 시설보강비 2,315백만원을 투자하여 굴 300백만패를 포함 有用種苗 341백만마리를 생산 漁村契 및 養殖漁民 등에게 分讓하고 연안에 방류할 계획이다.

또한 연안어장 자원 조성의 가속화와 資源造成的 민간 참여를 유도하기 위하여 '95년도에 165백만원을 투자하여 민간 種苗培養場에서 생산한 水産種苗 26백만마리를 買入, 연안어장에 방류할 계획이다.

第 4 節 養殖漁業 開發·整備

1. 漁場 開發

'95년도의 養殖開發은 水面的 綜合的 利用開發이 될 수 있도록 하기 위하여 新規漁場의 개발보다는 既存漁場의 生産性 및 品質의 향상과 어업질서 확립에 주력하고 있다.

'96년도부터 양식어장 개발은 地先 多數漁民의 所得源 확보 위주로

개발하고 기존어장의 漁場與件 변화로 계속 양식이 곤란할 때에는 外延 漁場으로 대체 개발하거나, 養殖 適正 品種으로 변경 개발하는 등 어장을 效率的으로 利用토록 함으로써 양식 수산물의 適正 生産이 될 수 있도록 하며, 水産物 輸入自由化에 대비하여 수출 가능성과 國際 競爭力이 있는 品種을 중점 개발하고 김, 미역, 톳, 굴, 피조개 등과 같이 수급·가격 등의 요인으로 생산조절이 필요한 품종에 대해서는 全國單位로 어장 개발 및 생산을 조절해 나갈 계획이다.

그러나, 어업인후계자 육성 측면에서 어업인후계자가 개발코자 하는 경우와 埋立·干拓으로 축소된 어장 또는 다른 품종으로 변경된 漁場面積에 한하여는 축소, 변경된 面積만큼 신규로 代替漁場을 개발할 수 있도록 할 계획이다.

2. 水産養殖事業 推進

'95년도에는 양식어장 개발을 위해 금년 처음으로 農特稅 70억원 등 總 事業費 183억원을 투자하여 島嶼, 벽지 등 저소득 어촌계의 소득원 개발을 위해 전북, 가리비, 진주, 바지락 등의 漁場을 開發하고 高級魚類의 增産을 促進하기 위하여 魚類養殖場과 養殖漁場의 基盤構築을 위하여 魚類種苗培養場, 貝類種苗培養場, 飼料貯藏庫, 개량부자 등을 지원할 계획이다.

또한 양식어장의 바닥같이 등 저질 개선으로 生産性 복원을 위하여 전년에 이어 금년에도 어장 정비·정리 事業費로 1,250백만원(250ha)을 지원할 계획이다.

<表 107>

'95 水産養殖事業 支援計劃

單位：百萬元

	物 量	事 業 費					備 考
		計	補 助	融 資	地 方 費	自 擔	
總 計		18.325	5.780	7.580	1.030	3.935	
計	25개소 285ha 417천개 2,000톤	9.575	2.280	4.080	1.030	2.185	일반회계 농특융자
○ 漁 場 開 發		3.850	1.000	2.080	250	520	
- 魚 類 養 殖	13개소	1.300	-	1,040	-	260	100
- 전 복	15ha	300	-	240	-	60	20
- 전 주	5ha	250	-	200	-	50	50
- 가 리 비	15ha	750	-	600	-	150	50
- 어 장 정 비	250ha	1,250	1,000	-	250	-	5
○ 基 盤 施 設		5.725	1.280	2,000	780	1,665	
- 어류종묘배양장	3개소	600	-	480	-	120	200
- 패류 "	2 "	400	-	320	-	80	200
- 갑각류 "	1 "	200	-	160	-	40	200
- 사료저장고	6 "	600	-	480	-	120	100
- 사료제조기	5대	75	-	60	-	15	15
- 개 양 부 자	417천개	1,250	500	500	-	250	3천원
- 김 유 기 산	2,000톤	2,600	780	-	780	1,040	1,300 "
計	17개소 1,765ha	8,750	3,500	3,500	-	1,750	농특세
○ 魚 類 養 殖	15개소	1,500	600	600	-	300	100
○ 貝 類 養 殖		6.250	2,500	2,500	-	1,250	
- 전 복	50ha	750	300	300	-	150	15
- 가 리 비	1,000 "	3,000	1,200	1,200	-	600	3
- 바 지 락	500 "	1,500	600	600	-	300	3
- 피 조 개	200 "	1,000	400	400	-	200	5
○ 種 苗 中 間 培 養 場	2개소	1,000	400	400	-	200	500

資料：수산청 생산국 중식과

註：비고의 숫자는 지원 단가

3. 養殖漁場 管理·整備

養殖漁場의 효율적인 관리와 부실 관리어장 방지를 위하여 全 漁業權에 대한, 精密 實態調査를 1회 이상 실시, 不實管理 漁業權은 관계법규에 의거 정비 조치하여 어업질서를 확립하고, 養殖漁場의 단위 생산성 향상을 위하여 전국 어촌에 상주, 지도하고 있는 255명의 漁村指導員을 활용 적정시설 지도와 漁場豫察 강화 및 유관기관 합동 養殖漁場 評價會를 정기적으로 개최하는 한편, 漁場環境 개선을 위한 漁場 바닥갈이, 汚廢物 收去 등 어장정화 사업을 적극 추진해 나가며, 양식어장의 재해예방 및 복구를 위하여 災害豫防 對策을 수립, 시행하는 등 철저한 漁場管理 지도 및 對漁民 홍보를 강화해 나갈 계획이다.

또한 현행 養殖漁業 면허시 1개 양식어장에 1개 品種만 양식토록 제한함에 따라 어장의 표층은 김, 저층은 바지락을 키우는 등 水面의 立體的 이용 방안이 제한되어 어민 불만이 있었으나 이를 해소하기 위해 複合 養殖漁業 허용방안에 대한 국립수산진흥원의 시험연구 결과에 따라 관련 규정을 마련하여 複合養殖이 가능토록 하여 漁民便宜 및 所得 增大를 도모할 계획이다.

第 5 節 內水面漁業 開發

1. 淡水魚 集約 養殖

國際 競爭力을 강화하고 上水源 보호구역내 가두리 養殖場을 陸上으로 移設코자 가두리 양식장 陸上移轉 및 淡水魚養魚場 시설자금을 '94

년도에 2,400백만원(12개소)을 지원하였으며, '95년도에도 4,900백만원(17개소)을 확보하여 土産品種 및 고소득 품종 集約生産 施設을 지원함으로써 어민소득 증대 및 수질보전을 통한 국민 食水源 保全에 기여할 계획이다.

2. 淡水魚 流通構造 改善

淡水魚 소비 저변 확대 및 유통단계 개선으로 生産者와 消費者의 보호를 위하여 淡水魚 주생산 단지화 및 소비 도시에 담수어 유통(直賣場)시설을 '94년도까지 5개소(2,214백만원)에 지원하였으며, '95년도에는 2개소(1,000백만원)를 지원하여 시설 운영에 함으로써 流通段階 축소 및 淡水魚 消費 촉진에 기여할 계획이다.

3. 淡水魚 養魚用機資材 供給

水産物 輸入開放에 능동적으로 대처하고 양식 농어가의 經營費 輕減을 통한 경영개선을 위하여 養殖施設의 기계화를 추진하고 있으며, '94년도에 처음으로 1,315대(1,565백만원)를 지원하였으며, '95년도에도 전년과 같은 물량을 공급하여 養殖施設의 기계화 촉진으로 水産物 수입 개방에 따른 國際競爭力 강화를 도모할 계획이다.

第 3 章 漁業 構造調整과 漁業秩序 定着

第 1 節 漁業構造 調整

1. 沿近海漁業 構造調整

연근해 어업은 어선세력의 增大에도 불구하고 어업자원 및 어업인력의 감소, 漁船 老朽化 등 어업 내부문제를 안고 있으며, 同時에 水産物 輸入開放 擴大, 국민 水産食品 需要 증대, 漁場縮小 및 海洋汚染 深化 등 어려운 여건 變化에 직면하고 있다. 이러한 어업의 구조적 문제와 與件變化를 고려할 때, 向後 開放經濟下에서 어업 경쟁력을 提高하고 지속적인 水産業 發展을 위해서는 沿近海 漁業의 全般的인 構造調整이 時急히 要請되고 있다.

이를 위해서 정부에서는 漁船減隻을 위주로 한 沿近海漁業 構造調整 계획을 '93년도에 수립한 바 있으며, '94년도부터 2004년도까지 3,100억원을 투자하여 沿近海 業種중 치어 혼획률이 높아 지원에 미치는 영향이 큰 업종과 輸入 自由化로 國際 競爭力이 낮은 업종, 적정 어획강도 초과 비율 및 노후어선 비율이 높은 업종, 漁業經營 상태가 불

량한 업종, 漁業構造 調整이 용이하고 예산이 적게 소요되는 업종 등의 어선 130천톤(7,000여척)을 감척할 계획이다.

’95년도에도 ’94년도에 이어 13,566백만원의 정부예산으로 沿岸水域에서 細網을 사용하여 어린 고기를 많이 혼획하여 水産資源 保護에 영향이 큰 어업으로서 수산물 수입 개방시 競爭力이 취약하여 어선감척이 시급한 沿岸漁業 3개 업종(해선망, 낭장망, 연안안강망)과 近海漁業 중 水産資源 保護에 지장이 큰 대형선망어업에 대하여 감척을 추진중에 있다.

또한 全體 資源水準에 적합한 漁船勢力을 유지하여 단위어선의 經濟性 및 競爭力을 높이고 자원의 합리적 이용관리를 위한 制度 整備에 중점을 두고 어업허가 및 신고 등에 관한 규칙을 정비 補完하는 한편, 關係部處 및 수산업계에 漁業構造 調整의 필요성을 인식, 확산시키는 데 노력할 계획이다.

2. 沿岸漁業 基本調査

世界 沿岸國의 수산자원 자국화 추세로 遠洋漁場의 제약, 상실 및 埋立·干拓으로 인한 연근해 어장의 축소, 都市化·産業化에 따른 공장오수와 도시하수의 沿岸漁場 유입으로 漁場環境이 악화되고 있으며, 한정된 漁業資源에 비하여 어획강도가 과도한 어법으로 인하여 沿近海水域에서 인접 국가간의 競爭操業이 심화되고 이에 따라 漁業資源과 수산물 생산이 점차적으로 둔화되어 輸入開放 등 국내·외의 與件變化에 대응능력이 취약한 실정에 있다.

이와 같이 沿近海漁業이 당면하고 있는 국내·외 漁業與件 변화에 능동적으로 대처하고 漁業의 生産性 向上 및 국제 경쟁력 제고를 위하여

沿岸漁業에 대한 기본적이고 종합적인 조사가 긴요한 실정이다.

정부에서는 우리나라 연안의 간석지 및 淺海의 漁場環境, 棲息生物 狀態, 어장 이용상태, 어업상태, 생산현황 기타 관련여건을 종합 조사하여 수면의 종합적인 利用方案 樹立 및 계획적인 沿岸漁場 개발계획에 기여하고자 '93년도 沿岸漁業 基本 調查計劃을 수립, '94년도부터 '96년도까지 3개년 동안 총 620백만원의 사업비를 투자하여 전국 10개 시·도에 대한 연안어업 基本調查를 실시키로 하였다.

이에 따라 금년에는 '94년 6월부터 실시하고 있는 沿岸漁業, 共同漁業 및 정치방 어업의 漁場利用 實態와 漁場別 生産狀況, 漁業 經營實態 등 어촌현지 실태조사를 금년말까지 완료할 계획으로 국립수산진흥원(수산연구소, 어촌지도소 포함) 주관하에 시·도의 협조를 받아 조사를 실시하고 있다.

沿岸漁業의 종합적인 조사가 완료되면 합리적인 漁業資源 管理, 漁業 生産性 향상방안 강구 및 연안어업의 이용관리, 경영실태의 파악이 가능하게 되어 이를 토대로 沿岸漁業의 生産性 提高와 효율적 관리를 위한 획기적인 제도개선으로 지선어민의 所得基盤 조성에 기여할 것이다.

3. 水産制度 改革 推進

가. 水産業法 改正

UN 海洋法 協約의 발효('94.11.16)로 沿岸國들의 자원자국화 정책이 강화되어 海外漁場 진출이 어려워지고 沿近海 水産資源 減少, 沿岸 汚染 增大 및 일부지역의 不法漁業 등으로 水産業의 국내생산 여건이 전반적으로 악화되었을 뿐만 아니라 WTO체제의 출범으로 水産物 輸入 開放이 확대됨에 따라 상대적으로 國際 競爭力이 열악한 國內 水産業의

競争力 재고가 필요한 실정이다.

또한 世界化, 地方化 시대에 발맞추어 바다환경을 살리면서 기르는 漁業을 育成하여 漁民所得 增大와 漁村의 종합정비 등 새로운 政策을 추진하고 있으나 이를 뒷받침할 水産 基本制度는 오늘날의 변화된 여건을 충분히 수용하지 못할 뿐만 아니라 水産制度를 改革해야 한다는 漁業人 및 水産界의 여론이 높아짐에 따라 올해를 『水産制度 改革의 해』로 정하고 水産關聯 制度를 정비함으로써 어업인들의 오랜 숙원을 해결하고 世界化, 地方化 시대에 걸맞는 水産業 도약의 새로운 기틀을 마련하고자 한다.

1) 水産制度 改革의 基本方向

- 가) 바다, 어촌을 총체적으로 묶어 綜合開發하고 東·西·南海 海域別 特性을 살려 지방실정에 맞도록 漁場을 活用할 수 있도록 한다.
- 나) UN 海洋法協約 발효에 따라 日本, 中國 등 周邊 國家와의 資源管理體制 確立을 위한 제도적 根據를 마련한다.
- 다) 지켜지지 않고 있는 漁業制度를 과감히 개선하여 漁民의 자율적인 規制로 전환함으로써 漁業活動의 自律性을 제고하고 이에 따른 책임을 분담시킨다.
- 라) 地方自治團體는 물론 漁民組織과 民間企業의 공동 참여로 바다와 漁村, 水産業을 연계한 漁村 綜合開發의 촉진을 유도함으로써 海洋 綜合機能을 갖춘 활력있는 漁村을 건설한다.

2) 推進方法

水産廳에 水産制度 改革 企劃團을 구성하여 우선 水産業의 基本制度

인 水産業法の 개정을 추진하고 있다.

水産制度 改革 企劃團은 학계, 업계 등의 수산전문가 18명으로 구성된 水産制度 改革 諮問委員會와 水産廳 實務者 15명으로 구성된 實務作業班으로 구성, 운영되고 있는데 자문위원들은 어업인의 여론수렴과 制度改革 基本方向을 설정하고 매월 2~3회의 회의를 통하여 실무작업반에서 작성된 法 條文을 검토하는 등 制度改革의 중추적인 역할을 담당하고 있다.

3) 主要內容

가) 漁業免許와 許可 및 申告制度를 개선하기 위하여 免許漁業 중 養殖漁業을 재분류하여 제1종, 제2종 양식어업으로 분류하던 것을 貝類, 海藻類, 魚類 養殖漁業 등으로 분류함으로써 분류방법의 효율화는 물론 어업인들이 쉽게 이해할 수 있도록 할 예정이며, 아울러 免許漁業의 優先順位도 재분류하여 漁民所得 增大와 水産業의 競爭力 提高가 이루어지도록 할 예정이다.

또한 漁場利用 開發計劃 樹立에 관한 권한을 市長·郡守에 移讓하고 그 절차를 간소화함으로써 획일적인 漁場利用 開發計劃에서 벗어나 지역실정에 맞는 漁場을 開發·利用할 수 있도록 할 예정이며, 어촌 앞바다의 共同漁場을 養殖場으로 활용할 수 있도록 함으로써 어장이용의 效率化를 기하고자 하며 漁業構造 調整을 통하여 資源量에 적합한 漁船隻數를 유지함으로써 우리의 앞바다가 資源의 寶庫로서 영존될 수 있도록 할 계획이다.

그리고 申告漁業 制度를 개선하여 漁業補償 紛爭의 소지를

해소할 계획이며, 외국인에 대한 漁業免許 制度를 다소 완화함으로써 우리의 先進 水産技術과 외국의 자본 유치를 통하여 水産業의 國際 競爭力 提高를 도모할 계획이다.

- 나) 기르는 漁業을 育成·發展시키기 위하여 漁村契와 地區別 組合이 취득한 漁業權의 移轉, 分割 절차를 간소화시킬 예정이며 현 제도상 養殖 可能品種을 單一 品種에서 複合品種으로 전환하고 노후화된 養殖漁場의 정비개발을 촉진시킬 수 있도록 함으로써 養殖漁場의 생산력 증대를 도모할 계획이다.
- 다) 漁業免許 制限區域에 대하여 한정적으로 면허를 할 수 있도록 함으로써 유류 수면을 어민이 최대한 이용할 수 있는 水面으로 전환할 계획이며, 또한 他 法규에 의하여 漁業免許·許可時 부과할 계획인 公有水面 점·사용료에 대하여 이를 면제할 수 있도록 水産業法에 명문화할 예정이며, 共同漁場의 효율적인 이용방안을 강구함으로써 어민들이 실질 소득 증대와 활력있는 漁村建設을 위하여 제도적으로 뒷받침할 계획이다.
- 라) 水産資源의 조성이 水産業 發展은 물론 국민들에게 水産物을 供給하는데 있어서 무엇보다도 중요하다라는 점을 감안하여 水産資源 造成事業을 효율적으로 수행하기 위한 근거를 마련하고 또한 水産廳長 및 市·道知事에게 水産資源 造成의 의무를 부여할 방침이다.

그 뿐만 아니라 직접적인 資源管理 方式으로 水産 先進國에서 널리 사용되고 있는 總漁獲許容量制度(TAC제도)를 도입함으로써 資源管理에 혁신을 기할 수 있는 근거를 마련할

예정이다.

마) 漁業 生産基盤 施設의 보존 및 관리를 위하여는 市·道知事에게 沿岸漁場의 淨化의무를 부여함으로써 소극적인 沿岸漁場 淨化에서 벗어나 沿岸漁場을 적극적으로 보호·관리·정화할 수 있도록 의무규정을 둘 계획이며, 동 사업을 효율적으로 추진하기 위하여는 현행 水産職 公務員의 인력으로는 감당하기 어려울 뿐만 아니라 사업추진의 효율성이 의문시 된다는 지적에 따라 가칭 『沿岸漁場保護管理協會』를 설립할 수 있는 법적 근거를 마련할 계획이다.

바) 地域別 漁業調整을 위한 地方自治團體의 기능강화를 위하여 시·군별 漁業調整機構를 신설할 계획이며 아울러 地方自治시대를 맞이하여 免許 漁業權 등에 대하여 권한을 地方自治團體로 移讓함과 아울러 이에 따른 책임을 확대할 방침이다.

사) 不法漁業 根絶이야말로 우리 水産業 發展을 위하여 하루 빨리 해결하여야 할 현안임을 감안하여 이를 위하여 제도적인 보완을 할 계획이다.

첫째는 漁業權과 許可證의 갱신제도를 도입함으로써 無登錄 不法漁船이 우리의 앞바다에 출항하여 不法漁業을 자행할 수 없도록 할 계획이며, 둘째로 최근 3년 이내에 벌금형 이상의 선고를 받은 자에 대하여 漁業免許 취득의 결격사유에 포함시킴으로써 수없이 水産業法을 위반하고서도 약간의 벌금만 물고나면 다시 不法漁業을 되풀이 하는 현행의 문제점을 개선할 예정이며, 셋째로는 水産業法이 범법자에게 형벌 위주의 처벌을 함으로써 본의 아니거나 경미한 범법 행위자

에 대하여도 전과자화시킴으로써 어업인들의 불만의 목소리가 높음은 물론 법 집행의 효율성도 떨어진다는 여론에 따라 과징금 제도를 도입함으로써 어업인들의 전과자 양산을 방지함은 물론 엄정한 법 집행을 통하여 不法漁業을 근절해 나갈 계획이다.

나. 水産業法 施行令 改正

水産業法 정비 이전이라도 行政規制 緩和次元에서 漁業現實의 여건상 符合되지 않는 水産業法 施行令上的 내용 개정이 시급히 요청됨으로써 民願의 신속한 처리 등 어민 편익을 도모하고 行政能率을 제고하기 위하여 水産業法 施行令의 改正을 추진중에 있으며 그 주된 내용은 다음과 같다.

- 1) 漁場利用 開發計劃 樹立年度에 漁業免許 處分이 가능하도록 하기 위하여 어장이용 개발계획을 매년 8월 31일까지 수립하도록 하던 것을 앞으로는 매년 4월 30일까지 수립하도록 하고, 同 開發計劃의 효력은 당해 樹立年度 7월 1일부터 발생하도록 하였으며.
- 2) 漁業免許를 받고자 하는 水面에 면허 신청인이 1인인 경우에는 시·도 水産調整委員會의 審議를 생략할 수 있도록 하여 민원인의 편익을 도모하도록 하였고.
- 3) 養殖漁業의 경우 종전에는 당해 水面에 單一品種의 水産動植物을 양식하도록 하던 것을 수면의 효율적인 이용을 위하여 2개 品種이상의 水産動植物을 養殖할 수 있도록 하는 複合養殖 漁業制度를 새로이 도입하고 있으며.
- 4) 水産廳長의 水産製造業 事前許可 권한을 시·도지사에게 위임할

계획이다.

다. 漁業許可 및 申告 등에 관한 規則 改正

漁業許可 및 申告 등에 관한 規則을 '94.5.14일 개정 시행하였으나 近海漁業에 사용되는 어선으로도 일정기간 遠洋漁業을 할 수 있도록 하는 등 行政規制 緩和次元에서 어업현실에 맞지 아니한 일부 규정을 합리적으로 개선, 보완하여 漁民所得 增大에 기여하고자 漁業許可 및 申告 등에 관한 規則을 '95.7월 改正하였으며, 그 主要內容은 다음과 같다.

- 1) 近海漁業과 遠洋漁業은 동일한 어선으로 중복하여 허가 신청할 수 없으나 일정기간 遠洋漁業을 하고자 하는 경우에는 近海漁業에 사용되는 어선으로 원양어업 허가신청을 중복하여 할 수 있도록 하였고,
- 2) 行政區域의 개편으로 인천광역시와 경기도의 관할수면의 조정이 어렵고, 기존 沿岸漁業者 등의 漁業行爲를 보호하기 위하여 인천광역시와 경기도 관할수면을 동일한 수면으로 보아 沿岸漁業許可 등을 신청할 수 있도록 하였으며,
- 3) 遠洋漁業 許可時 종전에는 어획물의 국내 양륙항을 지정하여 일 부지역에 대하여 漁獲物 양륙을 제한하던 것을 水產物 需給 등 필요한 경우에만 지정할 수 있도록 완화하였고,
- 4) 이동성 區劃漁業에 실뱀장어 안강망어업을 신설하여 沿岸에서 허가없이 실뱀장어를 채포하는 어업을 수용하여 漁業秩序를 유지하도록 개선하였다.

아울러, 유엔해양법 협약이 '94.11.16일 발효됨에 따라 동 협약국으로서 管轄水域內의 生物資源에 대한 總 許容 漁獲量 및 漁獲能力을 결

정하여야 하므로 漁獲實績 把握 및 資源評價를 위하여 현행 원양어선에 대한 조업동태 보고규정을 沿近海漁業에도 확대 적용하여 보고토록 함으로써 새로운 海洋秩序에 능동적으로 대처하고자 “沿近海 및 遠洋漁業의 操業狀況 등의 報告에 관한 規則” 제정을 추진하고 있다.

第 2 節 不法漁業 追放

水産廳에서는 금년을 “漁業秩序 確立 定着의 해”로 정하고 “漁業秩序 確立을 위한 綜合對策”을 새로이 마련 법무부, 경찰청, 해경청 등 관계 기관의 협조를 받아 법 政府的 次元에서 강력하고도 지속적으로 추진하기로 하였다.

금년 漁業秩序 確立을 위한 綜合對策은 沿岸 어업들이 주년 操業이 가능하도록 겸업업종을 확대하는 등 不法漁業 防止를 위한 규제완화와 각종 제도개선을 마련하고 不法漁業 自進申告 및 轉業措置를 위해 미등록, 무허가 어선의 일제 신고기간을 설정하여 이 기간 동안에 자진신고한 자에 대하여는 허가 가능업종으로 허가해 주고 轉業資金도 일부 지원할 계획이다.

不法漁業 團東도 종전의 평면적인 단속을 탈피하여 인접 시·도 및 관계기관간에 공조체제를 확립, 해상과 육상을 연계하여 不法漁業 尤甚地域을 대상으로 집중반복 단속하는 한편, 해경청도 불법어선 出入港 統制를 더 한층 강화하고, 수협에서도 漁民과 水産團體의 자율적인 불법어업 根絶運動을 적극 전개하는 한편 상습 不法 漁業者에 대해서는 組合員 除名, 營漁資金 회수 등 각종 지원을 배제하며, 不法漁業 성행 지역에 대해서는 각종 政府 支援事業 추진시 차별 지원토록 할 계획이다.

이와 같은 制度改善, 轉業支援 및 지도계몽에도 불구하고 불법어업이 지속될 경우에 대비하여 일정 회수이상 불법어업으로 허가가 취소된 어선에 대하여 재허가를 금지하고 벌금도 下限線을 200만원이상으로 上向調整하기로 하는 한편, 常習 또는 고질적인 불법 어업자에 대해서는 구속수사를 하는 등 경제적 불이익과 사법처분을 강화할 계획이다.

아울러, 금번 대책의 실효성 확보를 위해 시·군에는 시장·군수를 위원장으로, 시·도에는 부시장·부지사를 위원장으로, 수산청에서는 차장을 위원장으로 한 不法漁業根絶對策協議會를 구성하여 매분기마다 推進實績을 평가 점검하고 그 결과를 총리실 및 대통령비서실에도 정기적으로 보고하는 등 組織的이고 體系的으로 추진할 계획이다.

第 3 節 操業海域 擴張

東·西海 操業海域 擴張 및 操業規制 완화를 위하여 강원도 고성군 저도 周邊漁場의 조업기간을 4~10월에서 11월까지 1개월 연장과 서해 조업 자제선을 북위 37도 40분에서 북위 37도 55분으로 15마일 북상 및 操業海域을 확장하는 한편 西海 特定海域에서 대형기선저인망어업구역 조업기간을 1~2개월 연장하여 달라는 수협 등의 의견을 검토, 어선 안전조업규정(수산청고시) 개정을 關係部處와 협의해 나갈 계획이다.

또한 沿岸海 出漁船에 대한 安全點檢 有效期間을 10일에서 30일로 연장하고 구명동의를 비상시 활용 가능 여부 등 점검의 내실화로 출항 시간 단축과 漁民便宜를 도모하기 위해 船舶統制規定(국방부, 경찰청, 수산청, 해운항만청 4부·청 合同訓令)을 關係部處와 협의, 개정할 계획이다.

第 4 節 安全操業 指導

漁撈限界線 및 操業自制線 隕선에방과 海難사고를 미연에 방지하여 漁船의 安全操業을 도모함으로써 漁民의 생명과 재산을 보호하고, 國家 安保에 기여하고자 漁場에서의 安全操業 現場 指導, 출·입항 漁船에 대한 安全點檢 강화, 상황실 기능 보강, 유관기관과의 협조체제 강화 등을 내용으로 한 沿近海漁船 安全操業 指導 對策을 수립 추진할 계획이다.

重點 推進事項으로는 漁民의 安全操業에 대한 의식고취를 위해 선주, 선장 등 幹部船員에 대한 교육을 강화하고, 海難사고와 隕선어선 예방을 위해 安全操業 狀況室 운영을 강화하는 한편, 大和堆 오징어 漁場 출어선의 安全操業 指導를 위하여 어선이 많이 출어하는 盛漁期에 복지 모선을 통해 氣象特報의 迅速 傳播 및 待避 指導를 강화하고, 군·경 등 有關機關과의 긴밀한 협조체제를 유지하여 越線 및 海難事故 예방과 사고어선의 신속한 구조체제를 확립해 나갈 계획이다.

특히 中國漁船의 우리측 漁業資源 保護水域 침범 불법조업 방지를 위해 '92.1.16일 國務總理 지시인 "中國漁船 우리 수역 침범 단속 기본 방침"에 의거 어업자원 보호수역을 침범하는 中國漁船 발견시는 漁業無線局 및 어업지도선 등에 즉시 신고토록 계도하고, 신고된 中國漁船에 대하여는 水産廳 指導船 및 해경 등 관계기관의 지원을 받아 추방 조치하는 한편, 영해 침범어선에 대하여는 拿捕를 강화하고, 拿捕된 中國漁船에 대해서는 벌금액을 중국 수준으로 상향 조정함으로써 우리 수역 漁業資源 保護와 漁民의 安全操業을 위하여 노력을 기울일 계획이다.

第 4 章 漁村 綜合開發과 漁業 基盤施設 擴充

第 1 節 漁村 綜合開發

1. 漁村 綜合開發

낙후된 어촌지역의 構造改善과 定住基盤을 확보하여 지역간, 계층간의 소득격차 해소와 균형발전을 위하여 정부에서는 대대적인 漁村綜合開發事業을 추진하고 있다.

지원대상은 개발 잠재력과 협업능력이 있고 개발 후 인근 어촌에 파급효과가 기대되는 지역을 圈域으로 하여 灣을 中心으로 개발하며, 대상사업은 어선 계류시설, 해안시설 등 生産 基盤施設과 漁村 環境施設 및 어촌 부업시설, 수산자원 조성 등 所得源 開發事業에 대하여 지원하며, 사업주체는 시·도지사로서 하고 있으며 지원율은 국고보조 50%, 지방비 45%, 자담 5%로 15권역을 지원토록 예산을 확보하였다.

그러나 '94년도 사업의 권역당 단가가 낮아 기대했던 목표 달성이 곤란하여 '95년도 사업비에서 일부 증액지원 방침을 결정하여, '95년도에는 '94년도에 이미 사업 시행하고 있는 10개권역에 14,000백만원

을 추가로 배정하고 '95년도 신규 사업지역으로 11개 권역을 선정, 38,500백만원을 지원할 계획이다.

〈表 108〉 市·道別 圏域數 및 支援計劃

單位：個圏域, 百萬원

	計	仁川·京畿	江原	忠南	全北	全南	慶北	慶南	濟州
○總 圏 域 數	21	2	3	2	2	4	2	4	2
○'95事業費(A+B)	52,500	4,809	8,155	4,841	4,874	10,155	4,170	10,126	4,830
○'94繼續圏域	10	1	1	1	1	2	1	2	1
○事 業 費	27,170	2,518	2,220	2,582	2,648	6,208	2,320	6,154	2,530
- 94 豫 算	13,170	1,209	1,055	1,241	1,274	3,054	1,110	3,207	1,200
- 95 豫 算(A)	14,000	1,309	1,155	1,341	1,374	3,154	1,210	3,127	1,330
○'95新規圏域	11	1	2	1	1	2	1	2	1
○事業費(B)	38,500	3,500	7,000	3,500	3,500	7,000	3,500	7,000	3,500

資料：수산청 수산정책국 어촌개발과

2. 漁民 福祉會館 建立

'89년이후 추진한 漁民福祉會館 건립은 어민들의 긍정적인 반응과 호응속에 꾸준히 추진하고 있으며 '95년도에도 어민 및 어선원들의 건전한 休息空間 제공과 便益 증진을 위하여 1,080백만원의 보조금을 확보하여 경기도 화성군 수협 등 4개소의 일선 수협에 목욕탕, 예식장, 구판장, 휴게실 등 현대적 綜合福祉施設을 갖춘 어민복지회관을 건립중에 있으며 2001년까지 65개 전국 지구별 수협에 각 1개소씩 건립하여 운영할 계획이다.

3. 漁村觀光 所得源 開發

다양한 국민관광 수요를 충족하고 어민소득 증대를 도모하기 위하여 풍부한 관광자원을 보유하고 있는 어촌지역에 대하여 觀光 便宜施設을 설치할 수 있도록 '95년도에는 관광 소득원개발 사업비 1,700백만원 (농어촌 구조개선 특별회계 1,020백만원, 지방비 510백만원, 자담 170백만원)을 투입하여 어촌계의 지역여건 및 특성에 맞고 투자 효과를 극대화할 수 있도록 활어횃집, 숙박시설 등 漁村觀光 所得源 개발 사업을 지원하고 있다.

〈表 109〉 '95 漁村 觀光開發 推進計劃

單位：百萬圓

事業量	事業費			
	計	融資	地方費	自擔
17個所	1,700 (100%)	1,020 (60)	510 (30)	170 (10)

資料：수산청 수산정책국 어촌개발과

第 2 節 漁村人力 育成

1. 漁業人後繼者 育成

정부는 '95년도에 農漁村構造改善特別會計에 150억원을 확보하여 어촌에 정착하여 어업에 종사할 의욕과 사업추진 능력이 있는 40세미만의

어업인 746명을 漁業人後繼者로 선정, 사업규모에 따라 1인당 15~30백만원씩의 長期低利 資金을 지원하여 漁船購入, 漁船建造, 漁船改·補修, 養殖施設物 設置, 稚貝·稚魚 購入資金으로 사용토록 할 계획이다.

또한 高級 營漁技術의 普及, 施設 現代化로 地域漁業 發展에 모범이 되는 어가를 專業漁業人로 선정하여 '95년도에 122억원의 예산을 편성, 243명에게 1인당 50백만원씩 용자 지원할 계획이며 이들 989명 전원에 대하여는 전문기술 교육을 실시하게 된다.

한편 생산기술, 경영기법, 기계 및 시설, 생산규모, 소득 등의 면에서 가장 앞서가는 어민을 先導漁業人로 지정하여 이들을 경쟁력 있는 어가로 발전해 나갈 수 있는 모델로 활용하려는 취지에서 '95년도에 신규사업으로 5명을 선정하여 시범 육성할 계획이다.

〈表 110〉

漁業人後繼者 育成 支援計劃

單位：名, 百萬元

	計		'81~'94		'95	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額
計	8,526	120,600	7,532	93,200	994	27,400
○ 漁業人後繼者	7,978	93,200	7,232	78,200	746	15,000
- 漁船漁業	4,608	53,862	4,223	46,121	385	7,741
- 增養殖漁業	3,254	37,822	2,908	30,866	346	6,956
- 水産物加工	116	1,516	101	1,213	15	303
○ 專業漁業人	543	27,150	300	15,000	243	12,150
○ 先導漁業人	5	250	-	-	5	250

資料：수산청 수산정책국 이촌개발과

'95년도 漁業人後繼者에 대한 교육의 주요 추진방향은 당면 수산정책을 이해시키고 문제 해결에 도움이 될 수 있는 시의성 있는 시책교육

과 漁民所得 增大와 경쟁력 제고를 위한 實用 技術教育 및 어민 자금심 교양을 위한 소양·精神教育 위주로 실시할 계획이다.

주요 시책교육으로는 WTO체제 출범 및 世界化 추세에 따른 漁村開發 方向과 水産業의 대응방안 그리고 農林水産事業 統合實施要領 해설 등에 관한 교육을, 漁家所得 增大와 현장 대처능력 제고를 위한 實用技術 教育으로는 김 사상체 배양과 갯병 대책, 진복의 육상 사육방법, 양식 장 질병 원인과 대책 등 전문적이고 세부적인 교육을 실시할 예정이다.

〈表 111〉 '95 漁業人後繼者 教育計劃

單位：名

班 別	期 別	日 程	人 員
漁 業 人 後 繼 者 班			750
漁 船 漁 業 班	1	'95. 4. 17 ~ 4. 19	78
"	2	'95. 4. 20 ~ 4. 22	78
"	3	'95. 5. 2 ~ 5. 4	78
"	4	'95. 6. 29 ~ 7. 1	78
"	5	'95. 9. 14 ~ 9. 16	78
海 藻 類 養 殖 班	1	'95. 7. 19 ~ 7. 21	80
"	2	'95. 7. 25 ~ 7. 27	80
貝 類 養 殖 班	1	'95. 8. 16 ~ 8. 18	65
海 面 魚 類 養 殖 班	1	'95. 8. 29 ~ 8. 31	70
內 水 面 魚 類 養 殖 班	1	'95. 9. 27 ~ 9. 29	65
專 業 漁 家 班			250
漁 船 漁 業 班	1	'95. 4. 24 ~ 4. 27	36
"	2	'95. 5. 8 ~ 5. 11	35
"	3	'95. 5. 22 ~ 5. 25	35
水 産 養 殖 班	1	'95. 5. 29 ~ 6. 1	36
"	2	'95. 6. 12 ~ 6. 15	36
"	3	'95. 6. 19 ~ 6. 22	36
"	4	'95. 9. 18 ~ 9. 21	36

資料：수산청 수산공무원교육원

2. 水産系 高校 支援

우리나라 水産業은 産業化에 따른 漁業人區 감소와 3D 현상으로 인하여 水産業 從事를 忌避함으로써 人力難을 겪고 있다. 政府에서는 어촌 人력난을 解消하기 위하여 1986년 문교부 주관하에 水産高等學校 育成計劃을 수립하여 水産系 고등학교중 自營 水産科를 설치한 學校의 自營水産科 학생에게는 入學金과 授業料를 면제하고 食費 80%(水産廳 50%, 教育部 30%, 自擔 20%)를 지원하고 있다.

自營 水産科를 개설한 水産系 高等學校는 전국 13개교중에서 注文津, 大川, 莞島, 巨濟 水産高等學校 등 4개교이며, 금년에 우리청에서 支援하는 기숙사 식비 補助는 107백만원이며, 惠澤을 받는 학생은 정원 480명중 現員 395명이다.

〈表 112〉

自營水産科 學生現況

單位：百萬圓, 名

	寄 宿 舍 食 費	支 援 學 生		
		定 員	現 員	對 比
計	107	480	395	82%
注文津水高	19	120	69	58
大川水高	28	120	105	86
莞島水高	27	120	101	84
巨濟水高	33	120	120	100

資料：수산청 생산국 연근해과

3. 海技士 養成 및 漁業技術 訓練

韓國漁業技術訓練所에서는 '95년에 169회에 걸쳐서 總 7,353명의

漁船員을 教育 訓練시킬 계획이다.

특히, 항해사, 기관사, 통신사, 운항사 등 海技士를 2회에 걸쳐 100명을 養成할 계획이며, 乘務經歷이 없는 자에 대한 新規 教育課程은 56회에 2,800명을, 선원과 漁船의 안전 및 海難防止를 위한 教育課程은 60회에 3,000명을 실시할 계획이다.

또한 SHIP HANDLING SIMULATOR, 냉동 PLANT 등 고가 첨단 訓練裝備를 구입 활용하여 교육훈련 효과를 극대화시킬 計劃이다.

〈表 113〉 '95 海技士 및 漁船員 教育訓練 計劃

單位：回, 名

計	海技士 教育		安全 및 海難 防止 教育		新 規 教 育	應 取 試 得 資 教 格 育	沿 岸 船 職 務 教 育	遠 洋 船 職 務 教 育	免 許 取 得 教 育	레 이 더 教 育	外 國 人 教 育	
	20 期	21 期	新 規 者 班	再 教 育 班								
回數	169	1	1	20	40	56	3	13	14	8	12	1
人員	7,353	50	50	1,000	2,000	2,800	60	260	700	160	240	33

資料：한국어업기술훈련소

第 3 節 漁港建設 擴充

1. 1·3種 漁港建設

'95년도 1·3種 漁港建設은 그 동안 開發需要에 비해 투자 과소로 漁港建設이 부진하였으나 농어촌 발전대책의 일환으로 '94년부터 2004년

까지 투자되는 農漁村 特別稅에 어촌 기반시설인 어항건설에 집중 지원 되도록 하여 '95년부터 '98년까지 3,300억원을 집중 투자할 계획이다.

'95년도에는 農漁村特別稅 재원 795억원을 확보 추진함과 아울러 일반회계에 298억원의 施設事業費 등 총 1,093억원으로 계속 투자중인 35개항에 960억원, 보수 보강항 20개항에 133억원을 투자함으로써 어선의 安全 收容 및 漁獲物의 신속한 揚陸處理 등 어항시설을 지속적으로 확대하여 나갈 계획이다.

2. 2種 漁港建設

시·도의 재정 형편으로 개발이 저조한 2종 어항에 대하여도 農漁村特別稅를 재원으로 '94년부터 向後 10년간 4,500억원을 투자할 계획으로 '94 追更豫算에 300억원을 반영 이미 지원하였고, '95년도에는 시·도지사가 관리하는 제2종 어항의 早期 完工을 위하여 52개항에 375억원(국비 188억원, 지방비 187억원)을 투자할 계획이다.

3. 漁港 基本計劃 및 整備計劃 調査

'93년과 '94년에 우두포 등 4개항에 대한 어항지정 타당성 조사로 항세가 신장된 구조라, 보옥항의 신규 어항지정으로 동 항에 대한 기본 계획을 수립하고 있으며 어항시설 완공후 장기간의 경과로 港勢 등의 여건변화, 시설노후로 정비가 필요한 3개항(녹동, 들산, 대보항)과 시 공중에 있는 지세포항의 외곽시설에 따른 항내 정온도, 해안 진입도로 설치 등에 대한 정비계획을 수립할 계획이다.

第 4 節 漁撈施設의 現代化

1. 漁船建造 支援

가. 老朽漁船 代替 支援

'95년도 老朽漁船 代替事業은 66억원을 投入하여 1,000톤의 老朽漁船을 合成樹脂(FRP)어선으로 代替할 계획이며, 同 事業의 支援對象은 선령이 木船은 16년이상, 鋼船 및 合成樹脂(FRP)어선은 21년이상의 老朽漁船을 8톤미만의 合成樹脂 어선으로 代替하고, 被代替 어선 소유 기간을 사업신청 자격으로 규정하지 아니하고 사업자 선정 우선순위에 반영하여 신청자격 요건을 완화하였으며, 被害漁船 復舊事業으로 지원 받은 후 5년이 경과하지 아니한 어선일지라도 천재지변에 의한 피해를 입는 경우는 지원 받을 수 있도록 대폭 완화하였으며, 最近 2년 이내 不法漁船을 建造한 者는 지원대상에서 제외하여 실제로 어업을 경영하는 어민에게 혜택이 가도록 할 계획이며 지원조건은 총 사업비의 20%는 보조, 60%는 융자, 20%는 자담으로 하고 融資條件은 3년거치 10년 상환에 金利는 年 5%이다.

나. 經濟性漁船 建造 支援

'95년 經濟性漁船 建造事業은 249억원을 투입, 3,780톤을 建造 支援 하여 어선의 현대화로 安全 操業 및 어업경영 개선을 도모할 계획이다.

동 사업의 支援對象은 前年과 같이 40톤미만 어선은 경제성있는 합성수지(FRP)어선으로 建造하고 40톤이상 어선은 FRP어선 또는 강선으로 建造 支援할 계획이며 지원 조건은 총사업비의 80%는 융자, 20%는 자

담으로 하고 3년거치, 10년 상환에 金利는 년 5%로 融資 支援하고 있다.

2. 漁船機關 代替, 漁船裝備 및 設備改良 등 支援

가. 漁船機關 代替 支援

安全操業과 操業能率 향상은 물론 燃料 節約을 위하여 燃料 過多 消耗型 低效率 機關과 老朽機關을 성능이 우수한 燃料 節約型 船舶用 機關으로 대체하여 漁民所得 향상에 기여하기 위하여 시행하는 漁船機關 代替事業은 '95년도에 48억원을 투입, 30천마력을 代替할 計劃이다.

支援對象은 500마력이하 船舶用機關 대체이며, 영세어민과 다수어민에게 고루 惠澤이 갈 수 있도록 小型漁船의 低馬力機關 대체에 우선 지원하고, 총사업비의 80%는 용자, 20%는 자담으로 하며 용자조건은 1년거치 4년상환에 金利는 년 5%이다.

나. 漁船裝備 및 設備改良 支援

漁船裝備 및 設備의 현대화로 操業能率 향상과 어업경영 개선을 기하고자 '95년도에는 116억원을 투입, 在來式 裝備·設備의 개량과 漁撈施設의 기계화, 자동화 및 船員 住居環境 改善을 위한 船體構造 개량을 지원할 계획이며, 漁船機關 代替 支援條件과 마찬가지로 총사업비의 80%는 용자, 20%는 자담으로 하고 용자조건은 1년거치 4년상환에 金利는 년 5%이다.

다. 漁船用機資材 生産 支援

漁船用機資材 生産業體에 대한 운영자금 지원으로 품질좋은 漁船用品의 생산과 원활한 수급을 도모코자 1개 업체에 3억원의 한도내에서 15억 원을 지원할 계획이며, 용자 지원조건은 1년 償還에 金利는 년 8%이다.

라. 漁船用機械 供給 支援

漁船用機械 供給事業은 어민부담을 경감하기 위한 정부의 漁業用機械 반값공급 정책에 따라 '94년도부터 신규로 지원되고 있으며, 自動釣上機, 魚群探知機 등 12종류의 장비 4,000臺에 대하여 尙當 200만원 한도내에서 총 사업비의 50% 보조, 30% 융자, 20% 자담으로 하고 융자조건은 1년거치 4년 상환에 金利는 年 5%이다.

〈表 114〉

漁撈施設 事業計劃

單位：百萬元

	物 量	事 業 費			
		計	補 助	融 資	自 擔
計		57,074	3,229 (1,909)	40,523	11,413
○ 漁船建造	4,780臺	31,549	1,320	23,919	6,310
- 老朽漁船 代替	1,000 "	6,600	1,320	3,960	1,320
- 經濟性漁船建造	3,780 "	24,949	-	19,959	4,990
○ 漁船機關 代替	30,000마력	4,800	-	3,840	960
○ 漁船裝備 및 設備 改良	232척	11,591	-	9,273	2,318
○ 漁船用機資材生産 支援	5개사	1,500	-	1,200	300
○ 漁船用機械 供給	4,000臺	7,634	1,909 (1,909)	2,291	1,525

資料：수산청 시설관리국 어선과

註：()는 지방비

3. 漁船의 研究開發

정부는 沿岸漁船 漁業의 생산성 향상과 국제 경쟁력 제고를 위해 '93년 標準漁船 개발을 위한 기초조사 연구를 실시하여 개발대상으로 제시된 沿岸漁船 9종중 4종을 '94년도에 개발 완료하였고, 계속하여 '95. 3월까지 나머지 5종을 추가 개발토록 하였으며 개발된 標準 漁船型은 高速力 船型에 자동화된 漁撈裝備를 갖춘 인력 절감형으로 개발하여 어민소득 향상에 크게 기여할 것으로 예상된다.

〈表 115〉

研究開發 漁船內譯

開發年度	業 種	規 模	海 域	事 業 期 間
'94	연 승	7.93톤	남 해 안	'93.5.15~'94.3.31
	유 자 망	4.99톤	서 해 안	
	"	2.98톤	동 해 안	
	통 발	2.98톤	남 해 안	
'95	유 자 망	7.93톤	서 해 안	'94.4.19~'95.3.18
	연 승	4.99톤	남 해 안	
	채 낚 기	2.99톤	동 해 안	
	유 자 망	1.99톤	서 해 안	
	"	1.71톤	동 해 안	

資料 : 수산청 시설관리국 어선과

4. 制度改善

가. 낚시객의 漁船 利用에 관한 法 制定

국민소득 향상에 따른 레저수요 증대로 어선을 이용한 바다낚시가 일
반화되고 있으나 낚시객의 漁船利用에 대한 제도가 마련되지 않아 안전
관리가 미흡하여 이용자의 안전확보와 어촌관광 활성화 및 어민소득 증
대를 위하여 제정하려는 것으로 그 주요 내용은

첫째, 낚시객을 어선에 승선시켜 하천, 湖沼 또는 바다의 낚시장소에
안내하는 영업(이하 "낚시漁船業"이라 한다)을 하고자 하는 자는 시·도
지사에게 신고하도록 하고,

둘째, 낚시 漁船業의 申告 有效期間과 영업구역은 지역여건을 감안하
여 시·도지사가 정하도록 하되 신고 유효기간은 연간 5월 이내로 제한
함으로써 專業的 營業행위를 방지하며,

셋째, 낚시 漁船業者는 승객의 안전도모를 위하여 대통령령이 정하는
바에 의하여 인명 안전에 관한 설비를 비치하고 낚시漁船에 대한 검사
를 받도록 할 계획이며,

넷째, 낚시 漁船의 점검 등 낚시 漁船業者에 대한 안전운항 의무를 부
여하고 낚시어선에 비치된 인명 安全設備 등에 대하여 시·도지사가 실
시하는 安全點檢을 의무적으로 받도록 할 계획이며,

다섯째, 낚시 漁船業 申告畢證을 비치하지 않은 낚시 漁船業者에게는
過怠料를 부과하고 無申告 낚시 漁船業者에게는 100만원 이하의 罰金
을 부과토록 할 계획이다.

나. 漁船讓渡 등의 許可要領

中古船舶의 수출입에 관한 "輸出·入 別途 公告"(통상산업부 고시 제
95-49호)의 개정으로 中古漁船의 수입제한이 완화됨에 따라 이에 부합
되도록 漁船讓渡 등의 허가 기준 등을 전면 개정하였으며 그 주요내용은

첫째, 어선의 讓渡·貸與 허가기준 등을 개선하여 선령 21년미만 어

선을 외국에 讓渡하는 경우에는 漁撈設備 철거토록 하고 또한 어선을 외국에 貸與하는 경우에는 우리나라와 競爭操業 관계에 있는 국가는 제외하도록 하였다.

둘째, 讓受·備船 어선에 대한 등급 제한(130% 이내)을 폐지하고 어업허가 가능여부에 따라 허용토록 하였으며,

셋째, 期間備船 許可時의 船齡 제한(16년 이하 등)을 폐지하고 船齡 21년이상 노후 어선인 경우에 한하여 漁船檢査 機關의 종합 의견서를 첨부토록 하였으며, 期間備船 할 수 있는 어선의 船齡을 30년미만으로 제한하였다.

넷째, 廢業, 企業合併 등의 경우에만 허용했던 備船者 변경을 備船後 3년경과 시에는 무제한 허용하고 사망 등에 따른 상속 등 부득이한 사정이 발생한 경우에는 3년의 기간 제한에 불구, 備船者 변경이 가능토록 하였다.

第 5 章 水産物 流通改善과 加工産業 育成

第 1 節 價格安定 對策

1. 價格安定 事業

'95년도 농수산물가격안정기금에 의한 水産物 價格安定 및 流通改善 事業은 總 運用額 12,850억원중 21%인 2,717억원이며, 이 중 1,888억원을 가격안정 사업에 運用할 계획이다.

需給의 원활한 조절로 생산자 受取價格을 제고하고 소비자도 보호해 나가기 위해 農安基金 622억원을 이용하여 김, 冷凍오징어 등 10개 品目 25,200톤을 정부에서 직접 備蓄, 放出할 계획이며, 또한 1,266억원을 民間 및 生産者(團體)에 지원하여 備蓄 收買, 방출, 輸出原料 收買 및 出荷 調節을 원활하게 함으로써 수급 및 가격안정을 기해 나갈 계획이다.

2. 需給 및 價格管理 強化

수산물 需給 安定을 위해 沿近海 및 海外漁場에서의 생산 증대와

(表 116)

'95政府備蓄 事業計劃

單位：톤, 百萬元

	收買物量	基金支援	事業時期	
			收買	販賣
計	25,200	62,243		
김	600 (300만속)	13,279	'95.1.1~4.30	'95.6.1~11.30
간미역	4,400	5,477	2.1~4.30	7.1~11.30
마른미역	100	940	2.1~4.30	7.1~11.30
냉동오징어	8,000	17,464	9.1~12.30	'96.2.1~6.30
냉동조기	1,500	6,864	3.1~12.30	'95.2.1~9.30
냉동고등어	4,000	3,600	8.1~12.30	'96.3.1~6.30
냉동명태	5,000	5,280	6.1~8.31	'95.9.1~'96.2.28
냉동갈치	1,000	3,397	9.1~12.30	'96.3.1~6.30
마른멸치	300	2,523	9.1~12.30	'96.3.1~8.31
마른오징어	300 (400천속)	3,419	9.1~12.30	'96.3.1~8.31

資料：수산청 수산정책국 유통가공과

외국과의 共同 및 合作漁業 事業을 통한 漁獲物의 內需 搬入을 확대해 나가고 需給上 부족 품목에 대한 制限的 輸入을 추진해 나갈 계획이다.

조기, 명태, 오징어, 고등어, 갈치, 김, 마른멸치 등 7개 主要品目에 대하여는 需給狀況을 특별히 관리하고 연중 物價管理 非常體制를 運營하여 需給 및 價格管理를 점검해 나가며, 또한 설날, 秋夕 및 越冬期 盛需期에는 特別對策을 수립하여 성수품의 需給 圓滑과 價格安定을 도모해 나갈 계획이다.

第 2 節 流通構造 改善

1. 流通施設 擴充

수산물의 신속한 揚陸과 판매를 위한 產地 委販場 擴充에 1,108백만 원을 투자하여 1,345평을 새로이 건설하는 등 위판장을 지속적으로 확대해 나가고 있으며, 委販事業의 效率化·自動化를 위하여 流通情報 전산망을 확대하고, 위판장을 部類別로 專門化하기 위하여 活魚 專門 위판장 100평에 185백만원을 투자하여 건설할 계획이다.

또한 위판 수산물의 圓滑한 수송과 어민단체의 直出荷 促進을 위하여 活魚 및 冷凍·冷蔵 輸送車輛 10대 150백만원을 산지조합 등에 지원 보급하고, 위판장 廢水處理施設 1개소에 200백만원을 지원, 위판장의 위생시설을 강화하며, 특히 夏節期 細菌性 傳染病的 發生으로 인한 어민 被害가 없도록 豫防活動에도 철저를 기할 계획이다.

2. 產地 販賣 制度改善

沿近海 水産物の 산지 거래제도를 '97년까지 自由販賣制로 전환토록 함에 따라 제1단계 대상품목을 '95.3.6일부터 自由販賣할 수 있도록 조치하였으며, 種類別 품목은 다음과 같다.

- 海藻類: 다시마, 미역, 김, 도박, 파래, 청각, 꼬시래기
- 貝 類: 전복(오분자기 포함), 가무락, 동죽, 홍합, 고막, 가리비, 맛
- 魚 類: 가자미, 넙치, 대구, 도미, 능성어, 불락, 연어, 활어
- 甲殼類 등 기타: 게, 문어, 낙지, 꾸꾸미, 해삼, 멧게

이에 따라 生産漁民은 水協 委販場과 一般 販賣處를 선택하여 어획물을 판매할 수 있게 되었으며 販賣價格 제고와 함께 수협 대어민 서비스도 향상될 것으로 전망된다.

3. 消費地 流通機能 強化

수산물의 流通段階를 短縮하고 유통마진을 줄이기 위해서 생산자 단체의 直出荷를 활성화하기 위한 수산물 직판장을 産地組合에 5개소 2,000백만원을 지원하고, '93년부터 건설중인 서울 의발산동의 수산물 공판장 시설에 8,878백만원을 투자하여 건설중에 있다.

그리고 저렴하고 값싼 수산물을 소비자에게 안정적으로 공급할 수 있도록 내륙지 공판장 및 직판장 기능을 活性化해 나가며, 水産部類 都賣市場內에서 모든 水産物에 대하여 上場 賣買를 실시하고, 국산 수산물 중 굴비, 아귀, 복어, 냉동홍어 등 23개 품목을 지정하여 原産地 表示制를 실시하는 등 不正流通 根絶 對策을 추진하여 流通秩序를 確立해 나가는 한편 流通情報의 확대 普及 및 自動應答機 설치 확대 등 消費者 保護를 위한 시책도 적극 추진해 나갈 계획이다.

4. 水産物 規格化

수산물의 規格化와 包裝을 改善하여 수산물의 商品性을 提高함으로써 消費者에게는 新鮮하고 衛生的인 商品을 공급하고 生産漁民에게는 受取價格을 높여 所得增大에 기여하고자 농안기금 137억원을 지원하여 9,938톤을 규격출하할 계획이다.

〈表 117〉

'95 規格出荷 事業計劃

單位 : 톤, 百萬元

	出 荷 組 合	物 量	財 源 別		
			計	農安基金	自 擔
計		375,988	17,135	13,700	3,425
새 우 젓	강화, 대천, 신악	9,000	448	358	90
멸 치 젓	대천, 경주	3,570	307	245	62
굴	용진, 고흥, 굴수하식	19,400	1,841	1,473	368
바 지 락	고흥, 보성	1,380	259	207	52
꽃 개	인천, 진도, 군산, 안강망	1,080	733	586	147
마 른 미 역	장흥	25	85	68	17
마 른 문 어	고흥	250	173	138	35
마 른 오 징 어	강릉, 흑산도, 울릉도	614	506	405	101
마 른 멸 치	강화, 완도, 약산, 소안, 진도, 고흥, 여수, 군산, 거제, 삼천포, 권현망, 경남정치, 안강망	66,213	6,281	5,029	1,252
마 른 새 우	대천, 군산	1,156	288	230	58
간 미 역	완도, 약산, 소안, 장흥	17,230	2,301	1,841	460
마 른 실 미 역	강진, 완도, 약산, 금일	4,670	1,313	1,050	263
마 른 썰 은 미 역	완도, 금일	2,235	1,200	960	240
꼬 막	고흥, 보성	2,200	523	418	105
조 기	강화, 군산, 안강망	17,730	366	292	74
갈 치	거문도, 군산, 안강망	25,210	360	288	72
삼 치	대형선망	4,000	63	50	13
피 조 개	보성	25	15	12	3
고 등 어	대형선망	200,000	63	50	13

資料 : 수산청 수산정책국 유통가공과

第 3 節 加工産業 育成

1. 加工製品 生産

水産物の 시장개방에 대비한 加工産業의 경쟁력 제고와 수산물의 소비패턴에 따른 加工食品 수요 증대에 대응하여 高次 加工製品の 생산 증대가 절실히 요청된다.

이에 따라 高次 加工製品の 확대 생산을 위해

첫째, 加工原料의 安定的 供給을 위하여 原料의 鮮度 維持 및 系列化를 기하고 특히 부족 원료에 대하여는 沿近海 어민에게 피해를 주지 않고, 國內 魚價 안정에 영향을 주지 않는 범위내에서 輸入을 허용하고,

둘째, 輸入 開放化에 대비하고 國際 競爭力 강화를 위하여 新製品 개발 촉진 및 新技術 도입 보급에 힘쓰며,

셋째, 水産物 加工製品の 품질 향상을 위하여 KS 表示許可 취득의 확대를 유도하며 특히, 產地 및 傳統食品을 중심으로 수산물 品質認證 制를 점차 확대 보급시켜 나아가고,

넷째, 傳統食品 및 地域 特産品 開發과 加工團地 造成 사업을 적극 지원해 나갈 계획이다.

2. 加工業體 支援

水産物の 수입개방에 대처하고 水産物の 消費 增大에 대비하기 위하여 水産物 處理加工施設을 확대하여 생산을 증대하고 新製品 開發로 국제 경쟁력을 강화하여 지속적으로 輸出 및 어민소득을 증대시켜 나갈

계획이다.

이를 위하여 '95년도에는 冷凍·冷蔵 施設の 新設 및 改·補修 지원에 118억원, 産地加工에 37억원, 冷凍·冷蔵, 통조림, 魚肉煉製品, 海藻加工品, 調味加工品 등의 生産加工 業體에 運營資金 112억원 등 총 267억원을 지원할 계획이다.

가. 國內 水産 加工産業 育成

국내 수산물의 가공 원료화 촉진 및 가공원료의 안정적 확보를 위해 국산 원료사용 가공업체를 우대 지원하고, 傳統食品 開發 및 特産團地 가공지원을 확대하고, 수산가공식품의 소비 극대화를 추진하기 위해 小包裝化된 鮮魚 調理食品의 보급을 확대시키고, 品質認證制를 통한 傳統 및 特産食品의 商品化를 지원하고, 소비 계층별 嗜好製品 생산자금을 지원할 계획이다.

漁民, 生産者團體가 産地加工産業에 참여함으로써, 원료조달 능력을 향상 시키고, 판매와 경영의 조직화 및 漁閑期 유희인력 활용을 통한 漁村經濟의 활성화를 위해 소비지 시장에 직판되는 産地 加工化를 추진할 것이며, 水協의 가공산업 참여 촉진을 위해 지원할 계획이다.

나. 輸出促進 戰略

輸出 加工食品의 國際化를 위해 검사규칙, 위생관리규칙 등을 국제적 수준으로 통일하고 전통식품의 규격을 국제화시킬 계획이다.

맛살류, 굴 통조림 등 輸出 지속성 水産食品은 新製品 開發 및 運轉성 자금지원 등으로 증점 생산 수출하고 EU지역의 지속적인 水産物 輸出增大를 위해 HACCP제도 도입 등 加工食品의 위생수준을 향상시키고 미국의 營養表示制와 EU의 工場登錄制 실시에 대한 가공업체의 시

설비 지원을 확대해 나갈 계획이다.

다. 水産物 加工團地化 推進

水産物の 揚陸, 處理加工, 유통의 계열화로 물류비용을 절감하며, 수산물의 위생적인 加工處理 및 系列化와 需給調節로 物價安定에 기여하고 附加價値를 제고함으로써 어민소득 증대와 지역경제 활성화에 기여하고자 부산 감천항에 水産物 綜合加工團地 조성을 추진중에 있다.

'95년부터 2000년까지 漁民 福祉施設, 公害 防止施設, 荷役施設 등 공동 이용시설 및 冷凍·冷蔵施設 설치를 위해 6개년에 걸쳐 1,576억원을 투자할 계획이다.

第 4 節 水産物 檢査

1. 檢査制度의 改善

水産物 檢査制度는 수출 대상국들의 수입규제의 강화, WTO 출범에 따른 각국의 衛生 및 규격관련 국제기준, 지침의 이행 촉구, 우리나라의 검사기준과 행정규제 완화측면에서 국제기준과의 조화 유지, 수산제조업의 경쟁력 강화와 수산물검사법 및 동법 시행령의 개정을 추진할 계획이다.

EU 및 미국 등에서 시행하고 있는 수출국의 工場 登錄制 및 수산물 원료의 구입에서부터 최종제품 생산 보관 등에 이르기까지의 전 과정에 대한 危害 요소 제거를 업계 책임하에 중점 관리토록 하는 危害分析重要管理點制(HACCP)를 수용할 수 있도록 관련 법규를 보완 개정할 계

획이다.

또한 국제간 협약, 安全危害 및 보건 등을 목적으로 수출검사가 불가피하여 제한적으로 검사하고 있는 13개 품목에 대하여도 업계의 自律檢査制를 적극 활용할 수 있도록 하는 등 行政規制의 완화를 통한 업계의 편의 증진과 수출 촉진이 될 수 있도록 制度를 개선해 나갈 계획이다.

2. 水産物 檢査機能의 強化

수산물 輸入開放으로 수입수산물 검사물량이 증가되고 검사품목이 다양화됨에 따라 종래의 官能檢査 爲主의 검사 體制를 精密檢査 중심의 輸入檢査 體制로 轉換하여 전문 검사인력, 첨단 분석장비 및 시설 등을 연차적으로 擴充하여 수산물 檢査機能 強化를 추진하고 있다.

이에 따라 '94년도에는 403백만원을 들여 仁川支所 청사를 新築하였으며, '96년에는 本所와 서울支所 合同廳舍 및 釜山支所 청사를 新築할 계획으로 있다.

또한 첨단 分析裝備 확보를 위하여 전년도에 방사능측정기 등 21종 78점(390백만원)을 購入한데 이어 '95년에는 자동수은분석기 등 25종 72점(791백만원)을 補強중에 있으며, 전문 검사인력 양성을 위해서 금년에는 어병, 잔류농약, 식품첨가물 등 9개 分野에 35명을 전문교육기관에 委託 및 자체교육 실시중에 있다.

수산물 검사기능을 강화하여 저질, 불량 수산물의 무분별한 수입을 차단하여 국민 보건위생 향상을 도모하고 국내 수산물 생산을 보호하는 한편, 각종 검사제도 및 수입검사 기준 등을 합리적으로 조정하여 WTO 체제 출범에 대비 수산물 검사기능의 세계화를 적극적으로 추진해 나갈 계획이다.

第 5 節 水産物 輸出·入 對策

1. 輸入對策

水産物은 1989년 10월 GATT/BOP 합의에 따라 354개 품목중 제1단계('92~'94) 輸入自由化 예시계획에 의하여 63개 품목을 이미 輸入自由化하였으며, 잔존 46개 품목에 대한 제2단계('95~'97) 연도별 수입 자유화 예시계획을 '94.4월 GATT 이사회에 제출하였다.

동 예시계획에 따라 '95년에는 6개 품목을 輸入 自由化하였고, 잔존 40개 품목에 대해서는 '96년 및 '97년에 각각 17개, 23개 품목을 輸入自由化할 계획이어서 '97년 下半期에는 水産物 전 품목이 완전 수입 개방되게 된다.

이에 따라 정부에서는 輸入 開放 擴大에 따른 水産物 輸入 增加를 억제하고 적절한 水産物 공급을 위하여 다음과 같은 수산물 수입관리 대책을 樹立·施行해 나갈 계획이다.

첫째, 輸入 自由化 품목중 輸入急増 품목의 수입을 억제하기 위해 調整 關稅 賦課 品目を 확대하고,

둘째, 어민 被害가 우려되는 대중성 魚種의 수입 증가에 대비하여 國內·外 價格差 등을 감안, 기본관세를 상향 조정하여 稅率을 현실화시키며,

셋째, 輸入 水産物의 불법 위장 수입을 방지하고 國內産으로 둔갑 판매되는 일이 없도록 하기 위하여 현재 적용중인 317개 原産地 표시 대상 품목외에 活魚 品目에 대해서도 추가 적용될 수 있도록 추진하며,

넷째, 輸入 水産物 檢査 強化를 위하여 檢査 장비를 보강하고 檢査員의 자질 향상을 위해 이화학 검사 교육을 강화할 계획이다.

〈表 118〉 '95以後 自由化 對象品目

'95. 7. 1		'96. 7. 1		'97. 7. 1	
HS	품 목(6)	HS	품 목(17)	HS	품 목(23)
0302 69 2000	방어(신선냉장)	0302 69 9030	방어(신선냉장)	0301 92 9000	뱅장어(산것)
		0302 21 0000	넙치(신선, 냉장)	0301 99 2000	방어(산것)
0303 75 0000	곰상어와 기타 상어(냉동)	0302 29 000	기타넙치류(신선, 냉장)	0301 99 8000	넙치(산것)
				0302 64 0000	고등어(신선냉장)
0304 20 1000	명태(냉동피레트)	0302 69 8000	꽂치(신선, 냉장)	0302 69 1000	명태(신선냉장)
		0303 32 0000	가자미(냉동)	0302 69 3000	갈치(")
				0302 69 9090	기타어류(신선, 냉장)
0306 23 3000	새우와브리새우(염장, 염수장)	0303 43 0000	가다랭이(냉동)	0303 79 3000	갈치(냉동)
		0303 74 0000	고등어(냉동)	0303 79 6000	조기(냉동)
		0303 79 5000	붕장어(냉동)	0303 79 9090	기타어류(냉동)
1604 20 4090	생선묵(기타외것)	0303 79 8000	꽂치(냉동)	0305 59 2000	멸치(건조)
				0306 13 1000	새우와브리새우(냉동새우살)
0304 90 1010	명태연육(냉동) * '95.1	0305 69 3000	갈치(염장, 염수장)	0306 23 2000	새우와브리새우(건조)
ex)					
0303 79 9090	기타어류(냉동) - 태평양역장어 - 대서양 " " - 아귀 * '95.1	0307 49 1010	갑오징어(냉동)	0307 49 1020	오징어(냉동)
		0307 91 9030	우렁해이(산것, 신선냉장)	0307 49 3000	갑오징어와오징어(건조)
				0307 91 1200	전복(산것, 신선냉장)
		1212 20 1090	김(건조이외것)	0307 91 1900	기타연체동물(산것, 신선냉장)
		1604 19 1010	꽂치(통조림)	0307 99 1130	바지락(냉동)
		1604 19 9010	취치(취치포)	0307 99 1390	기타연체동물(냉동)
		1604 15 1000	고등어(통조림)	1212 20 1010	김(건조)
		0303 79 1000	명태(냉동) * '96.1	1604 14 1010	다랭이(통조림)
				1604 14 1020	가다랭이(통조림)
				2106 90 4010	김(조제)

資料 : 수산청 국제협력관실 무역진흥담당실

2. 輸出對策

새로운 貿易體制下에서 輸出産業으로 재도약할 수 있는 水産業으로 육성하기 위해 水産物 輸出振興 대책을 수립하였는 바, 그 중점 施策事項으로 安定的 輸出基盤 構築, 통상의교 開拓活動 強化, 競爭力 強化, 輸出支援 體制 및 資金支援 확대를 들 수 있다.

細部 推進事項으로는 輸出戰略 品目 開發 및 品種改良 추진의 일환으로 미역 품종을 신품종인 「산리꾸산」으로 대체 보급하며, 넙치·굴·피조개 養殖漁場의 개발 확대를 추진하며, 外貨獲得用 오징어 부산물 국내시판을 허용하여 原資材의 활용을 촉진할 수 있도록 제도를 개선한다.

또한 일본의 우리나라에 대한 IQ 할당 확대 및 김 輸出 再開를 위한 일본과의 通商外交를 강화하며, 한국수산물수출조합, 수협중앙회 등 輸出支援 단체의 기능강화 추진 및 통상정보 지원체제 강화를 위하여 農水産物流通公社의 D/B 構築事業에 참여하여 水産物 調査資料를 수출업계에 제공하는 등 통상정보의 활용을 촉진하며, 輸出支援 資金의 확대를 輸出業界의 資金難을 해소해 나갈 계획이다.

第 6 章 遠洋漁業 健全 育成

第 1 節 國際漁業 協力 強化

1. 兩國間 漁業協力 推進

기존 漁業協定 締結國과 협력사업을 협의하기 위한 쌍무간 회의를 개최하고 상대국의 水産行政 責任者를 초청하여 어업협력을 확대, 증진해 나갈 계획이며, 중국, 페루, 알젠틴국과의 漁業協定 締結을 협의하기 위해 漁業 交渉團 파견 및 상대국 수산장관 등을 초청하여 漁場 確保를 지속적으로 추진해 나갈 계획이다.

2. 國際水産機構와의 協力

기존 가입 국제수산기구 활동에 적극 참여하고 특히 FAO차원의 公海資源 管理會議에 참여하여 환경보호 명분에 입각한 연안국의 급진적인 操業規制에 적극 대응해 나가고 UN 公海魚族會議, 책임있는 어업을 위한 施行規則(Code of Conduct) 성안 전문가 회의 등 국제 어업질

서를 구축하는 중요 회의에 적극 참여하여 공해상 조업권 유지에 전력을 경주할 계획이다.

또한 우리나라는 명태자원이 회복되어 조업을 재개할 수 있는 방안을 협의키 위해 베링公海 資源管理를 위한 회의에 적극 참여하여 沿岸國과 操業國의 상호 이해가 고려되는 가운데 資源의 지속적 개발이 확보되도록 노력해 나갈 계획이다.

第 2 節 既存漁場 確保 및 新漁場 開發

世界 沿岸國들의 200해리 經濟水域 宣布와 어업자원 自國化 政策 등 각국의 漁業規制에 대처한 해외어장의 안정적 확보를 위하여 沿岸國과 漁業協力 강화 및 새로운 漁場, 漁具漁法, 魚種 등 漁場開發을 적극 추진하고 있다.

'95년도에도 멕시코수역에 오징어채낚기어선 1척, 西部아프리카 가봉국수역에 母船式 외줄낚시 1隻, 南水洋協約 수역과 인접 公海水域을 포함하여 남태평양 및 포크랜드수역까지 파타고니아 이빨고기(일명: 메로) 資源開發을 위하여 底延繩 1隻이 계속 出漁할 계획이다.

한편 北太平洋 오징어유자망 어업의 조업 중단에 따라 동 어장의 持續的인 확보를 위하 代替漁法으로 북태평양 수역에 원양오징어채낚기 어업을 계속 출어시키고 근해오징어채낚기 어선 16척을 시험 출어시켜 조업에 성공함으로써 오징어채낚기어업에 의한 국내 가공용 오징어 원료의 지속적인 확보 및 연근해 어선의 원양수역 진출 가능성이 확인되고 금후 沿近海漁場의 어획노력 감축 등 긍정적인 효과가 기대되어 沿近海漁船의 원양수역 진출을 적극 검토할 계획이다.

또한 원양어업의 安定的인 성장을 위하여 遠洋 營漁資金 및 海外資源 생산지원자금 2,050억원을 지원하고자 한다.

1. 참치漁業

韓國의 참치漁業은 '57년 印度洋에서 試驗操業으로 시작하여 그 동안 팔목할 만한 發展과 成長을 거듭하여 오늘날에는 世界의 참치 主 操業國으로 成長하였다.

우리나라의 참치 主 漁場은 참치延繩 漁業의 경우 태평양, 대서양, 인도양의 中緯도를 中心으로 키리바시, 불령 島嶼 및 太平洋 公海上에서 주로 操業이 이루어지고 있으며, 참치旋網 漁業은 南太平洋의 파푸아뉴기니아, 마이크로네시아水域 및 公海上에서 주로 操業하고 있으나 最近 國際 水産機構의 規制 強化 등으로 참치 漁業의 여건은 점점 어려워지고 있는 실정이다.

이러한 어려운 與件下에서 참치漁業의 안정적 發展을 위하여 南太平洋 島嶼國 등 참치 어장 보유국 등과의 漁業協力을 가일층 強化하고 있으며, 國際會議에도 적극 참여하여 우리나라의 立地를 強化해 나갈 계획이다.

2. 오징어漁業

우리나라 오징어 主 漁場은 南西大西洋, 뉴질랜드, 페루수역이며 '85년 南西大西洋 漁場이 개발되면서 오징어채낚기 어선이 크게 늘어나 '95년에는 남서대서양 86척, 뉴질랜드수역 7척, 페루수역 50척이 조업하고 있으며, 오징어를 어업하는 트롤漁船도 南西大西洋 24척, 뉴질랜드水域 7척이 操業하고 있다.

한편 빨강오징어를 주로 漁獲하는 北太平洋 流刺網어선이 UN 결의에 따라 '93.1.1일부터 操業이 中止됨에 따라 北太平洋에서의 오징어 채낚기 漁場을 적극 개발중에 있으며 금년도부터 알젠틴 管轄水域內에 傭船入漁 方式으로 8척이 조업중에 있다.

오징어 漁業은 WTO體制의 출범과 '97년 오징어 輸入 自由化를 앞두고 國際 競爭力을 提高시키고 자유로운 競爭操業으로 자생력을 키워나가기 위하여 '95.2.6일 현행 許可制度를 개선해 업체 실정에 맞는 수역을 自律的으로 選擇 操業할 수 있도록 하였으며 앞으로도 오징어 市場의 多樣化, 未開拓 漁場開發 등 漁業經營 安定化를 위해 계속 추진해 나갈 것이다.

가. 南西大西洋

南西大西洋 오징어 채낚기어선은 '85년 처음으로 20척이 出漁하여 10천톤을 漁獲한 이래 漁船隻數 및 生産量이 급격한 伸張勢를 보이고 있다.

'94년에는 채낚기어선 86척, 트롤漁船 38척이 操業하여 124천톤을 漁獲하였다. '95년에는 채낚기漁船 86척, 트롤漁船 24척이 操業하고 있으나, 포클랜드 정부의 操業時期 短縮 및 不況으로 漁獲은 부진할 것으로 豫想된다.

나. 페루, 뉴질랜드 水域

'90년부터 開發된 페루水域의 오징어 채낚기 漁業은 '94년도 淸타確保 過程에서 業界間 過當 競爭으로 國內·外的으로 物議를 일으킨 바 있어 '95년도에는 이에 대한 對策을 樹立하여 '95년 上半期 현재 페루水域 오징어 淸타는 49,999톤에 이르고 있다.

그러나 뉴질랜드 水域은 금년도 好況으로 채낚기漁船 7척이 操業하고

있으며 既存의 트롤漁船들은 계속해서 조업이 예상된다.

3. 트롤漁業

트롤漁業은 遠洋漁業중 比重이 가장 큰 業種으로서 遠洋漁業의 生産量의 51%를 차지하고 있으며 업종별로 보면 다음과 같다.

가. 北洋트롤

北洋트롤漁業은 명태, 가자미를 主 對象으로 美國水域, 베링公海, 러시아水域 및 北海道 周邊水域에서 操業을 하여 왔으나, 미국수역의 쿼타사업은 '88년에, 共同漁撈 事業은 '91년에 종식되었고 베링公해도 '92년 8월 모스크바에서 개최된 제5차 베링公해 관련 국제회의 결과 '93년부터 2개년간 잠정적으로 操業 中단을 결의한 바 있고, '94. 2. 11일 中部 베링해 명태 資源의 보호 및 관리에 관한 協約에 假署名하여 명태 資源량이 167만톤이 될 때까지 操業을 中단하기로 미·러·한·일·중·폴 등 6개국간에 합의하였다.

또한, 오호츠크公海에 대하여도 '93. 11. 15일 한·러 漁業委員會時 兩國間 쿼타 증배, 적정어가 적용 등 合意事項이 원만히 이행되는 것을 전제로 오호츠크公海 操業을 自制기로 함에 따라 '93. 4. 25일 이후 실시된 操業中斷이 지속될 전망이다.

따라서 '95년도에는 명태操業이 가능한 러시아水域과 北海道 周邊水域 등에서 약 250천톤을 생산할 계획이다.

나. 太平洋基地트롤

'77년 미·러의 200海里 經濟水域 선포에 따라 동 水域 操業漁船

일부가 뉴질랜드水域으로 漁場을 이동, 조업중 '78년 兩國間의 漁業協定 체결로 쿼타操業을 하여 왔으나 최근 자원의 自國化政策에 따라 외국에 대한 쿼타량이 계속 削減하다가 '92년도부터는 쿼타操業이 終熄되었다. 따라서 우리나라는 정부 쿼타操業 대신 個別쿼타에 의한 入漁를 확대 추진하고 있으며, '86년부터 進出한 인도네시아水域 등에 대하여도 지속적으로 操業을 확대해 나가도록 지도해 나갈 계획이다.

다. 大西洋트롤

'66년 이래 進出하여온 大西洋 트롤漁業은 꾸준히 발전하여 '70년대에는 100여척으로 出漁隻數가 증가하였으나 中西大西洋의 資源減少에 의한 經營難 가중으로 出漁 隻數가 감소되었는데 '80년대 중에는 南西大西洋을 비롯하여 NAFO水域, 인도네시아 등 新漁場으로 진출하여 다소 활기를 찾았으나 NAFO水域은 캐나다 정부가 동 水域의 資源保全 등을 이유로 우리 漁船의 撤收 등을 요구하여 '93.4.29일 동 水域에서 操業하던 3척이 완전 철수하였으나 '93.12.21일 NAFO 회원국에 가입하고 새로운 조업을 모색하고 있다.

'94년말 현재 우리나라 大西洋 트롤漁船은 60여척으로 操業漁場의 기득권 확보와 새로운 어장개발이 필요한 실정이다.

라. 印度洋트롤

'70년대 중반에 새로운 漁場確保 차원에서 진출한 印度洋漁場은 그동안 關聯國의 規制에도 불구하고 民間 交涉에 의해 지속적으로 조업을 維持하여 왔다. 그러나 이란, 이라크, 소말리아 內戰 등으로 말미암아 情勢가 불안정하여 安全操業이 보장되지 않고 操業 채산성도 낮은 수준이었으며, 현재는 파키스탄, 오만, 이란 등에 진출하여 조업중에 있다.

마. 中南美 새우트롤

'69년도에 수리남의 파라마리보틀 中心으로 하여 進出した 새우트롤 漁業은 가이아나, 불령 가이아나, 브라질 등에 進出, 새로운 所得源으로 각광을 받아 왔으나 '77년 가이아나의 200海里 水域 선포, '81년 이후 佛領가이아나의 퀴타 削減 및 漁獲量 揚陸 條件附 許可와 '88년 9월이후 브라질의 外國漁船 入漁規制 등으로 同 漁場에서 철수후 현재는 41척이 수리남 水域에서만 조업하여 오고 있다.

그러나 최근 수리남의 資源 減少와 魚價下落 등으로 中南美 새우트롤 業界는 漁業經營에 어려움을 겪고 있다.

第 3 節 遠洋漁業 競爭力 強化

우리나라 遠洋漁業은 1957년도에 처음으로 印度洋에 진출한 이후 成長과 發展을 거듭하여 현재 우리나라 總水産物 生産量의 25% 이상을 차지하고 있고, 그 중 85%를 국내 단백질 식량으로 공급하고 있으나 '90년대에 들어 주요 沿岸國들의 資源自國化 政策과 국제수산기구의 公海操業 規制措置로 북태평양 오징어유자망어업과 베링公海, 북대서양수산기구(NAFO) 수역 등의 주요어장이 상실되고 入漁料 및 漁撈經費 상승 등으로 어업경영에 어려움을 초래하여 '90년도 이후 110개사가 不渡, 到産 및 법정관리에 들어가는 등 극심한 불황을 겪고 있다.

한편, 국내 水産物의 需要는 계속 增加 추세에 있으나 沿近海漁業은 沿岸漁場의 오염과 남획 등으로 자원의 감소 및 정체 상태에 있어 생산량을 増大시키는 데는 한계상태에 와있는 실정이다.

따라서 부족한 국내 수산물 공급을 확대하고 '97년도 수산물 수입의

완전 개방화에 대비한 輸入 代替産業으로서 또한 외화 가득률이 높은 輸出産業으로서 그 역할과 중요성을 감안할 때 遠洋漁業의 國際 競爭力 강화를 위한 적극적인 대책이 요구되는 시기라고 하겠다.

이와 같은 대내·외적인 漁業與件을 극복하고 國際 競爭力을 제고시킬 수 있도록 정부는 遠洋 出漁資金을 전년도 1,700억원에서 '95년도에는 2,050억원으로 늘려 지원함으로써 經營壓迫을 解消하도록 할 계획이며, 원양자원의 보유국인 주요 沿岸國과는 어업협정의 체결 등 어업교섭 강화와 合作·共同漁撈 事業을 확대해 나가고, 저개발 국가와는 자본·기술 협력의 강화 등 다각적인 漁業進出 方案을 모색하여 해외어장을 지속적, 안정적으로 확보해 나가고자 한다.

또한 부족한 船員 人力難을 해소할 수 있도록 외국인 선원의 雇傭範圍와 兵役特例 범위의 확대, 이와 아울러 國際漁業 환경에 능동적으로 대처할 수 있도록 원양어업의 操業漁場을 大洋別로 확대 허가, 기존 허가적수 범위내에서 操業水域 및 업종간 轉業許容, 許可期間을 1~5년에서 5년으로 연장하는 등 허가제도의 개선과 함께 원양어업 구조의 합리적인 조정, 海外資源 開發事業의 허가를 海外資源 開發計劃의 申告만으로 합작사업을 가능하도록 완화하고 합작 어획물에 대한 關稅支援 推進 등 해외 합작사업을 계속 장려해 나가고, 원양어선의 원활한 수급을 위하여 기존 원양어선의 대체용 어선에 대하여 船齡, 톤급에 제한없이 중고어선의 도입을 허용하고 기간 용선어선에 대해서는 船齡, 톤급 제한을 철폐하고 타인에게 승계 자격의 제한을 완화하는 등 원양어업의 국제 경쟁력을 높일 수 있도록 원양어업 시책을 적극 추진해 나갈 계획이다.

第 7 章 水産技術의 開發·普及

第 1 節 WTO體制에 對應한 水産技術開發 強化

WTO체제의 출범으로 水産業도 세계 경제질서의 변화에 적절히 대응할 수 있는 체제를 갖추지 않으면 안되는 냉엄한 현실이 도래되고 있으며, 우리나라의 水産 技術開發도 어촌이탈 등 인력부족으로 인한 경영 압박에 대처할 수 있는 생력화, 자동화 기술을 개발함과 동시에 수산물의 품질개량과 생산성 향상 등 고부가가치의 技術開發을 통하여 開放化에 능동적으로 대처할 필요성이 절실한 시점에 처해 있다.

이에 따라 정부에서는 농림수산 분야의 경쟁력 강화를 위하여 '95년부터 2004년까지 10년간 15조원의 農漁村特別稅를 재원으로 한 투자 계획을 마련하였으며, 그 중에서 수산기술 개발분야에 現場隘路 技術開發 400억원, 尖端 水産技術 開發 300억원 등 총 700억원을 확보하여 적극 추진할 계획이다.

우선 '95년도에는 現場隘路 技術開發 事業費 40억원과 尖端 技術開發 事業費 26억원 등 총 66억원을 새로 신설된 農特稅 재원으로 확보하여 사업을 추진중이다.

現場隘路 技術開發 事業은 어민들이 영어 현장 또는 일상생활에서 겪는 隘路事項을 해결할 수 있는 실용적인 技術開發을 위하여 연구기관, 학계, 지도소, 업계 등 전문가가 참여하는 共同研究 방식으로 추진하며 학술적인 성격의 과제이거나 기초 研究課題는 제외하되 사업추진을 통하여 實用化, 産業化가 곧 바로 가능한 과제를 우선적으로 선정, 추진하며 사업 선정은 增養殖, 漁具漁法, 利用加工, 海洋資源, 기타 등 5개 분야에서 매년 약 60개 과제를 선정 추진할 계획이다.

또한 尖端 技術開發 事業은 생명공학, 신소재, 전자 정보분야 등 다른 분야에서 개발된 첨단기술을 접목하여 고부가가치의 水産物을 생산함으로써 시장 개방화에 대응한 國際 競爭力을 강화하기 위하여 현재 개발된 水産技術을 기반으로 研究機關과 大學 등이 중심이 되어 沿岸漁場 목장시스템, 어업기기의 자동화 및 원격 해양환경 관측 시스템 등 종합적 고부가가치형 선도기술 개발을 적극 추진해 나갈 계획이다.

第 2 節 養殖品種 研究開發

1. 種苗 生産試驗

水産種苗의 大量生産을 통한 沿岸資源 增強과 지역특성에 맞는 양식용 種苗生産 기술개발 및 安定的인 공급을 위하여 魚類 10종(넙치, 참돔, 감성돔, 돌돔, 조피볼락, 송어, 농어, 은어, 황집볼락, 총겨리가자미), 貝類 6종(전복, 소라, 진주조개, 오분자기, 피조개, 굴), 甲殼類 4종(보리새우, 대하, 꽃게, 참게), 其他 3종(보라성게, 북쪽말뚝성게,

해삼) 등 총 23품종 341,200천마리를 生産할 계획이며, 쥐노래미 등 12종에 대한 新品種 種苗生産 試驗과 4종에 대한 種苗生産 技術개발 시험을 실시할 計劃이다.

2. 海産魚類 養殖技術 開發試驗

有用養殖 魚類의 品種改良을 위하여 그 대상 어류로부터 유용 유전자를 분리 및 특성을 구명하고, 넙치 및 굴 미토콘드리아의 특정유전자(D-loop) 및 동위효소를 분석하여 우리나라 각 해역에 서식하는 넙치의 集團 遺傳學의 特性을 밝히기 위한 시험을 실시한다. 새로운 해산어류 양식기술 개발을 위하여 쥐노래미 양식기술 시험과 범가자미 成熟內分泌 기작을 밝히기 위한 시험을 실시하고, 해산어류의 육상수조 사육기술 개발을 위하여 육상수조에서의 조피블락의 적정 먹이량을 究明하기 위한 시험을 실시할 계획이다. 또한 육상양식 시설에 운용되는 에너지 및 사육용수를 최대한 效率的으로 활용하여 養殖 生産性을 높이기 위한 循環濾過式 養殖에 의한 해산어류의 高密度 生産技術 개발시험을 실시할 예정이며, 해산어 배합사료 개발에 필요한 영양소 요구량 및 飼料原料의 利用性 증대를 위하여 미네랄 要求量 및 利用性 試驗을 할 計劃이다.

3. 內水面 魚類養殖 技術開發

內水面 자원증강과 함께 生産性 向上 및 所得增大를 위해 優良 品種을 改良하고 생산을 확대 보급하기 위한 일환으로 잉어류, 틸라피아, 산천어, 무지개송어 등 優良親魚를 계속 사육 관리하고, 이들로부터 優

良種苗를 양산하여 양식어가에 분양할 계획이다. 은어나 메기 등의 淡水魚 遺傳育種 시험을 통해 優良品種을 생산하고 자라, 동남참게 및 동자게의 생리 생태를 연구하여 養殖技術 基盤을 마련할 것이다. 양식어민에게는 최신 淡水魚 양식기술을 신속히 보급하기 위해 技術誌를 발간하여 보급하고 養殖技術 教育을 실시함은 물론 養殖現場 訪問 및 수시로 書信 및 전화로 상담 指導해 나가고 있다.

4. 海産魚 魚病研究

海産魚類 養殖場에 대량 폐사를 일으키는 細菌性 疾病의 효과적인 치료 방법을 究明하기 위하여 질병 원인 세균을 분리·동정하여 화학요법에 대한 최소 발육 저지 濃度를 調査하고 있으며, 또한 질병 治療의 기초가 되는 免疫學의 방법에 의한 세균성 질병의 신속진단 방법을 개발하기 위하여 분리된 병원균 상호간의 혈청학적 유연관계를 조사하였고, 이 연구결과를 토대로 토끼에게 抗原을 주사하여 어병 진단용 抗血清을 제조하여 양식어류의 細菌性 疾病 迅速 診斷에 활용할 豫定이다.

넙치 치어 생산기에 대량 폐사를 일으키는 바이러스 질병의 발병 원인 규명 및 예방 대책을 수립하기 위하여 치어로부터 원인 바이러스를 분리하여 物理化學的 特性 및 感染된 넙치의 병리조직학 특성을 調査하고, 바이러스 질병을 사전에 예방하기 위하여 사육수에 자외선을 照射하여 자외선 殺菌效果를 실험중에 있다.

5. 貝類 養殖技術 開發試驗

양식굴의 品種 改良에 관한 研究의 일환으로 東海·西海 그리고 南海

岸에서 養殖 또는 서식하는 굴을 경남 통영시 봉암 지선에 移植하여 生殖素의 發達 變化 調査를 통해 산란 生態의 特性 變化를 研究하고, 地域別 굴의 동위효소 抽出 試驗으로 집단간 유전적인 변이도를 究明함으로써 유전학적 特性을 밝히고 이 資料들을 토대로 해서 집단간 양식굴의 交雜 試驗을 수행하여 優良 形質을 지닌 신품종 양식굴을 開發하기 위한 研究를 實施할 豫定이다.

패류먹이 開發에 관한 研究는 貝類 人工種苗 生産과 室内 사육시에 널리 利用되고 있는 5종 식물성 플랑크톤을 대상으로 수확후 저장 使用이 可能的 농축먹이의 生産 試驗을 實施할 計劃이다. 이를 위하여 먹이 생물의 수확 방법별, 저장 방법별 수확률과 生存率의 比較 分析을 거친 후 굴 幼生을 대상으로 농축먹이와 생먹이의 먹이 효율 比較 試驗을 實施할 豫定이다.

왕우럭 人工 種묘 생산 기술개발에 관한 연구는 왕우럭의 産卵期를 究明하기 위하여 월별 生殖巢 發達 狀態를 조사(월1회)함과 아울러 5~6월에 왕우럭 어미를 수집하여 실내에서 먹이를 공급하며 유수 사육한 후 9~12월에 刺戟方法에 따른 産卵效果(수온자극, 자외선 조사 해수 유수, 간출, 정자, 현탁액 등)를 조사할 豫定이다.

굴 種貝 대량 생산기술 개발시험은 西海岸 굴 養殖方法은 현재까지 干潟地의 일부분을 이용한 投石式 굴 養殖에만 의존하고 있어 새로운 굴 養殖方法의 개발이 시급한 실정이므로 西海岸 환경에 적합한 굴 養殖 方法을 개발하여 西海岸 漁民의 새로운 所得源을 구명하고자, 굴 採苗試驗으로는 西海中南部 地域인 전북 1개소와 西海中北部 地域인 인천 1개소 등 2개소를 選定 採苗場 環境, 自然産 굴 母貝熟度, 時期別 유생 출현량 조사로 굴 대량 採苗 시기 전망과 동시에 採苗方法別(수직 및 수평식), 露出線別(4시간 이상, 4시간 이하)로 구분하여 1個所當

1,000連 30,000貝 채묘 및 附着稚貝 효과조사를 실시하여 대량채묘 방법을 구명하고 養殖試驗으로는 대량채묘후 3개소(인천, 충남, 전북)에 양성방법별(簡易垂下式, 簡易垂平式, 水平多段式), 露出線別(4시간 이상, 4시간 이하)로 구분 1개소당 1,000連 20,000貝를 垂下하고 양식어장 環境 및 養成 굴의 成長度, 生存率, 害敵生物 調查등을 실시하여 養殖方法을 개발할 계획이다.

남해안 굴 종묘생산에 있어서는 각장 300 μ m내외의 굴 부착기 幼生 300백만마리를 생산하기 위하여 5월에서 10월 사이에 어미 확보를 實施하여 가온 海水, 流水, 飼育 및 식물성 먹이 供給하여 母貝管理를 통하여 인위적인 성 성숙을 誘導 또는 自然 成熟된 모패를 이용하여 간출 및 水溫 上昇 자극에 의한 조기채란 및 자연채란을 실시하여 채란된 수정란을 6월에서 9월에 幼生飼育을 실시, 부착기 유생을 생산하여 水産 種苗 분양 및 放流指針에 의거 분양한다.

키조개 양식 기술에 관한 연구는 키조개의 稚貝 移植 養成 및 採卵 기술 개발로 양식 對象種으로서의 개발과 연안 어장의 자원 조성을 위하여 추진되고 있으며 이를 위하여 集團 발생한 稚貝 발생장에서 淺海 干潟地 및 수면이 얇은 底面에 키조개 치패를 이식하여 密度別 生存率 및 성장도를 조사하고, 産卵 誘發 및 幼生 飼育 시험을 실시하여 種苗 生産을 위한 基礎 資料를 蓄積하고 있다.

굴 양식의 持續的 생산에 관한 연구는 環境 適應力이 강한 굴 品種 選擇, 種貝의 生存率과 成長 增大 및 生産 變動 요인의 把握 등을 통하여 굴 養殖의 持續的 生産 방안 강구를 위하여 推進되고 있으며, 이를 위하여 產地別 人工 採苗 및 天然 採苗 굴의 比較 養成 試驗과 養殖漁場의 環境 調查, 종패의 단련 시기와 노출시간 등을 조사하고 이에 따른 단련 종패와 비단련 종패의 성장 및 생존율 등을 조사함으로써 종패

단련 技術開發을 꾀하고 있다.

피조개 養殖場의 持續的 生産에 관한 研究는 중간육성장과 살포양식장 각 3개소에 대한 水質과 底質 環境調査를 6회 실시하고 養殖 實態調査를 4회 실시하여 피조개 폐사 原因을 把握하며, 살포시기별 養殖試驗(2회), 垂下養殖과 침설양식 比較試驗(1회), 저질별 잠입시험(4회)을 실시중에 養殖 方法을 개선하고자 한다.

6. 海藻類 및 其他 養殖技術 開發試驗

해조류의 品種 改良 試驗의 일환으로 미역 우량종 選拔 育種試驗을 위한 優良形質의 야생종 選拔 육성과 중간 交雜에 의한 育種 技術을 確立하기 위해 形態別 遺傳形質과 미역 배우체 交配 試驗을 실시할 計劃에 있다.

돌길을 선발육종하여 계통을 보존하고 種苗 量産技術 및 養殖開發로 어민소득의 증대를 위해 貝殼絲狀體, 유리사상체 培養 및 病害調査와 동시에 패각사상체의 採苗 및 養殖試驗을 실시하고 있으며, 優良形質을 가진 돌길의 유리사상체를 배양 보존하기 위해 選拔 育種試驗을 실시중이며, 김 우량종 保存 및 普及을 위하여 南海岸産 돌길을 分類 檢定하여 形質特性을 구명하고 우수 품종 選拔 育種을 통한 品種改良 試驗을 실시중에 있다.

高所得 양식품종인 모자반 增殖試驗을 위하여 참모자반의 種苗生産 및 養成技術 開發試驗으로 가이식 및 害敵 驅除試驗, 참모자반의 成長度 調査를 실시중에 있으며, 東海岸 특산종인 쇠미역의 養殖 技術 開發을 위한 種苗 生産 가이식 및 本養成 施設을 통한 養殖 可能性 調査를 실시중에 있다.

國內 보리새우 養殖産業의 安定化와 強化를 위해 현재 外國産에 의존하고 있는 모하를 국내산으로 대체하기 위해 실내사육에 의한 조기 性成熟 誘導實驗을 실시하였다. 外國산 모하의 輸入은 外貨의 損失, 外來疾病 流入의 危險性, 그리고 모하의 安定的 確保上的 문제점 등을 안고 있다. 따라서 이러한 문제를 해결하기 위해서 보리새우 모하의 室內飼育을 통해 성 성숙 誘導實驗을 실시하고 있다. 실험은 성 성숙에 관여하는 水溫과 광주기 조절 및 生理的 要因으로 安病절제와 호르몬 주사를 研究事項으로 실시하고 있다.

第 3 節 漁具漁法 및 加工技術 開發

1. 漁具漁法 技術開發

가속화되는 조업인력의 감소와 노령화 추세로 인한 漁業經營 압박에 능동적으로 대처하고 국제 경쟁력 강화를 위한 操業自動化 연구, 資源의 효율적, 지속적 이용을 도모하기 위한 資源管理型 어구어법 기술개발을 중점 목표로 하여 다음과 같이 추진하고 있다.

가. 操業自動化 시스템 개발 연구

우리나라 延繩漁業은 全 조업과정을 순수인력에 의존하고 있어 漁獲性能이 좋고 간편한 自動延繩機의 개발이 시급한 실정이므로 자동화에 적합한 自動投繩機, 낚시 수납레일, 미끼 절단기 등을 제작, 실용화 시험을 거쳐 업계에 보급할 예정이다.

나. 트롤網의 소형어류 脫出裝置 개발

전년도까지 연구된 資源管理型 트롤網에 관한 연구를 토대로 소형어류의 탈출 효율을 극대화시키고 탈출한 어류의 生殘率도 높일 수 있는 트롤망의 소형어류 탈출장치를 개발하여 자원 이용의 합리화를 도모함으로써 지속적인 어민소득 향상으로 국제어업 경쟁력을 높이고자 1995년에는 예비시험용 탈출장치 제작 및 물리적 성능시험을 통하여 적정규모를 도출하고 실물 탈출장치를 제작하여 해상 적용시험을 실시할 예정이다.

다. 불가사리 驅除기구 보급

沿岸漁場의 有用貝類를 다량 포식하고 있는 불가사리를 驅除할 수 있는 기존 개발된 기구를 일부 개조하여 해상 성능시험을 실시하였고, 각 도별 수석 어촌지도소장과 관계 어민 참석하에 현장 시범조업을 실시하였으며, 지역별로 각종 홍보자료를 통한 대어민 교육을 실시할 예정이다.

라. 耐波性 養殖施設 開發에 관한 研究

현재 기르는 어업의 활성화로 養殖漁場이 內灣에 밀집되어 있어 沿岸汚染이 가속화되고 있으며, 태풍 등 자연재해에 능동적으로 대체가 불가능하여 안정적 양식어업 생산기반 확보를 위해서는 양식어장의 適地를 內灣에서 外海로 확대시켜야 하며, 이를 위하여 제작된 實物 가두리 System의 해상 적용시험을 실시하여 업계에 보급할 예정이다.

마. 定置網 魚群監視 시스템 開發에 관한 研究

定置網내의 어군 入網여부를 육상에서 감시할 수 있는 魚群監視 裝置

시스템 개발을 위하여 1995년도에는 정치망 어장에서 현장시험을 통해 감시장치의 성능을 구명하고 감시장치 정보 저장 방법을 개발할 예정이다.

바. 피빨고등 漁具漁法 開發試驗

피빨고등은 굴양식장 등 貝類 양식장의 害敵生物로 효율적이고 선택적인 구제 대책이 필요하여 實驗水槽에서 模型漁具에 의한 행동 반응시험을 통하여 도출된 적정 어구를 설계 제작하고 해상 어획성능 시험을 실시하여 그 결과를 민간에 기술 보급할 예정이다.

2. 利用加工 技術開發

수산물 가공기술 개발 시험으로는 오징어 가공 부산물인 다리육의 용도개발을 위하여 1994년도에 이어 스낵(Snack)제품 및 반찬용 魚菜의 가공기술을 개발하고자 실험중에 있으며, 한편 동해안에서 붉은대게를 가공할 때 게 고유의 맛과 향기성분이 다량 함유된 煮熟液汁을 폐기하고 있는 자원을 활용하기 위하여, 최근의 첨단 技法인 膜分離 技術을 이용하여 회수 정제 및 脫鹽의 공정으로 천연 조미료 소재개발 시험도 아울러 실시하고 있다. 또한 서해산 패류의 품질향상과 유통수단 개선을 위하여 토사배출 시험과 폐각채로 포장 살균하여 유통할 수 있는 방법의 구명시험과 김의 소비형태 다양화를 기하기 위하여 김 장조림 제품 및 김 소오스 가공시험도 실시중에 있다.

해조류 이용에 관한 연구는 우리나라 연근해에 분포하고 있는 해조류에 대해 1994년도에 검색한 항균성 및 항산화성중 그 活性이 강하게 나타난 物質을 이용하여 수산제품의 품질수명연장(shelf-life)과 어류

질병 예방에 관한 연구를 실시중에 있다.

수산물의 성분특성 이용을 위한 연구는 담수산 어류의 영양특성 구멍의 일환으로 1995년도는 단백질의 특성, 高血壓 抑制因子, 抗酸化能 해명 등의 生理活性 物質 구멍을 위한 시험과 더불어 불란서 해양개발 연구소로부터 분양받은 저장특성이 우수한 젖산(乳酸) 생성균주를 이용하여 煉製品類에 대한 품질수명 연장시험도 실시중에 있다.

수산물의 위생관리 개선시험으로는 양식장 위생 지표세균 조사와 패류독소 조사를 통한 한·미 패류위생협정의 원활한 운영을 기할 것이며, 그리고 최근에 국제적으로 수산가공 식품에서 검출되어 문제가 되고 있는 식중독 세균인 *Listeria*균의 耐熱性, 冷凍耐性 및 食品保存料에 대한 저항성 구멍과 더불어 수산제품의 가공공정에 리스테리아(*Listeria*)균의 사멸 및 증식억제 조건 구멍시험도 병행 실시중에 있다.

第 4 節 漁場環境 및 資源調查

1. 海洋 및 漁場 環境調查

가. 海洋調查

우리나라 연근해 어장환경의 효율적 이용, 관리 및 보전을 기하고, 어장형성에 크게 영향을 미치는 해황의 장·단기 변동 연구를 위하여 기초조사를 실시한다. 이를 위하여 미국의 NOAA 인공위성으로부터 직접 수신된 자료를 매일 분석하여 “水溫資料 速報”로서 제공하고, 위성 영상 수온 분포도와 조사선 및 전국 연안 73개 관측소의 현장관측 자료로써 주간 및 월간 해황변동 등을 예측하여 “이 달의 수산소식”에 게재

배포하며, 현재의 한반도 표면수온 정보이외에 먹이생물 분포와 서부 태평양 전역에 대한 위성 해양 원격탐사 기능 강화를 위하여 첨단 수신 분석 시스템이 '95년 7월에 설치되어 시험 운영중에 있다.

한편, 연안어장의 생산성 증대를 위해 시설된 각 해역별 인공어초 어장의 자원조성 효과를 조사하여 연안어장의 목장화에 대한 기초연구를 수행하며, 한국해양자료센터(KODC)의 기능을 적극 활용하여 국내·외 해양 및 수산정보를 수집, 수산단체 및 관련기관에 신속하게 제공하여 어민소득 증대와 수산업계의 합리적 경영을 지원하는 사업을 수행한다.

나. 漁場環境 調査

육지로부터의 산업폐수 및 도시하수 등 각종 汚染物質에 의한 수질 및 저질오염과 간척·매립에 따른 연안어장의 환경변화를 파악하고, 연안어장의 환경 개선 및 효율적 관리 기술개발을 위하여 전국 주요 연안어장에 대한 수질 및 저질조사, 중금속 및 방사능 조사, 유기주석 화합물 조사, 폐쇄성 내만의 부영양화 조사 등 환경오염 조사를 강화해 나가고 있다. 또한 水産被害 경감을 위해 적조감시 및 탐사기술 연구, 해양오염 물질이 생물에 미치는 영향 연구를 중점 추진할 계획이다.

1) 沿岸漁場 및 水産資源 保全地域 環境汚染 調査

전국 주요 연안어장 및 水産資源 保全地域의 266개 조사점에 대하여 일반 수질 조사를 연 4회, 전국 연안의 저질조사 연 1회, 주요 수산물 중의 중금속 및 유기주석 화합물 오염 조사 연 1회, 수산자원 보전지역의 資源動態 조사를 연 2회 실시하여 연안어장의 환경보전을 위한 기초자료로 활용할 계획이다.

2) 閉鎖性 內灣의 富營養化에 관한 研究

각종 養殖漁場이 밀집되어 있는 폐쇄성 내만 해역의 부영양화 원인물

질의 순환과 수지를 파악하여 부영양화에 따른 저산소 수괴 형성 및 적조 발생과의 관련성 그리고 부영양 수역의 환경개선 및 效率的 管理를 위한 모델개발에 필요한 기본인자를 집중 도출할 계획이다.

3) 赤潮探索 技術開發 研究

진해만을 비롯 남·서해안 총 57개 조사점에 대하여 연 7회 이상 감시 조사를 실시하고 赤潮 고도탐색 기술개발을 위하여 진해만과 인접 수역에 대한 항공탐사 및 현장 조사를 강화할 계획이며, 水産被害 軽減을 위해 유독적조 발생 환경 조사를 실시할 계획이다.

4) 海洋汚染이 沿岸生物에 미치는 影響調査 研究

각종 汚染事故 발생시 효율적으로 대처하고, 어장 수질오염과 생물의 반응과의 상호 작용을 구명하기 위하여 貝類 및 魚類를 대상으로 실내 실험 및 현장적용 실험을 실시할 계획이다.

2. 漁業 資源調査

가. 沿近海 資源調査

연근해 어업자원의 持續的 生産과 合理的 管理를 위하여 沿近海 主要 漁業 對象資源에 대한 生物學的 調査와 資源動態 調査를 실시하여 成長, 再生産力, 年級群 強度, 初期 生活期 密度 등의 경년변동에 관하여 연구하고 있다.

주요 어업자원의 신속한 동태파악과 시공간적 분포특성을 연구하기 위하여 科學魚探에 의한 조사를 실시하며, 고래자원의 評價 및 管理를 위한 고래자원 目視調査를 실시하고 있다. 또한 연근해 어업의 안정적 인 생산을 유지하고 어업능률을 향상시키기 위하여 魚群의 移動狀況과 漁況의 展望을 分析하여 週間 및 月間 漁況豫測을 실시하고 있다.

한편, 한·일 관련수역 대상자원의 적정 이용을 위한 관리체제 구축에 필요한 자원상태를 파악하기 위해서 양국 공동으로 일본 서부해역의 어업자원 조사를 실시하고 있다.

나. 遠洋漁業

遠洋漁業 資源의 持續的 이용과 효율적인 국제적 어업관리 基礎를 위하여 遠洋 主要漁業(트롤 등 6개 어업) 및 魚種(황다랭이 등 11개 어종)에 대한 자원변동 및 생물특성 조사, 어업자원 概觀 作成 및 資源管理 基礎研究를 실시하여 어종별 생태학적 특성 파악, 자원상태를 평가하고 있다. 이들로부터 분석된 결과는 太平洋 다랭이資源保存委員會(ICCAT)등 16개 國際水産機構와 원양어업 정책자료 및 조업선의 조업능률 향상 지원을 위한 자료로서 提供되고 있다. 또한, 公海漁場을 안정적으로 확보하기 위하여 遠洋漁船(트롤, 다랭이연승, 선망, 공기붕수망, 오징어채낚기 등)에 乘船하여 어업별 主對象種 및 附隨漁獲種의 漁獲統計調査, 生物學的 調査 등 원양어업 과학자 승선 조사 활동을 통하여 어종별 혼획상태, 어획대상 생물의 종별 분포와 어장 환경과의 관계를 밝혀 公海上의 國際的 분쟁에 대처할 과학적인 기초자료를 蒐集, 分析하고 있다. 그리고 최근에는 遺傳學的 분석 방법(미토콘드리아 DNA의 분리 및 절편 이용)에 의한 원양어업 대상 자원의 單位系統群 및 種確認 연구가 시도되고 있다. 시험 조사선 부산 851호를 이용하여 베링 公海 및 보고슬로프 해역의 명태 자원을 대상으로 음향어탐 및 층층 트롤어업시험 조사를 실시하여 資源狀態 評價 및 國際 資源管理에 적극 동참하고 있다.

遠洋 출어선의 선장 교육을 통해 최신 國際 漁業 環境의 變化 狀況 등의 최신 정보 제공 및 시험 연구 결과 등을 배부하여 效率的이고 승

理的으로 遠洋漁業을 지속할 수 있는 方向을 제시하고 있다.

第 5 節 水産技術 指導·普及

국립수산진흥원에서는 올해의 어촌지도사업 목표를 『개방화에 대처한 科學的 營漁技術 指導로 경쟁력 제고 및 생산증대, 어업질서 확립과 경영방법 개선으로 어가소득 향상 및 잘사는 어촌건설』에 두고 산하 27개 어촌지도소 260명의 어촌지도 공무원으로 하여금 전국의 어촌계를 순회하면서 생산기술 및 소득개발 지도, 수산물 안정생산 지도, 어업인 교육 및 어업경영 지도, 어업인후계자 육성사업 지도, 수산기술 홍보 등의 과제를 증점적으로 추진해 나갈 계획이다.

지역별 유망품종을 高所得 戰略品種으로 육성하기 위해 동해안의 큰가리비, 전복, 어류, 서해안의 돌김류, 어류, 대하, 보리새우, 참게, 남해안의 어류, 비단가리비, 진주조개, 돌김류, 전복 등을 대상으로 種苗生産, 養成管理, 病害對策, 營漁活動 등에 대해 중점 지도할 계획이며, 1指導所 1品種을 選定, 指導所, 水檢, 市·郡, 水協 등과 연계하여 지역 으뜸품종(상품) 개발을 지속적으로 추진할 계획이다.

또한 일선 어업인들이 어업의 생산현장에서 애로를 느끼고 있는 어려움을 해소하기 위한 漁場隘路 技術開發課題를 적극 발굴, 금년부터 연차적으로 추진해 나갈 계획이며, 연안어업인의 삶의 터전인 共同漁場의 효율적 관리와 資源造成 事業의 효과증진을 도모하고자 전국 연안 공동어장에 전담 지도사를 배치하여 漁民意識 啓導, 水産種苗 撒布 및 有用海藻類 繁殖助長, 漁場清掃, 害敵生物 驅除 등의 지도를 실시할 계획이다.

지방화 시대를 맞아 어촌지도소가 수산진흥원 소속에서 수산연구소

소속으로 직제가 개편됨에 따라 금후 연구와 지도 連繫機能을 강화하여 지역특성에 맞는 指導事業을 적극 추진해 나가겠으며, 漁村指導 基盤造成을 위해 漁村指導所 2개소를 신·증축하고 지도용 장비 23종 125점을 보강할 계획이며, 기술지도선 1척을 신규 배치함으로써 신속하고 보다 과학적인 漁村 指導事業 추진과 함께 지도사업과 관련한 자문 및 지도 활동 협조, 漁村動向 把握 및 營漁活動上의 問題點, 建議事項 등을 신속하게 처리하기 위하여 어촌지도소 지역내의 덕망과 영어경험이 풍부한 208명의 자원 漁村指導者를 漁村指導 事業에 자진 참여케 함으로써 지도효과를 높이도록 할 계획이다.

輸入開放에 대응한 지역특성에 맞는 새로운 기술개발을 신속하게 전달하기 위해 學界, 業界의 專門家 및 研究職 公務員을 초청하여 지역 현안문제 해결을 위한 研鑽會를 개최하고 어업인후계자, 자원 어촌지도자, 專業漁家를 대상으로 營漁日誌를 제작 배부, 영어설계 지도를 실시하고 기록실태를 심층 분석하여 지도자료로 활용할 계획이다.

漁村의 정예인력 확보 및 지도자 육성을 위해 '95 漁業人後繼者 746명, 專業漁家 243명, 産業技能要員 漁業人後繼者 138명을 선정하여 집중 지도할 계획이며, 대국민 水産施策 및 새로이 개발된 研究結果를 집중 홍보함으로써 어업인의 자신감과 의욕을 고취시키고 어업인이 원하는 신속한 水産情報 提供을 위해 공중정보 통신망(천리안) 운영의 활성화를 기할 수 있도록 노력하고 각종 양식기술지 및 수산소식지, 주간해·어황정보, 어장관리지도속보 등을 발간 배부하고, 신문, 잡지, 라디오 등의 매스컴을 통한 弘報活動을 더욱 강화해 나갈 방침이다.

또한 어촌지도원의 자질향상으로 대어업인 信賴度를 높이고자 魚類養殖, 魚類疾病, 水質分析, 赤潮, 전복養殖 교육 및 국내 선진지 견학과 선진 수산국의 연수를 더욱 강화해 나갈 계획이다.

第 6 節 水産 特定研究 技術開發

水産 特定研究 開發事業은 農漁村特別措置法에 의거 農漁村開發 綜合對策의 일환으로 國·公立 研究機關, 學界, 産業界 등이 공동 참여하여 遂行되고 있는 사업으로서 '95년도 水産 特定研究 開發事業은 산업과 직결되는 實用技術 開發 및 品質, 生産性 向上에 기여할 수 있는 과제를 우선 선정하는 데 力點을 두었다.

'95년도에는 事業費 800백만원을 확보하여 中央水産産學協同審議會에서 선정된 "막분리에 의한 수산가공 폐기물의 고도이용 技術開發" 등 총 13개 과제(繼續事業 5건, 新規事業 8건)에 대하여 지원할 계획이다.

〈表 119〉 '95年度 水産特定 研究開發 事業課題

單位 : 百萬元

課 題 名	事業費	備 考
計	800	
1. 耐波性 養殖施設 開發	100	계속과제
2. 조피분락 配合飼料 開發	90	"
3. 北太平洋 명태 資源分布 生態 및 資源評價研究	100	"
4. 魚肉煉製品の 品質向上 및 新製品 開發	80	"
5. 有用海藻類(뽕, 홀과래, 갈래곰보) 養殖技術 開發試驗	80	"
6. 막분리에 의한 水産加工 廢棄物의 高度 利用 技術開發	25	신규과제
7. 水産用 藥劑 研究	80	"
8. 養魚飼料의 魚粉代替品 開發에 관한 研究	50	"
9. 中國 水産業의 調査研究	20	"
10. 生物工學的 技法을 利用한 傳統水産 醱酵食品 加工工程의 改善, 自動化 및 新製品 開發	30	"
11. 省人力化 近海 鮫鱈網 漁船 研究 開發	40	"
12. 韓國 靑 産業의 國際 競爭力 提高 方案	45	"
13. 活魚類의 流通技術 改善에 관한 研究	60	"

資料 : 수산청 생산국 연구해과

第 7 節 水産技術 訓練

1. 公務員 教育

민주적 공직 윤리관을 가진 봉사적 수산공직자 양성과 세계화·지방화를 적극 추진할 수 있는 능동적인 수산요원 양성, 경쟁력과 세계적 감각을 갖춘 발전적 수산인 육성에 중점 목표를 두고 職級別 基本教育 4회 145명, 職務 分野別 専門教育 20회 750명의 교육을 계획하여 실시하고 있다.

기본교육은 5급 25명, 6급이하 120명에 대한 승진 단계별 補修教育을 통하여 공직윤리관 확립과 직무수행에 필요한 기본소양 및 자질향상도모를 목적으로 하고 있으며, 직무 분야별 전문교육은 먼저 4·5급 및 수산청 산하단체 임직원 25명을 대상으로 『漁村綜合開發事業의 推進方向』을 주제로 한 政策開發班 교육과 5급이하 수산청 및 시·도 수산관련 공무원 120명을 대상으로 수산시책 교육을 실시하여 세계화 시대에 대응한 현안 정책개발과 시책업무 추진능력을 향상시키고자 하고 있다.

또한 5급이하 45명을 대상으로 水産物 流通加工實務班을 신설하여 수산물 유통 및 가공부문 전문요원을 양성함으로써 수산행정의 수요변화에 능동적으로 대처할 수 있도록 하고 있으며, 지속적인 어업질서의 확립과 수산자원의 보전을 위한 행정능력 배양을 위하여 어업질서관리반, 해면 및 내수면 어류양식반 150명에 대한 교육을 실시하고 있다.

이와 함께 어선 등록 및 관리를 위한 전문요원을 양성하고 어업피해 보상 및 지원에 대한 전문지식을 습득시키며 어촌지도 실무에 필요한 신기술을 배양하기 위하여 漁船行政實務班, 補償行政實務班, 漁村指導

實務班 등 125명에 대하여 교육을 실시중에 있다.

2. 漁業人 敎育

어업인 교육은 어업인후계자 및 어업인 교육과정으로 구분 실시하고 있는데 어업인후계자 교육과정은 어촌정착 의지와 자질을 갖춘 水産役軍 배출과 선진수산물 교육을 통한 先導漁家 育成을 목표로 '95년도 선발 어업인후계자를 대상으로 한 신규 어업인후계자반 10회 750명, 既選拔 어업인후계자중 '95년도에 선정된 전업어가를 대상으로 한 專業漁家班 7회 250명과 '95년도 산업 기능요원에 편입된 어업인후계자를 대상으로 한 산업 기능요원반 2회 140명 등 총 19회 1,140명을 계획하여 실시하고 있다.

어업인 교육과정은 어촌계장 등 어촌계간부 등 80명을 대상으로 資源保護管理班을 설정하여 세계화와 지도자의 역할, 어업질서 확립대책 등을 교육함으로써 不法漁業이 없는 어촌환경 조성에 앞장 설 일선 지도자를 양성하고, 100톤이상 어선의 海洋汚染防止管理人 210명에 대한 해양오염 방지교육을 통하여 청정한 해양환경 보전을 위한 전문인력에 대한 보수교육을 실시할 계획이다. 또한 水産製造, 水産養殖 기술자격 취득자 300명에 대하여 國家技術資格者補修班 교육을 실시, 새로운 양식기술과 제조기술을 보급함으로써 수산관련 기술자격 취득자의 자질향상을 도모하고 있다.

第 8 章 體制와 制度의 整備·改善

第 1 節 行政規制 緩和

지난해에 이어 금년에도 規制緩和 과제를 지속적으로 發掘·改善하여 문민정부에 부응하는 수산행정 제도 발전에 노력하고 있으나, 아직도 일부에서는 이를 대폭적으로 緩和해 줄 것을 요구하고 있다.

이에 따라 水産廳에서는 이미 발굴한 과제에 대하여는 관계법령과 제도를 조속히 개선·시행토록 추진하고 불합리한 규제가 더 이상 漁業活動에 制約이 되지 않도록 水産 全分野의 規制緩和 대상을 발굴, 검토할 계획이며, 國際競爭力 低下와 不法漁業 등 漁業秩序를 문란케 하지 않

〈表 120〉 規制緩和 課題發掘 및 推進狀況

單位：件

	計	完 了	推 進 中
計	98	83	15
行 政 刷 新	59	47	12
經 濟 行 政 規 制 緩 和	39	36	3

資料：수산청 기획관리관실 행정관리담당관실

註：'93~'95.8 현재

는 범위내에서 각종 規制事項을 대폭 完善하고 水産關聯 免許, 許可, 申告는 公共利益을 侵害하지 않는 범위내에서 그 대상을 간소화하여 어업인이 불편스러워 하거나 갈망하는 분야를 최우선으로 개선하여 규제 完善의 효과를 피부로 느낄 수 있도록 지속적으로 추진할 계획이다.

第 2 節 水産業協同組合法 施行令 改正

水産業協同組合法이 개정(1994.12.22. 법률 제4820호)됨에 따라 漁村契에 관한 事項 및 組合의 상임이사 資格要件 등 수협법에서 위임된 사항을 정하고 그간 제도 運營上 나타난 일부 미비점을 改善·整備하기 위하여 水産業協同組合法 施行令과 同法 施行規則을 '95. 6.22일과 '95.6.23일 각각 개정 공포하였다. 그 주요 골자는 다음과 같다.

첫째, 漁業人口가 감소되는 현실을 고려하여 어촌계 設立 準備委員의 수 및 합병에 의한 어촌계 設立위원의 수를 20인이상에서 10인이상으로, 어촌계 해산 사유에 해당하는 계원의 수를 20인미만에서 10인미만으로 각각 下向 調整하였고.

둘째, 組合에 유능한 專門經營人을 충원하기 위하여 상임이사의 資格要件을 農·水·畜·林業協同組合 또는 그 중앙회 및 國家機關·地方自治團體·政府投資機關에서 10년이상 종사한 경력이 있는 자 등으로 하여 문호를 개방하였으며.

셋째, 中央會 부회장의 資格要件을 信用事業擔當 副會長의 경우에는 農·水·畜協中央會의 신용사업 부문 또는 은행법에 의한 金融機關에서 10년이상 종사한 경력이 있는 자 등으로, 신용사업외의 事業擔當 副會長의 경우에는 農·水·畜·林協中央會 및 國家機關 등에서 10년이상 종사

한 경력이 있는 자 등으로 하였고,

넷째, 水産物 自由販賣制 실시에 대비하여 業種別組合도 水産物 委託事業을 행할 수 있도록 하기 위하여 業種別組合에 대한 委託사업 제한 규정을 삭제하였으며,

다섯째, 협동조합의 自律性 제고를 위하여 組合員의 청구에 의한 조합 업무 및 회계 검사 등 수산청장의 監督權중 일부를 中央會長에게 위탁하고, 地方自治團體가 보조한 사업과 관련된 업무에 대한 검사는 지방자치단체의 장에게 위임하였다.

第 3 節 水産廳 行政組織 改編

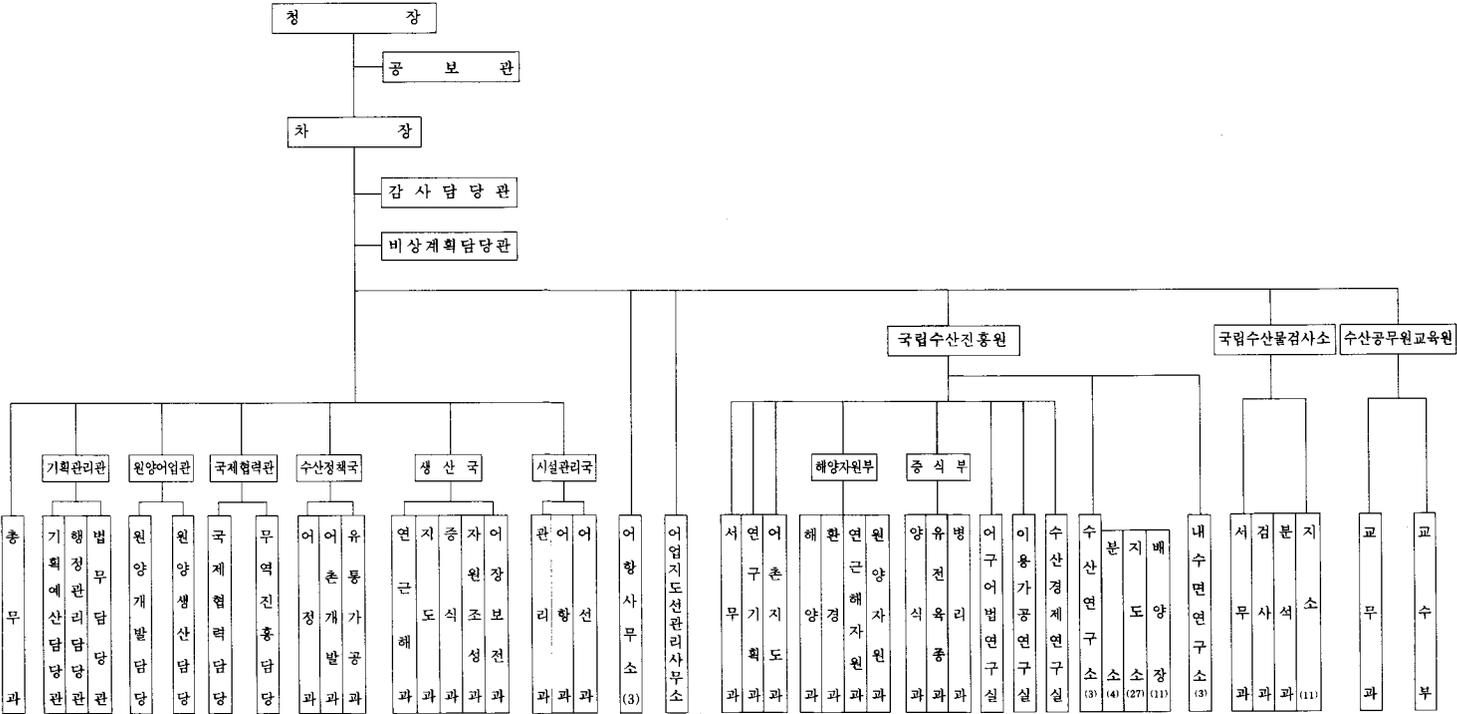
1. 背景

水産廳 組織은 '66년 개청이후 국내·외의 水産環境 變動에 따라 수차례 개편을 했으나 최근의 급속한 水産環境 變化는 그 어느 때보다도 水産分野에 어려움을 가중시키고 있으며, 조직개편의 필요성이 절실히 요구되는 시점에 직면했다.

먼저 대외적으로는 WTO體制의 출범('95. 1月)과 UN 海洋法 發效('94. 11月) 등 날로 악화되는 水産開放 壓力과 수산환경 보호추세 및 수산자원 자국화 추세의 강화와 對內的으로는 沿岸環境의 汚染 및 埋立 등으로 인한 魚族資源의 급격한 減少로 말미암아 이제는 과거의 “잡는 어업”에서 “기르는 어업”으로의 대전환이 이루어져야 할 시점이며, 수산조직도 과거 增産爲主의 水産政策에서 기르는 어업을 육성하기 위한 정책으로의 전환이 필요하여 특히 어촌의 종합개발 및 漁業人 福祉 向

〈表 121〉

水 産 廳 機 構 表



資料 : 수산청 기획관리관실 행정관리담당관실

여백

상을 위한 政策 強化에 초점을 두는 조직으로의 개편이 요청되었다.

이에 따라 水産廳은 '94.10.25일 조직개편 작업에 착수하였으며, 동격제 개편안이 '95.4.12일 대통령령 14,605호로 공포됨으로써 수산 행정조직은 새로운 직제하에서 수산업의 競爭力 提高를 통한 漁民福祉 向上을 위해 새 출발을 할 수 있게 되었다.

2. 改編內容

가. 組織 및 機構

水産廳 本廳의 개편 내용을 보면 수산외교 기능의 강화를 통한 국제 어업외교 교섭력 제고와 어촌 구조개선 및 정주기반 구축으로 어민소득 증대 도모 및 유통·가공분야의 기능 활성화를 통한 수산업의 대외 경쟁력 강화 등을 위해 局·課間의 기능 조정 및 통합으로 조직의 효율성을 제고하는 데 역점을 두었다.

地域 水産機構의 新設 및 機能 強化 등 방대한 國際關係 業務에 효율적으로 대처하기 위해 차장밑에 國際協力官(3級)을 신설하고 그 밑에 漁業協力과 通商機能의 유기적인 연계를 위해 국제협력담당과 무역진흥담당을 소속시켰다.

漁業振興官을 업무내용에 부합되도록 遠洋漁業官으로 개칭하는 한편 漁政局을 水産政策局으로 개편하고 漁村開發課와 流通加工課를 신설하여 어촌개발과는 어촌종합 개발사업, 어가부업 장려 및 어민후계자 사업을 유통가공과는 유통개선, 가격안정, 수급조절 계획 및 가공산업 육성 업무를 전담하도록 하였다. 또 시설국을 시설관리국으로, 시설과를 관리과로 개칭하였으며, 관리과는 종래 어항과에서 전담하던 제2종 어항업무를 관장토록 하고, 어항과는 1·3종어항 업무만 전담토록 재조정

하였다.

한편 水産振興院은 실용연구 중심의 조직체제로 개편을 통한 전문 수산연구 및 기술 개발·보급을 촉진하는 한편 地方化 時代に 부응하여 지역연구소 위주의 조직으로 전환을 하는데 초점을 두었다.

먼저 1921년 수산진흥원 발족이후 20년동안 숙원사업이었던 진흥원장의 직급이 2급에서 1급으로 상향 조정됨으로써 수산진흥 사업을 효율적으로 추진하고 조직 운영의 活性化를 가져오는 轉機를 마련하였다.

또한 유사·중복 기능의 통·폐합을 위해 施設運營課를 폐지하고 그 업무는 類似課(研究企劃課 및 庶務課)로 移管하였다. 또 첨단 기술개발 촉진 및 연구 기능을 수행토록 하기 위해 어류양식과와 패조류과를 통합하여 양식과로 개편하고 遺傳育種科를 신설하였다.

地域 特化品目の 普及 擴大, 複合 營漁의 필요성 증대 등 새로운 지도 환경에 대응하기 위해 어촌지도소 2개소(영덕, 군산)를 증설하고, 해역별 특성품종 연구 및 현장애로 기술개발을 위해 研究所 分所 2개소(군산, 목포)를 증설하였다.

水産物檢査所는 국민 건강과 직결되는 수입 수산물에 대한 검사와 분석 기능의 강화를 위해 제1검사과와 제2검사과를 검사과로 통합하고 분석과를 신설하였으며 최근에 수산물이 活 또는 新鮮 狀態로 항공을 통한 수입량이 급증함에 따라 이의 검사 강화를 위해 후포지소를 폐지하는 대신 서울 지소를 신설하였다.

나. 人員 變動

'95. 4. 12일 제7차 직제개정으로 수산청과 그 소속기관 공무원 정원은 15명이 순증되어 총 1,893명으로 늘어났으며 복수 직급제 시행에 따라 4급 4명을 3·4급으로, 5급 6명을 4·5급으로 상향 조정하였다.

〈表 122〉 水産廳과 그 所屬機關 公務員 定員 變動內譯

單位：名

	現 行	改 正	增 減	備 考
計	1,878	1,893	15	
水 産 廳	680	710	30	
- 本 廳	281	279	△2	· 기능직 감원
- 漁 港 事 務 所	45	53	8	· 청소선 4척 신조
- 指 導 船 事 務 所	354	378	24	· 무궁화 18호 신조
水 産 振 興 院	939	929	△10	· 시설운영과 폐지, 시험선 및 본원 정원을 연구소와 어촌지도소로 이관
- 本 院	373	223	△150	
- 水 産 研 究 所	117	237	120	
- 內 水 面 研 究 所	49	46	△3	
- 漁 村 指 導 所	283	304	21	
- 種 苗 培 養 場	117	119	2	
水 産 物 檢 査 所	208	205	△3	기능직 감원
公 務 員 教 育 院	51	49	△2	기능직 감원

資料：수산청 기획관리관실 행정관리담당관실

第 4 節 漁業人 支援 強化

1. 水産資金 供給 擴大

가. 營漁資金

'95년도 營漁資金 支援規模는 '94년도에 비하여 500억원이 증가한 7,500억원으로 沿近海 漁業에 6,500억원, 遠洋漁業에 1,000억원을 供給할 계획이다.

영여자금은 어민소득을 높이기 위하여 低利로 지원되는 政策資金이므로 자금조달 능력이 미약한 零細 小規模 어업 및 共同 申告漁業 漁業人

에 대한 支援 限度額 增額, 遠洋漁業 金利 引下 등 어업인 편의 위주로 제도를 개선하였다.

〈表 123〉

營漁資金 供給計劃

單位：億圓

		'94	'95	增 △ 減
所 要 額		16,594	18,805	2,211
供 給 額		7,000	7,500	500
(供 給 率)		(42%)	(40%)	(△2)
調 達	財 政 資 金	1,613	2,393	780
	韓 銀 借 入 金	2,303	1,723	△580
	水 協 自 體 資 金	2,884	3,084	200
	相 互 金 融	200	300	100
運 用	沿 近 海 漁 業	6,000	6,900	500
	遠 洋 漁 業	1,000	1,000	0

資料：수산청 수산정책국 어정과

나. 水産振興財政資金

영어자금 등 운영자금을 지원받지 못하는 수산 가공업체 및 어망생산 업체 등에 지원하여 어업과 수산제조업의 균형 발전을 도모하기 위하여 지원되는 자금으로 水産振興財政資金을 점차 農漁村構造改善特別會計 融資事業으로 代替하여 支援할 계획이다.

〈表 124〉

水産振興財政資金 運用計劃

單位：百萬圓

	'94	'95	增△減	內 譯
計	4,000	2,000	△2,000	
水産物製造加工	3,200	1,400	△1,800	'95 製造加工 - 冷凍·冷蔵加工 700 - 통조림加工 700
漁 網 生 産	800	600	△200	

資料：수산청 수산정책국 어정과

다. 農漁村構造改善特別會計 融資事業 運用

농수산업의 구조개선을 위한 사업을 추진하기 위하여 『農漁村構造改善特別會計法』에 따라 지원되는 농어촌구조개선특별회계 용자사업비 1,416억원을 투자하여 수산업의 구조조정 사업과 고소득 개발업종에 대한 중점지원으로 수산업을 경쟁력있는 산업으로 육성해 나가고 있다.

<表 125>

'95 農特會計 融資事業 運用規模

單位：百萬元

	'94	'95	融 資 條 件 (据置/償還, 年利)
計	98,666	141,549	
<構造改善事業計定>	98,666	138,049	
○ 養殖漁場開發支援	3,721	4,080	3/7, (5%)
○ 굴貝殼處理工場	-	3,120	5/10, (5%)
○ 가두리養殖場陸上轉換	-	1,000	5/10, (5%)
○ 養魚場水質淨化施設	-	400	5/10, (3%)
○ 淡水魚蓄養施設	1,680	1,680	3/5, (5%)
○ 養殖用機資材供給	470	470	1/4, (5%)
○ 沿近海漁業構造調整	-	1,250	5/10, (3%)
○ 漁船建造및設備現代化	35,440	37,032	1~3/4~10, (5%)
○ 漁船用機械供給	2,290	2,290	1/4, (5%)
○ 漁船用機資材生産	1,200	1,200	0/1, (8%)
○ 漁網生産	5,300	5,300	0~3/1~7, (5~8%)
○ 流通構造改善	5,700	6,059	3/5~7, (5%)
○ 流通普及施設	1,242	1,252	3/7, (3~5%)
○ 漁村觀光開發	783	1,200	3/7, (5%)
○ 漁村所得源開發	1,140	1,386	3/7, (5%)
○ 水産物加工運營	9,780	9,780	0/1, (8%)
○ 水産物處理·貯藏·加工	12,920	33,400	3~5/7~10, (5~8%)
○ 漁民後繼者	12,000	15,000	5/5, (5%)
○ 專業漁家	5,000	12,150	5/5, (5%)
<農特稅事業計定>	-	3,500	
○ 養殖漁場開發	-	3,500	3/7, (5%)

資料：수산청 수산정책국 어정과

2. 漁業人 負擔 輕減

가. 營漁資金 利差補填

'86. 3. 5 "농어촌종합대책"의 추진으로 營漁資金 대출금리를 10%에서 8%로 引下하였고 '89. 4. 28 "농어촌발전종합대책"의 일환으로 沿岸海 부문에 대한 營漁資金 대출금리를 8%에서 5%로 추가 引下하게 됨으로써 '95년도에 총 23,403백만원의 漁民負擔을 輕減하게 된다.

나. 漁家 負債輕減 利差補填

'87. 3 『農漁家 負債輕減 對策』에 따라 計劃造船(근해부문) 및 水産 개발자금(피해복구유자금) 金利引下와 경지면적 0.5ha미만에 準하는 영세어가의 증장기 자금을 3%의 低利資金으로 代替함으로써 '95년도에 총 1,295백만원의 어업인에 대한 금융 부담을 덜어주고 있다.

다. 漁家 負債輕減 特別措置 利差補填

農漁家の 金融부담을 緩和함으로써 농어업의 경영비를 줄이고 농어가의 負債償還 負擔을 덜고자 '89. 12. 30 『농어가부채경감에 관한 특별조치법』이 제정 공포됨에 따라 부담경감 특별조치 대상이 되는 어가는 경지면적 2ha미만에 準하는 어가로서 養細漁家와 中·소규모 어가로 구분하여 당초 대출기간이 2년이상인 증장기 水産자금은 가구당 400만원 범위내에서 利子를 감면(연 1~12.5→0~3%)하고 상환기간도 5년 據置 5년 均分 償還토록 연장하였다.

相互金融 資金에 대하여도 가구당 200만원 범위내에서 이자를 감면(연 12.83→0~5%)하고 상환기간을 3년저치 7년균분 상환하도록 延長 조치하였다.

이와 같이 漁家負債輕減 特別措置에 따라 '95년도에 5,155백만원의 利子負擔을 덜어주게 되었다.

라. 水産被害 漁業人 約定利子 利差補填

'93년도에 발생한 태풍, 폭풍 및 집중호우로 수산시설이 50% 이상 피해를 입은 어가가 피해발생일 현재 대출받아 사용중인 영여자금에 대하여 2년간 이자면제 및 상환기간을 연장토록 조치함에 따라 '95년도에 被害漁家 利子負擔이 1,306백만원 줄게 되었다.

〈表 126〉 各種 特別對策別 金利引下 및 '95利差補填額

單位：百萬元

特別對策別	金利引下	利差補填額	對象期間
計		31.159	
○ 農漁村綜合對策에 따른 營漁資金 金利引下		23.403	'94.7~'95.6
- 沿近海漁業	10→5%		
- 遠洋漁業	10→6%		
○ '87.3 農漁家 負債輕減對策		1.295	'94.1~'94.12
- 計劃造船(近海)	9→8%		
- 水産開發(金融)	12.5→8%		
- 借款資金(IBRD)	9.9→8%		
- 零細漁家 中長期資金 低利代替	8~12.5→3%		
○ '89.12 農漁家負債輕減特別措置法		5.155	'94.7~'95.6
- 中長期資金	1~12.5→0~3%		
- 相互金融資金	12.83→0~5%		
○ '93 水産被害 漁業人約定 利子利差補填	5→0%	1,306	2년간

資料：수산청 수산정책국 어정과

3. 船員共濟料 支援

총 톤수 30톤 이상 乘船員에 한하여 가입이 허용되고 있는 船員 特殊共濟의 加入對象을 漁業人의 便益을 위하여 전 漁船員으로 확대하고 會員組合의 취급 수수료를 2% 상향 조정(船員普通共濟 8%→10%, 船員特殊共濟 4%→6%)하여 가입을 촉진시키는 한편, 전국의 港浦口 및 都市地域에 공계 지정병원 175개소를 운영하여 어선원의 災害 發生時 신속하게 후송 치료토록 함으로써 船員共濟 가입 어업인의 편익을 도모하고 있다.

또한 船員 共濟料중 30톤미만 乘船員의 경우 70%, 30톤~50톤미만 25%, 50톤~100톤미만 7%, 100톤이상 승선원에 대하여는 3%의 공제료를 국고에서 지원함으로써 1,646백만원의 선주 부담을 경감하게 된다.

〈表 127〉

漁船 및 船員 共濟加入 計劃

單位：百萬元

		'94	'95	'95/'94
漁 船	契 約 高	873.165	1,064.390	122%
	共 濟 料	16.679	21.417	128
船 員	契 約 高	791.798	920.240	116
	共 濟 料	12.726	17.263	136

資料：수산청 수산정책국 어정과

4. 水産關聯 稅制 改善

가. 推進方向

정부의 租稅減免의 범위를 축소하려는 조세정책 기조에도 불구하고 어려운 어촌경제를 지원하기 위하여 租稅 次元의 지원을 통한 稅負擔 輕減을 올해도 계속 추진하고 있다. 특히 어업용 기자재의 부가가치세 零稅率 적용 품목의 확대, 取得稅, 登錄稅 減免 範圍 확대 등 직접적인 어업 생산비 절감을 이룰 수 있는 세제지원의 확대를 통하여 수입 개방화에 對稱한 경쟁력 강화에 기여할 수 있도록 稅制 改善을 관계부처에 건의하여 협의 추진중에 있다.

나. 漁業用 機資材 附加價值稅 零稅率 適用品目 擴大

현재 영세율이 적용되고 있는 어업용 기자재를 15개 품목중 로프는 종전 양식업에만 국한하던 것을 漁船漁業用 로프도 포함하도록 하였고, 43개 품목을 추가, 58개 품목으로 확대하여 零稅率이 적용되도록 租稅

〈表 128〉 附加價值稅 零稅率 適用擴大 對象 漁業用 機資材

1. 기관	2. 어군탐지기	3. 나침의	4. 구명동의	5. 구명별	6. 선등
7. 호종	8. 기적	9. 닻	10. 축전지	11. 선외기	12. 방향탐지기
13. 로오란	14. 레이더	15. 비디오프로타	16. 프린터	17. 위성항법장치	
18. 냉동기	19. 샤클	20. 코스	21. 코팅사	22. 잠수용 콤프레샤	
23. 잠수용 호스	24. 수온계	25. 전개판	26. 넷트레코더	27. 보빙	
28. 수산물출하용 포장상자	29. 페인트	30. 사료	31. 항목(양식장)		
32. 양어용 약품	33. 얼음	34. 기상팩시밀리	35. 폐각분쇄기		
36. 양어용 수차(산소공급용)	37. 양어용 양수기(산소공급)				
38. 양어용 브로와(산소공급)	39. 양어장용 비닐하우스용 폴리메치렌비닐(보온용)				
40. 양어장용 비닐하우스용 파이프(보온)	41. 팜사	42. 진주용 핵			
43. 김 양식용 유기산					

資料 : 수산청 수산정책국 어정과

減免規制法 特例規程 施行規則 제3조 개정안을 관계부처에 提出, 협의 추진중에 있다.

다. 免稅油類 供給

‘95년 면세유류 공급 計劃量은 6,000천드럼으로 어민 수혜액이 825 억원에 달할 것으로 展望되며, 특히 낙도, 벽지 小型漁船에 45만드럼을 공급하여 낙후된 낙도·벽지의 어민소득 증대에 크게 기여할 것으로 전망된다. 또한 免稅油類 공급대상에 內水面 및 陸上水槽式 養殖場의 난방용 보일러 및 양수기도 포함될 수 있도록 재정경제원에 稅制 改善을 건의하여 추진하는 등 면세유류 공급대상을 확대토록 추진중에 있다.

〈表 129〉 ‘95 免稅油類 供給計劃

單位：千드럼

	’93	’94	’95	’95/’94
計	5,345	6,045	6,000	99.3%
輕 油	4,694	5,317	5,398	103.5
輕 質 重 油	562	622	500	80.4
重 油	14	14	15	107.1
揮 發 油	44	58	50	86.2
其 他	31	34	37	108.8
漁民負擔輕減額 (億원)	531	827	825	99.8

資料：수산청 수산정책국 어정과

라. 其他 稅制支援 擴大

WTO 체제 출범에 대응하여 水産業의 國際 競爭力 강화를 위해 정부

에서는 漁業人에게 대폭적인 租稅減免 지원으로 漁業經營 개선을 위하여 遠洋漁船員 勤勞所得稅 非課稅 범위를 50만원에서 100만원으로 상향 확대하고, 어업인은 相續稅에 있어 수혜사항이 없었으나 상속세 공제한도를 설정하여 주택상속 공제 등 물적 공제한도 1억원 이외에 추가로 1억원 범위내에서 20톤미만의 어선이나 10ha미만의 漁業權에 대하여 공제하게 되고 贈與稅도 상기 규모의 어선이나 漁業權에 대하여 면제토록 하였다.

地方稅에 있어서도 종전에는 10톤미만의 小型 漁船에 대하여 取得稅, 登錄稅, 財産稅 및 共同施設稅가 면제되었으나 '95년부터는 20톤미만의 어선까지 면제범위를 확대하였다.

地方稅중 사업소세도 종전에는 水産業은 직접 어획에 제공되는 建築物와 從業員에 한하여 면제되고 있었으나 어획이익의 養殖漁業까지 사업소세가 면제되도록 면세 범위를 확대하였다.

主業 漁業人이 漁船, 漁業權 取得時에도 종전에는 전액 과세되었으나 '95년부터는 어선은 30톤, 어업권은 10ha까지는 取得稅와 登錄稅가 50% 경감토록 함으로써 漁業人의 漁船 購入 및 漁業權 取得을 더욱 용이토록 하였다.

이외에도 어선원 근로소득세 非課稅 範圍의 확대, 漁船 및 漁業權에 대한 相續 共濟 및 贈與稅 면제 범위와 주업 어업인에 대한 취득세 등 감면 범위 확대 등 어업인의 租稅負擔 경감을 위해 '95.6.17자로 財政經濟院, 內務部 등 세제 관련부처에 건의하여 협의 추진중에 있으며, 어려운 漁村經濟 및 他産業에 비해 소득이 낮은 어업인에게 租稅政策 차원에서 지원이 확대될 수 있도록 적극 추진할 계획이다.

第 9 章 水産業 發展對策 樹立

第 1 節 計劃樹立 背景

關稅 및 貿易에 관한 一般協定(GATT)체제의 확대 개편을 위한 우르과이라운드(UR)협상이 '93년 12월에 타결되고 모든 산업부문의 市場開放을 골자로 하는 협상내용을 실행하기 위하여 世界貿易機構(WTO)가 '95년 1월에 새로이 출범함에 따라 바야흐로 세계는 無限競爭 時代에 돌입하게 되었다.

정부는 이에 능동적으로 대처기 위해 우리 농어촌을 경쟁력 있는 산업으로 육성, 발전시킬 수 있는 농어촌발전대책을 수립키로 하였으며, 農漁村에 대한 근본적인 장기적인 발전대책의 수립에 관하여 대통령 자문기구로 각계 전문가 30명을 위원으로 한 農漁村發展委員會가 '94년 2월에 구성되어 7월까지 운영하였다.

농어업인, 농어업인 단체, 학계, 언론계, 재계 등 국민 각층의 대표가 참여한 “農漁村發展委員會”는 국민 각계 각층의 의견을 수렴하여 '95. 5. 24일 대통령에게 “農政改革의 課題와 方向”을 보고하였다.

정부에서는 국무총리를 위원장으로 관계장관이 참여하는 “農業政策審議會”내에 15개 부처 국장급이 참여하는 3개 분과위원회를 설치하여 “농어촌발전위원회”의 建議事項을 중심으로 과제별로 시책화한 “農漁村發展對策 및 農政改革 推進方案”을 확정 발표하였다.

수산청에서는 “농어촌발전위원회”의 水産分野 建議事項을 참고한 “21世紀를 향한 水産政策 改革方案(’94. 6. 16)”과 “競爭力 강화를 위한 水産制度 改革(’95. 2. 15)”을 대통령께 보고하고 이의 효율적인 추진을 위하여 ’95년에 세부 실천계획을 종합, 정리한 “21世紀를 향한 水産政策 改革 細部推進計劃”을 마련(’95. 3월)하여 각 기관, 단체, 학교, 어업인 등에 배포하여 水産業의 세계화를 위한 수산정책 추진 지침서로 활용토록 하였다.

第 2 節 水産業 發展對策 樹立 推進

지금까지 水産物 增産 및 輸出 위주의 정책을 추진해 온 결과 水産食糧을 안정적으로 供給하고 輸出을 증대시켜 국가경제에 크게 기여하여 왔으며 우리나라가 세계 3위의 수산대국으로 발전하는 등 성과를 거두었다.

그러나 量的 成長에 치중한 生産增大 위주의 수산정책을 추진하는 과정에서 결과적으로 과도한 漁獲으로 인해 연근해 수산자원이 감소하여 生産性的 低下를 초래하게 되었고, 수출 우선 정책에 치중한 나머지 전면적인 水産物의 輸入開放 趨勢에 대응할 수 있는 국내체제의 보완에 미흡하였으며, 또한 國內 他産業의 급속한 발전에 따라 도시화가 진행되는 과정에서 漁村이 상대적으로 소외되어 漁業人은 소득수준 및 생활

환경 등에서 타부문 종사자에 비해 열악한 위치에 처하게 되었고 이에 따라 젊은 어촌인들이 어촌을 떠나는 현상이 가속화 되고 있다.

또한 산업기술의 발전 등 漁業環境 變化를 따르지 못하는 各種 規制와 保護裝置는 어업인들의 自律的인 漁業 經營能力 발휘를 저해하는 등의 부작용도 낳고 있는 실정이다. 지금까지 추진해 온 이러한 水産政策을 거울 삼아 21세기 수산정책은 농어촌을 획기적으로 발전시킨다는 정부의 “농어촌구조 개선 42조원 투자계획”과 농어촌 활성화를 위한 “15조원 농어촌특별세 투자계획”을 근간으로 어업별, 업종별, 품종별 대책을 총 망라한 “21世紀를 향한 水産政策 改革 細部推進計劃”을 수립 추진해 나가고 있다.

21세기를 향한 수산정책 개혁방안의 基本方向은 「바다」를 가꾸어 資源을 풍부하게 조성하고, 「어업인」을 자율적인 漁業 經營主體로 육성하며, 「어촌」을 1, 2, 3차 산업이 연계된 쾌적한 生活空間으로 가꾸고, 「원양」에서는 국제 어업협력을 통한 海外資源의 安定的 確保에 주력하여, 水産業을 21세기의 國民 食糧産業으로 더욱 육성 발전시키고 어업인의 생활수준과 복지를 향상시켜 나가도록 할 계획이다.

이를 구체적으로 실현하기 위한 重點施策으로서는

첫째, 貿易·海洋秩序 變化에 따른 대응력을 강화하여 전면적인 수입 개방에 따른 피해를 최소화하고 自由貿易 環境을 활용하여 수산물 수출을 증대시키며, 해양법 질서에 맞추어 인접국과의 자원관리 협력체제를 구축하고 公海資源 管理協力에 적극 참여하여 해외자원의 안정적 확보를 도모해 나가며,

둘째, 漁場環境을 保全하고 기르는 漁業을 育成하여 바다 오염의 예방, 어장 노화의 개선 등으로 漁場 生産性을 증대시키고 해역별 특성에 맞는 인공어초의 개발, 체계적인 종묘배양장의 건설 운영으로 기르는

漁業의 기반을 확충해 나갈 계획이며,

넷째, 無限競爭 時代에 대응한 競爭力을 강화하여 과도한 어선세력의 감축 조정으로 漁船漁業의 生産性을 높이고 생산기술의 연구개발, 기술지도·보급 활동의 체계화 등으로 우수 품종의 생산을 촉진하여 유통체계와 시설의 개선 및 확충으로 水産物의 신선도 제고 및 流通費用의 절감을 유도해 나갈 계획이며,

넷째, 地域特性에 맞는 漁村綜合開發을 추진하여 수산물물 신속 안전하게 양륙할 어항시설을 대폭 확충하고 만을 중심으로 소규모 漁港, 漁村, 沿岸 바다를 연계 개발하여 어업인의 所得 擴大 등 福祉를 개선해 나갈 계획이며,

다섯째, 世界化·地方化 時代에 맞게 水産制度 改革을 추진하여 자원 보호를 위한 각종 규제 등을 漁業現實에 맞게 조정 개선하고 영세어업인 보호 등을 위한 각종 보호제도를 國際競爭에 對應할 수 있도록 보완 개선해 나갈 계획이며, 어업인들의 적극적인 參與와 창의적인 노력이 더해질 수 있도록 방송, 신문매체, 잡지, 어업인과의 대화 등 대어업인 홍보를 더욱 강화할 계획이다.

이와 같은 對應策 추진에 따른 우리 水産業의 미래를 眺望해 보면, 어항시설, 어촌종합개발 및 기르는 어업의 집중 투자로 漁村은 活性化되고 漁業 構造調整으로 어선어업은 國際 競爭力을 갖추게 될 것이며, 또한 수산물 流通體系 혁신 및 加工産業 育成으로 産地와 消費地간 가격 차이가 줄어들고 품질이 개선되어 漁業人은 제 값을 받고, 消費者는 선도 높은 수산물을 적정 가격에 살 수 있게 될 것이다.

또한 현재 도시근로자 소득의 84% 수준인 漁家所得은 어업소득의 지속적인 增加와 어촌종합개발 등에 의한 어업외소득이 높아져 2004년에는 都市勤勞者 소득 수준으로 增加될 것이다.

統計로 본 水産業 動向

1. 國 民 經 濟 主 要 指 標
2. 產 業 別 經 濟 成 長 率
3. 產 業 構 造
4. 總 人 口 斗 漁 家 人 口
5. 漁 船 勢 力
6. 水 產 物 生 產
7. 水 產 物 需 給
8. 水 產 物 輸 出
9. 漁 家 所 得
10. 漁 家 負 債

1. 國民經濟 主要指標

	國民總生産		1人當 GNP		디플레이터		成長寄與率 ('90분년, %)	
	經常 (10億원)	經常 (億\$)	經常 (千원)	經常 (\$)	GNP '90=100	農林漁業 '90=100	農 林 漁 業	鑛工業
74	7,591.7	188	219	541	15.2	15.1	19.5	37.6
75	10,129.2	209	287	594	19.1	19.7	14.4	40.6
80	36,857.0	606	971	1,597	50.2	49.1	△11.1	7.4
82	52,460.5	717	1,341	1,834	62.9	56.2	16.4	24.7
83	62,086.0	800	1,563	2,014	66.4	56.1	9.7	35.3
84	71,044.6	881	1,763	2,187	70.0	61.7	△2.4	54.9
85	79,301.1	911	1,952	2,242	73.3	66.4	-	-
86	92,909.3	1,054	2,264	2,568	76.8	66.2	5.6	43.2
87	109,726.5	1,334	2,647	3,218	80.7	75.0	△6.9	46.0
88	131,971.3	1,798	3,138	4,295	86.3	82.2	6.7	35.5
89	147,941.6	2,204	3,498	5,210	90.9	88.0	△1.7	19.3
90	178,262.1	2,518	4,165	5,883	100.0	100.0	△4.9	29.3
91	214,239.9	2,920	4,957	6,757	110.2	105.7	0.4	29.0
92	238,704.6	3,057	5,471	7,007	116.9	107.2	9.5	28.0
93	265,517.9	3,308	6,031	7,513	122.8	116.8	△4.1	25.1
94(p)	302,867.0	3,769	6,817	8,483	129.5	131.8	1.0	35.9

資料 : 1) 국민계정(BOK)
 2) 조사통계월보(BOK)

2. 産業別 經濟成長率

	國民 總生産	農 林 漁 業			鐵工業	建設 및 電氣가스, 水道事業	서비스 스業	
		農 業	林 業	漁 業				
	'90不變%							
74	8.1	6.9	7.4	△5.5	14.2	16.0	11.8	7.5
75	6.6	3.7	5.5	△5.8	△4.5	12.4	8.6	7.2
80	△2.7	△19.4	△24.1	21.1	3.7	△1.7	△0.5	2.1
82	7.6	7.2	10.3	△17.4	0.6	5.9	16.7	7.7
83	11.5	7.8	7.9	24.9	△2.9	14.8	21.7	11.0
84	8.7	△1.4	△2.2	2.6	3.6	16.3	8.3	10.3
85	6.5	3.6	4.4	△8.7	6.2	6.1	6.8	9.0
86	11.6	4.7	5.2	△16.1	13.8	19.0	6.4	13.2
87	11.5	△6.1	△7.2	5.2	△2.2	18.9	12.5	14.3
88	11.3	8.9	11.1	△7.5	0.2	13.4	8.9	12.6
89	6.4	△1.0	△1.6	△7.1	6.2	4.0	14.2	8.4
90	9.5	△4.6	△4.9	△9.3	△0.2	9.3	24.4	9.9
91	9.1	0.4	1.4	△14.2	△1.2	8.9	13.7	10.9
92	5.1	6.0	5.8	5.9	8.1	4.8	0.5	6.9
93	5.8	△2.9	△4.0	△9.8	8.0	4.9	9.1	7.0
94(p)	8.4	1.2	0.5	8.6	3.8	10.2	5.7	8.8

資料 : 국민계정(BOK)

3. 産業 構造

	國內 總生産	農 林 漁 業			鑛工業	建設 및 電氣가스, 水道事業	서어비 스業	
		農 業	林 業	漁 業				
	經常 10億원	%						
74	7,663.7	24.8	22.0	1.4	1.5	27.2	5.4	42.6
75	10,295.5	24.9	22.0	1.3	1.6	27.5	5.9	41.7
80	38,148.4	14.7	12.7	1.0	1.2	29.7	10.1	45.5
82	54,721.0	14.4	12.7	0.8	1.2	29.5	9.8	46.3
83	64,196.5	13.2	11.5	0.9	1.2	30.3	10.4	46.1
84	73,605.1	12.5	11.0	0.9	1.1	31.0	10.5	45.9
85	82,062.1	12.5	10.6	0.7	1.2	30.5	10.6	46.5
86	95,736.4	11.2	9.3	0.6	1.3	31.8	10.2	46.8
87	112,130.3	10.1	8.4	0.6	1.2	32.3	10.3	47.2
88	133,184.2	10.2	8.7	0.5	1.1	32.9	10.4	46.6
89	149,164.7	9.6	8.1	0.4	1.1	31.7	11.5	47.2
90	179,539.0	8.7	7.4	0.4	0.9	29.7	13.7	47.9
91	215,734.4	7.7	6.5	0.3	0.9	29.0	16.0	47.3
92	240,392.2	7.4	6.3	0.3	0.8	28.1	15.9	48.6
93	267,146.0	7.1	6.0	0.3	0.8	27.3	16.2	49.4
94(p)	305,007.7	7.1	6.0	0.3	0.8	27.2	15.8	50.0

資料 : 국민계정(BOK)

4. 總人口와 漁家人口

	總人口		漁家人口			漁業家口		
		增加率		構成比	增加率		構成比	家口當人口
	千名	%	千名	%	%	千名	%	名
65	28.705	2.57	1,277	4.4	5.4	215	4.4	5.94
70	32.241	2.21	1,165	3.6	△12.1	195	3.3	5.99
74	34.602	1.73	914	2.6	△6.6	160	-	5.71
75	35.281	1.70	894	2.5	△2.2	154	2.3	5.82
80	38.124	1.57	844	2.2	6.7	157	2.0	5.38
82	39.326	1.53	755	1.9	△2.7	146	-	5.16
83	39.929	1.46	739	1.9	△2.1	147	-	5.01
84	40.406	1.34	716	1.8	△3.1	147	-	4.88
85	40.806	0.93	689	1.7	△3.8	145	1.5	4.75
86	41.184	0.93	666	1.6	△3.3	144	-	4.63
87	41.575	0.96	635	1.5	△4.7	141	-	4.50
88	41.975	0.97	602	1.4	△5.2	138	-	4.36
89	42.380	0.96	561	1.3	△6.8	134	-	4.18
90	42.869	0.98	496	1.2	△11.5	122	1.1	4.09
91	43.268	0.93	470	1.1	△5.4	120	-	3.92
92	43.663	0.91	425	1.0	△9.5	116	-	3.66
93	44.056	0.90	405	0.9	△4.8	114	-	3.56
94	44.453	0.90	382	0.9	△5.6	110	-	3.46

資料 : 농림수산통계연보(MAFF)

註 : 1) 총인구는 연앙인구(7.1기준)

2) 어가인구는 해면어업, '90년부터 피고용어가 제외

5. 漁船勢力

	計			動力 船			無動力 船	
	隻 數	噸 數	隻當平均噸數	隻 數	噸 數	馬 力	隻 數	噸 數
	千隻	千G/T	G/T			千HP		
65	51.1	203	3.98	7.6	120	261	43.5	84
70	68.4	358	5.24	14.1	268	676	54.3	90
74	68.0	602	8.85	18.0	526	1,418	50.0	76
75	67.7	648	9.57	19.7	581	1,587	48.0	67
80	77.6	771	9.94	51.1	740	2,462	26.5	30
82	86.5	808	9.33	67.1	785	2,797	19.4	23
83	88.5	828	9.35	69.3	806	2,973	19.3	22
84	90.4	852	9.42	71.6	830	3,213	18.8	22
85	90.9	858	9.43	71.8	836	3,353	19.1	22
86	93.0	884	9.50	73.9	862	3,607	19.1	22
87	94.2	912	9.69	74.8	890	4,027	19.3	22
88	99.0	948	9.57	78.4	925	4,701	20.6	23
89	98.5	963	9.77	78.3	941	5,037	20.2	22
90	99.7	977	9.80	79.4	955	5,449	20.3	22
91	103.8	983	9.46	84.0	962	6,198	19.8	21
92	94.1	959	10.19	76.8	940	6,910	17.3	19
93	87.5	920	10.52	72.9	904	7,279	14.6	16
94	77.4	940	12.15	70.1	930	8,135	7.3	10

資料：수산청 시설관리국 어선과

6. 水産物 生産

	計	沿岸	近海	遠洋	養殖	内水面
	千 噸					
65	637	365	189	9	74	-
70	935	455	271	90	119	-
74	2,026	883	384	418	340	1
75	2,135	819	390	566	351	9
80	2,410	803	569	458	541	39
82	2,644	822	653	528	596	45
83	2,793	773	714	615	644	47
84	2,910	804	720	658	678	50
85	3,103	838	657	767	788	53
86	3,660	891	835	930	947	57
87	3,332	850	676	883	866	57
88	3,209	757	755	774	887	36
89	3,319	765	745	930	848	31
90	3,275	798	744	925	773	35
91	2,983	801	503	874	775	30
92	3,289	759	536	1,024	936	34
93	3,336	899	627	741	1,038	31
94	3,477	921	566	887	1,072	31
95(p)	3,220	800	600	860	920	40

資料：농림수산통계연보(MAFF)

7. 水産物 需給

	供 給			計	消 費			1人當 消 費
	生産	輸入	在庫		國內消費	輸出	移 越	
				千톤				kg
74	2,026	-	-	2,026	1,641	385	-	27.8
75	2,135	-	-	2,135	1,562	573	-	29.9
80	2,410	41	68	2,519	1,746	696	77	27.0
81	2,812	48	77	2,937	2,096	731	110	33.2
82	2,644	61	110	2,815	2,007	721	87	31.6
83	2,793	66	87	2,946	2,147	699	100	38.1
84	2,910	84	100	3,094	2,245	764	85	37.7
85	3,103	91	85	3,279	2,318	867	94	37.2
86	3,660	127	94	3,881	2,543	1,236	102	41.9
87	3,332	422	102	3,856	2,407	1,272	177	37.1
88	3,209	452	177	3,838	2,336	1,303	199	33.6
89	3,319	404	199	3,922	2,526	1,120	276	36.0
90	3,275	380	276	3,931	2,583	1,058	290	36.2
91	2,983	554	290	3,827	2,235	1,284	308	35.9
92	3,289	410	308	4,007	2,327	1,300	380	40.0
93	3,336	488	380	4,204	2,842	1,002	360	42.2
94	3,477	792	360	4,629	3,104	1,065	460	-
95(p)	3,220	800	460	4,480	2,860	1,100	520	-

資料 : 농림수산통계연보(MAFF)

註 : 1인당 소비량은 한국농촌경제연구원의 "식품수급표" 자료이며 순식품 기준임.

8. 水産物 輸出

	計	活鮮魚	冷凍品	海藻鹽辛品	통조림	遠洋魚類	其他水産物	漁網類
	百萬\$							
70	90	11	6	17	-	38	11	7
74	291	61	35	24	10	90	40	31
75	429	62	58	32	10	183	54	30
80	871	128	103	27	28	352	63	112
82	947	151	131	122	51	329	78	85
83	908	145	134	83	55	315	95	81
84	956	155	124	83	61	354	104	78
85	970	155	124	97	55	328	132	79
86	1.384	253	165	108	72	465	219	102
87	1.731	369	234	128	95	571	223	111
88	2.047	476	260	150	137	618	270	136
89	1.821	391	252	167	114	540	226	131
90	1.637	328	202	156	85	475	267	124
91	1.634	349	272	156	95	513	258	-
92	1.518	356	160	156	99	504	243	-
93	1.497	343	144	154	123	454	279	-
94	1.647	376	214	171	117	477	292	-

資料 : 농림수산통계연보(MAPF)

註 : '91년부터 어망류 제외됨.

9. 漁家所得

	漁家 所得	漁業所得			漁業外所得			移轉 收入	漁業外 所得 構成比
		漁業 粗收入	漁業 經營費		兼業 所得	事業外 所得			
	千圓								%
77	1,391	890	1,797	907	501	365	136	-	36.0
78	1,529	829	2,291	1,462	700	506	194	-	45.8
79	1,923	1,296	2,519	1,223	627	360	267	-	32.6
80	2,596	1,752	3,090	1,338	844	392	452	-	32.5
81	3,042	1,978	3,475	1,497	853	524	329	211	28.0
82	3,279	1,960	3,513	1,553	960	607	353	359	29.3
83	4,109	2,570	5,415	2,845	1,185	772	413	354	28.8
84	4,508	2,582	5,589	3,007	1,480	1,051	429	446	32.8
85	4,869	2,815	6,047	3,232	1,553	1,045	508	501	31.9
86	5,402	3,219	7,155	3,936	1,581	1,011	570	602	29.3
87	6,166	3,420	7,577	4,157	1,814	1,320	494	932	29.4
88	6,821	3,451	7,882	4,431	2,159	1,597	562	1,211	31.7
89	8,079	4,152	8,863	4,711	2,508	1,784	724	1,419	31.0
90	10,023	5,216	10,367	5,151	3,192	2,200	992	1,615	31.8
91	11,309	5,285	10,255	4,970	3,776	2,431	1,345	2,248	33.4
92	12,371	6,036	11,021	4,985	4,217	2,441	1,776	2,118	34.1
93	14,432	6,222	12,276	6,054	4,685	2,583	2,102	3,525	32.5
94	17,110	8,665	15,214	6,549	5,719	4,007	1,712	2,726	33.4

資料 : 어가경제조사결과(MAFF)

註 : '80年以前에는 移轉收入이 事業外 所得에 포함

10. 漁業粗收入 및 經營費

○ 漁業粗收入

	計	生 産 性		家 計 性	其 他	
		漁 業	兼 業			
	千원					
85	3,378	2,501	2,054	447	804	73
90	5,925	4,738	3,281	1,457	870	317
91	6,520	5,240	3,256	1,984	958	322
92	6,485	5,211	3,001	2,210	951	323
93	7,662	6,092	3,044	3,048	1,129	441
94	9,293	7,554	4,842	2,712	1,382	357

資料 : 어가경제조사결과(MAFF)

○ 漁業經營費

	計	制 度 金 融		私 債			
		農水畜協	其 他	農漁家	其 他		
	千원						
85	3,378	2,157	2,004	153	1,221	908	313
90	5,985	4,515	4,206	309	1,410	801	609
91	6,520	5,131	4,671	460	1,389	751	638
92	6,485	5,232	4,541	691	1,253	708	545
93	7,662	6,088	5,384	704	1,574	825	749
94	9,293	7,892	7,436	456	1,401	713	688

資料 : 어가경제조사결과(MAFF)

1995年度 水産業 動向에 관한 年次報告書

1995년 9월 일 印刷

1995년 9월 일 發行

編輯 : 水産廳 企劃管理官室

發行 : 水 産 廳

印刷 : 주식회사 문원사

☎ 739-3911~5

〈 非賣品 〉